MultiWriter 3300N

レーザプリンタ

ユーザーズマニュアル

082E94572
第3版

このユーザーズマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示

プリンターを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアルの指示に従って操作してください。このユーザーズマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、プリンター内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	指示を守らないと、**人が死亡する、または重傷**を負うおそれがあることを示します。
	指示を守らないと、**火傷やけがのおそれ、および物的損害**の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起　注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		火傷を負うおそれがあることを示します。
	破裂するおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	レーザー光による失明のおそれがあることを示します。		指などがはさまれるおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	感電のおそれがあることを示します。		

行為の禁止

行為の禁止は「⃠」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。**感電や火災**のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。**感電**のおそれがあります。
	火気に近づけないでください。**発火**するおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。**感電や発火**のおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。**感電や火傷などの傷害**が起こるおそれがあります。		

行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。**感電や火災**のおそれがあります。		アース線を接続してください。**感電や火災**のおそれがあります。

本文中で使用する記号の意味

このユーザーズマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴ、FontAvenueは日本電気株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server 、Windows NT 、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Netscape、Netscape Navigatorは米国 Netscape Communications Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
HPは米国Hewlett-Packard Companyの商標です。
ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
NetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。
Macintosh、Mac OS、TrueTypeは米国Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
UNIXはThe Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。
Ethernetは米国ゼロックス社の登録商標です。
Adobe、Acrobat、Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標または商標です。
MULTIWRITER、PrintAgent、MOPYING、NMPS、DocuWorksは富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。
その他、記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

OSの表記について

このマニュアルではOSを以下のように略して表記しています。
Windows XPはMicrosoft Windows XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。Windows MeはMicrosoft Windows Millennium Edition operating systemの略です。Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。Windows Server 2003はMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Srandard EditionおよびMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Enterprise Editionの略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 2000 Advanced ServerはMicrosoft Windows 2000 Advanced Server operating systemの略です。Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating systemの略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT Server 4.0, Terminal Server EditionはMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0,Terminal Server Editionの略です。Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0はMicrosoft Windows NT Server, Enterprise Edition network operating system Version 4.0の略です。Windows NT 3.51はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.51およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.51の略です。Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1の略です。
また、Windows Server 2003について特記がない場合は、Windows XPと読み替えてください。

ご注意

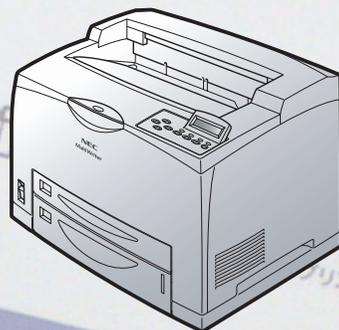
1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

はじめに

このたびはNECのプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

MultiWriter 3300Nは高性能なCPUを採用し、大容量給紙、大容量排紙、スループットの高速化を実現したレーザープリンターです。さらに、用途に合わせた豊富な給紙／排紙を実現しています。

特長を以下に示します。

- 最高 30 ページ / 分の印刷速度
（A4 サイズ横の場合）
- 両面印刷機能（オプション）対応
- オフセット排紙（オプション）対応
- 最大給紙容量 2400 枚
- 厚紙対応（坪量最大 216g/m^2）
- ハガキ〜 A3、長尺紙をサポート
- ネットワークインターフェース標準装備
- USB 2.0 インターフェース標準装備
- 最高 1500dpi 相当の解像度（600dpi+SET）
- 低消費電力 5W 以下（待機時）

また、Windows環境でより簡単に、より快適に使用していただける印刷統合管理ソフトウエア「PrintAgent」に対応しています。PrintAgentにより、プリンターの状態や印刷の進行状況を確認したり、より快適な「MOPYING」を実現しています。「MOPYING」については、「プリンティングスタイル「MOPYING」とは」（9 ページ）をお読みください。

マニュアルをお読みになり、MultiWriter 3300Nを十分にご活用ください。

2003年　12月　初版
2007年　 2月　第3版

目次

4章　操作パネルについて 89

5章　印刷するには 115

6章　日常の保守 127

7章　困ったときには 137

8章　ユーザーサービス 167

9章　オプション 171

付録　技術情報 199

用語解説 204

索引 209

マニュアルの種類と使い方

MultiWriter 3300N本体や付属のプリンターソフトウエアの取り扱い方を説明したマニュアルには、「ユーザーズマニュアル(本書)」と電子マニュアルの「活用マニュアル(添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録)」があります。各プリンターソフトウエアの詳細については画面上の「ヘルプ」をご覧ください。

MultiWriter 3300N　ユーザーズマニュアル（本書）

プリンターのセットアップから、プリンターの基本的な操作方法、および困ったときの対処方法などを、この1冊で説明しています。本書はいつでもご覧になれるようにお手元に置いてください。

MultiWriter 3300N　活用マニュアル（電子マニュアル）

（プリンターソフトウエアCD-ROMに収録）

ネットワーク環境で印刷する場合の設定方法、プリンターソフトウエアやメニューモードの詳細、および技術情報などについて説明しています。

活用マニュアルは、Adobe社のAcrobat Readerで参照および印刷ができるPDF形式になっています。ご使用の目的に応じて活用してください。記載内容については「活用マニュアルの内容」（xiiiページ）をご覧ください。

また、活用マニュアルの開き方、および印刷方法についてはxiページをご覧ください。

ユーザーズマニュアルと活用マニュアルを、目的に応じてお使いいただくために、次ページに目的別検索ガイドを示します。

目的別検索ガイド

セットアップするには
プリンターを安全に使うために
プリンターを設置する
コンピューターと接続する
ネットワークに接続する
プリンターソフトウエアを
インストールする
プリンターソフトウエアについて
USBインターフェース接続による
インストール
IPP、LPR（TCP/IP）を使って印刷する
セットアップができたら
用紙について詳しく知りたい
スイッチ・ランプについて
アプリケーションから印刷する
便利な機能を使って印刷する
必要に応じて
メニューモードを使って設定する
EPカートリッジを交換する
プリンターの清掃について
うまく印刷できないときには
紙づまりのときは
保守サービスについて知りたい
オプションについて
ユーティリティーを使って
IPアドレスを設定する
ネットワークの印刷困ったときには
このプリンターの性能は？
制御コードを使う
印刷範囲が知りたい
文字コード表が見たい
わからない用語がある
ユーザーズマニュアル
安全に
お使いいただくために
1章　プリンターの設置
2章　プリンター
ソフトウエアの
インストール
3章　用紙のセット
4章　操作パネルについて
5章　印刷するには
6章　日常の保守
7章　困ったときには
8章　ユーザーサービス
9章　オプション
付録　技術情報
活用マニュアル
3章　ネットワーク
での設定
4章　より進んだ使い方
7章　メニューモード
3章　ネットワーク
での設定
9章　困ったときには
付録　技術情報
用語解説

「活用マニュアル」（電子マニュアル）を読むには

活用マニュアルはPDFファイル形式です。活用マニュアルを開くまたはお手元で見られるように印刷する場合には、Adobe Acrobat Reader 5.0以上が必要です。Adobe Acrobat Reader 5.0は、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されていますので、あらかじめインストールしてください。

このオンラインマニュアルはA4サイズの大きさで作成されています。ここではWindows XPの環境でMultiWriter 3300Nを使って活用マニュアルを両面印刷*する手順を説明します（あらかじめプリンタードライバーをインストールする必要があります。本書の2章を参照してインストールしてください）。他のOSをお使いの方は多少画面表示が異なりますが、手順は同じです。

* 両面印刷するには、オプションの両面印刷ユニットが必要です。

❶ お使いのOS（日本語版）を起動する。

❷ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

「プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー」が起動します。

> お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ ［オンラインマニュアル］をクリックする。

右側のボックスにオンラインマニュアルの名称が表示されます。

❹ 右側のボックスの[MultiWriter3300N活用マニュアル]を選び、[オンラインマニュアルを読む]をクリックする。

Adobe Acrobat Readerが起動して、活用マニュアルのトップページが表示されます。

❺ 印刷したい章を選び、クリックする。

印刷したい章のイメージアイコンをクリックしてください。希望の章が開きます。

❻ [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスが表示されます。

❼ [プロパティ]をクリックする。

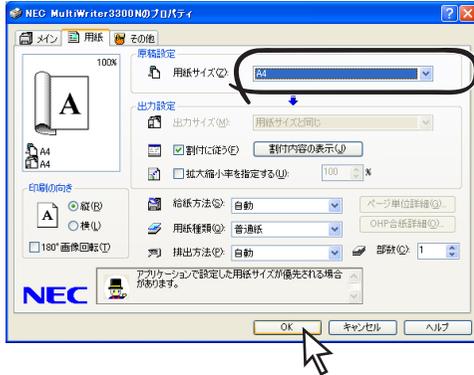
[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

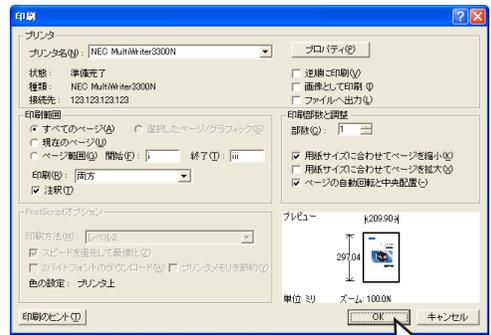
❽ [メイン]シートの左側にある[機能選択バー]から[両面印刷]を選び、[長辺綴じ]をクリックする。

❾ [用紙]タブをクリックする。

[用紙]シートが表示されます。

❿ [用紙サイズ]から[A4]を選択し、[OK]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスに戻ります。

⓫ 印刷部数を指定して[OK]をクリックする。

両面印刷で出力されます。

活用マニュアルの内容

活用マニュアルに記載されている主な内容は、以下のとおりです。

1章　オプション

別売品（オプション）の紹介、取り付け、取り外し手順および、使用できるコンピューターとプリンターケーブルを記載しています。

2章　プリンターソフトウエアのインストール

プリンターソフトウエアをインストールしてプリンターを使用できる手順について記載しています。また、プリンター管理者用のインストール手順、PrintAgentの追加・削除についても説明しています。

- プリンターソフトウエアCD-ROMについて
- プリンターソフトウエアの動作環境
- インストール方法の選択
- 「インストールプログラム」からのインストール
- USBインターフェース接続によるインストール
- パラレルインターフェース接続によるインストール
- プリンタードライバーの削除
- PrintAgentの追加・削除
- プリンター管理者用インストール
- 日本語MS-DOS環境

3章　ネットワークでの設定

MultiWriterを使ってネットワーク印刷するための設定手順について説明しています。

- 接続先の設定とプリンタードライバーのインストール

  IPP（Internet Printing Protocol）、UNIX用印刷サービス（LPR）、Standard TCP/IP Port（LPR）、LPRバイトカウント機能、NEC Internet Printing System（IPP）、Microsoft TCP/IP印刷（LPR）、ターミナルサービス環境、UNIX環境
- ユーティリティーによるネットワークの設定

  EASY設定ユーティリティ、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ、無線LANプリンタ導入ウィザード、WWWブラウザー、Telnet、UNIXコマンド
- より便利なネットワーク機能

  DHCP、SNMP、アクセス制限

4章　より進んだ使い方

プリンターソフトウエアを使ったMultiWriterの便利な機能の紹介および設定方法について説明しています。

- MOPYING設定ウィンドウ
- 「PrintAgent」ツールバー
- プリンタステータスウィンドウ
- リプリント機能
- 文書結合
- 仕分け印刷の設定（ジョブセパレート機能、丁合い機能、オフセット排紙機能、電子ソート機能）
- 両面印刷の設定
- 拡大・縮小印刷
- 複数ページ印刷
- 印刷位置の調整
- スタンプ機能
- ヘッダー／フッター機能
- ページ単位の給紙先指定
- OHPに合い紙を入れる
- ユーザー名の表示
- 定形外用紙サイズの設定
- プリンタ自動切替
- 保守情報のメール通知
- PrintAgentによる印刷ログの出力
- リモート電源制御
- Web PrintAgent
- プリンタ利用情報通知機能を利用した印刷ログ集計
- プリンタードライバのバージョンアップ
- かんたん設定の使い方

5章　用紙のセット

使用できる用紙の種類や用紙についての注意事項、ホッパー、MP、手差し（オプション）への用紙セット方法について説明しています。（記載内容は本書と同じです。）

6章　操作パネル

プリンターの操作パネル上のディスプレイ、ランプ、スイッチについて詳しく説明しています。

7章　メニューモード

ESC/Pエミュレーションモードおよびプロッターエミュレーションモードを含めてメニューモードの詳細について説明しています。

- 操作パネルでの設定方法（メニューモード、メモリースイッチ）
- メニューモード設定項目一覧（メニューツリー）
- メニューの詳細
- メモリースイッチの内容
- 動作エミュレーションの切り替え（ESC/Pエミュレーションモード、プロッターエミュレーションモード）

8章　日常の保守

EPカートリッジの交換手順、清掃手順について説明しています。（記載内容は本書と同じです。）

9章　困ったときには

困ったときの原因と処置方法を以下の症状に分けて説明しています。また、プリンターの運搬、消耗品の廃棄について記載しています。

- 修理に出す前に
- ディスプレイに何も表示されないときは
- 印刷できないときは
- アラーム表示が出ているときは
- 印刷に異常が見られるときは
- 思うように印刷できないときは
- PrintAgentシステムが起動しないときは
- プリンタステータスウィンドウがおかしいときは
- リプリント機能が動作しないときは
- ジョブセパレート機能が動作しないときは
- PrintAgentを正しく動作させるために
- ネットワークで思うように印刷できないときは
- 紙づまりのときは
- プリンターを運搬するときは
- プリンター・消耗品を廃棄するときは

10章　ユーザーサービス

お客様登録された方へ用意されているさまざまなユーザーサービス、プリンターの寿命、ユーザーズマニュアルの再購入について説明しています。

付録　技術情報

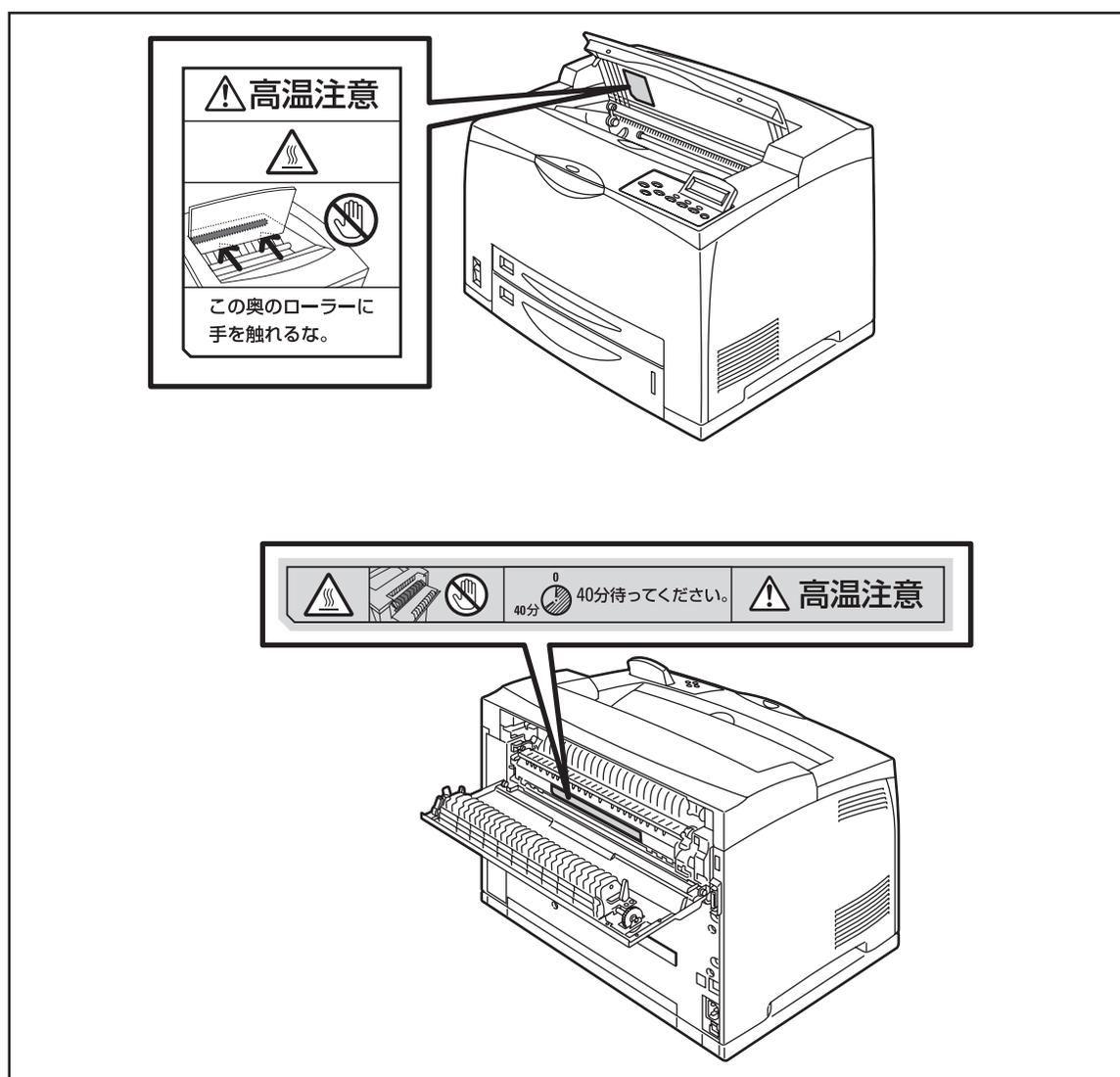
本書に記載しているプリンターの仕様、用紙の規格の他に文字コード表、印刷範囲などの詳細な技術情報について記載しています。

- 仕　様
- 用紙の規格
- 文字の種類
- 文字コード表
- 印刷範囲
- NPDLの初期状態
- 制御コード
- 機能拡張制御コード
- ディスプレイ表示一覧
- テスト印刷のプリント結果
- 増設メモリー対応表
- 電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表
- インターフェース
- 用語解説

安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

MultiWriter 3300Nプリンター内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、販売店または、NECサービス窓口にご連絡ください。

安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示」を参照してください。

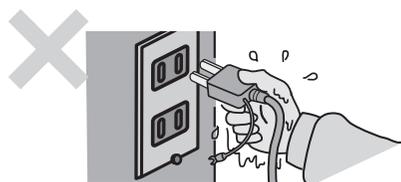
⚠ 警告

プリンターの内部をのぞかない

このプリンターはレーザー（レーザーダイオード）を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。

針金や金属片を差し込まない

通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電するおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを触らない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

分解・修理・改造はしない

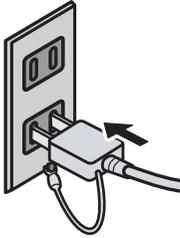
ユーザーズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら電源OFF

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

EPカートリッジを火の中に投げ入れない

EPカートリッジを火の中に投げ入れないでください。EPカートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。

電源コードのアース線を取り付ける

万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、アース線を次のいずれか取り付けてください。

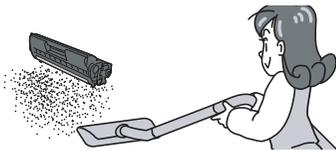
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D種）を行っている接地端子

アース線の取り付けは、必ず電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。また、接地接続（アース線）を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースがとれない場所やアースが施されていない場合は、お買い求めの販売店またはNECの相談窓口にお問い合わせください。

ただし次のようなところにはアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発のおそれがあります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

掃除機でトナーを吸い取らない

床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

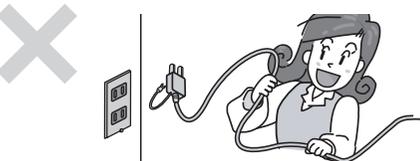
⚠ 注意

壊れた液晶ディスプレイには触らない

壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が、口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は､すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

電源コードを抜くときはコードを引っ張らない

電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。

雷が鳴りだしたらプリンターに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めてプリンターには触らないでください。

プリンター内に異物を入れない

プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

損傷した電源コードは使わない

電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードに取り替えてください。

高温注意

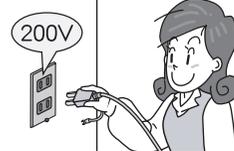
プリンターのカバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。プリンターの内部には使用中に高温になる定着ユニットという部品があり、触るとやけどするおそれがあります。

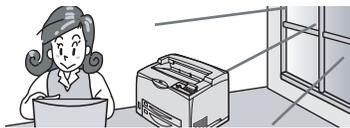
巻き込み注意

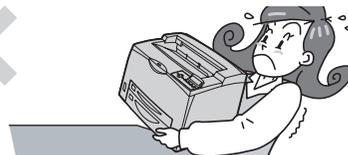
プリンターの動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

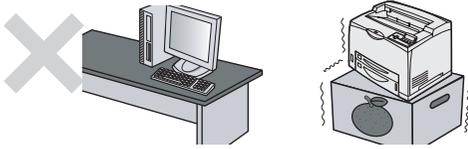
目や口にトナーを入れない

EPカートリッジに入っているトナーを目や口に入れないでください。トナーが目や口に入ると健康を損なうおそれがあります。特にお子様の手の届かないところに保管し、お子様が触れないようにしてください。

100V以外のコンセントに差し込まない

電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

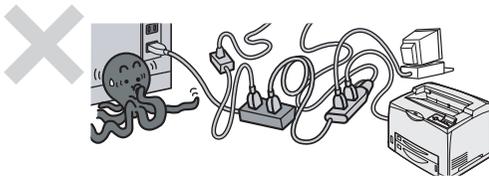
直射日光が当たるところには置かない

プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

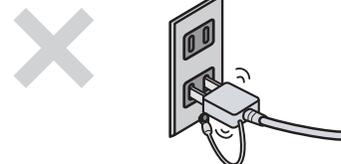
プリンターを一人で持ち上げない

プリンターの質量は約22kgあります（EPカートリッジ含まず）。プリンター側面にあるくぼみを両手でしっかりと持ち、2人以上で運んでください。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

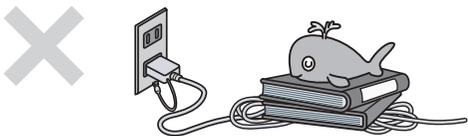
不安定な場所に置かない

プリンターを不安定な場所には置かないでください。プリンターが破損するおそれがあるばかりではなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

専用電源コード以外は使わない

プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

電源コードをたこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない

電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

電源コードは曲げたりねじったりしない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

無線LANボードに関する安全上のご注意

オプションの無線LANボードを取り付けた場合の注意事項について説明します。

心臓ペースメーカーに近づけない

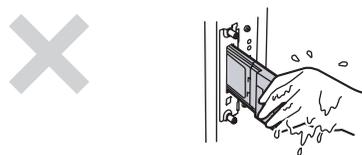
植え込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、無線LANボードをペースメーカー装着部から22cm以上離して使用してください。心臓ペースメーカーの近くで使用するとペースメーカーが正しく動作しないおそれがあります。

飛行機内では使用しない

飛行機内では無線LANボードを装着したプリンターの電源は切ってください。電子機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。現在、各航空会社では航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、無線LANボードもその該当機器となります。詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。

使用禁止区域では使用しない

心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用している方が近接する可能性がある場所では使用しないでください。特に医療機関側が無線LANボードの使用を禁止した区域では、無線LANボードを使用しないでください。また、医療機関側が無線LANボードの使用を認めた区域でも、近くで医療用電気機器が使用されている場合には、プリンターの電源は切ってください。
無線LANボードの電波出力は、例えば携帯電話などに比べてはるかに低く抑えられており、医療電気機器に与える影響は極めて少ないものですが、医療機器が正しく動作しないおそれがあります。使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。

ぬれた手で触らない

無線LANボードがプリンターに取り付けられているときに、ぬれた手で無線LANボードやプリンターに触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

⚠ 注意

無線LANカードの
差し込む向きを間違えない

無線LANボードのPCカードスロットに無線LANカードを取り付けるときは、カードの向きを間違えないでください。差し込む向きを間違うと故障や発火の原因となるおそれがあります。

補聴器のそばで
使用しない

補聴器を装着されている方、またはその近くで無線LANボードを使用しないでください。補聴器を装着されている方の近くで無線LANボードを使用すると、補聴器にノイズを引き起こし、事故の原因となるおそれがあります。

MOPYINGとは

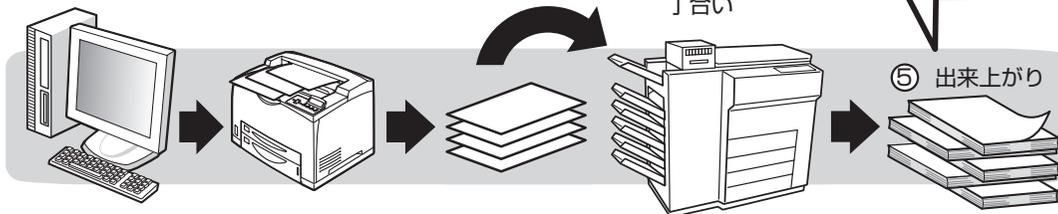
~MultiWriterを使って手間もコストも大幅削減!~

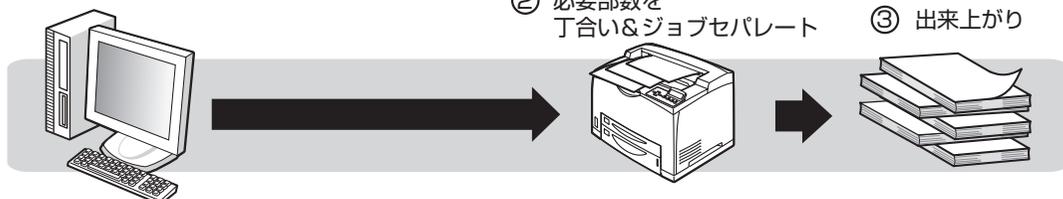
MOPYING(Multiple Original coPY and printING)とは、オリジナルのドキュメントをコピー機で複数コピーするのではなく、MultiWriterで必要部数を直接印刷する新しいドキュメント処理スタイルのことです。MultiWriter 3300Nに搭載されているPrintAgentの機能を使うと、MultiWriterをコピー機のような使い方ができるばかりでなく、手間のかかる原稿の準備作業がパソコン上でできます。

コピー機を使ってドキュメントを複数コピーする作業と比較すると、導入コストやランニングコストを低く抑えることができます。しかも、オリジナル出力なので仕上がりがきれいです。

コピー機を使わずに必要部数をそのまま印刷

MultiWriter 3300Nはジョブセパレート機能による簡単仕分け印刷を標準でサポートしています。例えば、会議の資料は原稿をコピー機で複数コピーするのではなく、MultiWriterで必要な分だけ直接印刷すれば、オリジナルの品質で資料が作成できます。

コピー機を使った複写出力

MOPYINGによるオリジナル出力

MultiWriter 3300Nは600dpi(23.6ドット/mm)の解像度に対応しています。オリジナル出力なので写真やグラフの網かけ、グラデーションがきれいに出ます。コピー機のように、いちいち原稿に合わせて濃度調整をする必要はありません。

¥ コピー機よりコストが安い

MultiWriterを使った場合、コピー機のような契約によるコピーチャージや定期保守費用などを必要としません。MultiWriterは感光体とトナーを一体型にしたEPカートリッジを採用することで、トナー交換の作業を容易にし、メンテナンスを不要にしています。

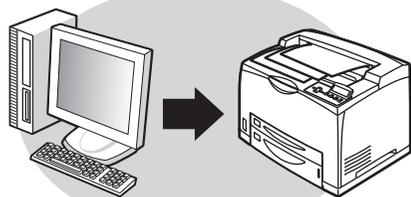
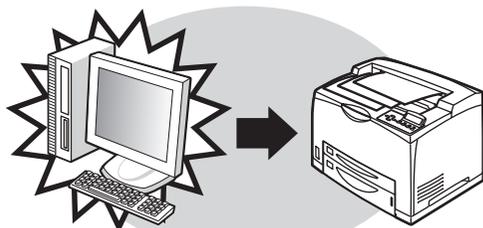
さらに、MultiWriter 3300Nは、約15,000ページ*1印刷可能なEPカートリッジ（型番：PR-L3300-12）は、1枚あたり約3円*2、約6,000ページ印刷可能なEPカートリッジ（型番：PR-L3300-11）は1枚あたり約5円*2と低コスト。
MultiWriterの導入は同等機能のコピー機を導入する場合と比較した場合、ランニングコストが半分以下で済みます。

一度印刷した文書なら、すぐリプリント（再印刷）

PrintAgentの「リプリント機能」を使うと、一度印刷したデータを設定範囲内でコンピューターのスプールフォルダーに残しておき、再印刷することができます。これを使えば、いちいちアプリケーションを立ち上げずにコピー感覚ですぐ再印刷が可能。

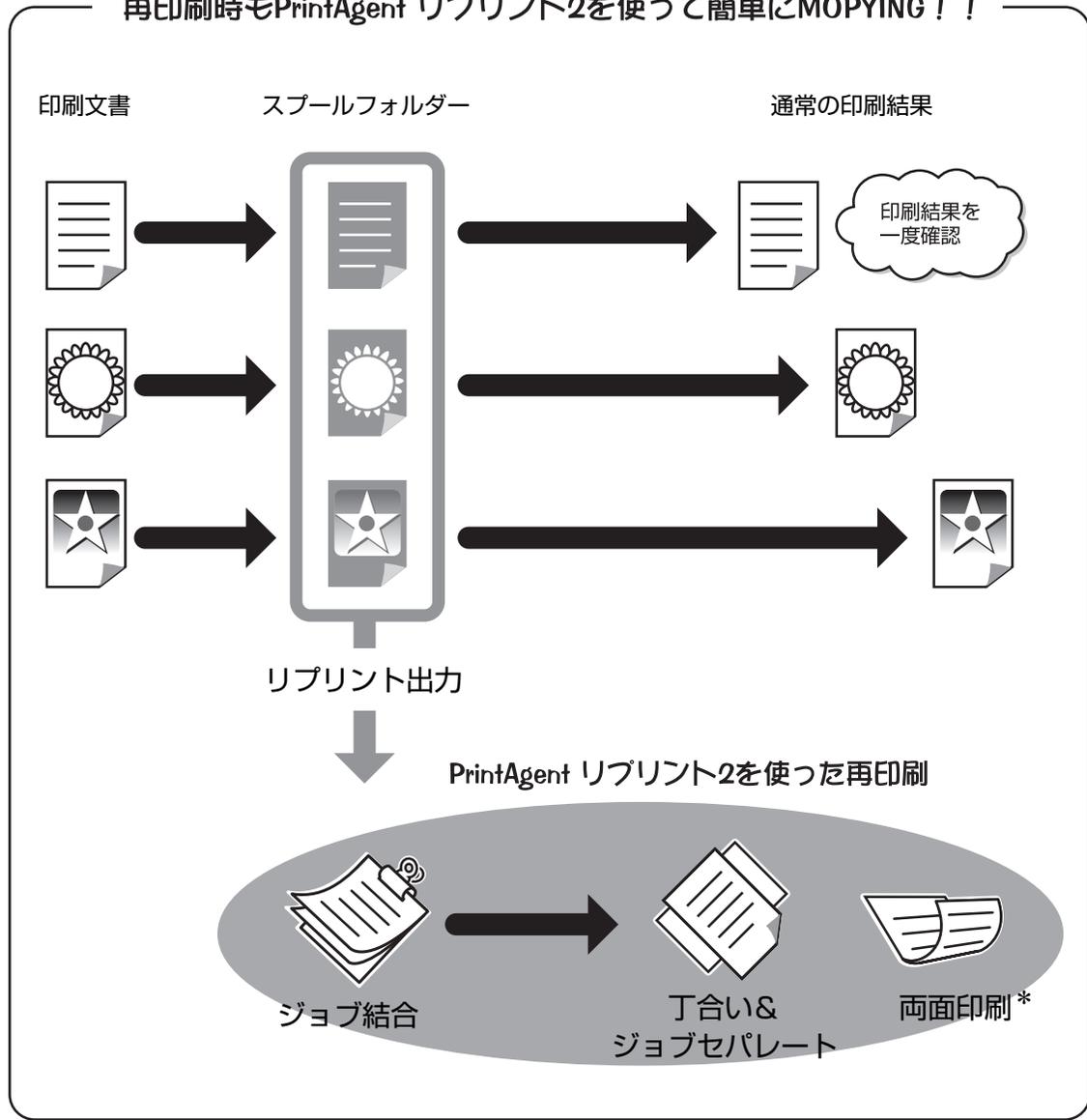
しかも蓄えた印刷データを自由に組み合わせて再印刷することも可能です。

コピー作業のように原稿を持って席とコピー機を往復することはありません。自席でPrintAgentを使って作業は終了です。

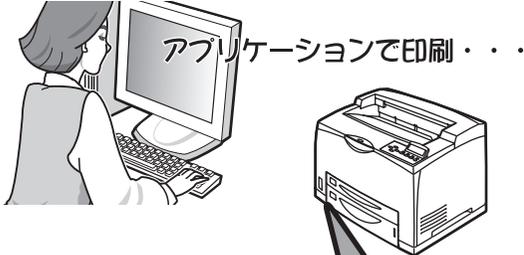
① 一度印刷したデータなら・・・

② PrintAgentが覚えているのでアプリケーションを立ち上げなくてもすぐ印刷

しかも、覚えているドキュメントで自由な組み合わせが可能（ジョブ結合）

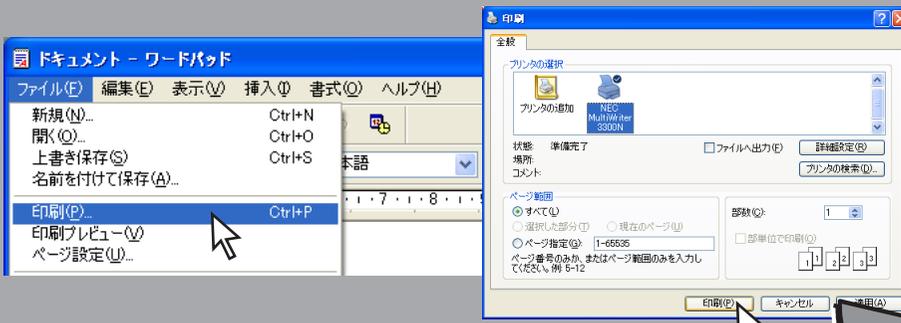
さらに、再印刷する文書でも丁合い＆ジョブセパレート＆両面印刷*3で仕分けされた出力が可能です！

*1 A4サイズ1枚あたりの画像面積比（1ページ中の黒い部分の面積比と印刷範囲との比率）が約5%の片面連続印刷時。
*2 平成17年12月現在
*3 両面印刷するには、オプションの両面印刷ユニットが必要です。

リプリント機能はMultiWriterに添付されている印刷統合ソフトウエア「PrintAgent」のPrintAgent リプリント2が提供します。

＊ 両面印刷するには、オプションの両面印刷ユニットが必要です。

MOPYING設定ウィンドウで簡単設定

MultiWriter 3300Nでは、印刷開始前にプリンタードライバーのプロパティで設定を忘れても大丈夫。アプリケーションの印刷を選択した後に「MOPYING設定ウィンドウ」が表示される＊[1]ので、複数ページ印刷や両面印刷＊[2]の設定が印刷開始後でも簡単に行えます。これによって、より快適にMOPYINGを実現できます。

＊1　標準設定では MOPYING 設定ウィンドウは表示されません。MOPYING 設定ウィンドウを表示させるには、プリンターソフトウエアのインストール時、またはプロパティダイアログボックスで有効にする必要があります。手順については「MOPYING 設定ウィンドウを使って印刷する」（119 ページ）をご覧ください。

＊2　両面印刷するには、オプションの両面印刷ユニットが必要です。

自動的にMOPYING設定ウィンドウが開きます

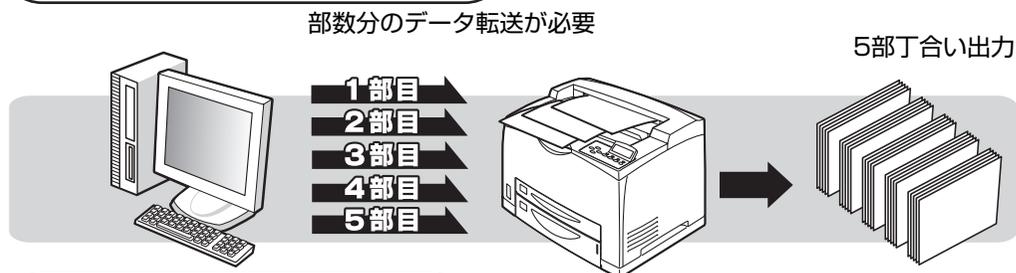
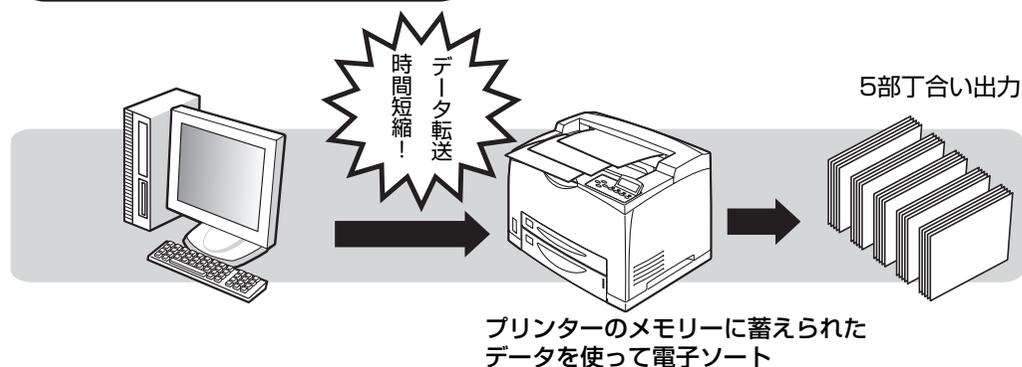
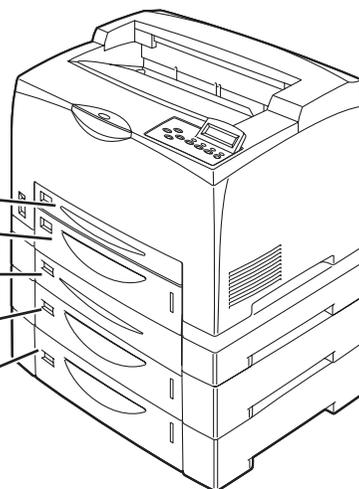
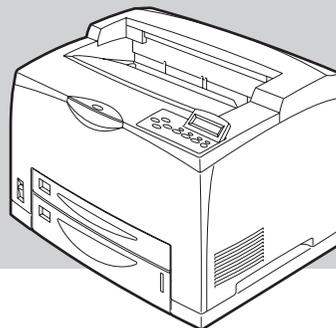
用途に合わせて複数ページレイアウト、両面印刷＊2などを選択

複数ページレイアウト印刷、両面印刷＊2、仕分け印刷などのMOPYINGが簡単にできます！

高速印刷・電子ソートですばやい仕上がり

MultiWriter 3300Nは、毎分30ページの高速印刷を実現。しかも電子ソート機能＊[1]を使えばプリンターのメモリーに印刷データを蓄えて必要部数を印刷するので、パソコンからプリンターへ部数分のデータ転送が不要です＊[2]。これによって、トータル印刷処理時間が短縮されます。

＊[1] 電子ソート機能を有効にする場合、64MB 以上のメモリー増設（オプション）が必要です。
＊[2] 増設メモリー容量、ページ数により必要枚数分データ転送を行う場合があります。

従来の丁合い機能を使った出力

電子ソート機能を使った出力

MultiWriter 3300Nは、増設ホッパーを最大3台まで増設可能です。
標準ホッパー、MP（または手差し）も合わせた用紙容量は最大2,400枚（2,300枚）になります。

1章 プリンターの設置

この章では、お買い上げになったプリンターの箱を開けてから、中身を確認し、テスト印刷、ネットワークでプリンターが使えるようになるまでを以下の手順で説明します。

1 設置に必要なスペースを用意する

2 箱の中身を確認する

3 固定用部材を取り外す

4 各部の名称を確認する

5 EPカートリッジを取り付ける

6 用紙をセットする

7 電源コードを接続する

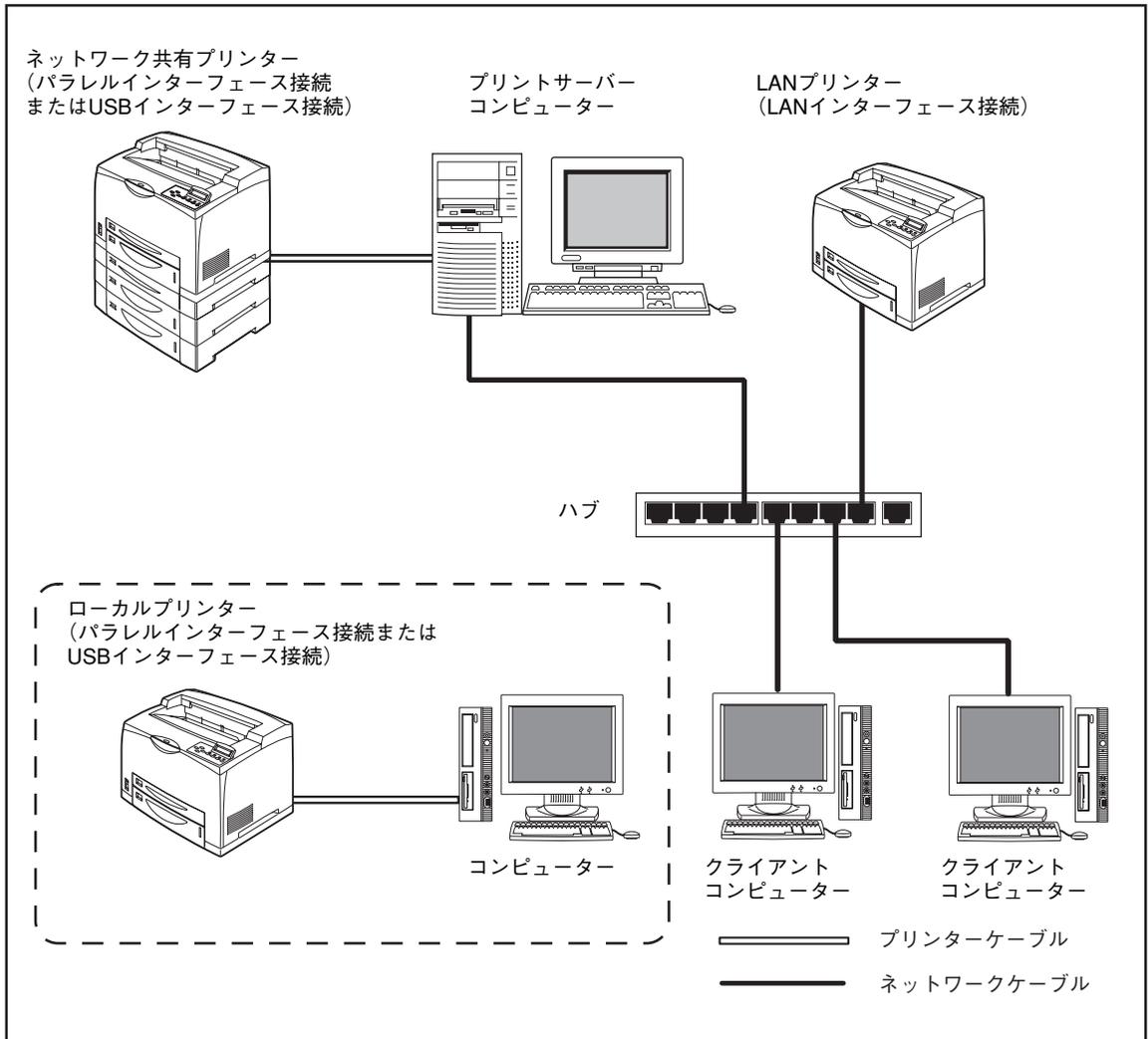
8 テスト印刷をする

9 コンピューターに接続する

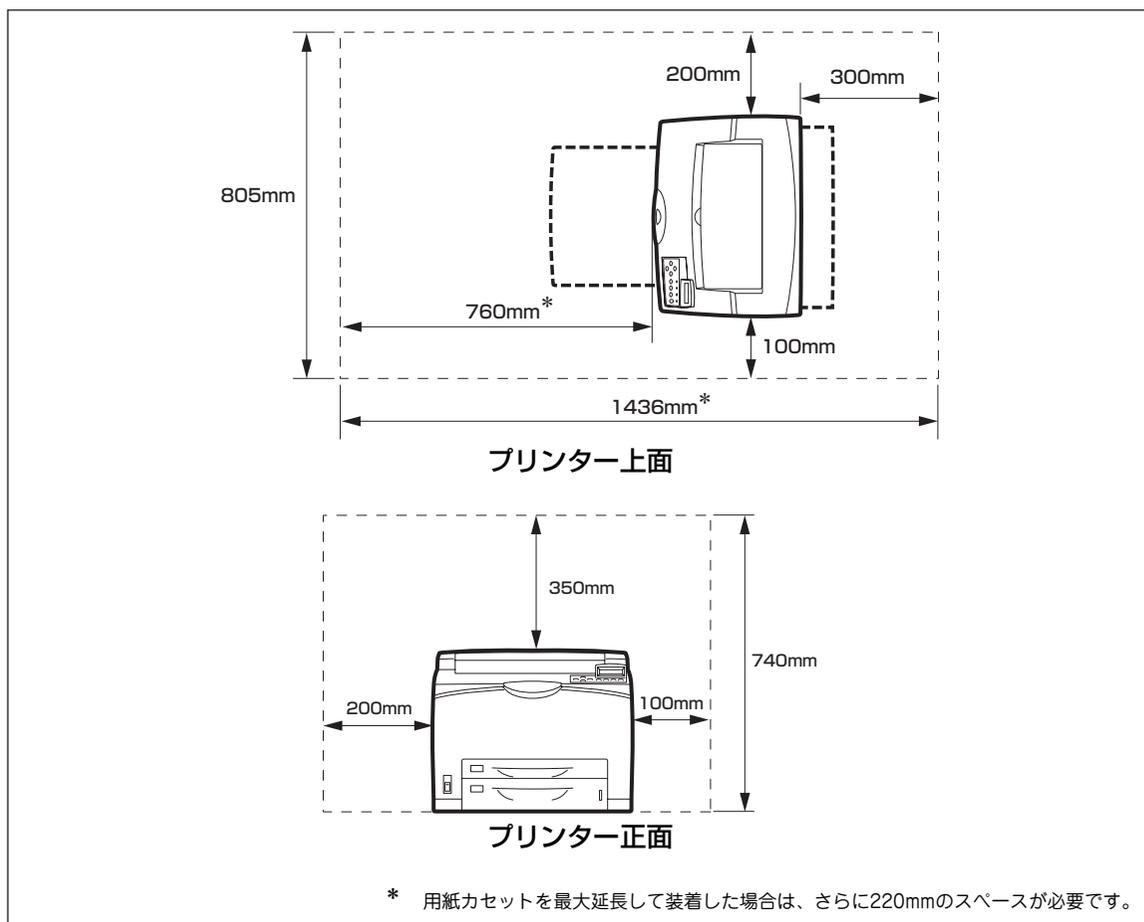
10 ネットワークに接続する

Step 1 無線LANボード／LANアダプターを取り付ける
Step 2 ネットワークケーブルを接続する
Step 3 コンフィグレーションページを印刷する
Step 4 IPアドレスとサブネットマスクを設定する

MultiWriter 3300Nはパラレルインターフェース接続、USBインターフェース接続、およびネットワーク接続ができます。お使いの環境や目的に合わせて接続してください（接続方法については「9 コンピューターに接続する」（29ページ）または「10 ネットワークに接続する」（30ページ）をご覧ください）。

以下は、ネットワークの接続例です。

ネットワーク接続例

1 設置に必要なスペースを用意する

MultiWriter 3300Nを安全、快適にご使用いただくためには次ページの「設置してはいけない場所」をよくお読みになり、下図に示すスペースを確保してください。

200mm
300mm
805mm
760mm*
100mm
1436mm*

プリンター上面

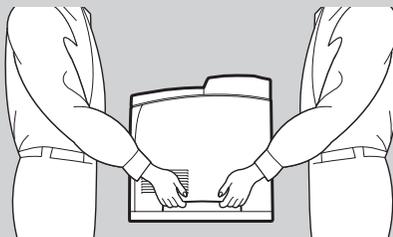
350mm
740mm
200mm
100mm

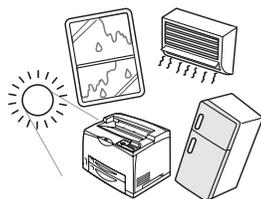
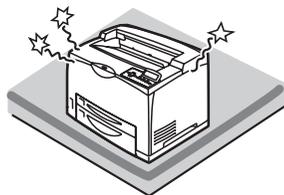
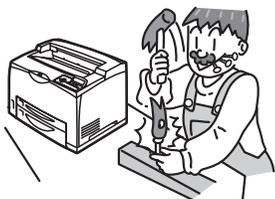
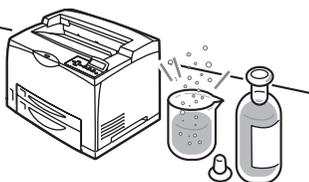
プリンター正面

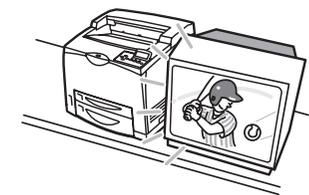
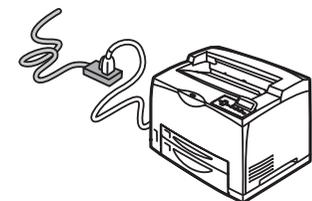
* 用紙カセットを最大延長して装着した場合は、さらに220mmのスペースが必要です。

⚠ 注意

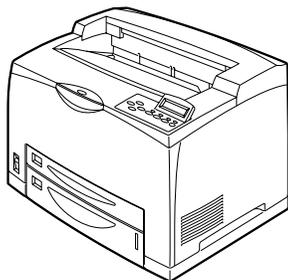
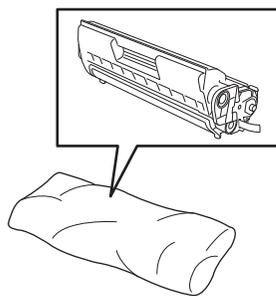
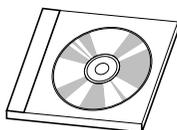
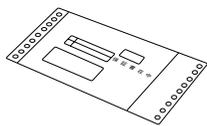
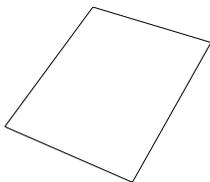
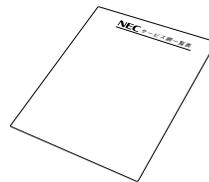
プリンターを移動する際は、2人以上でプリンター正面および背面に向かい合って左右両側のくぼみをしっかりと持って運んでください。プリンターの質量は約22kgあり（EPカートリッジ含まず）、1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

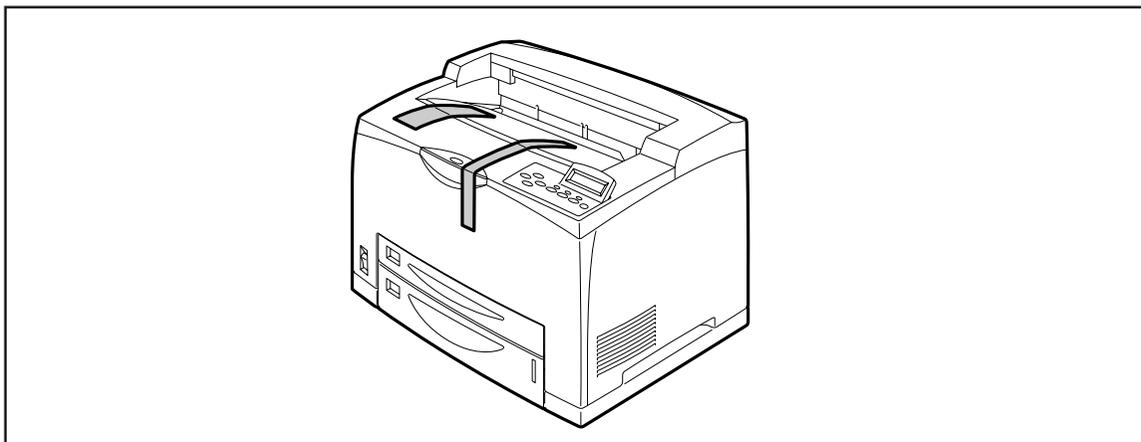
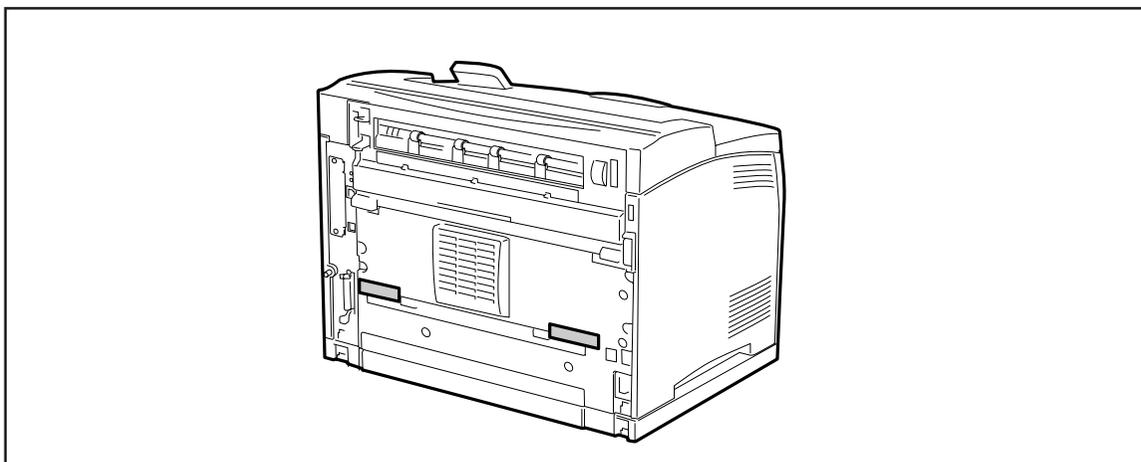
また、プリンターの重心は背面にありますので、背面方向へ倒れないように注意してください。

設置してはいけない場所

次のような場所には設置しないでください。

直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、温度変化の激しい場所（暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く）には設置しないでください。温度変化により結露現象が起こり故障の原因となることがあります。

じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害でプリンターが正しく動作しないことがあります。

強い振動の発生する場所に設置しないでください。プリンターが正しく動作しないことがあります。

腐食性ガスの発生する場所、薬品類がかかるおそれのある場所には設置しないでください。部品が変形したり傷んだりしてプリンターが正しく動作しなくなることがあります。

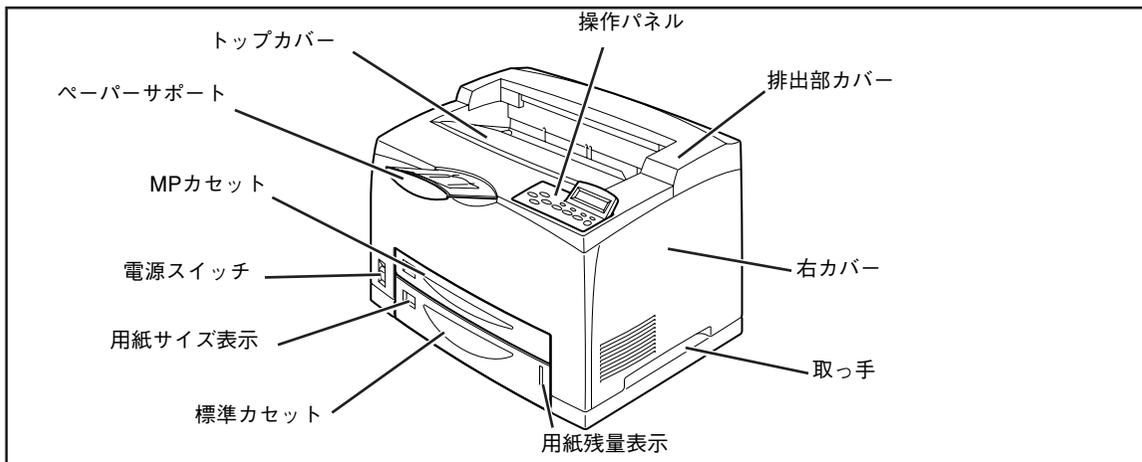
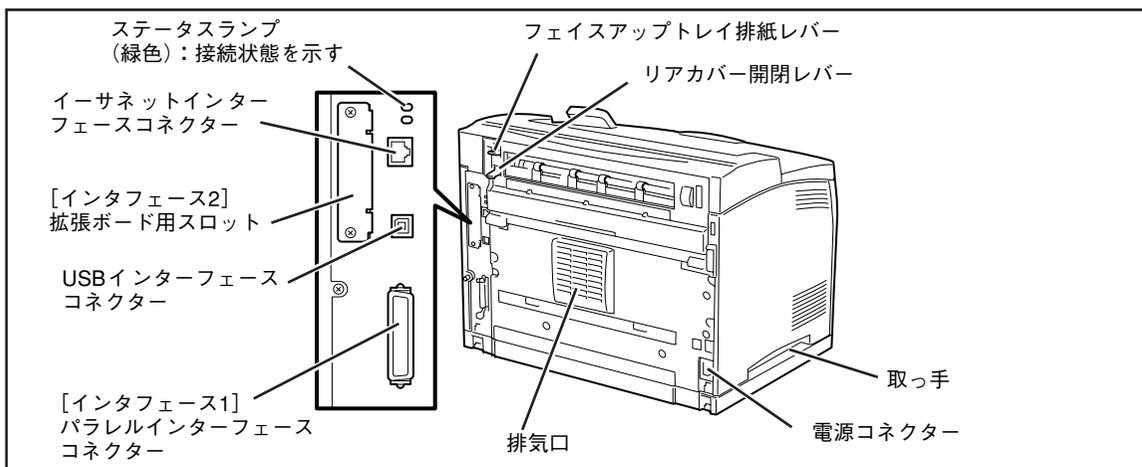
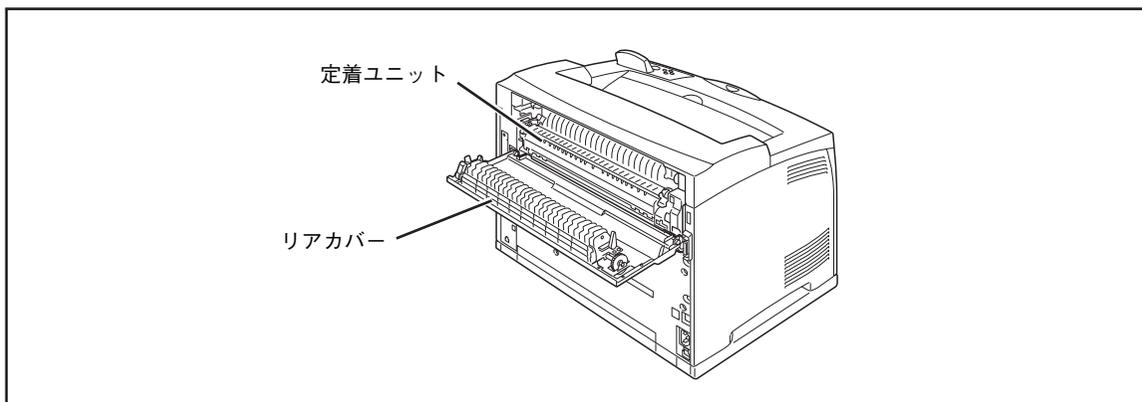
上から物が落ちてきそうな場所には設置しないでください。衝撃などによりプリンターが正しく動作しなくなることがあります。

ラジオやテレビなどの近くには設置しないでください。プリンターのそばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。

添付の電源コードだけで、コンセントに届かない場所に設置しないでください。延長コードの過容量、延長コードへのコンセントの差し込みにより発熱するおそれがあります。

2 箱の中身を確認する

箱を開けて、まず次のものがすべてそろっていることを確認し、それぞれの点検を行ってください。万一足りないものや損傷しているものがある場合には、販売店に連絡してください。
梱包材料（箱や緩衝材など）はプリンターを運搬するときに必要となります。大切に保存しておいてください。

3 固定用部材を取り外す

輸送中の損傷を防ぐために、動きやすい、あるいは外れやすい箇所をテープで固定してあります。下図の位置のテープ（4か所）を取り除いてください。

プリンター前面（2か所）

プリンター背面（2か所）

4 各部の名称を確認する

プリンターを使用する前にそれぞれの名称と位置を確認してください。

プリンター前面

プリンター背面

プリンター内部

5 EPカートリッジを取り付ける

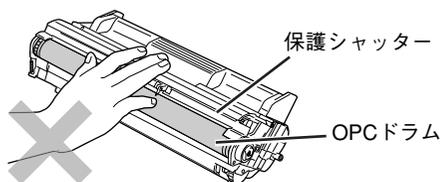
EPカートリッジは印刷を行うためのトナーやOPCドラム、現像ユニットなどが一体化されたものです。消耗品のため、印刷が薄くなったら交換します（交換手順については、6章の「EPカートリッジの交換」（127ページ）をご覧ください）。

ここではまず、添付のEPカートリッジを取り付ける手順を説明します。取り付けの際は、強い光が当たる場所を避け、できるだけ5分以内で作業を終了してください。

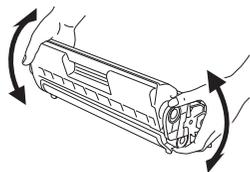
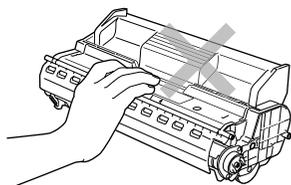
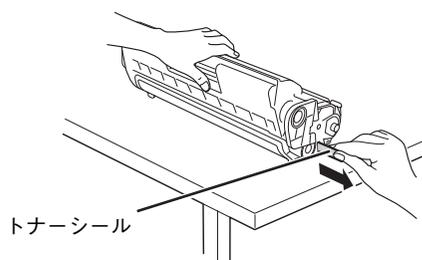
床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

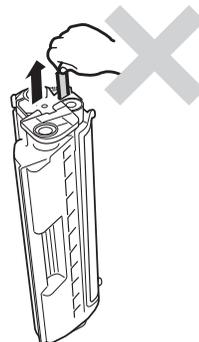
❶ **EPカートリッジを袋から取り出す。**

重要

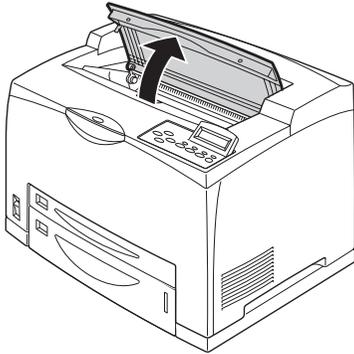
EPカートリッジのOPCドラム保護シャッター、およびOPCドラムには触らないようにしてください。

❷ **EPカートリッジのトナーを均一にするため、水平に持って10回程度、図に示す方向にゆっくり振る。**

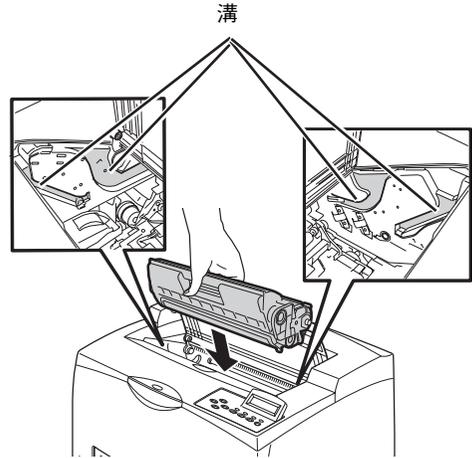
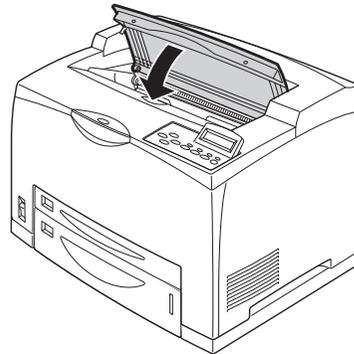
重要

- EPカートリッジは取っ手を持たず、図のように両端部を軽く持ってゆっくり振ってください。激しく振ると、落下やOPCドラムに傷がつくおそれがあります。

- EPカートリッジの中央部を持たないでください。

❸ **EPカートリッジの取っ手を手前にして、机など水平な面に置いて、側面から出ているトナーシールの端を持ち、ゆっくり引き抜く。**

重要

EPカートリッジを立てた状態でトナーシールを引き抜かないでください。EPカートリッジを立てた状態でトナーシールを引くと途中で引き抜けなくなるか、切れてしまうおそれがあります。

もし、トナーシールが途中で引き抜けなくなった状態、あるいは途中で切れた状態のままセットすると、印刷品質が劣化するばかりでなくプリンター本体に障害が生じることがあります。

- 正常に引き抜けた場合のトナーシールの長さは約68cmです。正常に引き抜けなかった場合は、プリンターを購入した販売店に連絡してください。
- トナーシールを引き抜くときに少量のトナーが出ることがあります。手や衣服などを汚さないように気をつけてください。万一、トナーが手や衣服についたら、水で洗い流してください。

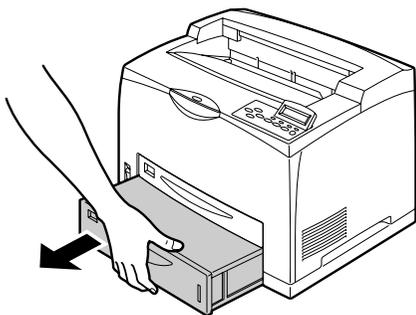
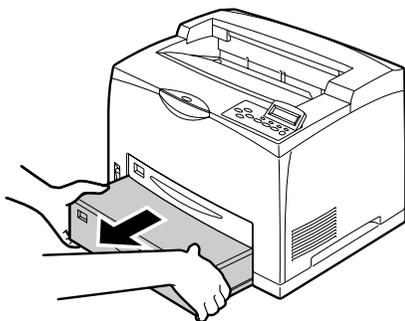
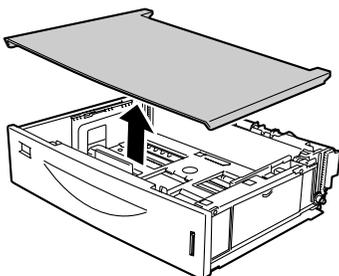
❹ トップカバーを開ける。

❺ EPカートリッジの取っ手を持ちEPカートリッジの両側の突起部をプリンターの内側の溝に合わせてスライドさせ、セットする。

EPカートリッジが浮き上がっていたり、斜めになったりせず、確実に奥までセットされていることを確認してください。

❻ トップカバーを閉じる。

6 用紙をセットする

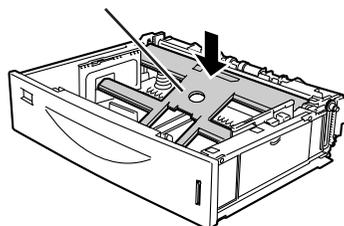
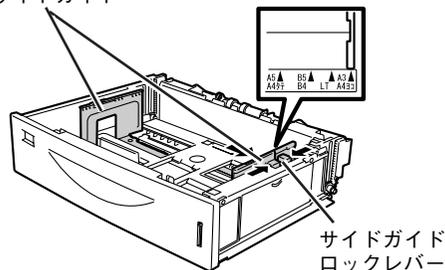
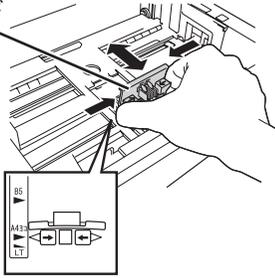
テスト印刷するためにA4サイズの用紙を横置きに標準カセットにセットする手順を説明します。その他の用紙のセット方法、使用できる用紙については「3章 用紙のセット」（73ページ）をご覧ください。

重要

- プリンターにセットする用紙は、両面とも印刷されていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙をプリンターにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして印刷すると、給紙できない、紙づまりになるなどプリンターの故障の原因となる場合があります。
- 用紙カセットの後側のローラー部には触らないでください。脂が付着すると給紙できない、紙づまりになるなどプリンターの故障の原因となる場合があります。

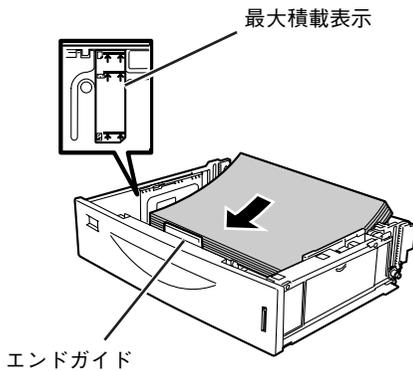
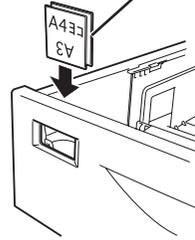
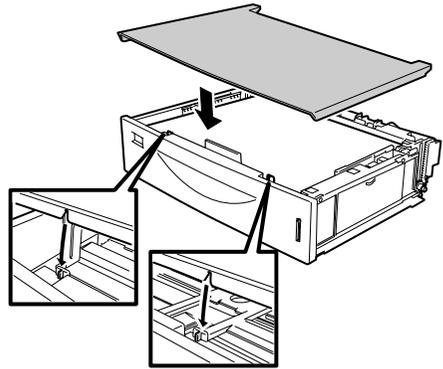
❶ 標準カセットを手前に引き出す。

❷ 標準カセットを両手で軽く持ち上げ、ゆっくりと取り外す。

❸ 用紙カセットカバーを取り外す。

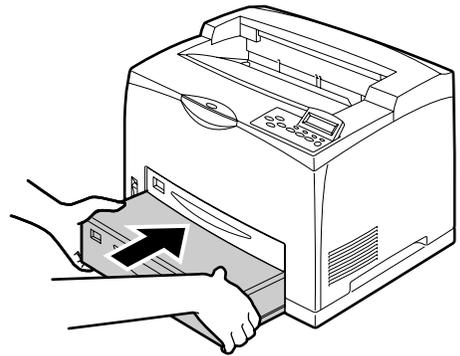
❹ リフトプレートが上がっている場合は、押し下げる。

- リフトプレートが完全に下がっていないと、用紙カセットをプリンターに取り付けることはできません。
- カセットを取り扱う際は、給紙ロールに触らないでください。給紙ロールが汚れると、給紙できなくなることがあります。

❺ サイドガイドロックレバーを指でつまみ、サイドガイドをスライドさせ、「A4ヨコ」の表示に合わせる。

❻ **エンドガイドロックレバーを指でつまみ、エンドガイドをスライドさせ、「A4ヨコ」の表示に合わせる。**

❼ **印刷する面を上にして、エンドガイド側から用紙をそろえてセットする。**

用紙をセットした後は、サイドガイドを再セットしてください。

チェック

- 包みから出した新しい用紙は、さばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙は、サイドガイドの最大積載表示（ ）を超えないようにセットしてください。
- 1つの標準カセット内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。
- 用紙のつぎ足しはしないでください。

❽ **用紙サイズ表示ラベルを用紙カセットから引き抜き、ラベルの表示を「A4ヨコ」に合わせてから、再度、用紙カセットに差し込む。**

❾ **用紙カセットカバーを標準カセットの手前に合わせて取り付ける。**

❿ **標準カセットをプリンターに取り付ける。**

標準カセットは両手で持ち、ゆっくり差し込んでください。

重要

用紙をセットし終えた標準カセットは、重くなっています。取り付ける際は、用紙カセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

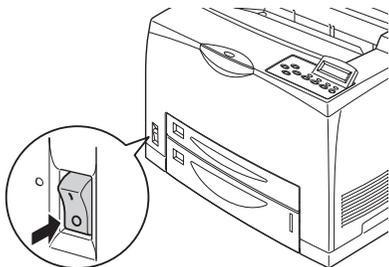
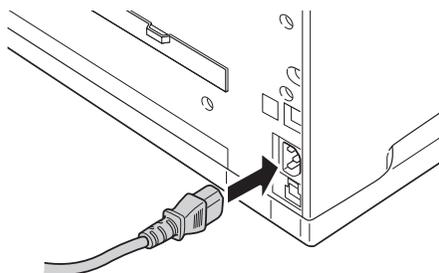
7 電源コードを接続する

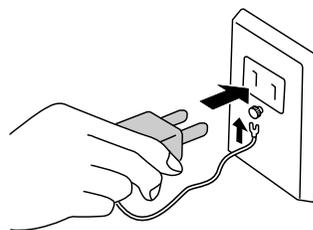
⚠警告

- 万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、アース線を次のどれかに必ず取り付けてください。
  — 電源コンセントのアース端子
  — 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
  — 接地工事（D種）を行っている接地端子
- アース線の取り付けは、必ず電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。また、接地接続（アース線）を外す場合は電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。
- 次のようなところにはアース線を接続しないでください。
  — ガス管（引火や爆発のおそれがあります。）
  — 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。）
  — 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

⚠注意

- 電源プラグは、定格電圧100Vで定格電流15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本プリンターの定格電源は、100V、11Aとなっています。
- 電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災のおそれがあります。

❶ プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。

❷ 電源コードの三極プラグをプリンター背面の電源コネクターに差し込む。

❸ もう一方の電源プラグのアース線をアース端子に接続した後、電源プラグをコンセントに差し込む。

- 電源プラグは電流容量10A以上の壁付きコンセントに差し込んでください。
- プリンターの電源コードは、コンピューター本体の補助コンセントには接続しないでください。

8 テスト印刷をする

コンピューターに接続する前に、プリンターが正常に動くことを確かめるためにプリンターの操作パネルのスイッチを使って、テスト印刷をします（操作パネルについては4章をご覧ください）。また、あらかじめ「6 用紙をセットする」（24ページ）でA4サイズの用紙をホッパーにセットしてから行ってください。

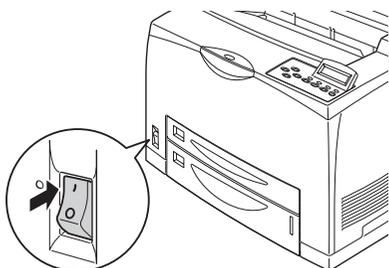
このテスト印刷は「7章 困ったときには」（137ページ）の処置が終った後にも実行することをお勧めします。

印刷中は電源スイッチをOFFにしないでください。印刷中にOFFにすると紙づまりおよび故障の原因になります。

標準カセットにA4サイズの用紙がセットされていることを確認してください。

❶ 電源スイッチをONにする。

ディスプレイに次のメッセージが順に表示されます。

“イニシャライズチュウ”
“ウォームアップチュウ”

❷ ブザーが2回鳴り、印刷可ランプが点灯することを確認する。

ホッパ゜　　A4ヨコ ポ゜ート
フツウシ　　　NPDL

❸ 操作パネルの[印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

❹ [メニュー]スイッチを押す。

ディスプレイには“テストメニュー　→”と表示されます。

テストメニュー　→

❺ [▶]スイッチを押す。

ディスプレイ下段には“←ステータスインサツジッコウ→”と表示されます。

テストメニュー
←ステータスインサツジ゛ッコウ→

❻ [▶]スイッチを押す。

データランプが点灯し、プリンターはテスト印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されテスト印刷を開始します。

テストインサツチュウ

❼ **印刷結果を確認する。**

＊＊　プリンタ環境設定　＊＊

MultiWriter3300N
00000000

H/W情報

項目	設定	値
Version	コントローラ	00．00
LANボード	なし	
給紙構成	ホッパ1	A４　横
	MP	A４　横
メモリ容量	24MB	

メニュー情報

メニュー	項目	値
印刷設定メニュー	コピー枚数	1枚
	トナー節約	OFF
	印字濃度	普通
用紙メニュー	ホッパ初期設定	ホッパ1
	用紙種別	
	ホッパ1	普通紙
	MP	普通紙
	用紙サイズ設定	
	ホッパ1	自動
	MP	自動
	停止確認	する
	リレー給紙設定	
	ホッパ1	OFF
	MP	OFF
	ジョブセパレート機能	無効
印字位置設定	ホッパ1微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	MP微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
運用メニュー	節電機能	有効
	節電時間設定	10分
	自動排出	無効
	メモリ設定	標準
	総印字枚数	1枚
	解像度設定	600DPI
	プロッタ縮小機能	無効
フォントメニュー	1バイト系ゼロ	0
	2バイト系ゼロ	0
	ANK	標準
	漢字	明朝
	文字セット	JIS1978
	国別	日本

メニュー	項目	値
動作メニュー	動作エミュレーション	
	インタフェース1	NPDL
	インタフェース2	NPDL
	USB	NPDL
	動作自動切り替え	
	インタフェース1	OFF
	インタフェース2	OFF
	USB	OFF
NPDL設定	A4ポート桁数	78桁
	エミュレーション	201PL
	136桁モード	無効
プロッタ設定	ペン幅設定	
	ペン1	0.1mm
	ペン2	0.1mm
	ペン3	0.1mm
	ペン4	0.1mm
	ペン5	0.1mm
	ペン6	0.1mm
	ペン7	0.1mm
	ペン8	0.1mm
	原点位置設定	左下
	任意スケール	100%
	回転角度設定	0°
	線端形状	なし
	接続形状	マイタ
	マイタリミット	なし
	SPコマンド排出	OFF
	ミラー設定	OFF
	オーバレイ設定	OFF
	NRコマンド動作	オンライン
	カルーゼル番号	1
	拡張モード	無効
I/F設定	インタフェース1	
	双方向設定	ニブル
	インタフェース2	
	IPアドレス	11.22.33.44
	サブネットマスク	255.0.0.0
	ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ	0.0.0.0
	DHCP	OFF
	イーサネット設定	自動
	アクセス制限	OFF
メモリスイッチ		12345678
	MSW1	00000000
	MSW2	00000000
	MSW3	00000000
	MSW4	00000000
	MSW5	00000000
	MSW6	00000000
	MSW7	00000000
	MSW8	00000000
	MSW9	00000000
	MSW10	00000000

MultiWriter 3300Nのステータス印刷結果

これでテスト印刷は終了です。

次に、プリンターをコンピューターまたはネットワークへ接続します。

プリンターをコンピューターと接続するには「9 コンピューターに接続する」（次ページ）、プリンターをネットワークに接続するには「10 ネットワークに接続する」（30ページ）に進んでください。

9 コンピューターに接続する

ここでは、プリンターとコンピューターをプリンターケーブルで接続する方法を説明します。プリンターをネットワークへ接続してお使いになる場合は、「10 ネットワークに接続する」(次ページ)に進んでください。

本プリンターにはプリンターケーブルは添付しておりません。お使いになる環境に合わせて別途お買い求めになる必要があります。プリンターケーブルの種類については、「使用できるプリンターケーブル」(198ページ)をご覧になり、ご使用のコンピューターに合ったプリンターケーブルを確認してください。

重要

コンピューター本体とプリンターとの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンター共有器、コピープロテクターなどを使用すると、機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。

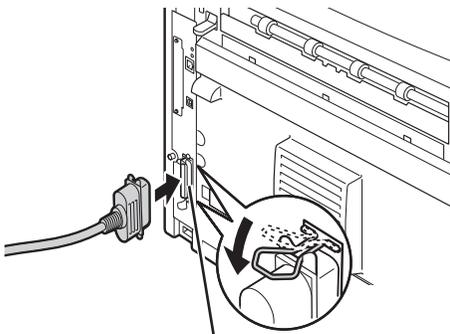
ケーブル接続について

本プリンターの背面にはパラレルインターフェースコネクターおよびUSBインターフェースコネクターがそれぞれ1つずつあります。プリンターケーブルを接続してお使いになれます。

❶ プリンターおよびコンピューターの電源をOFFにする。

❷ プリンターケーブルを接続する。

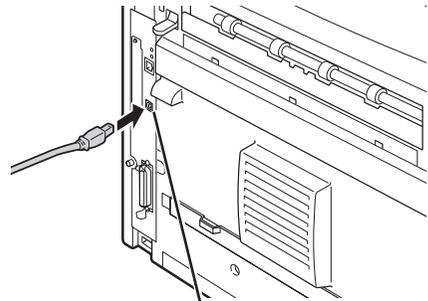
<パラレルインターフェースの場合>

① プリンターケーブルを[インタフェース1]コネクターに差し込み、コネクター両端のロックスプリングで固定します。

[インターフェース1]コネクター

② プリンターケーブルのもう一方のコネクターをコンピューターに接続します。

コンピューターのインターフェースコネクターの位置については、コンピューターのマニュアルを参照してください。

<USBインターフェースの場合>

① USBケーブルをUSBインターフェースコネクターに差し込みます。

USBインターフェースコネクター

② USBケーブルのもう一方のコネクターをコンピューターに接続します。

これでコンピューターへの接続は終了です。

次に、「2章 プリンターソフトウエアのインストール」(47ページ)に進み、ソフトウエアをインストールしてください。

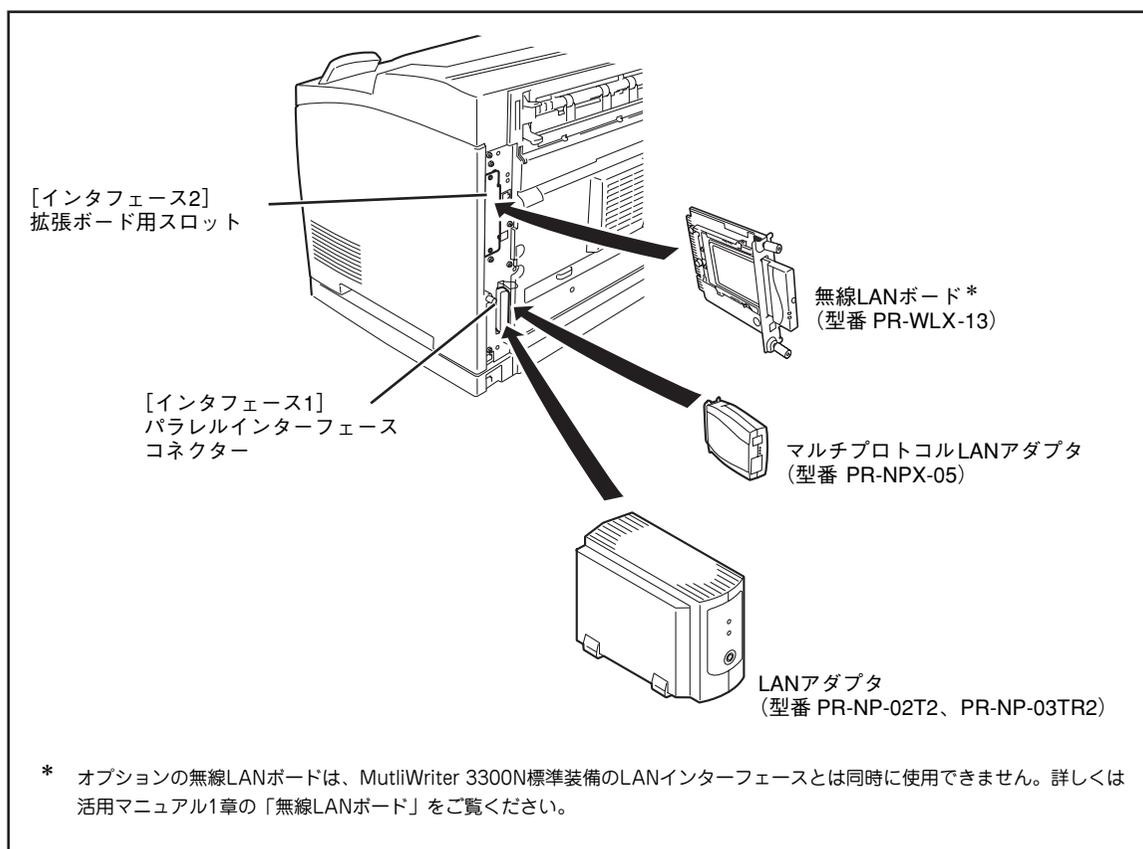
10 ネットワークに接続する

MultiWriter 3300NはLANインターフェースを標準で装備していますので、そのままネットワークに接続して、ネットワークプリンターとしてお使いいただけます。さらに、オプションの無線LANボード（型番 PR-WLX-13）を取り付ければケーブルレスでネットワークに接続できます。

ここでは、ネットワークに接続するために必要な手順を以下のステップで手順を説明します。

Step 1 無線LANボード／LANアダプターを取り付ける
Step 2 ネットワークケーブルを接続する
Step 3 コンフィグレーションページを印刷する
Step 4 IPアドレスとサブネットマスクを設定する

- LANインターフェースの場合
- LANアダプターの場合
- 無線LANボードの場合

＊ オプションの無線LANボードは、MutliWriter 3300N標準装備のLANインターフェースとは同時に使用できません。詳しくは活用マニュアル1章の「無線LANボード」をご覧ください。

ネットワークオプション取り付け例

Step 1　無線LANボード／LANアダプターを取り付ける

MultiWriter 3300NにはLANインターフェースが標準で装備されています。無線LANボードやLANアダプターを使ってネットワークに接続する場合は、ここで取り付けを行ってください。標準装備のLANインターフェースを使用する場合は「Step 2　ネットワークケーブルを接続する」へお進みください。

MultiWriter 3300Nにオプションの無線LANボードまたはLANアダプターを取り付ける場合は、別途お買い求めになる必要があります。使用できるネットワークオプションは以下のとおりです。

- 無線LANボード（型番 PR-WLX-13）*
- LANアダプタ（TCP/IP）（型番 PR-NP-03TR2）
- LANアダプタ（TCP/IP）（型番 PR-NP-02T2）
- マルチプロトコルLANアダプタ（型番 PR-NPX-05）

❶ **使用する無線LANボードまたはLANアダプターがネットワーク環境に合っていることを9章の「ネットワークオプション」（176ページ）を参照し、確認する。**

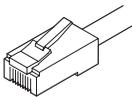
❷ **活用マニュアルの「1章 オプション」をご覧になり、無線LANボード／LANアダプターを取り付ける。**

取り付け後は、次の「Step 2　ネットワークケーブルを接続する」に進んでください。

* オプションの無線LANボードは、MutliWriter 3300N標準装備のLANインターフェースとは同時に使用できません。

Step 2　ネットワークケーブルを接続する

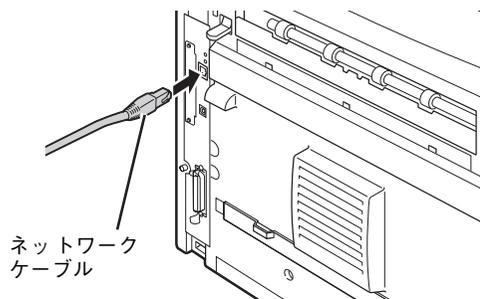
標準のLANインターフェース、オプションのLANアダプターは、ネットワークに接続するインターフェースとして10BASE-Tおよび100BASE-TXの2種類に対応しています。ネットワークケーブルは添付されていないため、次の表に従って適切なケーブルを別途お求めの上、接続してください。接続手順は次ページをご覧ください。

ケーブルタイプ	コネクターの形状	型番
Ethernet（10BASE-T） Fast Ethernet（100BASE-TX）		PK-CA117 PK-CA118

- ケーブルを接続する前に、他のネットワーク利用者が印刷やファイルの転送を行っていないことを確認してください。
- プリンター、LANアダプターの電源を必ずOFFにしてからケーブルの接続を行ってください。ONのまま接続するとプリンターの誤動作の原因となります。

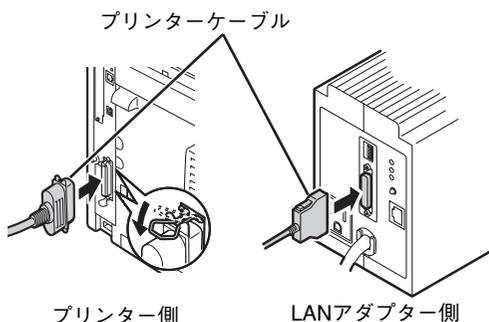
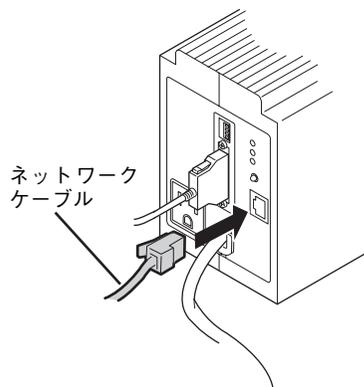
ここでは、LANアダプタ（TCP/IP）（型番 PR-NP-02T2）の場合を例にとって、説明します。

❶ ネットワークケーブルをコネクターに接続する。

<標準のLANインターフェースをご使用の場合>

プリンターの電源をOFFにし、ケーブルのコネクターをネットワークインターフェースのコネクターに差し込みます。

LANインターフェース

<LANアダプターをご使用の場合>

① LANアダプターのインターフェース用ソケットとプリンターのインターフェースコネクターをLANアダプター添付のプリンターケーブルで接続する。

② LAN アダプターの電源コードを壁付き AC コンセントから抜き、ネットワークケーブルのコネクターをLANアダプターのEthernet用コネクターに差し込みます。

LANアダプター

> ネットワークケーブル接続後の確認については、LANアダプターの取扱説明書をご覧ください。

❷ 電源を入れる。

<標準のLANインターフェースをご使用の場合>

プリンターの電源をONにします。

<LANアダプターをご使用の場合>

LANアダプターの電源コードのプラグを壁付きACコンセントに差し込み、プリンターの電源をONにします。

ネットワークケーブルの接続ができたら、次ページの「Step 3　コンフィグレーションページを印刷する」に進んでください。

Step 3　コンフィグレーションページを印刷する

コンフィグレーションページとは、ネットワークインターフェースのIPアドレスやサブネットマスク、MACアドレスなどの設定情報が一覧できる情報ページのことです。ネットワークケーブルを接続したとき、またはネットワークに関する変更を行った前後などにコンフィグレーションページを印刷して設定内容の確認を行ってください。

MultiWriter 3300Nに標準装備されているLANインターフェースおよびオプションの無線LANボードのコンフィグレーションページ（LANステータス）の印刷は、プリンターの操作パネルから行います。LANアダプターの場合は種類によって手順が異なりますので、LANアダプターに添付のマニュアルをご覧になりコンフィグレーションページを印刷してください。

❶ プリンターの電源スイッチをONにする。

電源ON後、プリンターが印刷可能な状態（印刷可ランプ点灯）になったことを確認します。

コンフィグレーションページを印刷する前に用紙がプリンターにセットされていることを確認してください。用紙がセットされていない場合は「6 用紙をセットする」（24ページ）を参照してセットしてください。

❷ プリンターの操作パネルの［印刷可］スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

❸ ［メニュー］スイッチを押す。

ディスプレイには“テストメニュー　→”と表示されます。

テストメニュー　→

❹ ［▶］スイッチを1回、［▲］スイッチを2回押す。

ディスプレイ下段には“←LANステータス　ジッコウ→”と表示されます。

テストメニュー
←LANステータスジ゛ッコウ　→

❺ ［▶］スイッチを押す。

データランプが点灯し、ネットワークインターフェースの設定情報の印刷を開始します。

インサツチュウ

❻ コンフィグレーションページを参照してネットワークインターフェースの設定内容を確認する。

36ページのコンフィグレーションページの印刷例を参考にしてください。

印刷例は工場出荷時におけるネットワークインターフェースの設定情報と、IPアドレスとサブネットマスクの設定変更後の印刷例です。

ネットワークへのセットアップ後やプリンターの設定を変更した後は必ずコンフィグレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

次ページの「Step 4　IPアドレスとサブネットマスクを設定する」に進んでください。

Step 4　IPアドレスとサブネットマスクを設定する

MultiWriter 3300Nをネットワーク環境で利用するために、ネットワークインターフェースのアドレスとサブネットマスクを設定する必要があります。設定方法には主に以下の4通りがあります。

- プリンターの操作パネルを使って設定する（操作パネルについては4章参照）
- EASY設定ユーティリティ（プリンターに添付のCD-ROMに収録）を使って設定する
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ（プリンターに添付のCD-ROMに収録）を使って設定する
- 無線LANプリンタ導入ウィザード（プリンターに添付のCD-ROMに収録）を使って設定する（無線LANボードのみ対応）

接続されているLANオプションごとに適切な設定方法で説明します。以下のページを参照してください。

- LANインターフェース..34ページ
- LANアダプター 38ページ
- 無線LANボード 41ページ

LANインターフェースの場合

ここでは、プリンターの操作パネルを使った設定方法を説明します。その他の設定方法は添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「3章 ネットワークでの設定」をご覧ください。設定するIPアドレスやサブネットマスクなどの値は、ご使用になるネットワークの管理者におたずねください。

- DHCPサーバーをお使いの場合は、「DHCPを有効にする」（37ページ）をご覧になり、手順に従ってください。
- ゲートウェイアドレスとアクセス制限を設定することができます。詳しくは添付のプリターソフトウエアCD-ROMの活用マニュアルの「3章 ネットワークでの設定」を参照してください。

IPアドレスとサブネットマスクの設定を変更する

❶ 操作パネルの[印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

❷ データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

データ

❸ [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　　→”と表示されます。

❹ ディスプレイに“I／F セッテイメニュー”と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。

メニューの内容については「メニューツリー」（106～109ページ）を参照してください。

I／F セッテイメニュー　→

❺ [▶]スイッチを1回押す。

```
 I／Fセッテイメニュー
←インタフェース1 セッテイ →
```

❻ [▼]スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段に“←インタフェース2　セッテイ　→”と表示されます。

```
 I／Fセッテイメニュー
←インタフェース2 セッテイ →
```

❼ [▶]スイッチを1回押す。

ディスプレイに“ＩＰアドレス　Ｉ／Ｆ２”と表示されます。

```
 IPアドレス  I／F2
011.022.033.044*
```

❽ IPアドレスを設定する。

〔設定変更〕スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、[▶]スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[◀]スイッチで手順❼に戻って入力し直してください。

❾ [▼]スイッチを押す。

ディスプレイに“サブネットマスク　I／F２”と表示されます。

```
 サブネットマスク I／F2
255.000.000.000*
```

❿ サブネットマスクを設定する。

〔設定変更〕スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、[▶]スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、[◀]スイッチを押し、手順❼に戻って入力し直してください。

ゲートウェイアドレスの設定を行う場合は、「IPアドレスとサブネットマスクを設定する」と同様の手順で操作パネルからゲートウェイアドレスを設定することができます。「メニューツリー」（106 ～109ページ）を参照して設定してください。

⓫ [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。

⓬ コンフィグレーションページを印刷する。

手順については「Step3 コンフィグレーションページを印刷する」（33ページ）を参照してください。

⓭ コンフィグレーションページの印刷例（次ページ）を参照して、正しく設定されているか設定内容を確認する。

これでネットワークへの接続は完了です。

次に、「2章 プリンターソフトウエアのインストール」（47ページ）に進み、プリンターソフトウエアをインストールしてください。

工場出荷時の印刷例

```
     NEC Network Interface Configuration Page

     <Network Information>

          F/W Version                 :     02. 08 00001. 0000000000
*1        ID Number                   :     NFE-0F0000
          Printer Name                :     NFE-0F0000
*1        MAC Address                 :     00 : 30 : 13 :0F : 00 :00
          H/W Description             :     NEC NetworkPrinter700089
          10Base/100Base              :     ” Auto （？）”
          Half/Full Duplex            :     ” Auto （？）”
          Printing Log                :     ” Off”


     <Self-Diagnosis>

          Link Test                   :     ” No connection”
          Network Status              :     ” OK”


     <TCP/IP>

*2        IP Address                  :      11. 22. 33. 44
*2        Subnet Mask                 :     255.  0.  0.  0
          Gateway Address             :       0.  0.  0.  0
          Auto IP Address             :     ” On”
          Max. Number of Session      :     64
          Session Timeout [sec]       :     120
          Keep Alive                  :     ” On”
          FTP Timeout [min]           :     10
          DHCP                        :     ” Off”
          e-Mail Service              :     ” Off”
          Current Active Session      :     0
```

IPアドレス、サブネットマスク設定変更後の印刷例

```
     NEC Network Interface Configuration Page

     <Network Information>

          F/W Version                 :     02. 08 00001.0000000000
*1        ID Number                   :     NFE-0F0000
          Printer Name                :     NFE-0F0000
*1        MAC Address                 :     00 : 30 : 13 :0F : 00 :00
          H/W Description             :     NEC NetworkPrinter700089
          10Base/100Base              :     ” Auto（10Base）”
          Half/Full Duplex            :     ” Auto（Half Duplex）”
          Printing Log                :     ” Off”


     <Self-Diagnosis>

          Link Test                   :     ” OK”
          Network Status              :     ” OK”


     <TCP/IP>

*3        IP Address                  :     123.123.123.123
*3        Subnet Mask                 :     255.255.255.  0
          Gateway Address             :       0.  0.  0.  0
          Auto IP Address             :     ” On”
          Max. Number of Session      :     64
          Session Timeout [sec]       :     120
          Keep Alive                  :     ” On”
          FTP Timeout [min]           :     10
          DHCP                        :     ” Off”
          e-Mail Service              :     ” Off”
          Current Active Session      :     0
```

＊1　ID Number および、MAC Address は LAN ボード個々の情報を示します。

＊2　IP アドレス、サブネットマスクの工場出荷値です。

＊3　IP アドレス、サブネットマスクの変更された例です。

DHCPを有効にする

DHCPサーバーをお使いの場合は、以下の手順でDHCPを有効にしてください。設定はプリンターの操作パネルでメニューモードに入って行います。メニューモードについては4章の「メニューモード」(99ページ)を参照してください。

❶ [印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

❷ データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

データ

❸ [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに"テストメニュー　　→"と表示されます。

テストメニュー　　→

❹ ディスプレイに"I/Fセッテイメニュー"と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。

メニューの内容については「メニューツリー」(106～109ページ)を参照してください。

I/Fセッテイメニュー　　→

❺ [▶]スイッチを1回押す。

I/Fセッテイメニュー
←インタフェース1　セッテイ　→

❻ [▼]スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段に"←インタフェース2　セッテイ　→"と表示されます。

I/Fセッテイメニュー
←インタフェース2　セッテイ　→

❼ [▶]スイッチを1回、[▼]スイッチを数回押す。

ディスプレイ上段に"DHCP"と表示されます。

❽ [設定変更]スイッチを押す。

"ON"に設定されます。

❾ [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。

DHCPが有効になりました。

IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスはDHCPサーバーから取得した値が表示されます。また、表示されるまでは多少時間がかかる場合があります。

LANアダプターの場合

LANアダプターでネットワークに接続するために、ネットワークインタフェースIPアドレスとサブネットマスクを設定します。お使いになるLANアダプターの種類によって設定方法が異なります。

<LANアダプタ（型番 PR-NP-02T2、型番 PR-NP-03TR2）をお使いの場合>

- プリンターの操作パネルで設定できます。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティで設定できます。（活用マニュアル参照）

<マルチプロトコルLANアダプタ（型番 PR-NPX-05）をお使いの場合>

LANアダプターに添付のマニュアルを参照してください。

マルチプロトコルLAN アダプタ（型番 PR-NPX-05）は、プリンターの操作パネルによる設定は行えません。

ここでは、プリンターの操作パネルでの設定方法を説明します。その他の設定方法については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアル「3章 ネットワークでの設定」をご覧ください。

プリンターの操作パネルによる設定では、あらかじめ、メニューモードでI/F設定の「双方向設定」を「ECP」に設定しておく必要があります。

設定するIPアドレス、サブネットマスクの値は、ご使用になるネットワークの管理者におたずねください。

I/F設定をECPに変更する

❶ 操作パネルの[印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

❷ データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

データ

❸ [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　→”と表示されます。

❹ ディスプレイに“I／Fセッテイメニュー”と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。

メニューの内容については「メニューツリー」（106～109 ページ）を参照してください。

I／Fセッテイメニュー →

❺ [▶]スイッチを2回押して、ディスプレイ下段に “←インタフェース1　ニブル＊” を表示させる。

ソウホウコウ　セッテイ
←インタフェース1　　ニブ゛ル＊

❻ [設定変更]スイッチを1回押して、ディスプレイ下段に “←インタフェース1　ECP＊” を表示させる。

ソウホウコウ　セッテイ
←インタフェース1　　ＥＣＰ＊

❼ [メニュー終了]スイッチを押す。

メニューモードを終了します。

❽ プリンターの電源をOFFにする。

[ソウホウコウ　セッテイ]の設定の変更を有効にするために、プリンターの電源をいったんOFFにする必要があります。

❾ プリンターの電源をONにする。

プリンターの電源を再投入することによって、設定が有効になります。

次に、「IPアドレスとサブネットマスクの設定を変更する」に進んでください。

IPアドレスとサブネットマスクの設定を変更する

❶ [印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

❷ データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

❸ [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに “テストメニュー　→” と表示されます。

テストメニュー　→

❹ ディスプレイに “Ｉ／Ｆセッテイメニュー” と表示されるまで[▼]スイッチを数回押す。

Ｉ／Ｆセッテイメニュー　→

❺ [▶]スイッチを1回押す。

Ｉ／Ｆセッテイメニュー
←インタフェース1　セッテイ　→

❻ [▶]スイッチを1回押し、ディスプレイ下段に “←インタフェース1　ＥＣＰ＊” を表示させる。

ソウホウコウ　セッテイ
←インタフェース1　　ＥＣＰ＊

❼ **［▼］スイッチを 1 回押し、ディスプレイに“ＩＰアドレス　Ｉ／Ｆ１”を表示させる。**

```
  IPｱﾄﾞﾚｽ   I/F1
011.022.033.044*
```

❽ **IPアドレスを設定する。**

〔設定変更〕スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、〔▶〕スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、〔◀〕スイッチで手順❻に戻って入力し直してください。

❾ **［▼］スイッチを押す。**

ディスプレイに“サブネットマスク　I／F１”と表示されます。

```
 ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ I/F1
255.000.000.000*
```

❿ **サブネットマスクを設定する。**

〔設定変更〕スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のように数字が変わります。

0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、〔▶〕スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、〔◀〕スイッチを押し、手順❻に戻って入力し直してください。

⓫ **［メニュー終了］スイッチを押して、メニューモードを終了させる。**

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。

⓬ **コンフィグレーションページを印刷する。**

LANアダプターに添付の取扱説明書をご覧になり、コンフィグレーションページ印刷をしてください。

⓭ **コンフィグレーションページの印刷例（36ページ）を参照して、正しく設定されているか設定内容を確認する。**

これでネットワークへの接続は完了です。

次に、「2章 プリンターソフトウエアのインストール」（47ページ）に進み、プリンターソフトウエアをインストールしてください。

無線LANボードの場合

無線LANボード（型番 PR-WLX-13）でネットワークに接続するために、ネットワークインターフェースのIPアドレスとサブネットマスクなどを設定します。設定方法には、以下の3通りがあります。

- 無線LANプリンタ導入ウィザード（プリンターに添付のCD-ROMに収録）を使って設定する
- EASY設定ユーティリティ（プリンターに添付のCD-ROMに収録）を使って設定する
- プリンターの操作パネルを使って設定する（操作パネルについては4章参照）

1 プリンターの設置

チェック

- EASY設定ユーティリティや無線LANプリンタ導入ウィザードをお使いになれない環境の場合は、プリンターの操作パネルを使って設定します。設定手順はLANインターフェースの場合と同じです。本章の「LANインターフェースの場合」（34ページ）をご覧ください。
- 無線LANボードの詳細については無線LANボードに添付の取扱説明書をご覧ください。
- 設定するIPアドレス、サブネットマスクなどの値は、ご使用になるネットワークの管理者におたずねください。

無線LANプリンタ導入ウィザードを使って設定する

本プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「無線LANプリンタ導入ウィザード」を使って、無線LANボードを装着したプリンターと無線LANカード、アクセスポイントの設定を画面の指示に従って設定していきます。
このユーティリティーは、Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で使用できます。詳細については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの[WIRELESS]フォルダー内に収録されている[README.TXT]をご覧ください。以下に、起動方法までを説明します。

重要

- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を［コンピュータの管理者］でログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0でご使用になる場合は、［コンピュータの管理者］または、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターに IP アドレスを設定する場合は、プリンターに IP アドレスを設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。
- 無線LANプリンタ導入ウィザードの場合、コンピューターのディスプレイは800×600ピクセル以上の解像度、High Color（16ビット色）以上の設定を推奨します。
- 暗号キーを変更する場合は無線 LAN ボードを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。
- 「ネットワークタイプ」、「ネットワーク名」、「暗号キー」を間違って設定した場合は、いったん工場出荷状態に戻し再度設定を行なってください。工場出荷状態へ戻す手順は、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「3章　ネットワークでの設定」をご覧ください。

ご使用の前に、起動しているすべてのアプリケーションを終了してください。

❶ **お使いのOS（日本語版）を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエア CD-ROM をセットし、メニュープログラムを立ち上げる。**

> お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **画面左側の[ユーティリティ]をクリックする。**

❹ **[無線 LAN プリンタ導入ウィザード] を選択し、[フォルダを開く]をクリックする。**

プリンターソフトウエアCD-ROM内の[WIRELESS]フォルダーが開きます。

❺ **[SetupWiz.EXE] アイコンをダブルクリックする。**

[無線LANプリンタ導入ウィザード]ウィンドウが表示されます。

❻ **[次へ]をクリックする。**

[設定方法の選択]が表示されます。

> **設定方法の選択**
>
> - 初期設定
>
>   プリンターが出荷時の状態、または無線LANボードの設定を初期化してから再度設定したい場合には、こちらを選択してください。
> - 設定変更
>
>   コンピューター･プリンター間の通信が可能な状態から、無線LANボードの設定を変更したい場合には、こちらを選択してください。
> - 通信確認
>
>   設定後の通信確認のために、現在のコンピューターの設定で通信可能なプリンターを表示確認する場合には、こちらを選択してください。

以降の設定に関しては、無線LANプリンタ導入ウィザードの説明欄に詳細な説明を記載しています。説明文をよく読んで設定を行なってください。

EASY設定ユーティリティを使って設定する

ここでは、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「EASY設定ユーティリティ」を使った設定方法を説明します。その他の設定方法は添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「3章 ネットワークでの設定」をご覧ください。
詳細については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの[EASY]フォルダー内に収録されている「README.TXT」をご覧ください。

重要

- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0でご使用になる場合は、[コンピュータの管理者]または、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターに IP アドレスを設定する場合は、プリンターに IP アドレスを設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同じサブネットマスク内）で接続された環境で行ってください。

❶ お使いのOS（日本語版）を起動する。

❷ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

[プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー]ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ [ユーティリティ]をクリックする。

❹ [EASY設定ユーティリティ]を選択し、[フォルダを開く]をクリックする。

プリンターソフトウエアCD-ROM内の[EASY]フォルダーが開きます。

❺ [NICSET.EXE] アイコンをダブルクリックする。

❻ 一覧からプリンターの MAC アドレスを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする。

一覧にプリンターが表示されない場合は、[リフレッシュ] ボタンをクリックし、再検索を行ってください。

❼ プリントサーバー名を確認する。

ネットワーク上から見たプリンターの名前が[プリントサーバー名]ボックスに表示されます。プリントサーバー名の変更もできます。

❽ [設定モード]で[IPアドレスを指定]を選択する。

❾ IPアドレス、サブネットマスクを入力する。

❿ ゲートウェイアドレスを設定する。

ゲートウェイ（ルーター）を使用しないネットワーク環境では、設定の必要はありません。

⓫ [Wireless]タブをクリックする。

⓬ [ネットワークタイプ]で接続する無線LAN環境を選択する。

- ピア・ツー・ピア グループ
  ネットワーク名（ESS-ID）を設定する無線LANカードを取り付けたコンピューターとピア・ツー・ピア グループ接続します。
- レジデンシャル・ゲートウェイ
  NEC無線LANアクセスポイント（PK-WL002H）経由でネットワークに接続します。
- アクセスポイント
  IEEE802.11b 準拠のアクセスポイント経由でネットワークに接続します。

⓭ ネットワーク名を入力する。

接続したいアクセスポイントやネットワークに付けられているネットワーク名と同じ名前を設定します。

⓮ 必要に応じて、[データ保護]をチェックする。

チェックを付けると、WEP（Wired Equivalent Privacy）データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。

⓯ 必要に応じて、[暗号キー]を入力する。

暗号キーは､アクセスポイントやコンピューターが､無線LANプリンターにデータを送信する時に使用する暗号キーと同じものを設定します。暗号キーは5文字（16進数で10桁）または13文字（16進数で26桁）のどちらかの文字数のみで設定することができます。

また、暗号キーは次のように使用します。

- 無線LANプリンターが受信する無線メッセージを復号します。4つまで設定することが可能です。
- 無線LANプリンターが送信する無線メッセージを暗号化します。番号1～4の左側にあるラジオボタンにマークされた1つが暗号キーとして使用されます｡マークしたキーは必ず設定する必要があります。

重要

- 暗号キーを変更する場合は無線 LANボードを先に変更し､その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。
- 「ネットワークタイプ」､「ネットワーク名」、「暗号キー」を間違って設定した場合は、いったん工場出荷状態に戻してから再度設定を行ってください。

使用できる文字について

- [英数字を使用する]を選択したときは、半角英数字と文字記号（「＊」アスタリスクを除く）が使えます。
- [16進数を使用する]を選択したときは、”0～9”、”A～F”が使えます。

⓰ [OK] をクリックして、EASY設定ユーティリティを終了する。

以上で設定は完了です。

次に、「2章 プリンターソフトウエアのインストール」（47ページ）に進み、プリンターソフトウエアをインストールしてください。

プリンターの操作パネルを使って設定する

ユーティリティーを使用して設定する方法のほかに、プリンターの操作パネルから基本設定をすることができます。基本的な設定手順はLANインターフェースと同じです。設定できる項目は以下のとおりです。

- IPアドレスの設定......................................本章「LANインターフェースの場合」34ページ参照
- サブネットマスクの設定............................本章「LANインターフェースの場合」34ページ参照
- DHCPの設定...本章「LANインターフェースの場合」34ページ参照
- ゲートウェイアドレスの設定 ....活用マニュアル 7章参照
- ネットワークタイプの設定...活用マニュアル 7章参照
- ネットワーク名の設定 ....活用マニュアル 7章参照

ネットワークタイプの設定を例に、操作パネルでの設定手順を説明します。

「Step 4 IPアドレスとサブネットマスクを設定する」（34ページ）の手順❶〜❻、または「DHCPを有効にする」（37ページ）の手順❶〜❻を行った後に以下の手順に従ってください。

❶ **[▶] スイッチを1回、[▼]スイッチを3回押す。**

ディスプレイ上段に“ネットワークタイプ”と表示されます。

ネットワークタイプ
←ピアツーピアグループ ＊

❷ **ネットワークタイプを設定する。**

［設定変更］スイッチで設定を変更します。1回押すごとに以下のようにタイプが変わります。

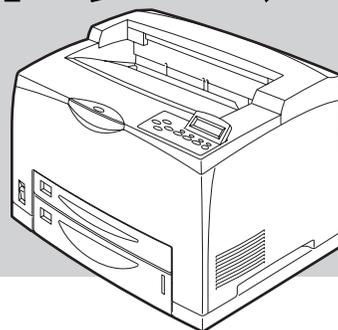
ピアツーピアグループ→アクセスポイント→
レジデンシャルG/W→ピアツーピアグループ

❸ **[メニュー終了] スイッチを押して、メニューモードを終了させる。**

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。

ネットワーク名も操作パネルから入力できます。詳しくは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「7章 メニューモード」をご覧ください。

以上でネットワークタイプの設定は完了です。

2章 プリンターソフトウエアのインストール

この章では、Windows XP＊[1]、Windows Me、Windows 98＊[2]、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0 日本語版環境にプリンターソフトウエアをインストールし、プリンターを指定するまでの手順について説明します。また、その他の環境で使用する際の設定も説明します。

重要

- MultiWriter のプリンターソフトウエアを正しくインストールするためには、インストールする前に7章の「PrintAgentを正しく動作させるために」（153ページ）をお読みください。
- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。

- **Windows Server 2003をお使いのお客様へ**

  本書にWindows Server 2003の記述がない場合は、Windows XPの記述をWindows Server 2003に読み替えてください。

- **フロッピーディスクでインストールする場合**

  本書ではCD-ROMを使った手順で説明しています。プリンターソフトウエアCD-ROMから作成したプリンターソフトウエアディスクを使用してインストールをする場合、インストールの途中でフロッピーディスクの交換を求める画面が表示されることがあります。その場合は画面の指示に従ってフロッピーディスクの入れ替えを行ってください。

＊1　以下、本書で Windows XP と表記している場合は、Windows XP Home Edition と Professional を含みます。

＊2　以下、本書で Windows 98 と表記している場合は、Windows 98 Second Edition を含みます。

プリンターソフトウエアCD-ROMについて

MultiWriter 3300Nに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMは、Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0のコンピューター環境に対応したソフトウエアを提供しています。
このCD-ROMは、ISO9660フォーマットに従って作成されています。CD-ROMの構成は以下のとおりです。

□ メニュープログラム

- はじめに
  プリンターソフトウエアCD-ROMについて注意事項などが書かれています。ご使用になる前にお読みください。
- インストール
  Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0に対応したプリンターソフトウエアをインストールできます。
- オンラインマニュアル
  オンラインマニュアルを閲覧または印刷するためには「Adobe Acrobat Reader」が必要です。詳細については「マニュアルの種類と使い方」(ixページ)またはメニュープログラム内のユーティリティーをご覧ください。
- ユーティリティー
  - iPrinting.DeliveryService
  - ドキュメント・ハンドリング・ソフトウエア「DocuWorks(体験版)」
  - NEC Internet Printing System(Windows 98、Windows 95対応版およびWindows NT 4.0対応版)
  - NEC TrueTypeバーコードフォントキット
    NEC TrueTypeバーコードフォントとNEC TrueTypeバーコードフォントユーティリティです。
  - NEC FontAvenue TrueTypeフォント3書体
  - 帳票エディタ「帳楽」お試し版
  - EASY設定ユーティリティ
  - 無線LANプリンタ導入ウィザード
  - NEC 印刷ログユーティリティ
  - MultiWriterドライバ配信
  - Adobe Acrobat Reader
- バージョンアップ
  CD-ROMに収録されている最新のプリンタードライバーにアップデートできます。詳細や手順についてはご利用になる前に、「ご利用の前に」(Update.txt)または活用マニュアルの「4章　より進んだ使い方」をご覧ください。

その他に、MultiWriterシリーズのプリンターソフトウエアを収録しています。詳しくは、それぞれのソフトウエアに関連するフォルダー内にある「はじめにお読みください」(Readme.txt)をご覧ください。

プリンターソフトウエアの動作環境

MultiWriter 3300Nに添付のプリンターソフトウエアの動作環境は以下のとおりです。

接続方法	動作コンピューター*1	対応 OS	メモリー
ネットワークインターフェース パラレルインターフェース	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	Windows XP*2（日本語版） Windows Me（日本語版） Windows 98（日本語版） Windows 98 Second Edition（日本語版） Windows 95（日本語版） Windows Server 2003*3（日本語版） Windows 2000（日本語版） Windows NT 4.0（日本語版）	OSの動作条件に準じます。
	PC-9800シリーズ		
USBインターフェース*4	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	Windows XP*2（日本語版） Windows Me（日本語版） Windows 98（日本語版） Windows 98 Second Edition（日本語版） Windows Server 2003*3（日本語版） Windows 2000（日本語版）	

*1　OSによって動作するコンピューター条件が異なります。詳しい動作条件は各 OS のマニュアルを参照してください。

*2　Windows XP 64-Bit Edition には対応していません。

*3　64 ビットバージョン Windows Sever 2003 には対応していません。

*4　USB インターフェース接続において、OS のアップグレードの組み合わせによっては正常に動作しない場合があります。

メモリーについては、PrintAgentをクライアントーサーバーシステムでご使用の場合、プリントサーバーには64Mバイト以上（Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は256Mバイト以上）のメモリーを搭載して運用されることを推奨します。

PrintAgentが利用できるネットワーク環境について

PrintAgentはネットワーク環境で、プリンターを次の形態でご使用の場合にご利用できます。

- 標準装備のLANインターフェースやオプションのLANアダプターでプリンターがネットワークに接続されている。（対応している型番については「9章 オプション」（171ページ）をご覧ください。）
- 無線LAN環境ではオプションの無線LANボード（型番 PR-WLX-13）で接続されている。
- 共有プリンターの場合（クライアント・サーバー接続）、プリントサーバーコンピューターのOSがWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で、プリントサーバーコンピューターに本プリンターソフトウエアがインストールされている。
- お使いのコンピューターに、ネットワークに接続するためのネットワークボード／カード／アダプターなどを接続し、ネットワークの設定にTCP/IPプロトコルがインストールされている。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

ネットワーク環境でネットワーク共有プリンターをお使いになるためには、あらかじめOSの共有設定を有効にしておく必要があります。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

プリンターソフトウエアの容量

プリンターソフトウエアをインストールするのに必要なハードディスク容量は次のとおりです。インストールする前に以下の表で確認してください。

インストール方法	Windows XP、 Windows Server 2003、 Windows 2000 日本語版	Windows Me、 Windows 98、 Windows 95 日本語版	Windows NT 4.0 日本語版
PrintAgentを含む標準設定	約13.0MB	約11.0MB	約12.0MB
PrintAgentを含む一般ユーザー向け（最大）	最大 約16.5MB	最大 約14.5MB	最大 約15.5MB
PrintAgentを含む管理者向け	最大 約18.5MB	最大 約16.5MB	最大 約17.5MB
プリンタードライバーのみ	約5.5MB	約3.5MB	約4.5MB

インストール方法の選択

プリンターソフトウエアをコンピューターにインストールする前に、お使いになるコンピューターの条件に従ってインストール方法を選択します。以下の条件を確認して、それぞれのページへ進んでください。

なお、プリンターを管理したり、LANインターフェース、またはオプションの無線LANボードやLANアダプターなどのネットワークの設定を行う場合は、「管理者インストール」をする必要があります。インストール手順については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアル2章の「プリンター管理者用インストール」をご覧ください。

コンピューターとケーブルで接続する

USB ケーブルで接続する場合		
ご使用のOS • Windows XP • Windows Server 2003 • Windows Me • Windows 98 • Windows 2000		「USBインターフェース接続によるインストール」（58ページ）に進んでください。
パラレルインターフェースケーブル（プリンターケーブル）で接続する場合		
プリンタードライバーとPrintAgentを共にインストールする		『「インストールプログラム」からの インストール』（52ページ）に進んでください。
プラグ・アンド・プレイ*でインストールする		活用マニュアル2章の「パラレルインターフェース接続によるインストール」に進んでください。

ネットワークで接続する

プリンタードライバーと PrintAgent を共にインストールする		
『「インストールプログラム」からの インストール』（52ページ）に進んでください。		
プリンタードライバーのみインストールする		
ネットワーク接続に［NEC TCP/IP Port］を使用する		『「インストールプログラム」からの インストール』（52ページ）へ進み、接続先に［NEC TCP/IP Port］を選択して、PrintAgentのインストール選択手順で［インストールを選択しない］を選択してインストールしてください。
ネットワーク接続にOSが持つLPR機能を使用する		活用マニュアル3章の「接続先の設定とプリンタードライバーのインストール」に進んでください。
ターミナルサービスを使用する		
活用マニュアル3章の「ターミナルサービス環境」に進んでください。		

MS-DOS環境でご使用の場合

「日本語MS-DOS環境」（70ページ）に進んでください。

* 「プラグ・アンド・プレイ」機能とは、Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000がインストールされているコンピューターで新しい周辺機器などを接続すると、コンピューターの起動時や接続時にその周辺機器を検出し、自動的にインストールが実行される機能です。

「インストールプログラム」からのインストール

Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で動作しているコンピューターでMultiWriterをご利用になる場合、プリンターソフトウエアCD-ROMのインストールプログラムを使ってプリンターソフトウエア（プリンタードライバーおよびPrintAgent）をインストールします。

プリンターソフトウエアCD-ROMはドライブに挿入するだけで自動的にメニュープログラムが起動します。

- LANインターフェース、またはオプションの無線LANボードやLANアダプターで接続されたプリンターに印刷を行う場合は、以下の手順でインストールを行い、手順❼で、［NEC TCP/IP Port］を選択します。
- パラレルインターフェースで接続されたプリンターに印刷する場合は、以下の手順でインストールを行い、手順❼で、［ローカルポート］を選択します。

ここではWindows XP 日本語版を例にとり、プリンターソフトウエア（プリンタードライバーおよびPrintAgent）のインストール手順を説明します。

Windows XPにインストールするユーザーは、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］である必要があります。また、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0にインストールするには、［Administrators］または［Domain Admins］グループのメンバーである必要があります。

❶ **Windows XP 日本語版を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］が起動します。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **［インストール］をクリックする。**

❹ 右側のボックスから［MultiWriter3300N］を選んで［インストール開始］をクリックする。

お使いのOS にインストール可能なプリンター名が表示されます。

❺［次へ］をクリックする。

はじめに、プリンタードライバーをインストールする設定を行います。

❻［プリンタドライバをインストールする］を選び、［次へ］をクリックする。

［プリンタドライバをインストールしない］を選んだ場合は、手順❾へ進んでください。

MOPYING設定ウィンドウを表示させるには、ここで［印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する］をチェックしてください。

MOPYING設定ウィンドウの詳細については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの「¥MW3300N¥Disk1¥Drivers.txt」を参照してください。

❼ プリンターの接続先を選び、［次へ］をクリックする。

ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「［ローカルポート］を選んだ場合」へ進んでください。

- ［ローカルポート］は、コンピューターがプリンターとプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- ［ネットワーク共有プリンタ］は、MultiWriterがプリントサーバー上に共有されているときに選びます。
- ［NEC TCP/IP Port］は、プリンターがLANインターフェース、またはオプションの無線LANボードやLANアダプターを装備しており、ネットワーク上に接続されているときに選びます。

<［ローカルポート］を選んだ場合>

希望するポートを選び［次へ］をクリックする。

手順❽へ進んでください。

<［ネットワーク共有プリンタ］を選んだ場合>

プリンターの接続先を指定し、［次へ］をクリックする。

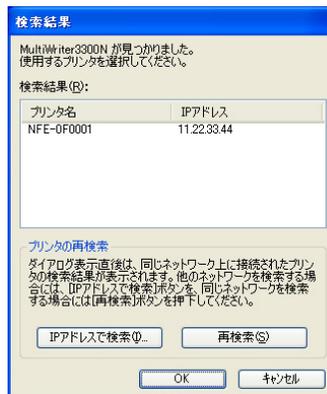
プリンターの接続先を［ネットワークパス名］に直接入力するか、［参照］をクリックして表示される一覧から指定します。
手順❾へ進んでください。

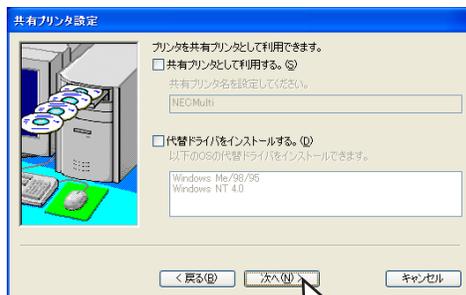
<［NEC TCP/IP Port］を選んだ場合>

LANインターフェース、またはオプションの無線LANボードやLANアダプターのIPアドレス、またはホスト名を設定し、［次へ］をクリックする。

IPアドレスまたはホスト名を設定する場合は、LANインターフェース、またはオプションの無線LANボードやLANアダプターのIPアドレスが設定されている必要があります。詳しくは、ネットワーク管理者におたずねください。

IPアドレスを設定する場合

プリンターの電源がONになっていることを確認して、［検索］をクリックします。検索結果ダイアログボックスで使用するプリンターを選択し、［OK］をクリックすると簡単にIPアドレスが設定できます。

❽［次へ］をクリックする。

ネットワークに接続され、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0をご利用の場合は、次のダイアログボックスが表示されます。
このダイアログボックスが表示されない場合は、次の手順❾へ進んでください。

すでに代替ドライバーがインストールされている場合はリストに表示されません。

続いて、PrintAgentのインストールを行います。

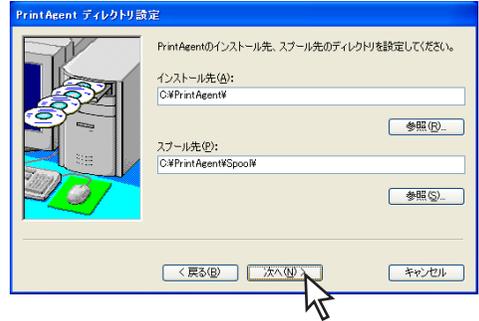
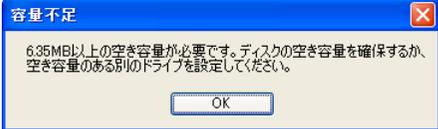
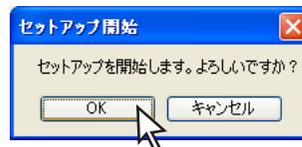
❾ ［PrintAgentをインストールする］を選び、［次へ］をクリックする。

［PrintAgentをインストールしない］を選んだときは、手順⓬へ進んでください。

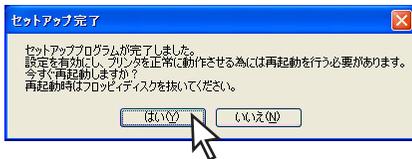
❿ 使用目的に応じて［標準インストール］または［一般ユーザ向けカスタムインストール］のインストール方法を選び、［次へ］をクリックする。

［一般ユーザ向けカスタムインストール］を選ぶと、標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて［次へ］をクリックしてください。［全追加］をクリックするとすべてチェックが付きます。［全削除］をクリックするとすべてチェックが外れます。

⓫ PrintAgentのインストール先とスプールファイルの作成先を指定する。フォルダーを確認して［次へ］をクリックする。

すでに他の機種のPrintAgentがインストールされているときはこのダイアログボックスは表示されません。手順⓬へ進んでください。

次のメッセージが出たときはインストール先のディスク空き容量が少なくなっています。フォルダーを変更する、または不要なファイルを削除してください。

⓬ 設定した内容を確認し、［完了］をクリックする。

⓭ ［OK］をクリックする。

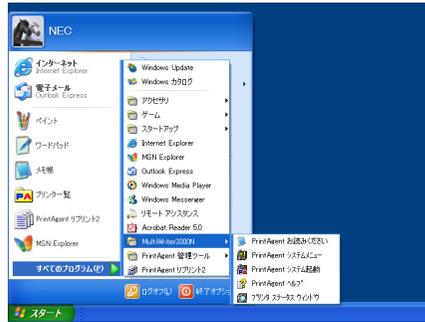
⑭ インストールが終了したら［OK］をクリックする。

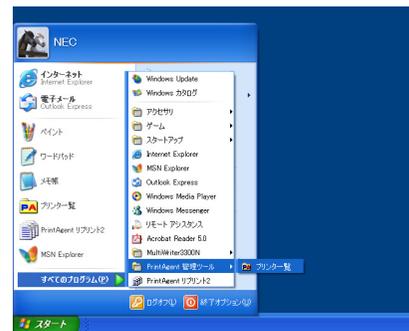
再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

⑮ プリンターソフトウエアが正常にインストールされていることを確認する。

カスタムインストールでインストールを行った場合、選択されたオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

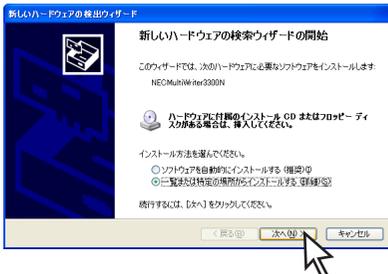
□ ［プリンタとFAX］フォルダー内に［NEC MultiWriter3300N］アイコンが登録されている。

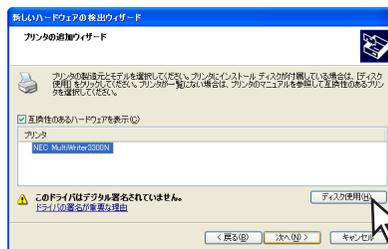
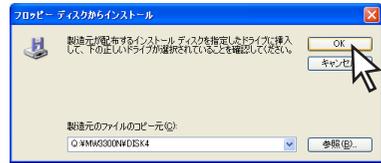
□ タスクバーのトレイに、［PrintAgentシステム］アイコンが登録されている。

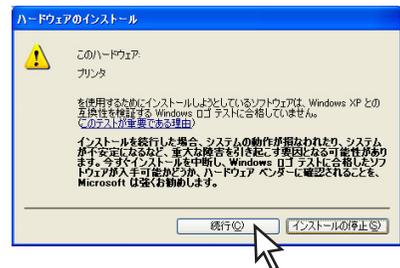
□ スタートメニューの［すべてのプログラム］に［MultiWriter3300N］というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。

Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は、スタートメニューの［プログラム］から確認することができます。

□ スタートメニューの［すべてのプログラム］に［PrintAgent管理ツール］というフォルダーが追加され、［プリンター覧］が登録されている。（カスタムインストールでプリンタ一覧を選択した場合）

□ スタートメニューの［すべてのプログラム］の下に［PrintAgentリプリント2］が登録されている。

Windows XPまたはWindows Server 2003をご使用の場合、プリンターソフトウエアをインストール後にプリンターケーブルでプリンターを接続すると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されることがあります。この場合、以下の手順に従ってプリンタードライバーをインストールしてください。この場合、［プリンタとFAX］フォルダーに新しいプリンターアイコンは作成されません。

① ［一覧または特定の場所からインストールする］を選んで［次へ］をクリックする。

② ［検索しないで、インストールするドライバを選択する］を選んで、［次へ］をクリックする。

③ ［ディスク使用］をクリックする。

④ ファイルのコピー元を指定して、［OK］をクリックする。
ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（￥）に続けて「MW3300N￥DISK4」と入力します。

⑤ ［次へ］をクリックする。

⑥ ［続行］をクリックする。

⑦ ［完了］をクリックする。

USBインターフェース接続によるインストール

ここでは、USB インターフェースでプリンターに接続した場合のプリンターソフトウエアをインストールする手順について説明します。パラレルインターフェースで接続した場合の「プラグ・アンド・プレイ」機能を使ったインストール手順については、活用マニュアルの「2章　プリンターソフトウエアのインストール」を参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003 日本語版

ここでは、Windows XP 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ プリンターとコンピューターを USB ケーブルで接続する。

❷ プリンターの電源をONにする。

❸ プリンターの印刷可ランプが点灯したことを確認したら、コンピューターの電源をONにする。

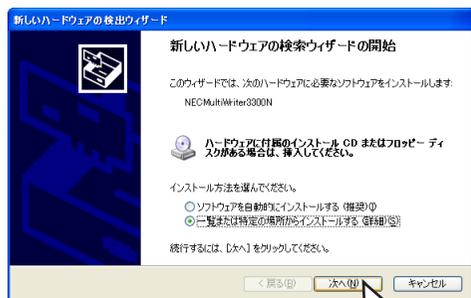
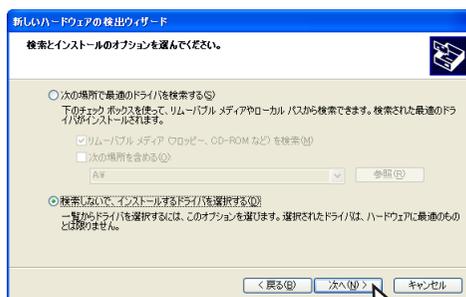
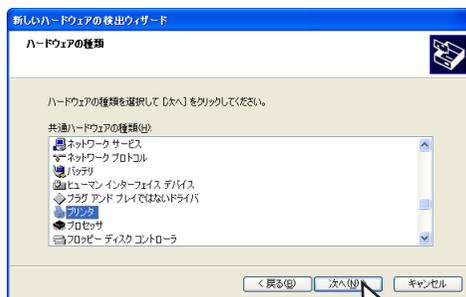
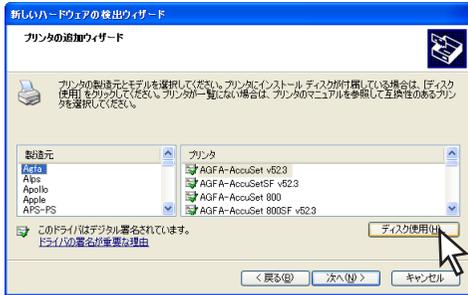
Windows XP 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検出画面が表示されます。

ここでは、プリンターソフトウエアCD-ROMをセットしないでください。プリンターソフトウエアCD-ROM は手順❽でセットします。

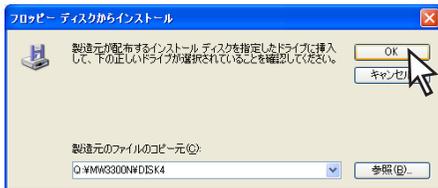
❹ ［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選び、［次へ］をクリックする。

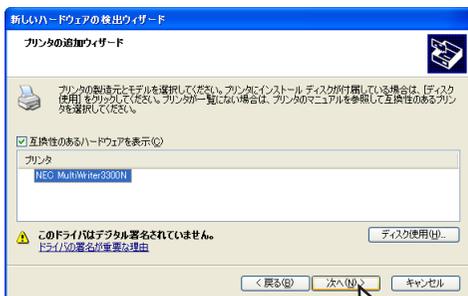
このダイアログボックスが表示されなかった場合は、『「インストールプログラム」からの インストール』（52ページ）を行ってください。

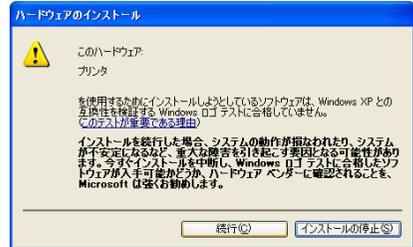
接続先のポート名は「USBXXX」になります。

❺ ［検索しないでインストールするドライバを選択する］を選び、［次へ］をクリックする。

❻ ［プリンタ］を選び、［次へ］をクリックする。

❼ ［ディスク使用］をクリックする。

❽ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

❾ ファイルのコピー元を指定し、［OK］をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（￥）に続けて「MW3300N￥DISK4」と入力します。

❿ 使用するプリンター名を選び、［次へ］をクリックする。

インストールを開始します。

以下の［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。
［続行］をクリックし、インストールを続行してください。

なお、［インストールの停止］をクリックした場合はインストールが中止されます。

⓫ ［完了］をクリックする。

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からの インストール』（52ページ）の手順に従い、手順❻で［プリンタドライバをインストールしない。］を選んでインストールしてください。

Windows Me 日本語版

ここでは、Windows Me 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターとコンピューターをUSBケーブルで接続する。**

❷ **プリンターの電源をONにする。**

❸ **プリンターの印刷可ランプが点灯したことを確認したら、コンピューターの電源をONにする。**

Windows Me 日本語版を起動します。［新しいハードウェア］ダイアログボックスが表示された後、［新しいハードウェアの追加ウィザード］が表示されます。

❹ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❺ **［適切なドライバを自動的に検索する］を選び、［次へ］をクリックする。**

USBドライバーのインストールが開始されます。このダイアログボックスが表示されなかった場合は、次ページの「［新しいハードウェアの追加］ダイアログボックスが表示されなかった場合」の手順を行った後、手順❺からやり直してください。

❻ **選択項目の中の［場所］がCD-ROMのドライブでフォルダー名「USBDRV」を示しているドライバーを選んで、［OK］をクリックする。**

❼ **インストールされたことを確認し、［完了］をクリックする。**

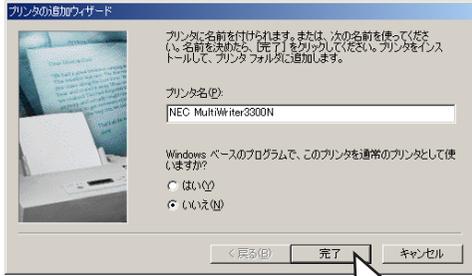
❽ **［適切なドライバを自動的に検索する］を選び、［次へ］をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合は、『「インストールプログラム」からのインストール』（52ページ）を行ってください。

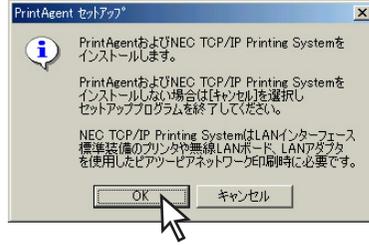
接続先のポート名は「USBXXX」になります。

❾ **選択項目の中の［場所］がCD-ROMのルートを示しているドライバーを選択して、［OK］をクリックする。**

❿ **プリンター名を確認し、[完了] をクリックする。**

プリンタードライバーのインストールが開始されます。

⓫ **[完了] をクリックする。**

先に [PrintAgentセットアップ] ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

⓬ **PrintAgentをインストールする場合は [OK] をクリックする。**

このあとは『「インストールプログラム」からの インストール』(52ページ) の手順❾からと同じです。PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル] をクリックし、インストールを終了します。

> 必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。

[新しいハードウェアの追加] ダイアログボックスが表示されなかった場合

以下の手順を終了した後、再びUSBケーブルを接続する手順を行ってください。

❶ **[コントロールパネル] フォルダーを開く。**

❷ **[システム] アイコンをダブルクリックする。**

❸ **[デバイスマネージャ] シートをクリックする。**

❹ **[その他のデバイス] で?マークの [MultiWriter3300N] を選択し、[削除] をクリックする。**

❺ **USBケーブルを取り外す。**

❻ **削除されたことを確認して、USB ケーブルを接続する。**

Windows 98 日本語版

ここでは、Windows 98 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

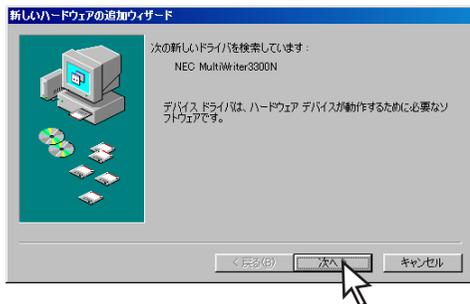
❶ **プリンターとコンピューターをUSBケーブルで接続する。**

❷ **プリンターの電源をONにする。**

❸ **プリンターの印刷可ランプが点灯したことを確認したら、コンピューターの電源をONにする。**

Windows 98 日本語版を起動します。

USBデバイス検出画面が表示されます。

❹ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❺ **［次へ］をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合は、前のページの「［新しいハードウェアの追加］ダイアログボックスが表示されなかった場合」の手順を行った後、手順❺からやり直してください。

❻ **［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選び、［次へ］をクリックする。**

❼ **USBドライバーの検索場所を指定し、［次へ］をクリックする。**

［検索場所］をチェックし、CD-ROMのドライブ名、「¥USBDRV」を入力します。

❽ **デバイス名を確認し、［次へ］をクリックする。**

USBドライバーのインストールが開始されます。

❾ **［完了］をクリックする。**

❿ ［次へ］をクリックする。

このダイアログボックスが表示されなかった場合、『「インストールプログラム」からの インストール』（52ページ）を行ってください。

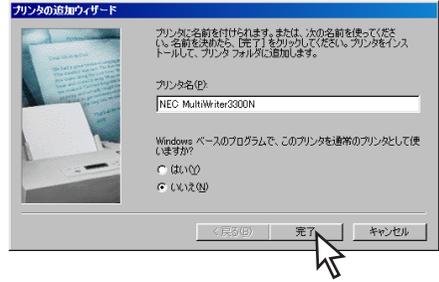
接続先のポート名は「USBXXX」になります。

⓫ ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選び、［次へ］をクリックする。

⓬ 選択項目の中から［CD-ROMドライブ］をチェックして［次へ］をクリックする。

⓭ ［次へ］をクリックする。

⓮ プリンターの名前を確認して、［完了］をクリックする。

プリンタードライバーのインストールが始まります。

⓯ ［完了］をクリックする。

先に［PrintAgentセットアップ］ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

⓰ PrintAgentをインストールする場合は［OK］をクリックする。

このあとは『「インストールプログラム」からの インストール』（52ページ）の手順❾からと同じです。PrintAgentをインストールしない場合は、［キャンセル］をクリックし、インストールを終了します。

> 必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。

Windows 2000 日本語版

ここでは、Windows 2000 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ プリンターとコンピューターを USBケーブルで接続する。

❷ プリンターの電源をONにする。

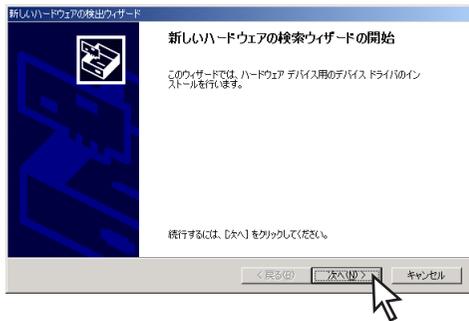
❸ プリンターの印刷可ランプが点灯したことを確認したら、コンピューターの電源をONにする。

Windows 2000 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検索ウィザード画面が表示されます。

❹ ［次へ］をクリックする。

このダイアログボックスが表示されなかった場合、『「インストールプログラム」からの インストール』（52ページ）を行ってください。

接続先のポート名は「USBXXX」になります。

ここでは、プリンターソフトウエアCD-ROMをセットしないでください。プリンターソフトウエアCD-ROMは手順❼でセットします。

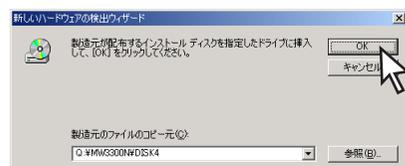
❺ ［デバイスに最適なドライバを検索する］を選び、［次へ］をクリックする。

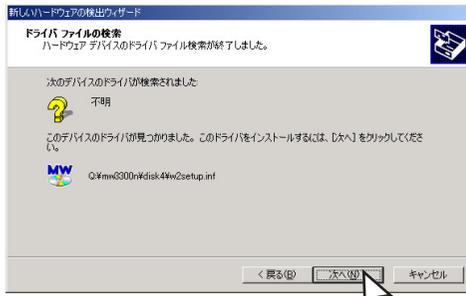
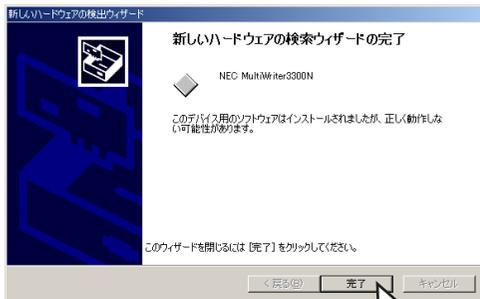
すでに一度プリンタードライバーがインストールされたコンピューターの場合、「MultiWriter3300N」が表示されます。

❻ ［場所を指定］を選び、［次へ］をクリックする。

❼ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

❽ ファイルのコピー元を指定し、［OK］をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（￥）に続けて「MW3300N￥DISK4」と入力します。

❾ 内容を確認し、［次へ］をクリックする。

インストールを開始します。

❿［完了］をクリックする。

［デジタル署名が見つかりませんでした］とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［はい］をクリックし、インストールを続行してください。

なお、［いいえ］をクリックした場合はインストールが中止されます。

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からの インストール』（52ページ）の手順に従い、手順❻で［プリンタドライバをインストールしない。］を選んでインストールしてください。

プリンタードライバーの削除

ここではプリンタードライバーの削除手順を説明します。必要なファイルが削除されてしまったなどでプリンターが正常に動かなくなったときはプリンタードライバーを再インストールする必要があります。プリンタードライバーを再インストールするには、一度、既存のプリンタードライバーを削除（アンインストール）してから行います。

重要

- プリンタードライバーの削除を実行する前に起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- プリンターが印刷中の場合は、プリンタードライバーの削除はできません。印刷が終了してから削除してください。

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 日本語版

❶ ［プリンタとFAX］フォルダーを開く。

インストールされているプリンターアイコンが表示されます。Windows 2000の場合は［プリンタ］フォルダーを開きます。

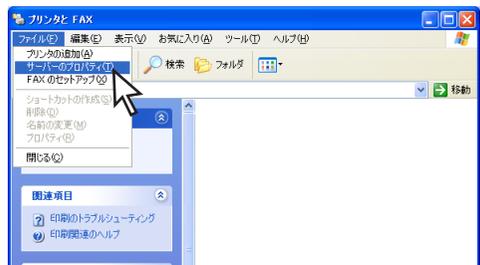
❷ ［NEC MultiWriter3300N］アイコンをクリックする。

❸ ［ファイル］メニューの［削除］をクリックする。

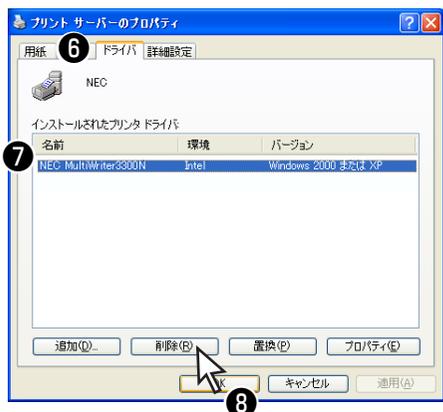
❹ ［はい］をクリックする。

MultiWriter 3300Nのプリンタードライバーが削除されます。

❺ ［ファイル］メニューの［サーバーのプロパティ］をクリックする。

［プリントサーバーのプロパティ］が開きます。

❻ ［ドライバ］タブをクリックする。

❼ ［インストールされたプリンタドライバ］から［NEC MultiWriter3300N］をクリックする。

❽ ［削除］をクリックする。

❾［はい］をクリックする。

次のダイアログボックスが表示された場合は、OSの再起動後、手順❺からやり直してプリンタードライバーを削除してください。

❿［インストールされたプリンタドライバ］から［NEC MultiWriter3300N］が削除されたことを確認し、［閉じる］をクリックする。

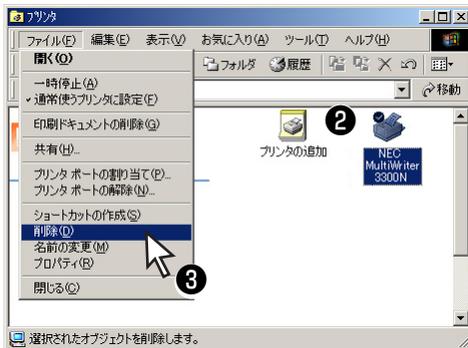
［プリントサーバーのプロパティ］を閉じます。

Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0 日本語版

❶［プリンタ］フォルダーを開く。

インストール済みのプリンターアイコンが表示されます。

❷［NEC MultiWriter3300N］アイコンをクリックする。

❸［ファイル］メニューの［削除］をクリックする。

❹［はい］をクリックする。

MultiWriter 3300Nのプリンタードライバーが削除されます。

次のダイアログボックスが表示された場合は、［はい］をクリックしてください。

2 プリンターソフトウエアのインストール

PrintAgentの追加・削除

MultiWriter 3300Nのプリンターソフトウエアのインストーラーでは、プリンターソフトウエアの機能ごとに、追加と削除をすることができます。

ここではPrintAgentの追加と削除方法を説明します。

重要

追加・削除の手順を始める前に7章の「PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項」（153ページ）をお読みください。

❶ ［コントロールパネル］フォルダーを開く。

❷ ［プログラムの追加と削除］アイコンをダブルクリックする。

Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は［アプリケーションの追加と削除］をクリックします。

❸ ［PrintAgentオプション選択］ダイアログボックスを開く。

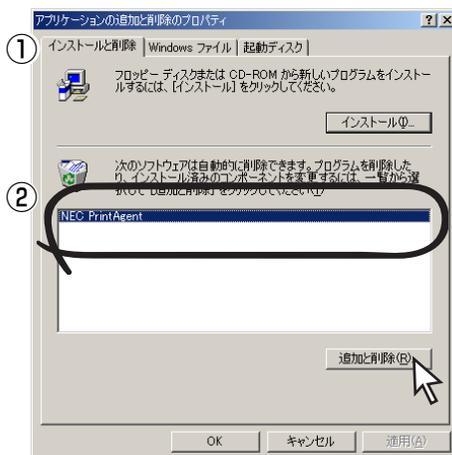
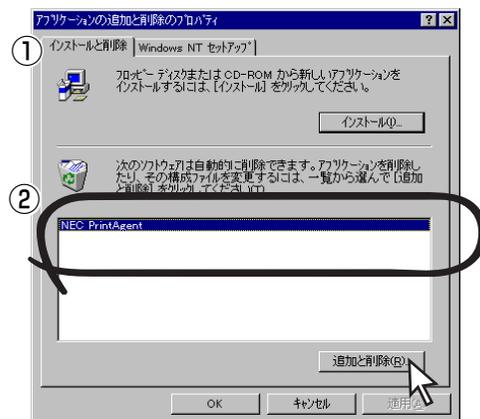
<Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合>

① 左側の［機能選択］バーから［プログラムの変更と削除］をクリックする。

② ［NEC PrintAgent］を選んで、［変更/削除］をクリックする。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0の場合>

① ［インストールと削除］シートを開く。

② 自動的に削除できるソフトウエアの一覧から［NEC PrintAgent］を選んで、［追加と削除］をクリックする。

Windows Me、Windows 98、Windows 95

Windows NT 4.0

❹ 対象機種を選択してからチェックを変更し、［次へ］をクリックする。

チェックを付けると追加、チェックを外すと削除になります。
また、複数機種のチェックを付ける（外す）と複数機種のオプションを同時に追加（削除）することができます。

管理者向けカスタムインストールを行った場合は選択できるオプションが異なります。

- 他のMultiWriterシリーズのプリンターソフトウエアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウエアのオプションが表示される場合があります。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウエアCD-ROMがセットされている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

❺ ［完了］をクリックする。

パスワードが設定されている場合に管理者向けのオプションを削除するには、あらかじめ設定したパスワードの入力が必要です。

❻ ［OK］をクリックする。

❼ 追加･削除が終了したら[OK]をクリックする。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

❽ すべてのオプションを削除した場合はソフトウエアの一覧から［NEC PrintAgent］が削除されたことを確認し、［OK］をクリックする。

日本語MS-DOS環境

ここでは、日本語MS-DOS環境から印刷をするために必要なプリンターの設定内容を説明します。

プリンターを選択する

使用しているアプリケーション上で印刷するときにプリンターの名称を指定します。指定できない場合は、次の表に示す優先順位で指定してください。（ただしアプリケーションによっては機能の一部が使用できないことがあります。）

優先順位	プリンター名称	動作モード＊1
1	MultiWriter 3650N、2860N、2850N、2850、2360N、2360、2350N、2350、2150、2130、2800N、2800、2300N、2300、2100、210S	
2	MultiWriter 2650M、2250H、2650、2650E、2250、2050	
3	MultiWriter 2200X2、2200XE、2000X2、2200X	
4	MultiWriter 2400X、2400、2000X、2000FW、2200NW2、PC-PR2000/6W	ページプリンター（もしくは、レーザープリンター）
5	MultiWriter 2200NW、2000E、PC-PR2000/4R、PC-PR2000/4W、PC-PR4000E/4、PC-PR4000/4	
6	MultiWriter 1250、1400X、1000EW、PC-PR1000E/4W、PC-PR1000E/4、PC-PR1000/4R、PC-PR1000/4、PC-PR2000/2、PC-PR2000/4 あるいはNPDL Level 2	
7	PC-PR1000、PC-PR1000/2、PC-PR2000、PC-PR602＊2、＊3あるいはNPDL	
8	PC-PR201シリーズ	201PLエミュレーション
9	PC-PR101シリーズ	

＊1　ほとんどのアプリケーションでは、プリンターの動作モードを自動に切り替えています。したがって、本プリンターの動作モードは 201PL エミュレーションモード（お買い上げ時の設定）のままご使用になれます。

＊2　A4 ポートレート桁数が 80 桁のとき、用紙の左側の余白量が異なるときは、アプリケーション上で余白量を変更してください。

＊3　文字を縮小したときの印刷結果が異なるときは、プリンター設定を変更してください。

プリンターを設定する

MS-DOS環境でコンピューターをお使いの場合、プリンターの設定はメニューモードを使って行います。メニューモードの操作方法、メニューツリーについては106 ～109ページ、各設定項目については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「7章　メニューモード」を参照してください。

PC-PR201系、101系プリンターを選択した場合

プリンターの指定でPC-PR201系、あるいは101系プリンターを選択した場合、アプリケーションと本プリンターは次のような設定が標準です。

ソフトウエア：　シートフィーダー付き、単票（カット紙）、連続送り

プリンター：　201PLエミュレーションモード、136桁モード有効、用紙位置中央

MS-DOS環境での両面印刷設定

MS-DOS環境で、オプションの両面印刷ユニットを使って両面印刷する際に必要な情報について説明します。MS-DOS環境で印刷する場合はメニューモード、および操作パネルの[両面]スイッチにより設定します。

オプションの両面印刷ユニットを装着しないと、両面印刷のためのメニュー項目は表示されません。

両面印刷の設定

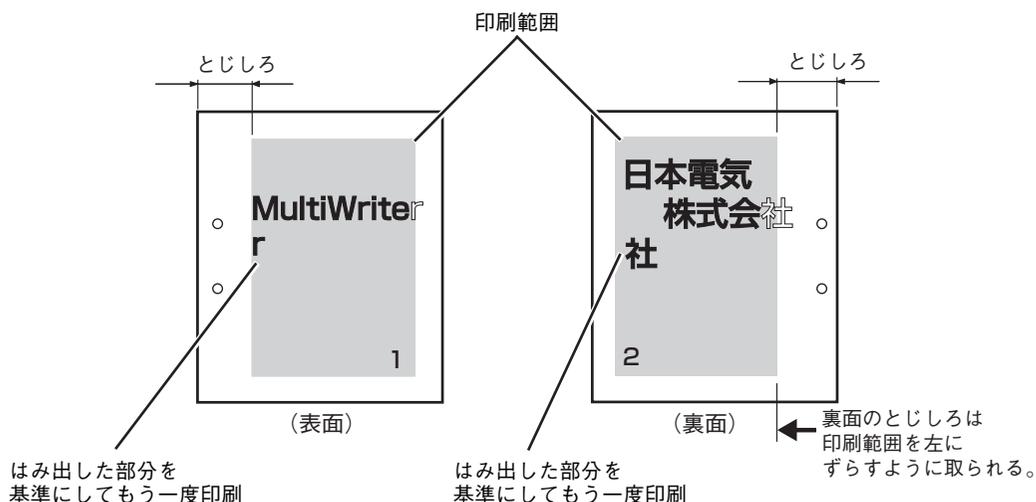
MS-DOSアプリケーションを使って両面印刷する場合、次の設定変更が必要です。
両面印刷をする場合、64MB以上のメモリーの増設をお勧めいたします。

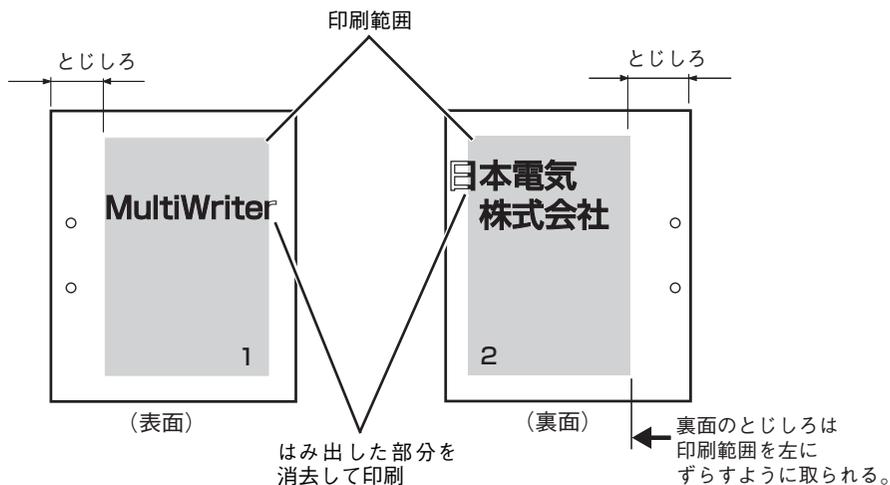
両面印刷のために必要な設定項目

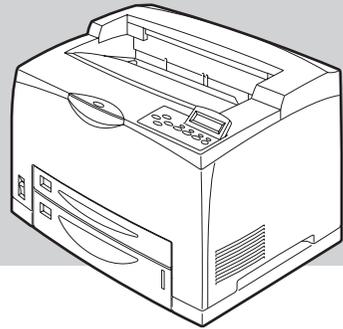
メニューモード設定項目	備考
印字位置設定メニュー • 表面微調整 • 裏面微調整	表面、裏面ともに TM: ＋3.9　～　－3.9ミリ LM: ＋3.9　～　－3.9ミリ
両面印刷メニュー • 初期設定ON • 初期設定OFF	－
両面印刷メニュー • とじしろロング1 • とじしろショート1 • とじしろロング2 • とじしろショート2	添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアル7章の「両面印刷メニュー」を参照してください。
両面印刷メニュー：余白	0　～　20ミリ
両面印刷メニュー • クリップON • クリップOFF	余白を多く取り過ぎた場合、印刷からはみ出たデータを次ページに印刷する（ON）か、消去する（OFF）かを設定します。
両面印刷メニュー • 奇数ページ片面 • 奇数ページ両面	両面印刷時の奇数ページ原稿の最終ページに対する印刷方法を設定します。

クリッピング機能について

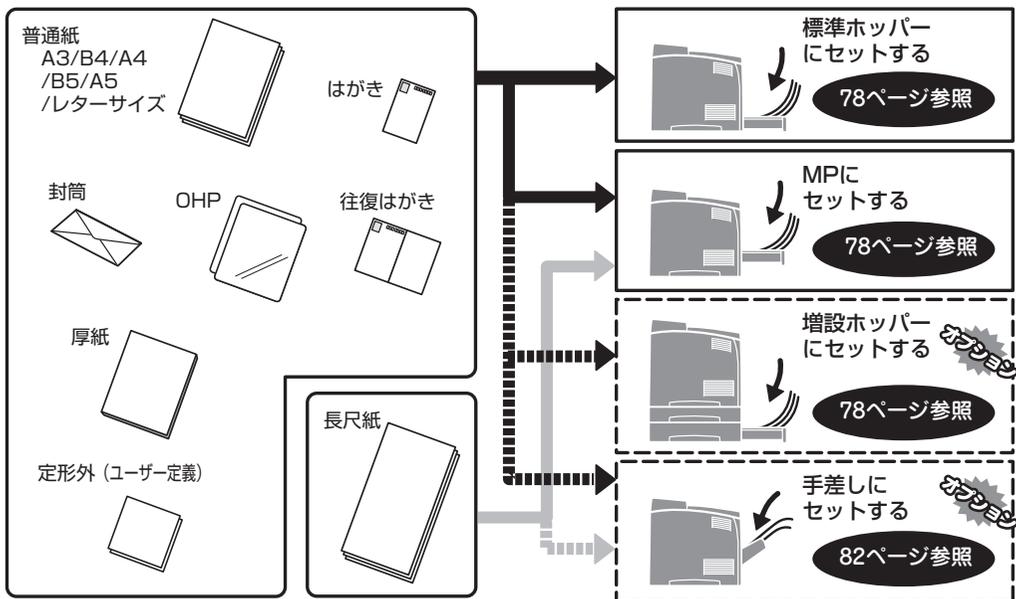
余白（とじしろ）を多く取り過ぎると、印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。クリッピング機能とは、このような場合に印刷範囲からはみ出したデータを次の行に印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま印刷するかを選択します。ただし、両面印刷時にのみ有効で、メニューモードで設定します（メニューモードについては99ページを参照してください）。

- 「クリップ」をOFFにすると、はみ出した印刷データを次の行に引き続いて印刷します。それ以降の印刷データは1行ずつずれることになります。（アプリケーションによっては、はみ出したデータを消去するものもあります）。

クリップOFF（チェックしていない）の場合

- 「クリップ」をONにすると、はみ出した印刷データを消去して印刷を続けます。

クリップON（チェックしている）の場合

3章
用紙のセット

この章では、このプリンターで使用できる用紙、用紙のセット方法について説明します。

このプリンターは豊富な給紙機構（ホッパー、MP＊1、および手差し＊2）をもつプリンターです。用途に合わせて使い分けてください。

このプリンターでは大量給紙するのに便利なリレー給紙機能がご利用できます。標準ホッパー、MP、手差し、増設ホッパーに用紙をセットし印刷中に用紙がなくなると、自動的に同じ用紙サイズがセットされている給紙先に切り替える機能です。設定手順については4章の「リレー給紙の設定」（110ページ）をご覧ください。

＊1　MP とは「マルチパーパス」のことで、いろいろな種類の用紙をセットすることができる給紙機構を指します。

＊2　手差しはオプションです。

用紙について

ここではこのプリンターで使用できる用紙、用紙のセット方向、用紙サイズの自動検知について説明します。用紙をセットする前に必ずお読みになり、使用できる用紙を確認してから印刷してください。

使用できる用紙

使用できる用紙は給紙口および排紙口によって異なります。以下にそれぞれ「セットできる用紙」、「排紙できる用紙」の種類、サイズ、および枚数を示します。用紙の規格、印刷範囲については「付録 技術情報」（199ページ）を参照してください。

給紙口	セットできる用紙			両面印刷
	種類	サイズ	枚数	
標準ホッパー および 増設ホッパ (550) （オプション）	普通紙*1（乾式PPC用紙）	A3、B4、A4、B5、A5、レター、 定形外用紙（幅77～297×長さ148～431mm）	550*2	○*3
	厚紙1*4		59.4mm*5	
	厚紙2*6			○*3,*7
	ラベル紙	A4、レター	250	×
	はがき	はがき、往復はがき	230	×
	OHPフィルム	A4	100	×
	封筒	洋形4号（内カマス、のりなし）	60	×
MP	普通紙*1（乾式PPC用紙）	A3、B4、A4、B5、A5、レター、 定形外用紙（幅77～304×長さ100～508mm）、 長尺紙（幅297×長さ900mm）	200*2	○*3
	厚紙1*4		17.5mm*5	
	厚紙2*6			○*3,*7
	ラベル紙	A4、レター	75	×
	はがき	はがき、往復はがき	60	×
	OHPフィルム	A4	100	×
	封筒	洋形4号（内カマス、のりなし）	10	×
手差し （オプション）	普通紙*1（乾式PPC用紙）	A3、B4、A4、B5、A5、レター、 定形外用紙（幅77～304×長さ100～508mm）、 長尺紙（幅297×長さ900mm）	100*2	○*3
	厚紙1*8		16mm*5	
	ラベル紙	A4、レター	75	×
	はがき	はがき、往復はがき	50	×
	OHPフィルム	A4	75	×
	封筒	洋形4号（内カマス、のりなし）	10	×
増設ホッパ (250) （オプション）	普通紙*1（乾式PPC用紙）	A3、B4、A4、B5、A5、レター、 定形外用紙（幅77～297×長さ148～431mm）	250*2	○*3
	厚紙1*4		27.6mm*5	
	厚紙2*6			○*3,*7
	ラベル紙	A4、レター	180	×
	はがき	はがき、往復はがき	100	×
	OHPフィルム	A4	100	×
	封筒	洋形4号（内カマス、のりなし）	20	×

*1　坪量 60～90g/m^2 の用紙です。
*2　坪量 64g/m^2 の用紙を開封直後に使用した場合です。
*3　定形外用紙（幅 99mm 以下、長さ 139mm 以下あるいは 432mm 以上）および長尺紙は両面印刷できません。
*4　坪量 90～157g/m^2 の用紙です。
*5　厚紙のセットできる高さを示します。セットできる枚数は、用紙の厚さによって異なります。
*6　坪量 157～216g/m^2 の用紙です。
*7　坪量 191～216g/m^2 の厚紙は両面印刷できません。
*8　坪量 90～135g/m^2 の用紙です。

排紙口	排紙できる用紙			両面印刷
	種類	サイズ	枚数	
標準スタッカー＊1	普通紙＊2（乾式PPC用紙）	A3、B4、A4、B5、A5、レター、 定形外用紙（幅77～304×長さ100～508mm） 長尺紙（幅297×長さ900mm）	500＊3	○＊4
	厚紙1＊5		－	
	厚紙2＊6		－	○＊4,＊7
	ラベル紙	A4、レター	－	×
	はがき	はがき、往復はがき	－	×
	OHPフィルム	A4	－	×
	封筒	洋形4号（内カマス、のりなし）	－	×
フェイスアップトレイ＊8（オプション）	普通紙＊2（乾式PPC用紙）	A4、B5、A5、レター、 定形外用紙（幅77～304×長さ100～297mm）	70＊3	×
	厚紙1＊5		－	×
	厚紙2＊6		－	×
	はがき	はがき、往復はがき	－	×
	OHPフィルム	A4	－	×
	封筒	洋形4号（内カマス、のりなし）	－	×
オフセットトレイ（オプション）	普通紙＊2（乾式PPC用紙）	A4、B5、A5、レター、 定形外用紙（幅77～304×長さ127～297mm）	500＊3	○＊4
	厚紙1＊9		－	
	ラベル紙	A4、レター	－	×
	はがき	はがき、往復はがき	－	×
	OHPフィルム	A4	－	×
	封筒	洋形4号（内カマス、のりなし）	－	×

＊1　セットできる用紙はすべて標準スタッカーへ排紙できます。
＊2　坪量 60～90g/m^2 の用紙です。
＊3　坪量 64g/m^2 の用紙を使用した場合です。
＊4　定形外用紙（幅 99mm 以下、長さ 139mm 以下あるいは 432mm 以上）および長尺紙は両面印刷できません。
＊5　坪量 90～157g/m^2 の用紙です。
＊6　坪量 157～216g/m^2 の用紙です。
＊7　坪量 191～216g/m^2 の厚紙は両面印刷できません。
＊8　両面印刷機能とフェイスアップトレイへの排紙機能は同時に使用することができません。
＊9　坪量 90～135g/m^2 の用紙です。

用紙についての注意事項

用紙をセットする前に次の注意事項をお読みください。また、はがき、往復はがき、OHPフィルム、ラベル紙、封筒、厚紙、定形外用紙、長尺紙をセットする際の注意事項については「用紙をセットする時の注意」（86ページ）に記載していますので、併せてお読みください。

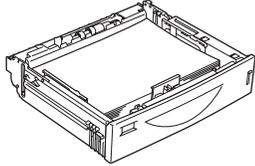
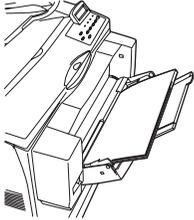
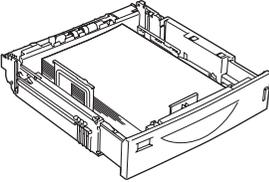
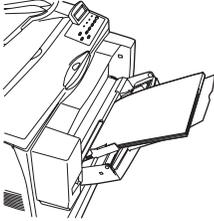
- 次のような用紙への印刷は避けてください。ご使用になると印刷不良、紙づまり、プリンターの故障の原因となるおそれがあります。
  - 無塵紙
  - 裏写り防止用の白粉（ミクロパウダー）が塗布された用紙
  - 熱で変質するインクを使った用紙、変質しやすい用紙
  - カーボン紙、ノンカーボン紙、感圧紙、感熱紙、酸性紙
  - ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
  - ミシン目のある用紙、穴あき用紙
  - 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
  - シワがある、折れている、破れている、湿っている、ぬれている、長期間放置した、カールしている、静電気で密着している、貼り合わせてある、のりが付いているなどの用紙
  - ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙

- のりが付いている封筒
- 熱転写プリンター、インクジェットプリンターで印刷した後の用紙
- 次のような状態のラベル紙
  台紙全体がラベルで覆われていないもの、部分的に使用したもの、ラベルがはがれかかっているもの、カールしているもの、表面にのりがしみ出ているもの
- すでに一度印刷した用紙（プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙も含む）

• 再生紙、ラベル紙の使用については制限があります。添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせください。
• はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、およびラベル紙の印刷品質は、規格を満たす普通紙の印刷品質より劣る場合があります。
• 用紙は次のことに注意して正しく保管してください。
  - 余った用紙は包装してあった紙で包み直してください。
  - キャビネットの中など、直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
  - 用紙はしわ、折れ、カールなど癖がつかないように、平らな場所に水平にして保管してください。

用紙のセット方向

ホッパー、MP、手差し（オプション）に定形用紙をセットする際の用紙の方向は以下の通りです。

用紙のセット方向	セットできる用紙サイズ	ホッパー、MP	手差し
横置き	B5、A5、A4、レター、往復はがき		
縦置き	A3、B4、A4、はがき、封筒		

用紙サイズの自動検知

ホッパーおよびMPは下記の用紙サイズをプリンター本体で自動的に検知して印刷します。

自動検知する用紙サイズ：A3、A4、A5、B4、B5、レター

上記以外の用紙サイズをセットしたときは、用紙カセットの用紙サイズを操作パネルの［用紙選択］スイッチで設定する必要があります。詳細は4章の「スイッチ」（92ページ）を参照してください。

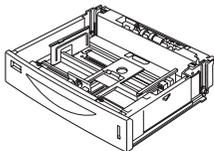
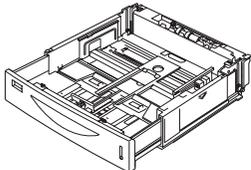
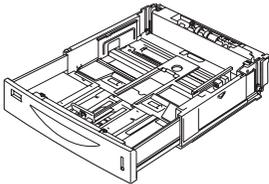
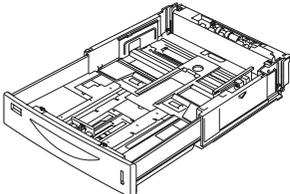
ホッパー、MPカセットの用紙サイズが定型外サイズに設定されているときは、［用紙選択］スイッチで「ジドウ」に設定すると、プリンタ本体で自動的に用紙サイズを検知するようになります。

ホッパー、MPに用紙をセットする

ホッパーおよびMPから印刷するには、用紙カセットあるいはMPカセットに用紙をセットします。標準カセットの場合、用紙は坪量64.0g/m^{2}の普通紙なら550枚までセットできます。ホッパーおよびMPには普通紙をはじめ、ラベル紙や厚紙、はがき、往復はがき、封筒、OHP フィルム、定形外用紙をセットすることができます。さらに、MPには長尺紙もセットできます。

厚紙、OHPを使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」－「ヨウシシュベツ」のホッパまたはMPヨウシシュベツでそれぞれ「アツガミ1」、「アツガミ2」、「OHP」に設定する必要があります。詳細は活用マニュアル「7章　メニューモード」の「メニューツリー」を参照してください。

ホッパーおよびMPは、セットする用紙のサイズに合わせてカセットを4段階に延長することができます。

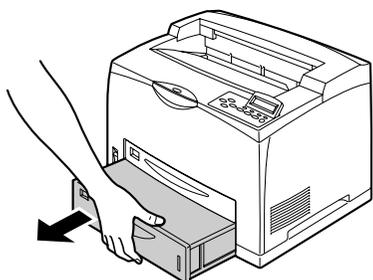
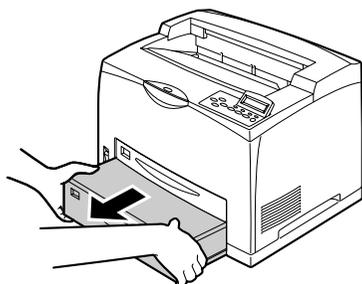
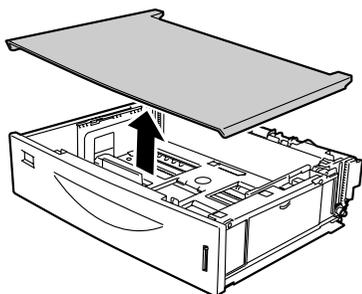
項目	伸縮部のマーク	カセットの形状	使用できる用紙	
			ホッパー	MP
延長なし	－		A4横、A5、B5、レター、はがき、往復はがき、定形外用紙（幅77～297mm、長さ148～220mm）	A4横、A5、B5、レター、はがき、往復はがき、定形外用紙（幅77～304mm、長さ100～220mm）
1段延長	A4タテ		A4縦、封筒、定形外用紙（幅77～297mm×長さ218～302mm）	A4縦、封筒、定形外用紙（幅77～304mm×長さ180～302mm）
2段延長	B4		B4、定形外用紙（幅77～297mm×長さ285～369mm）	B4、定形外用紙（幅77～304mm×長さ247～369mm）
3段延長	A3		A3、定形外用紙（幅77～297mm×長さ352～431mm）	A3、定形外用紙（幅77～304mm×長さ315～508mm）、長尺紙（幅297×900mm）

重要

カセットを延長し、上記以外の定形用紙をセットした場合、正常に用紙サイズの検出ができなくなります。必ずセットする用紙サイズに合わせた位置にカセットを延長してください。

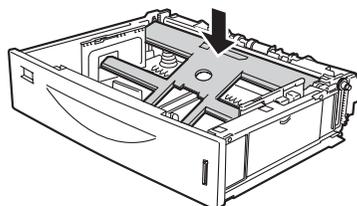
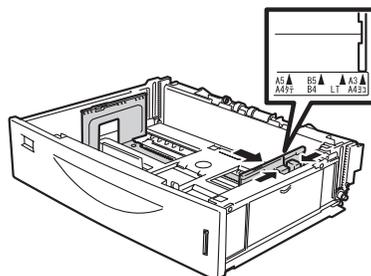
ここでは、標準的な定形用紙をセットする手順を説明します。ラベル紙、厚紙、はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルムをセットする場合も基本的にセットする手順は同じです。定形外用紙、長尺紙をセットする場合の手順は「定形外用紙、長尺紙をセットする」（84ページ）をご覧ください。

重要

- ホッパーまたは MP にセットする用紙は、両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙（プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙）をホッパーまたはMPにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。
- 用紙カセットにはがき、往復はがき、封筒をセットした時は、用紙カセットの用紙サイズを操作パネルで設定する必要があります。詳細は「4章 操作パネルについて」（89ページ）を参照して、［用紙選択］スイッチで設定してください。また、異なる用紙サイズをセットした時にもそのつど操作パネルで設定を行ってください。

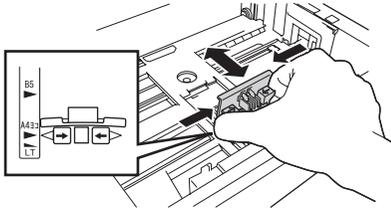
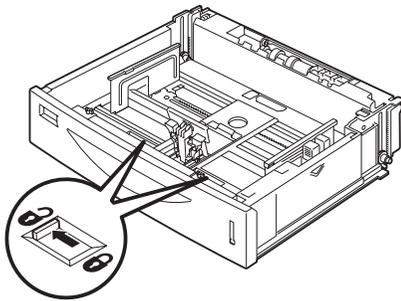
❶ 用紙カセットを手前に引き出す。

❷ 用紙カセットを両手で軽く上に持ち上げ、ゆっくりと取り外す。

❸ 用紙カセットカバーを取り外す。

❹ リフトプレートが上がっている場合は、押し下げる。

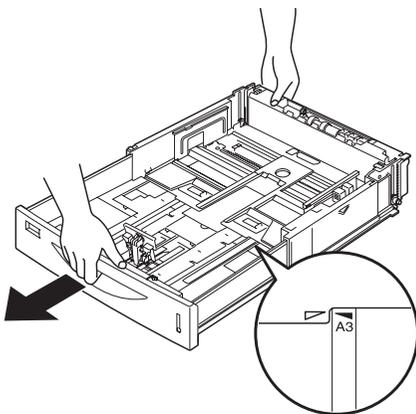
チェック

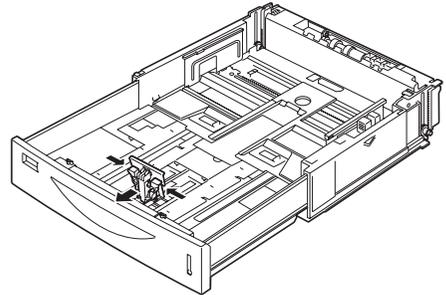
- リフトプレートが完全に下がっていないと、用紙カセットをプリンターに取り付けることはできません。
- カセットを取り扱う際は、給紙ロールに触らないでください。給紙ロールが汚れると、給紙できなくなることがあります。

❺ サイドガイドロックレバーを指でつまみ、サイドガイドを用紙サイズに合わせる。

❻ エンドガイドをセットする用紙サイズに合わせる。

<B5、A5、A4横、レターの場合>

エンドガイドロックレバーをつまみながらエンドガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズに合わせます。

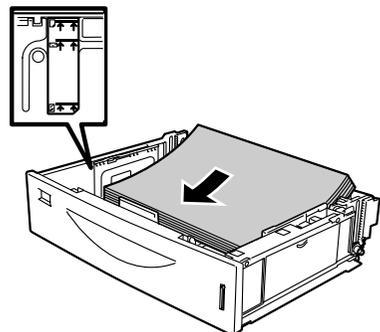
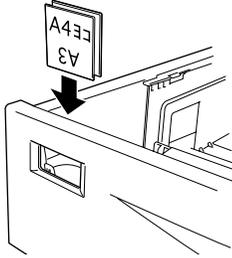
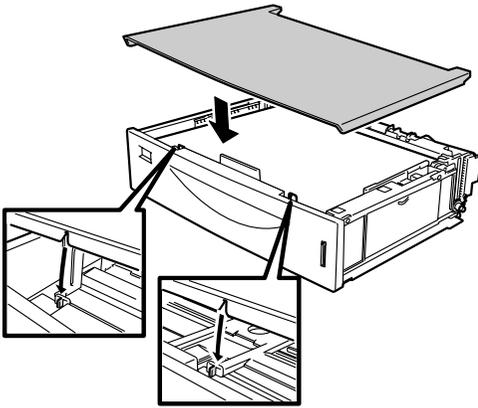
<A4縦、B4、A3サイズの場合>

① スライドカセットロックを“🔓”位置にします。

② 左手の親指をカセットの内側にかけて持ち、右手で用紙カセットの伸縮部を引き出します。セットする用紙サイズの“◥”マークと固定部分の“▱”マークを合わせます。

給紙ローラーのゴム部分は持たないでください。給紙不良の原因となります。

③ スライドカセットロックを“🔒”位置にします。

④ エンドガイドロックレバーをつまみながらエンドガイドをスライドさせ、“A4タテ”、“B4”または“A3”表示に合わせます。

はがき、往復はがき、封筒の場合は、用紙をセットしながらサイドガイドとエンドガイドを合わせてください。

❼ 印刷する面を上にして、エンドガイド側から用紙をそろえてセットする。

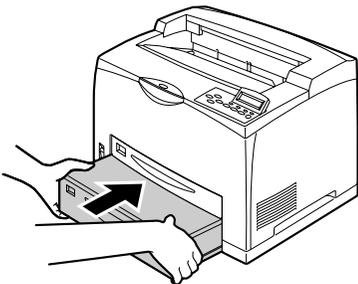
用紙をセットした後は、サイドガイドを再セットしてください。

- 包みから出した新しい用紙は、さばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙は、最大積載表示（⬆⬆）を超えないようにしてセットしてください
- 1つの用紙カセット内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。
- 用紙のつぎ足しはしないでください。

❽ セットした用紙に合わせて用紙サイズラベルを差し替える。

❾ 用紙カセットカバーを用紙カセットの手前に合わせて取り付ける。

重要

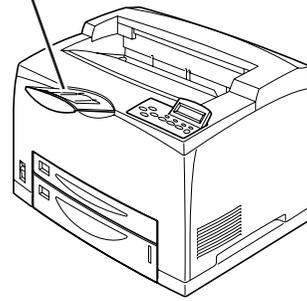
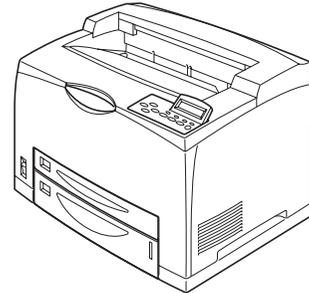
用紙長432mm以上の用紙をMPにセットする場合は、カバーを取り付けないでください。

❿ 用紙カセットを両手でゆっくり取り付ける。

重要

用紙をセットし終えた用紙カセットは、重くなっています。取り付ける際は用紙カセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

⓫ ペーパーサポートを引き出す。

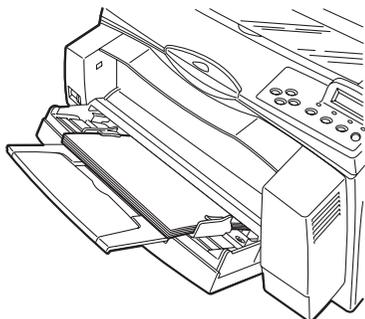
A3、B4サイズの場合、ペーパーサポートを引き出します。

ペーパーサポート

上記以外の場合は、そのままお使いください。

残った用紙の保管方法

残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなど癖がつかないように、平らな場所に水平にして保管してください。

手差しに用紙をセットする

オプションの手差しトレイユニットには普通紙をはじめ、ラベル紙、厚紙、はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、定形外用紙、長尺紙をセットすることができます。手差しトレイユニットの取り付けについては、9章の「手差しトレイユニット」（189ページ）をご覧ください。

厚紙、OHPを使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」－「ヨウシシュベツ」－「テサシ　ヨウシシュベツ」でそれぞれ「アツガミ1」、「OHP」に設定する必要があります。詳細は活用マニュアル「7章　メニューモード」の「メニューツリー」を参照してください。

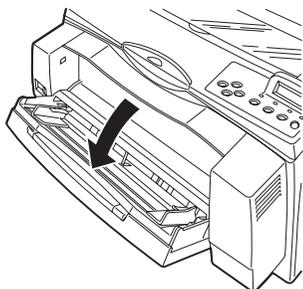
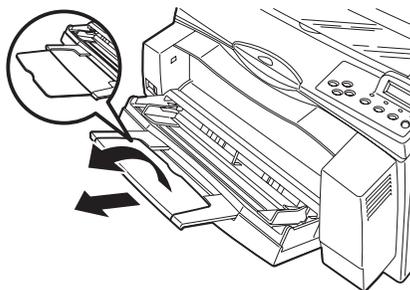
⚠注意

- 手差しに用紙以外の物や、手を載せないでください。手差しが破損する原因となるおそれがあります。
- 手差しから印刷しないときは、必ず手差しトレイを閉じてご使用ください。ほこりや異物が入りやすくなり、プリンターの破損や故障の原因となるおそれがあります。

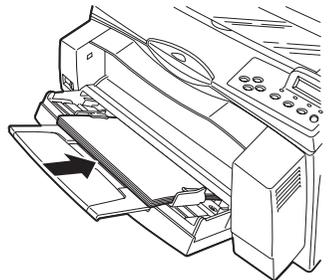
重要

- 手差しにセットする用紙は両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙（プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙）を手差しにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。
- 手差しに A5、往復はがき、封筒をセットした時は、手差しの用紙サイズを操作パネルで設定する必要があります。詳細は「4章 操作パネルについて」（89ページ）を参照して、［用紙選択］スイッチで設定してください。また、異なる用紙サイズをセットした時にも、そのつど操作パネルで設定を行ってください。

❶ 手差しトレイを開く。

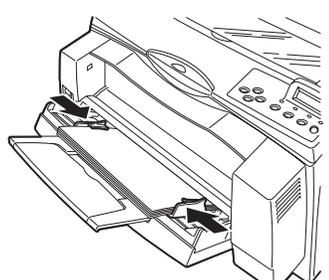
中央のくぼみをつまみながら、ゆっくり手前に引きます。

❷ 長い用紙をセットする場合は、中央の延長トレイを引き出す。トレイの長さが足りないときには、さらに拡張延長トレイを開き出す。

❸ 印刷する面を上にして、用紙を手差し用紙ガイドに沿って突き当たるまで挿入する。

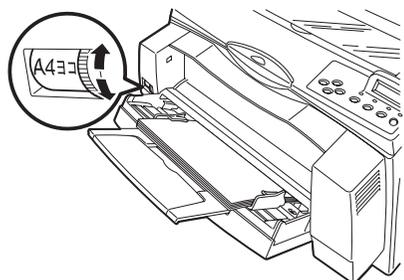
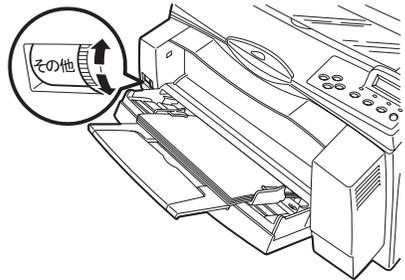
A3、B4、はがき、封筒は縦置きで、B5、A5、レター、往復はがきは横置きでセットしてください。

A4サイズは縦置き、横置きどちらでもセットできます。

最大収容枚数を超える用紙をセットしないでください。

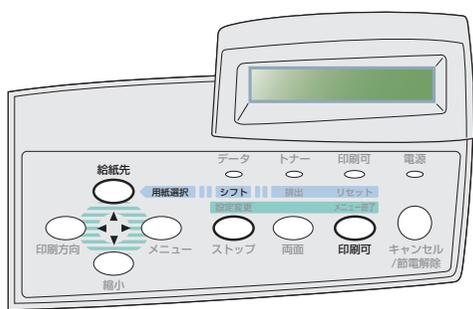
❹ セットした用紙に手差し用紙ガイドを合わせる。

❺ 用紙サイズを設定する。

＜A3、A4縦／横、B4、B5、レター、はがきをセットした場合＞

用紙サイズ設定ダイヤルの表示をセットした用紙のサイズに合わせてください。

＜A5、往復はがき、封筒、定形外用紙、長尺紙をセットした場合＞

用紙サイズ設定ダイヤルの表示を「その他」に設定してください。

さらに、A5、往復はがき、封筒をセットした場合は、操作パネルで用紙サイズを設定します。

操作パネルの［印刷可］スイッチを押してから、[給紙先］スイッチを押して「テサシ」を選択した後、［シフト］スイッチを押しながら、[用紙選択］スイッチを押して、用紙サイズを設定します。(操作パネルの詳細は「4章 操作パネルについて」(89ページ）参照。)

用紙サイズ設定ダイヤルをあらかじめ「その他」に設定していないと、[用紙選択］スイッチによる用紙サイズ設定はできません。

- ［シフト］スイッチを押しながら［用紙選択］スイッチを1回押すごとに用紙サイズは以下のように変わります。

  「A4タテ→A4ヨコ→A5→B4→B5→LT→ハガキ→ハガキ2→フウトウ→A3」

- Windows環境で定形外用紙および長尺紙に印刷する場合は、操作パネルで用紙サイズを設定する必要はありません。

定形外用紙、長尺紙をセットする

定形外用紙（ユーザー定義）および長尺紙への印刷は、Windows環境でのみ行うことができます。定形外用紙への印刷については、5章の「定形外用紙に印刷する」（121ページ）を参照してください。

ここでは、長さが431mmを超える定形外用紙や長尺紙をMPあるいは手差しトレイユニット（オプション）にセットする場合について説明します。長さが431mm以下の用紙をセットする場合は、定形用紙をセットする手順と同じです。「ホッパー、MPに用紙をセットする」（78ページ）または「手差しに用紙をセットする」（82ページ）を参照してください。

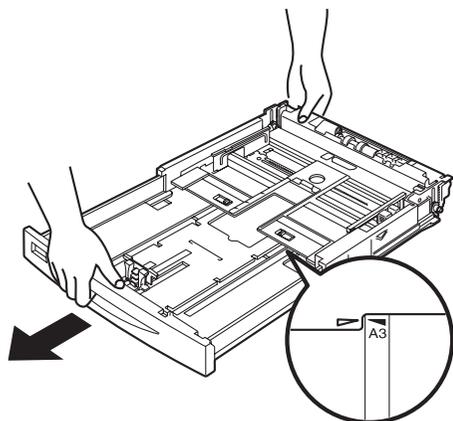
定形外用紙、長尺紙をMPにセットする

❶ **MPカセットを手前に引き出す。**

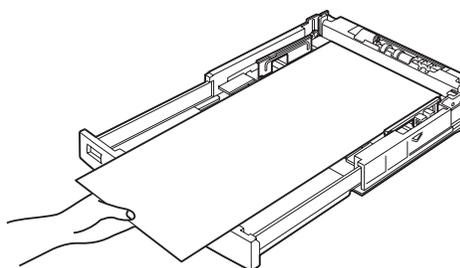
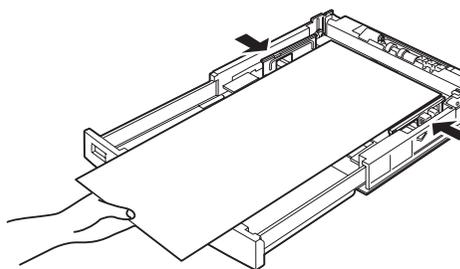
❷ **MPカセットを両手で軽く上に持ち上げ、ゆっくりと取り外す。**

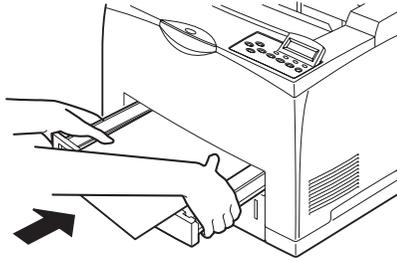
❸ **MPカセットカバーを取り外す。**

❹ **MPカセットを最大に延長する。**

延長部は、最大限（A3）まで引き出してください。カセットを延長する手順の詳細は、本章の「ホッパー、MPに用紙をセットする」（78ページ）を参照してください。

❺ **印刷する面を上にして用紙をセットする。**

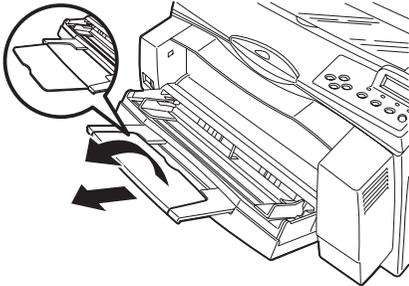
このとき、用紙がMPカセットからずれ落ちないように後端を手で支えます。

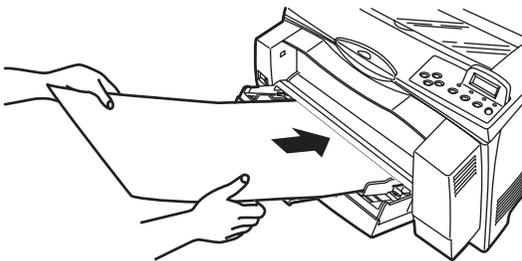
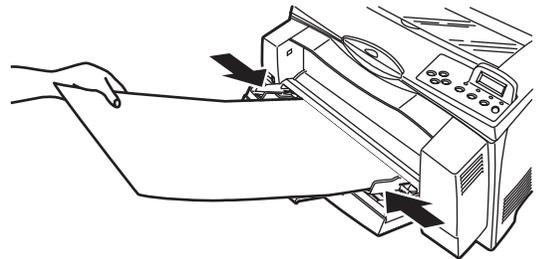
用紙は1枚ずつセットしてください。

❻ **サイドガイドロックレバーを指でつまみ、サイドガイドを用紙サイズに合わせる。**

❼ **用紙がずれないように用紙を手で押さえながら、MPカセットをプリンターの奥に突き当たるまでしっかり押し込む。**

MPカセットカバーは取り付けないでください。

❽ ペーパーサポートを引き出す。

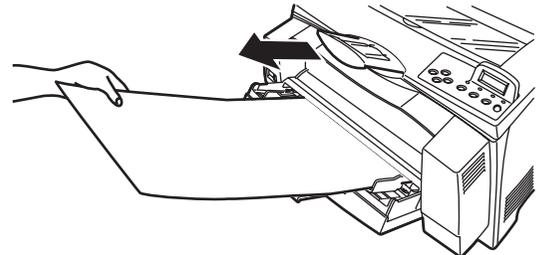
印刷するときは、用紙が垂れ下がらないように手で支えてください。

定形外用紙、長尺紙を手差しにセットする

❶ 手差しトレイの中央にある延長トレイを引き出し、さらに拡張延長トレイを開き出す。

❷ 印刷する面を上に向けて、用紙の後端を手で支えて用紙を手差しトレイにセットする。

- 用紙が垂れ下がるときは手で支えてください。
- 用紙は1枚ずつセットしてください。

❸ 手差し用紙ガイドを用紙に合わせる。

❹ 用紙サイズ設定ダイヤルを「その他」にセットする。

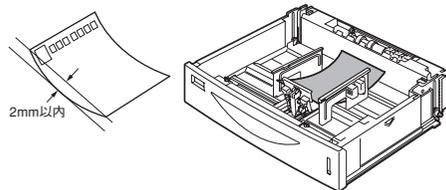
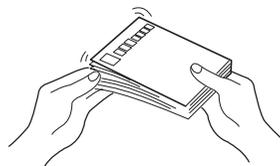
❺ ペーパーサポートを引き出す。

紙づまりを防ぐために、排出された用紙は1枚ずつ受け取ってください。

用紙をセットする時の注意

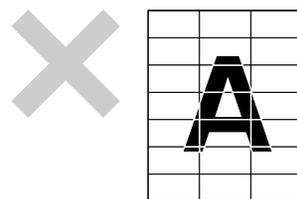
はがき、往復はがき

重要

往復はがきは、折り返しや折り目がついているものを使用しないでください。折れた状態でセットすると、紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

- はがき、往復はがきに反りがあるときは、反りの幅が2mm以内になるように反りを直してください。反りがある用紙をセットする場合は、反りの方向を直して（反っている凸面を下にして）セットしてください。

- 印刷所で印刷を施された官製はがき（年賀状など）には裏写り防止用の白い粉が塗布されていることがあります。このプリンターでこのようなはがきへの印刷を繰り返すと、白い粉によりプリンター内部のローラーの摩擦力が低下し、はがきがうまく送れなくなることがあります。このようなはがきを使用するときは、印刷の前にはがきの両面についている粉を乾いた布などで軽く払ってください。
- はがきをまとめてセットする場合は、はがきを十分さばいてからセットしてください。

- 印刷したはがきは、反りが5mm以内になるように直してください。反りが大きいと郵便番号読取機の処理に不都合が生じます。

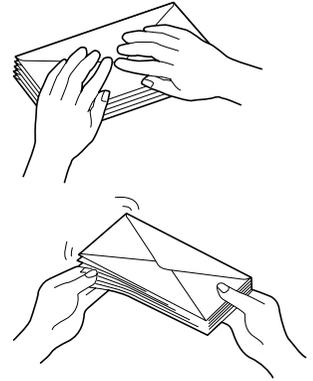
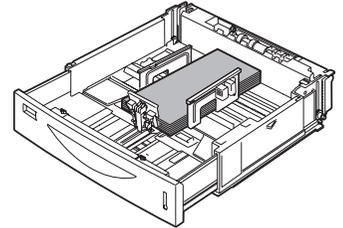
OHPフィルム、ラベル紙

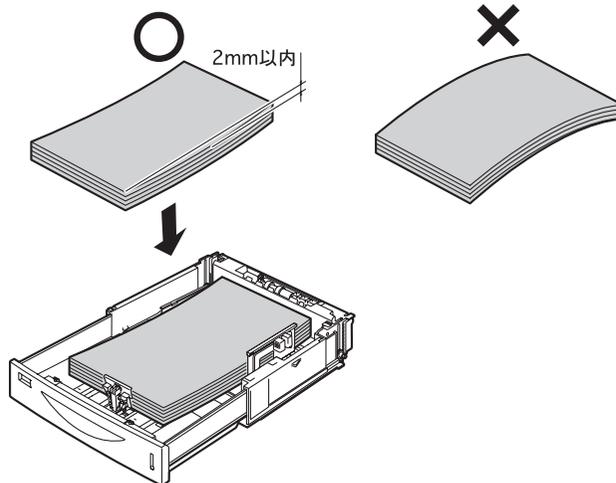
- OHPフィルム、ラベル紙は十分にさばいてからセットしてください。
- OHPフィルムは使用環境、種類によっては静電気が発生し、正常に給紙できないときがあります。その際は、手差しに1枚ずつセットして印刷することをお勧めします。
- ラベル紙は保管状態によっては反りが生じ、正常に給紙できないときがあります。その際は、反りを直して印刷してください。
- ラベル紙への印刷は、ラベルの切れ目部分に文字やイラストがかからないようにしてください。

- ラベル紙に印刷するときは、フェイスアップトレイ（オプション）に排出しないでください。ラベルがはがれてしまいます。

封筒

重要

フラップ（封筒の折り返し部分）面には印刷をしないでください。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障することがあります。

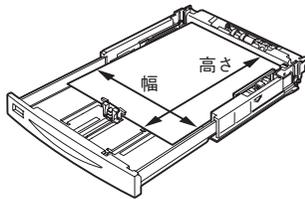
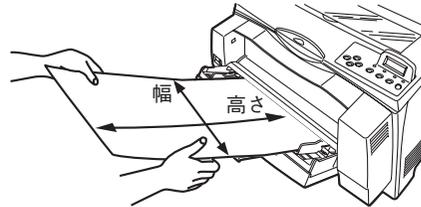
- 封筒は、洋形4号、内カマス、のりなしをご使用ください。ただし封筒の材質によりご使用になれない場合があります。
- 封筒をセットする前に、封筒の束を平らなところに置き、フラップ（封筒の折り返し部分）をきちんと折り曲げてフラップがはね上がらないようにしてください。フラップをきちんと折り曲げない状態でセットすると、用紙サイズエラーになることがあります。
- 封筒の両端を持って、十分さばいてからセットしてください。

- 封筒をセットする場合は、印刷する面を上にして縦方向にセットしてください。

厚紙

- 厚紙に反りがあるときは、反りの幅が2mm以内になるように反りを直してからセットしてください。厚紙をセットするときは、反っている凸面を下にしてセットしてください。

- 厚紙の種類や厚さによっては、反りがなくても正常に給紙できない場合があります。その際は、反りの幅が2mm以内になるように反りを付けてからセットしてください。

定形外用紙、長尺紙

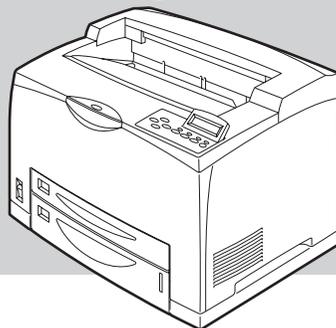
形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、角が直角でない用紙は正常な給紙ができません。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

- 定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認することをお勧めします。
- 紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目などにより正常に印刷されない場合があります。
- 種類、繊維目方向によっては印刷後大きくカールするものがあります。
- 印刷した用紙が正常にスタックされない場合があります。この場合はそのつど用紙を取り除いてください。
- 定形外用紙の用紙サイズについて

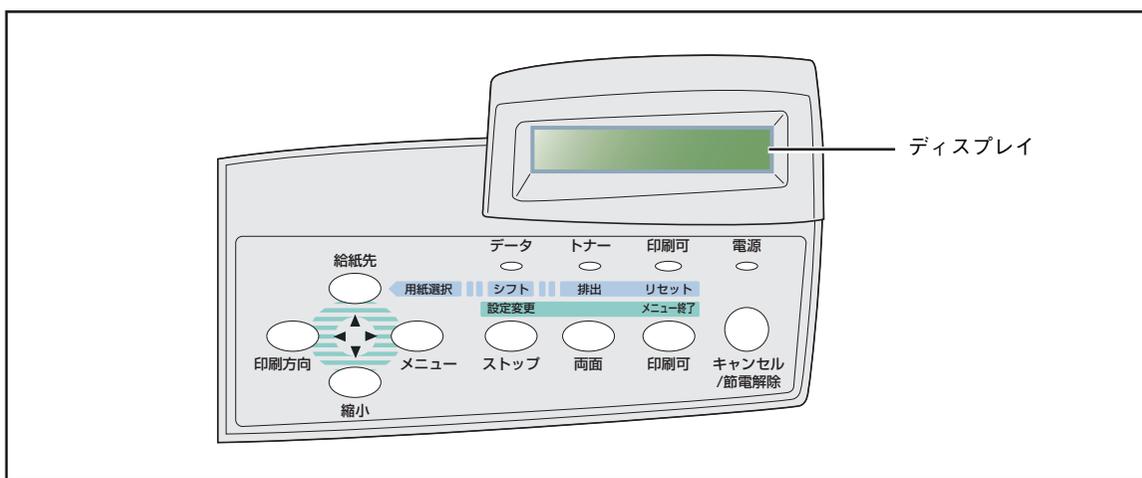
  Windows環境で定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズを設定するとき、幅と高さは図の向きになるように設定してください。

用紙カセットに定形外用紙をセット

手差しに定形外用紙をセット

- 用紙サイズの自動検知について

  ホッパー、MPカセットの用紙サイズが定形外サイズに設定されているときは、［用紙選択］スイッチで「ジドウ」に設定すると、プリンタ本体で自動的に用紙サイズを検知するようになります。

4章
操作パネルについて

この章では、操作パネルやメニューモードなどプリンターの操作の基本的なことについて説明しています。

操作パネルはユーザーがプリンターの状態を見たり、設定を行ったりするためのものです。ここでは主にNPDL（Level2）で使用する時の、操作パネル上の「ディスプレイ」および「ランプ」の表示の意味と、「スイッチ」の使い方について説明します。

ESC/Pエミュレーション、およびプロッターエミュレーションモード時では、一部機能が異なります。詳しくは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「7章　メニューモード」をご覧ください。

操作パネル

ディスプレイ

16桁2行の液晶ディスプレイです。英数字とカナで、プリンターの状態や操作に関する情報を表示します。

用紙送り方法を示す表示
ホッパ：ホッパー*1
MP　：MP
テサシ：手差し*2

用紙サイズまたは縮小／拡大モードを示す表示
- 用紙サイズ
  A3・A4タテ・A4ヨコ・A5・B4・B5・LT*3・ハガキ・ハガキ2*4・フウトウ・テイケイガイ
- 縮小／拡大モード（以下は工場出荷時の表示です。）
  A4→A3・B4→A3・A3→B4・LP*5→B4・A4→B4・B5→B4・A3→A4・B4→A4・B5→A4・LP*5→A4・A4×2・B4→B5・A4→B5・B5×2

印刷方向を示す表示
ポート：ポートレート
ランド：ランドスケープ

ホッパ　　A4ヨコ　　ポート
フツウシ　リョウメン*6　NPDL
*7

用紙種類を示す表示
フツウシ　：普通紙
アツガミ1：厚紙1
アツガミ2：厚紙2
OHP　　　：OHP

動作エミュレーションを示す表示
NPDL　：NPDLモード
ESC/P　：ESC/Pエミュレーションモード
プロッタ：プロッターエミュレーションモード

＊1　ホッパ1：上から1段目のホッパー
　　ホッパ2：上から2段目のホッパー（オプション）
　　ホッパ3：上から3段目のホッパー（オプション）
　　ホッパ4：上から4段目のホッパー（オプション）
＊2　オプションの手差しトレイユニットを取り付けている場合に表示されます。
＊3　“LT”はレターサイズであることを示しています。
＊4　“ハガキ2”は往復はがきであることを示しています。
＊5　“LP”は帳票であることを示しています。
＊6　オプションの両面印刷ユニットを取り付けていて、両面印刷を設定している場合に表示されます。
＊7　下段はセレクト状態（印刷可ランプ点灯）の時のみ表示されます。

ディスプレイの表示

その他の表示内容については7章の「アラーム表示が出ているときは」（140ページ）、「メニューツリー」（106～109ページ）または、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの付録「ディスプレイ表示一覧」をご覧ください。

MultiWriter 3300Nでは、待機時の消費電力を抑えるために節電モードを備えています。節電モード1のときはディスプレイには何も表示されません。節電モードの解除方法については、「節電時のスイッチ機能」（98ページ）を参照してください。

ランプ

印刷可ランプ（緑／赤）

点灯（緑）	プリンターがセレクト状態（印刷データを受信できる状態）になっています。
点滅（赤）	点滅を繰り返し、30秒ごとにブザーが6回ずつ鳴ります。 カセットに用紙がない、カバーが開いているなど、プリンターにエラーが発生している状態を示します。詳細については7章の「アラーム表示が出ているときは」（140ページ）をご覧ください。
消灯	• プリンターがディセレクト状態（印刷データを受信できない状態）になっています。（ただし、I/F設定がECPモード中は印刷データを受信します。） • 節電モード1になっています。

電 源

電源ランプ（緑）

点灯	プリンターの電源がONになっています。
消灯	プリンターの電源がOFFになっています。

データランプ（橙）*

点灯	• プリンター内に印刷データが残っています。 • プリンターはデータを受信中ではありません。
点滅	プリンターが印刷データを受信中です。
消灯	• プリンター内にデータが残っていません。 • プリンターはデータを受信中ではありません。

* I/F設定がECPモード中にディセレクト状態でデータ受信しているときはデータランプは点滅/点灯しません。

トナーランプ（赤）

点灯	EPカートリッジのトナーの残量が少ない、またはEPカートリッジの寿命です。新しいEPカートリッジと交換してください。詳細については6章の「EPカートリッジの交換」（127ページ）をご覧ください。
消灯	• EPカートリッジのトナーが十分にあります。 • 節電モード1になっています。

スイッチ

プリンターの操作パネルには8個のスイッチがあり、それぞれのスイッチは2つまたは3つの機能をもっています。

通常のスイッチ操作
(任意のスイッチを押します。)

印刷可
ディセレクト（消灯）
印刷可

給紙先
印刷方向
メニュー
ストップ
両面
印刷可
キャンセル/節電解除
縮小

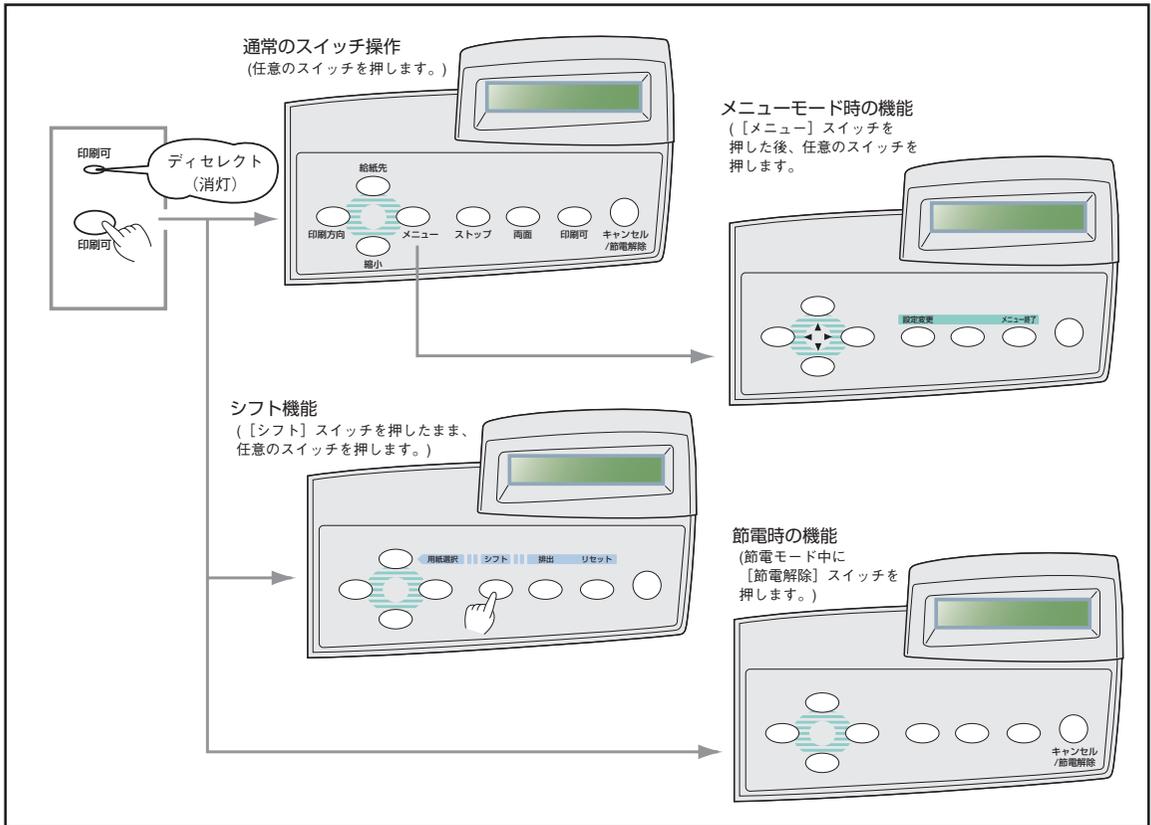
メニューモード時の機能
（［メニュー］スイッチを押した後、任意のスイッチを押します。）

設定変更
メニュー終了

シフト機能
（［シフト］スイッチを押したまま、任意のスイッチを押します。）

用紙選択
シフト
排出
リセット

節電時の機能
(節電モード中に［節電解除］スイッチを押します。)

キャンセル/節電解除

スイッチのモード

通常のスイッチ機能 — [印刷可]スイッチを押し、ディセレクト状態（印刷可ランプが消灯している状態）になって初めて機能します（[ストップ]スイッチ、[キャンセル］スイッチを除く)。

メニューモード時のスイッチ機能 — [メニュー]スイッチを押してメニューモードに入ると働く機能です。

シフト時のスイッチ機能 — [シフト]スイッチを押しながら押すと働く機能です。

節電時のスイッチ機能 — 節電モード時に働く機能です。

- 印刷可ランプが赤に点滅している間はどのスイッチも機能しません。アラームの詳細については7章の「アラーム表示が出ているときは」（140ページ）をご覧ください。
- アプリケーションによっては、スイッチによる設定をアプリケーション側で行えるものもあります。
- 操作パネルにおいて、誤った操作を行った場合は、ブザーが鳴ります。

通常のスイッチ機能

[印刷可] スイッチ

このスイッチはプリンターが初期化中でないとき、およびテスト印刷中でないときに機能します。

データを受信できる状態にする。

スイッチを押すごとにデータを受信できる状態（セレクト状態、印刷可ランプ緑点灯）と受信できない状態（ディセレクト状態、印刷可ランプ消灯）に交互に切り替わります。

[両面] スイッチ

このスイッチはオプションの両面印刷ユニットを取り付けている場合で、印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

両面印刷モードにする（両面印刷モードを解除する）。

このスイッチを押すたびに両面印刷モードの設定と解除が切り替わります。次の場合、ディスプレイに「リョウメン」と表示されていても、印刷は片面で行われます。

- 用紙サイズがはがき、往復はがき、封筒の場合
- 用紙種別で「OHP」を指定した場合
- 幅99mm以下、長さ139mm以下、または432mm以上の定形外用紙および長尺紙に印刷した場合

[ストップ] スイッチ

このスイッチは常に機能します。

データの受信と印刷を停止し、ディセレクト状態にする。

印刷中にこのスイッチを押すと、印刷中の用紙を排出した後、一時的に印刷を停止します。受信済みのデータは、プリンター内に残ったままになります。
印刷を再開するときは、[印刷可]スイッチを押します。

アラーム音を止める。

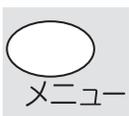
アラームが発生してブザーが鳴っているときに、このスイッチを押すとアラーム音が止まります。

[キャンセル] スイッチ

このスイッチはデータランプが点灯または点滅しているときに機能します。

印刷中のデータをキャンセルする

印刷中にこのスイッチを2秒以上押し続けるとディスプレイに「キャンセルチュウ」と表示し、印刷中および受信中のデータの印刷を中止します。ただし、印刷途中のページは印刷されます。

- 印刷ジョブ単位でデータを消去します。
- ディスプレイの下段にユーザー名などが表示されている場合、表示されているジョブがキャンセルの対象になります。このスイッチを押している間にディスプレイの表示が他のユーザー名などに切り替わった場合は、ただちにスイッチから手を離してください。次のジョブがキャンセルされてしまうことがあります。

[メニュー] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

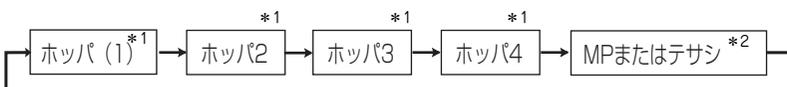
メニューモードに入る。

このスイッチを押すと、メニューモードに入ります。

[給紙先] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

給紙先を選択する

このスイッチを押すたびに給紙するホッパー/MPまたは手差し（オプション）を次のように切り替えます。（選択された給紙先がディスプレイに表示されます。）

このとき、用紙サイズの表示は次のようになります。

- 給紙先をホッパー／MPに設定した場合
  ［用紙選択］スイッチで「ジドウ」に設定されていると、ホッパーまたはMPにセットされている用紙サイズが表示されます。「ジドウ」以外に設定されていると［用紙選択］スイッチで選択した用紙サイズが表示されます。
- 給紙先を手差し（オプション）に設定した場合
  用紙サイズ設定ダイヤルが「その他」に設定されていると［用紙選択］スイッチで選択した用紙サイズが表示されます。

＊1　増設ホッパー装着時のみ表示されます。

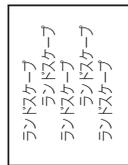
＊2　オプションの手差しトレイユニット装着時のみ表示されます。

[印刷方向] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

印刷方向をポートレートまたはランドスケープに選択する。

このスイッチを押すごとに、ポートレートとランドスケープを交互に切り替えます。

用紙の置き方に関係なく、縦長にした内容を印刷するときはポートレートを、横長にした内容を印刷するときはランドスケープを指定します。選択されている印刷方向は、ディスプレイに表示されています。

[縮小] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。また、選択されている用紙サイズがA3、A4、B4、B5のときに機能します。

チェック

- アプリケーションによっては縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。
- 印刷データの前に用紙サイズの指定コマンド（FS f c1 c2 c3）によってA3、B4、または帳票サイズが指定されており、ホッパーにA4サイズの用紙が入っている場合は自動的に縮小して印刷します。詳しくは別売の「NPDL（Level2）リファレンスマニュアル」をご覧ください。
- 縮小を行った場合、座標などの数値の丸め誤差により、縮小しない場合と印刷結果が異なる場合があります。

縮小／拡大モードの設定をする。

このスイッチを押すと以下のような縮小／拡大印刷ができます。印刷する用紙サイズによって、以下の順序でモード選択されます。

- A3サイズに印刷する

A3 → A4→A3 → B4→A3 → A3 →（繰り返し）

- A4サイズに印刷する

A4 → B4→A4 → LP→A4 [＊1] → A3→A4 → A4×2 [＊2] → B5→A4 → A4 →（繰り返し）

- B4サイズに印刷する

B4 → LP→B4 [＊1] → A3→B4 → B5→B4 → A4→B4 → B4 →（繰り返し）

- B5サイズに印刷する

B5 → A4→B5 → B4→B5 → B5×2 [＊3] → B5 →（繰り返し）

プロッターエミュレーションモードで使用する場合は縮小／拡大モードの設定が異なります。詳しくは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「7章　メニューモード」をご覧ください。

＊1　LP は帳票サイズ（136 桁× 66 行）を意味します。

＊2　A4 × 2 は A4 サイズの 2 ページ分のデータを A4 用紙 1 枚に印刷します。

＊3　B5 × 2 は B5 サイズの 2 ページ分のデータを B5 用紙 1 枚に印刷します。

メニューモード時のスイッチ機能

[メニュー終了] スイッチ

メニューモードを終了させる。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューモードを終了します。

[設定変更] スイッチ

設定変更したい項目（レベル3）を選択する。

メニューモード時でメニューツリーのレベル3の項目を選択中にこのスイッチを押すと、任意の項目の設定を変更することができます。
なお、メニューモードのレベルについては、「メニューツリー」（106 ～109 ページ）を参考にしてください。

[▶] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[→]スイッチとして機能）。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの次のレベル（レベル2またはレベル3）の項目を選択することができます。

[▲] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[↑]スイッチとして機能）。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

[◀] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[←]スイッチとして機能）。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーのひとつ前のレベル（レベル1またはレベル2）の項目を選択することができます。

[▼] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[↓]スイッチとして機能）。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

メニューツリーの詳細については「メニューツリー」（106 ～109 ページ）をご覧ください。

シフト時のスイッチ機能

シフト時のスイッチを機能させるためには、［シフト］スイッチを押したまま、任意のスイッチを押します。

[シフト] スイッチ

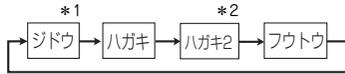
このスイッチが押されている間、［給紙先］スイッチ、［両面］スイッチ、および[印刷可]スイッチの3つは、それぞれのスイッチの右または上に表記された機能「用紙選択」、「排出」、「リセット」が有効となります。

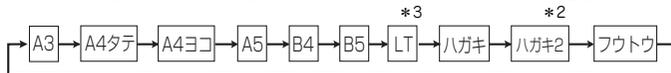
このスイッチを押すと、自動的に印刷可ランプが消灯します。

[用紙選択] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

選択している給紙先の用紙サイズを変更する

ホッパーまたはMP給紙を選択中は、このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。

このスイッチで選択した用紙サイズは［用紙メニュー］の［用紙サイズ設定］に反映されます。

手差し給紙を選択中は、用紙サイズ設定ダイヤルが「その他」に設定されている場合、このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。

＊1　「ジドウ」に設定すると、プリンタ本体で自動的に用紙サイズを検知するようになります。
＊2　「ハガキ 2」は「往復はがき」を意味します。
＊3　「LT」は「レター」を意味します。

[排出] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯していて、データランプが点灯している（ディスプレイに“データガノコッテイマス”と表示されている）ときに機能します。アラーム中および用紙がない状態では機能しません。

プリンターに残っている未印刷データをすべて印刷する。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを押すとプリンターに残っているデータをすべて印刷出力します。ただし、インタフェース設定がECPモードでディセレクト中に受信したデータは排出されません。

プリンター内にデータを残したまま次の印刷を行うと、プリンターは残っているデータと次の印刷データを重ねて印刷する場合があります。

[リセット] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯しているときに機能します。アラーム中も機能します。

プリンターを初期状態にする。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを2回続けて押すと、ディスプレイに“リセットジッコウ”と表示され、未印刷データは消失し、プリンターは初期状態（電源スイッチON直後の状態）になります。リセット後、ブザーが2回鳴ります。

リセットすると、スイッチを使って変更したプリンターの設定も、初期状態（電源ON直後の状態）に戻ります。ただし、メニュースイッチを使って変更したメニューモードの内容はリセットされません。詳細は添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの付録の「NPDLの初期状態」をご覧ください。

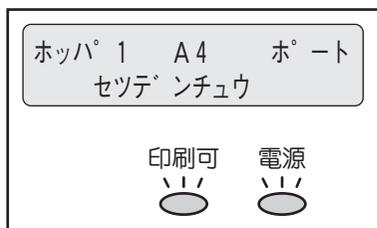
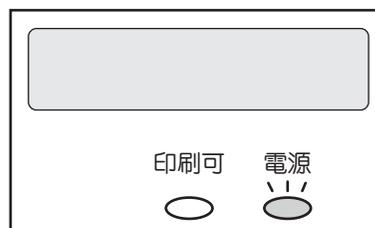
節電時のスイッチ機能

/節電解除

[節電解除] スイッチ

このスイッチは、節電モード中に機能します。

プリンターの節電状態を解除する

プリンターが節電モード中（節電モード0、節電モード1）に、このスイッチを押すと節電状態が解除されます。節電モードについては、活用マニュアル7章の「メニューの詳細」を参照してください。

節電モード0

節電モード1

メニューモード

メニューモードでは、プリンターの操作パネル上のスイッチを使ってプリンターのさまざまな設定を変更することができます。

メニューモードで変更した設定内容は電源をOFFにしても変わりません。

メニューモード設定項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧とそれらの簡単な説明を以下に示します。これらの設定はメモリースイッチからも設定できます。各設定方法で設定できる項目の一覧も以下に示します。
詳細については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「7章 メニューモード」を参照してください。

メニューモード設定項目一覧

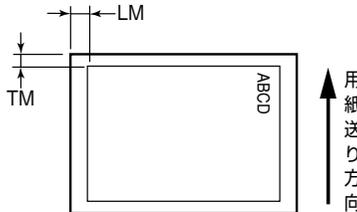
○：有効　×：無効

設定項目		説　明	メモリースイッチ（MSW）	ESC/Pエミュレーション	プロッターエミュレーション
テスト印刷メニュー	ステータス印刷	ステータス印刷を行います。ステータス印刷では、オプションの接続やメモリースイッチの状態など、各プリンターの状態が印刷されます。	×	○	○
	連続印刷	連続印刷を行います。	×	○	○
	16進ダンプ印刷	16進ダンプ印刷を行います。	×	○	○
	LANステータス印刷	LANインターフェース（オプションのLANボード含む）のコンフィグレーションページ（LANステータス）を印刷します。	×	○	○
	通信ログ印刷	LANインターフェース（オプションのLANボード含む）の通信ログを印刷します	×	○	○
印刷設定メニュー	コピー枚数設定	コピー枚数は“01”から“20”まで設定できます。	×	○	○
	トナー節約機能	トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
	印字濃度	印字濃度を5段階の中から設定できます。	×	○	○
用紙メニュー	ホッパ初期設定	電源投入時およびリセット時のホッパー、MPまたは手差し（オプション）設定を選択します。	×	○	○
	用紙種別	ホッパー、MP、または手差し（オプション）で使用する用紙の種別を選択します。	×	○	○
	定形外用紙＊1	手差し（オプション）で定形外用紙を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
	用紙サイズ設定	ホッパーおよびMPの用紙サイズを設定します。	×	○	○

＊1　オプションの手差しトレイユニットを取り付けている場合のみ表示されます。

メニューモード設定項目一覧

○：有効　×：無効

設定項目		説　明	メモリースイッチ（MSW）	ESC/Pエミュレーション	プロッターエミュレーション
用紙メニュー	停止確認	定形外用紙に印刷するとき、指定している用紙と異ったサイズの用紙がセットされているときに、アラームを表示して印刷を中止するか、そのまま印刷するかを選択します。	×	×	×
	リレー給紙設定	リレー給紙機能を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
	ジョブセパレート機能	ジョブセパレート機能を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
	排出先設定＊1	排出先を選択します。	×	○	○
	リレー排紙設定＊1	リレー排紙機能を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
	オフセット排紙機能＊1	オフセット排紙機能を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
印字位置設定メニュー	ホッパ微調整	ホッパー、MP、手差し、両面印刷時の表面・裏面の印刷位置を調整します。 LM　TM　ABCD　用紙送り方向	×	○	○
	ホッパ1微調整＊2		×	○	○
	ホッパ2微調整＊2		×	○	○
	ホッパ3微調整＊2		×	○	○
	ホッパ4微調整＊2		×	○	○
	MP微調整		×	○	○
	手差し微調整＊3		×	○	○
	表面微調整＊4		×	○	○
	裏面微調整＊4		×	○	○
両面印刷メニュー＊4	初期設定	電源投入時およびリセット時の印刷モードを両面印刷にするかしないかを選択します。	×	○	○
	綴じしろ	綴じしろを付加する位置を設定します。	×	○	○
	余白	綴じしろを付加する量を設定します。	×	○	○
	クリップ	印刷範囲からはみ出したデータをクリッピングするか、自動改行/改ページするかを設定します。	×	○	○
	奇数ページ	奇数ページ原稿の最終ページに対する印刷方法を設定します。	×	○	○

＊1　オプションのオフセットトレイユニットを取り付けている場合のみ表示されます。

＊2　増設ホッパー装着時のメニューです。

＊3　オプションの手差しトレイユニットを取り付けている場合のみ表示されます。

＊4　オプションの両面印刷ユニットを取り付けている場合のみ表示されます。

メニューモード設定項目一覧（続き）

○：有効　×：無効

設定項目		説　明	メモリースイッチ（MSW）	ESC/Pエミュレーション	プロッターエミュレーション
運用メニュー	節電機能	節電機能を使用するかしないかを設定します。	○	○	○
	節電時間設定＊1	節電するまでの時間を設定します。	×	○	○
	自動排出＊2	自動排出の有効／無効、および設定時間を選択します。	×	○	○
	メモリー設定＊3	プリンターメモリーの使用方法を選択します。	×	○	○
	総印字枚数＊4	プリンターの総印字枚数を表示します。	×	○	○
	解像度設定	解像度の設定をします。	○	○	○
	プロッタ縮小	プロッターモードのみ使用可能な縮小機能を設定します。	×	×	○
フォントメニュー	1バイト系ゼロ	1バイト系ゼロの字体を切り替えます。	○	○	×
	2バイト系ゼロ	2バイト系ゼロの字体を切り替えます。	×	○	×
	ANK	1バイト系コードのフォントのANK文字を選択します。	×	○	×
	漢字	標準フォント（2バイト文字）を選択します。	×	○＊5	×
	文字セット	2バイト系文字セットを選択します。	×	1983固定	×
	国別	各国文字セットを選択します。	○	○	×
動作メニュー	動作エミュレーション	[インタフェース1]、[インタフェース2]、[USB]で個別にプリンターの動作エミュレーションを設定します。	×	○	○
	動作自動切り替え	エミュレーションの自動切り替えを設定します。	×	○	○
NPDL設定メニュー	A4ポートレート桁数	用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数を設定します。	○	○	×
	エミュレーション	ページプリンタモードか201PLエミュレーションモードかを選択します。	○	×	×
	136桁モード設定	136桁モードの有効・無効を選択します。有効のときは、用紙位置微調整の方向と量を選択します。	○	○＊6	×

＊1　節電機能有効時のみ表示されます。

＊2　コンピューターに負荷がかかっている場合やネットワークのデータ量が多い場合、自動排出までの待ち時間（最大 30 秒）以上にデータ送信が停止することがあります。この場合、途中で用紙が排出されるため正常な印刷結果が得られませんので、自動排出の設定を無効にする必要があります。

＊3　64MB 以上のメモリーを増設した時の初期設定は異なります。

＊4　表示のみで設定変更はできません。

＊5　「ミンチョウ」「ゴシック」は ESC/P コマンドの「FS k（漢字の書体選択）」によって切り替えることができます。

＊6　ESC/P エミュレーションでは常に 136 桁モードになります。

メニューモード設定項目一覧（続き）

○：有効　×：無効

設定項目		説　明	メモリースイッチ（MSW）	ESC/Pエミュレーション	プロッターエミュレーション
プロッター設定メニュー		ペンの太さの選択、原点位置の選択、SPコマンドによる排出などの選択をします。	×	×	○
I/F設定メニュー	インタフェース1[＊1]	動作双方向の設定（ニブルモード、ECPモード、なし）とLANアダプターのIPアドレス、サブネットマスクを設定します。	×	○	○
	インタフェース2	LANインターフェースのIPアドレス、サブネットマスクなど[＊2]を設定します。	×	○	○
設定初期化メニュー	メニュー初期化	メニュー項目を初期設定に戻します。	×	○	○
	LAN初期化	LAN設定を初期設定に戻します。	×	○	○
	全初期化	メニュー項目とLAN設定を初期設定に戻します。	×	○	○
	呼び出し	設定記憶で記憶されている内容を呼び出します。	×	○	○
	記憶	メニューモード内の各種機能設定と、[用紙選択]スイッチで設定した用紙サイズをまとめて記憶します。	×	○	○
メモリースイッチメニュー		メニューモードの中で比較的変更頻度の低いものがまとめられています。（MSW1～10）	104～105ページ参照		

＊1　I/F設定を変更した場合は、プリンターの電源を再投入する必要があります。
また、I/F設定メニューの動作双方向が「ECPモード」に設定されているときにIPアドレスとサブネットマスクが有効になります。
対応するLANアダプターは型番PR-NP-02T2、型番PR-NP-03TR2です。

＊2　設定項目は、標準のLANインターフェースとオプションの無線LANボードとで異なります。詳しくは、「メニューツリー」（106～109ページ）を参照してください。

メモリースイッチの設定変更のしかた

ここでは、節電モードを使用しない場合のメモリースイッチの設定変更を例にして説明します。対象となるメモリースイッチは「6-7」です。

❶ **プリンターの電源をONにする。**

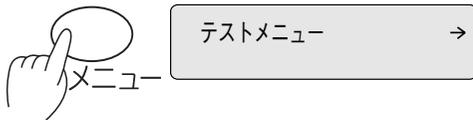
❷ **[印刷可]スイッチを押して、ディセレクト状態にする。**

印刷可ランプが消灯します。

❸ **データランプが点灯していないことを確認する。**

点灯している場合は[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

❹ **[メニュー]スイッチを押す。**

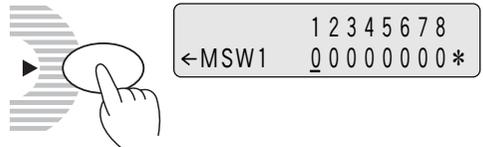
プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　→”と表示します。

❺ **[▲]スイッチを1回押す。**

ディスプレイに“メモリスイッチメニュー　→”と表示します。

メモリスイッチメニュー →

❻ **[▶] スイッチを1回押す。**

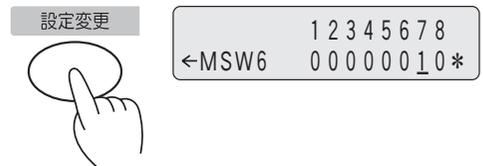
MSW1が表示されます。

```
        12345678
←MSW1   00000000*
```

❼ **[▲]スイッチ、または[▼]スイッチを押して、MSW6を表示させる。**

```
        12345678
←MSW6   00000000*
```

❽ **[▶]スイッチを6回押して、カーソルをMSW6-7に移動する。**

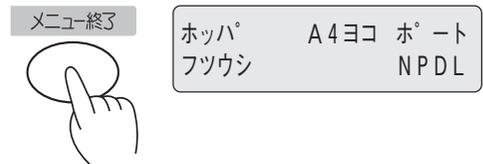
```
        12345678
←MSW6   00000000*
```

❾ **[設定変更]スイッチを1回押して、MSW6-7を“1”に変更する。**

```
        12345678
←MSW6   00000010*
```

❿ **[メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了する。**

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示に戻ります。

```
ホッパ゜     A4ヨコ ポ゜ート
フツウシ          NPDL
```

メモリースイッチの内容

メモリースイッチは1か0を選択することによって、他のメニューと同じように様々な機能を設定することができます。メモリースイッチは1-1から10-8まであります（未使用のスイッチもあります）。表中の太文字は工場出荷時の設定を示しています。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容

○：有効　×：無効

番号	機　能	0	1	ESC/Pモードでの動作	プロッターモードでの動作
1-1	各国文字の切り替え	3つのスイッチの1／0の組み合わせにより、5か国語の文字を切り替えます。（活用マニュアルの7章参照） **すべて0（日本語）**		○	×
1-2					
1-3					
1-4	（未使用）			−	−
1-5	DC1、DC3の有効／無効の切り替え	**有効**	無効	○	×
1-6	自動復帰改行の切り替え	**復帰改行**	復帰のみ	×	×
1-7	印刷指令の切り替え	**CRのみ**	CR＋その他	×	×
1-8	CR機能の切り替え	**復帰のみ**	復帰改行	○	×
2-1	1バイト系コードのゼロの字体の切り替え	**0**	ø	○	×
2-2	エミュレーションモードの切り替え	**201PLエミュレーション**	ページプリンター（NPDL）	×	×
2-3	グラフィックモードの切り替え	**ネイティブモード**	コピーモード	×	×
2-4〜2-5	（未使用）			−	−
2-6	7ビット／8ビットデータの切り替え	**8ビット**	7ビット	×	×
2-7	A4ポートレート印刷桁数の切り替え	**78桁**	80桁	○	×
2-8	B4→A4縮小時の縮小率の切り替え	**4/5倍**	2/3倍	○	×
3-1	レフトマージン量の設定 または用紙位置微調整量の設定（136桁モード）	4つのスイッチの1／0の組み合わせにより、0インチから15/10インチまでの範囲で設定します。（1/10インチ単位）（活用マニュアルの7章参照） **すべて0（0インチ）**		○	×
3-2					
3-3					
3-4					
3-5	用紙位置微調整方向の設定（136桁モード）	**左**	右	○	×
3-6	用紙位置の設定（136桁モード）	**左端合わせ**	中央合わせ	○	×
3-7	136桁モードの有効／無効の切り替え	**無効**	有効	×*	×
3-8	ブザー機能の有効／無効の切り替え	**有効**	無効	○	○
4-1	物理解像度の設定	**600dpi**	400dpi	○	○
4-2	（未使用）			−	−
4-3	ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え	**初期化する**	初期化しない	×	×
4-4	FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え	**出力する**	出力しない	×	×
4-5	ランドスケープ方向の切り替え	**反時計回り**	時計回り	○	○
4-6〜4-8	（未使用）			−	−

*　ESC/Pエミュレーションでは常に136桁モードになります。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容（続き）

○：有効　×：無効

番号	機　能	0	1	ESC/P モードでの動作	プロッターモードでの動作
5-1	同期コードの無効／有効の切り替え*	**無効**	有効	○	○
5-2〜5-8	（未使用）			–	–
6-1	SETを使用する／しないの切り替え	**使用する**	使用しない	○	○
6-2	メモリーオーバー時の動作指定	**停止する**	解像度を下げて印刷	○	○
6-3〜6-6	（未使用）			–	–
6-7	節電機能を使用する／しないの切り替え	**使用する**	使用しない	○	○
6-8	（未使用）			–	–
7-1	データストローブ信号のデータラッチタイミング[インタフェース1]	**前縁ラッチ**	後縁ラッチ	○	○
7-2〜7-6	（未使用）			–	–
7-7	FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを表示する／しないの切り替え	**表示する**	表示しない	×	×
7-8	FS fコマンドでの自動縮小をする／しないの切り替え	**自動縮小する**	自動縮小しない	×	×
8-1 8-2	ビジィアクノリッジ（BUSY－$\overline{\text{ACK}}$）のタイミング[インタフェース1] （組み合わせとタイミングについては活用マニュアルの7章参照）	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、BUSY－$\overline{\text{ACK}}$のタイミングを切り替えます。 **タイミングA**（8-1：0、8-2：0）		○	○
8-3 8-4	アクノリッジ（$\overline{\text{ACK}}$）の幅[インタフェース1] （組み合わせとタイミングについては活用マニュアルの7章参照）	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、$\overline{\text{ACK}}$の幅を切り替えます。 **1μs**（8-3：0、8-4：0）		○	○
8-5〜8-8	（未使用）			–	–
9-1〜9-6	（未使用）			–	–
9-7	印刷向き180度回転	**無効**	有効	○	○
9-8	（未使用）			–	–
10-1 〜10-8	（未使用）			–	–

*　本スイッチを変更した場合は、プリンターの電源を再投入してください。

メニューツリー

次にメニューモードを図式的に表したメニューツリーを示します。（下線部分は出荷時の設定値です。）
「＊」で示す補足的な説明は109ページにあります。詳しくは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの活用マニュアル「7章 メニューモード」を参照してください。

A
リョウメンインサツメニュー
＊10
初期設定：OFF／ON
綴じ代　：ロング1、ショート1、
ロング2、ショート2
余白　　：0mm ～ 20mm
クリップ：OFF／ON
キスウページ：片面、両面
ウンヨウメニュー
セツデンキノウ
＊11
無効、有効
セツデンジカン　セッテイ
＊12
5分 ～ 10分 ～ 90分
ジドウ　ハイシュツ
無効、5秒、15秒、30秒
メモリ　セッテイ
＊13
標準、電子ソート優先
ソウインジマイスウ
000000
カイゾウド　セッテイ
＊14
400dpi、600dpi
プロッタ　シュクショウ
無効、有効
フォントメニュー
1バイト系ゼロ＊15：0、Ø
2バイト系ゼロ　：0、Ø
ANK：標準、イタリック、クーリエ、ゴシック
漢字：明朝、ゴシック
文字セット：JIS1978、JIS1983、JIS1990
国別＊16：日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、
スウェーデン
ドウサメニュー
ドウサエミュレーション
インタフェース1：NPDL、ESC/P、プロッタ
インタフェース2：NPDL、ESC/P、プロッタ
USB：NPDL、ESC/P、プロッタ
ドウサジドウ　キリカエ
インタフェース1：OFF／ON
インタフェース2：OFF／ON
USB：OFF／ON
タイムアウト＊17：5秒、15秒、30秒
NPDLセッテイメニュー
A4ポートレート　ケタスウ
＊18
78桁／80桁
エミュレーション
＊19
201エミュレーション、ページプリンターモード
136ケタモード　セッテイ
＊20
136桁モード＊21：無効、有効
用紙位置＊22　：左、中央
微調整＊23　　：0 ～ 左15 ～ 右15
B

4 操作パネルについて

B
プロッタセッテイメニュー
ペンハバ　セッテイ
ペン1：0.1mm ～ 2.0mm
ペン8：0.1mm ～2.0mm
ゲンテンイチ　セッテイ
左下、中央
ニンイスケール　セッテイ
10% ～ 100% ～ 200%
カイテンカクド　セッテイ
0°～ 270°
センタンケイジョウセッテイ
なし、四角、三角、丸
セツゾクケイジョウ
なし、マイタ、マイタベベル、三角、丸、ベベル
マイタリミット　セッテイ
なし、1.0倍～5.0倍
SPコマンド　ハイシュツ
OFF／ON
ミラー　セッテイ
OFF／ON
オーバレイ　セッテイ
OFF／ON
NRコマンドドウサ
オンライン、オフライン
カルーゼルバンゴウ
1 ～ 5
カクチョウモード
無効、有効
I／Fセッテイメニュー
インタフェース1　セッテイ
双方向設定*24　：ニブル、ECP、なし
IPアドレスI/F1*25　：011.022.033.044
サブネットマスクI/F1*25　：255.000.000.000
インタフェース2　セッテイ
IPアドレスI/F2*26　：011.022.033.044
サブネットマスクI/F2*26　：255.000.000.000
ゲートウェイアドレス*26　：000.000.000.000
DHCP　：OFF／ON
イーサネットセッテイ*27　：自動、100BASE フル、100BASE ハーフ、10BASE フル、10BASE ハーフ
ネットワーク名*28　：NECPRWRGRP
ネットワークタイプ*28　：ピアツーピアグループ、アクセスポイント、レジデンシャルG/W
アクセスセイゲン　：OFF／ON
セッテイショキカメニュー
メニューショキカジッコウ
LANショキカ　ジッコウ
ゼンショキカ　ジッコウ
ヨビダシ　ジッコウ
キオク　ジッコウ
メモリスイッチメニュー
MSW1：　0 0 0 0 0 0 0 0
MSW2：　0 0 0 0 0 0 0 0
MSW3：　0 0 0 0 0 0 0 0
MSW4：　0 0 0 0 0 0 0 0
MSW5：　0 0 0 0 0 0 0 0
MSW6：　0 0 0 0 0 0 0 0
MSW7：　0 0 0 0 0 0 0 0
MSW8：　0 0 0 0 0 0 0 0
MSW9：　0 0 0 0 0 0 0 0
MSW10：　0 0 0 0 0 0 0 0

＊1　装着されているホッパーのみ表示されます。ホッパーを増設していない場合は“ホッパ 1”が“ホッパ”と表示されます。
＊2　オプションの手差しトレイユニットが取り付けられているときのみ表示されます。そのときは MP は表示されません。
＊3　オプションの手差しトレイユニットが取り付けられているときのみ表示されます。
＊4　“ホッパ　リレー”はホッパーを増設していないとき表示されます。表示されるホッパー 1 ～4 はオプションの増設ホッパーを装着している場合に表示されます。
＊5　オプションのオフセットトレイユニットが装着されているときのみ表示されます。
＊6　ホッパーを増設していないときのみ表示されます。
＊7　オプションの増設ホッパーを 1 段以上装着しているときのみ表示されます。
＊8　オプションの増設ホッパーを 2 段以上装着しているときのみ表示されます。
＊9　オプションの増設ホッパーを 3 段装着しているときのみ表示されます。
＊10　オプションの両面印刷ユニットが取り付けられているときのみ表示されます。
＊11　MSW6-7 と同期します。
＊12　「運用メニュー」の「節電機能」が有効のときのみ表示されます。
＊13　メモリーを増設すると、工場設定値が「電子ソート優先」に変わります。
＊14　MSW4-1 と同期します。
＊15　MSW2-1 と同期します。
＊16　MSW1-1 ～ MSW1-3 と同期します。
＊17　動作自動切り替えで、いずれかのインターフェースの設定が ON のときのみ表示されます。
＊18　MSW2-7 と同期します。
＊19　MSW2-2 と同期します。
＊20　201 エミュレーションモード時のみ表示されます。
＊21　MSW3-7 と同期します。
＊22　136 ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-6 と同期します。
＊23　136 ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-1 ～ MSW3-5 と同期します。
＊24　「双方向設定」の変更を有効にするためには、プリンターの電源を再投入する必要があります。
＊25　オプションの LAN アダプターが装着されていて、「インターフェース設定メニュー」の「双方向設定」が「ECP」に設定されているときのみ表示されます。
＊26　DHCP が ON の場合は DHCP で取得したアドレスが表示されます。この時、IP アドレスとサブネットマスク、ゲートウェイアドレスの入力はできません。
＊27　標準の LAN インターフェースが有効時に表示されます。
＊28　無線 LAN ボード（型番 PR-WLX-13）を取り付けている場合のみ表示されます。

リレー給紙の設定

リレー給紙とは、印刷を行っている時に給紙先の用紙がなくなった場合に用紙がセットされている別の給紙先に自動的に切り替える機能です。この機能を利用するためには同じサイズ、同じ用紙種別および、同じセット方向（A4の場合のみ）の用紙がホッパー、ＭＰ、手差し（オプション）、もしくは増設ホッパーにセットされていて、プリンターのリレー給紙設定を有効にする必要があります。

用紙サイズについて知っておきたいこと

- 定形外用紙への印刷を行う設定になっている給紙口と定形用紙への印刷を行う設定になっている給紙口の用紙サイズがディスプレイ表示上同じでも、同じ用紙サイズと見なしません。
  定形外用紙への印刷を行う設定とは、手差しから給紙の場合で、［用紙メニュー］ー［定形外用紙］が［ON］に設定されている状態のことです。
- A4用紙サイズをセットした場合は、用紙のセット方向を同じにする必要があります。

リレー給紙機能を使うには次のステップで設定する必要があります。

Step 1　リレー給紙を有効にする
Step 2　給紙方法を設定する

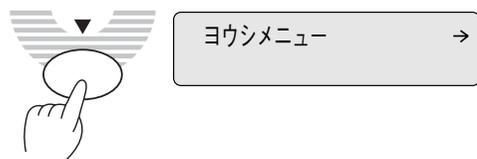
Step 1　リレー給紙を有効にする

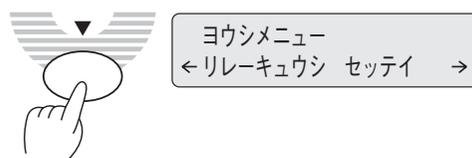
リレー給紙を有効にするために、プリンターの設定を行います。

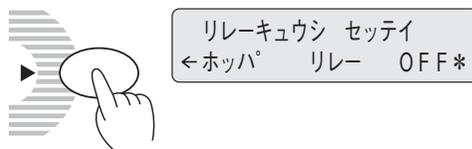
❶ **メニューモードに入る。**

［印刷可］スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、［メニュー］スイッチを押して“テストメニュー　　→”を表示させせます。

❷ **［▼］スイッチを2回押す。**

ディスプレイに“ヨウシメニュー　　→”と表示します。

❸ **［▶］スイッチを1回、［▼］スイッチを数回押す。**

ディスプレイに“リレーキュウシセッテイ”と表示します。

❹ **［▶］スイッチを1回押す。**

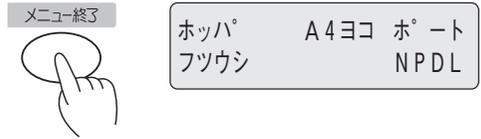
ホッパーのリレー給紙設定が表示されます。

❺ **［▼］スイッチを押してリレー給紙設定させるホッパー、MPまたは手差しを表示させ、［設定変更］スイッチを押して、“リレーキュウシ”をONにする。**

```
 リレーキュウシ セッテイ
←MP     リレー  ON ＊
```

リレー給紙させるホッパー、MPまたは手差しのすべてを“リレーキュウシ”ONにしてください。

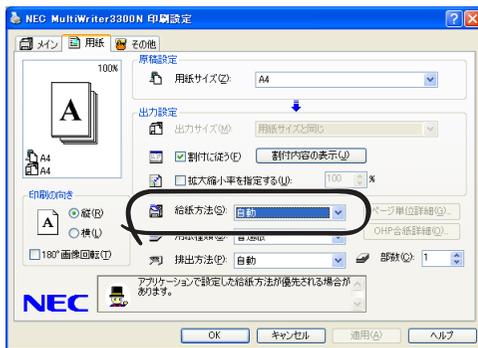
❻ **［メニュー終了］スイッチを押して、メニューモードを終了する。**

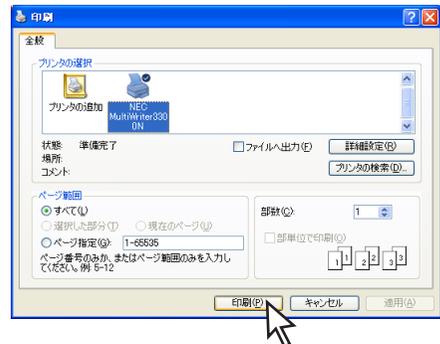
プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示に戻ります。

```
ホッパ゜     A4ヨコ ポ゜ート
フツウシ           NPDL
```

Step 2 給紙方法を設定する

印刷を開始するときに［給紙方法］で［自動］を選択します。

❶ **プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの［用紙］シートを開く。**

❷ **給紙方法が［自動］になっていることを確認する。**

プリンタードライバーの給紙方法を確認するには、5章の「印刷の詳細設定（プロパティダイアログボックスの開き方）」（117ページ）を参照してください。

❸ **［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、［印刷］をクリックして印刷する。**

リレー排紙の設定

リレー排紙とは、オプションのオフセットトレイユニットを装着すると利用できる機能です。この機能をONにするとスタッカーが用紙で一杯になった場合、排出先が他のスタッカー（スタッカー⇔オフセットトレイ）に自動的に切り替わります。排出先の初期設定はメニューモードの［排出先設定］で行います。

オフセットトレイに排出できる用紙は以下のとおりです。

用紙サイズ：　A4、A5、B5、レター、はがき、往復はがき、封筒、
　　　　　　　定形外用紙（幅77～304mm×長さ127～297mm）
用紙種別：　　普通紙、厚紙1、OHP

✔チェック

- 排紙できない用紙サイズの用紙は、標準のスタッカーに排出されます。また、排出先がオフセットトレイに切り替わった後に、排出できない用紙サイズの用紙への印刷を行った場合、以降の排出先は標準のスタッカーに切り替わります。
- リレー排紙機能が有効であっても、オフセットトレイに排出できない用紙の印刷を行った場合、その用紙は標準のスタッカーにのみ排出され、排出先は切り替わりません。
- 両面印刷中に標準のスタッカーがいっぱいになった場合、オフセットトレイへのリレー排紙は行いません。

リレー排紙機能を使うには次のステップで設定する必要があります。

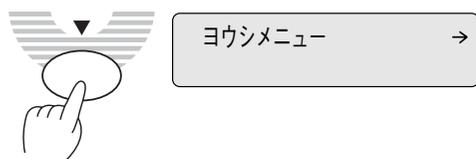
Step 1　排出先を設定する
Step 2　リレー排紙を有効にする
Step 3　排出方法を設定する

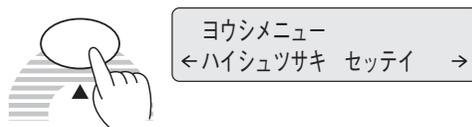
Step 1　排出先を設定する

❶ メニューモードに入る。

［印刷可］スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、［メニュー］スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させます。

❷ ［▼］スイッチを2回押す。

ディスプレイに“ヨウシメニュー　→”と表示します。

❸ ［▶］スイッチを1回、［▲］スイッチを3回押す。

ディスプレイに“ハイシュツサキセッテイ”と表示します。

❹ ［▶］スイッチを1回押す。

排出先として“スタッカ”または“オフセットトレー”が表示されます。

❺ **［設定変更］スイッチを押して、排出先を設定する。**

ここで設定されたオフセットトレイが初期に排出される排出先となります。

```
 ハイシュツサキ　セッテイ
←          オフセットトレー＊
```

❻ **［メニュー終了］スイッチを押して、メニューモードを終了する。**

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示に戻ります。

```
ホッパ゚     A4ヨコ ポ゚ート
フツウシ           NPDL
```

Step 2 リレー排紙を有効にする

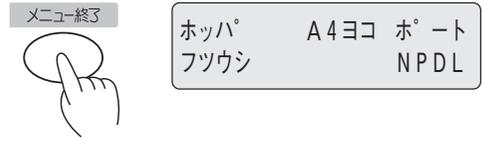
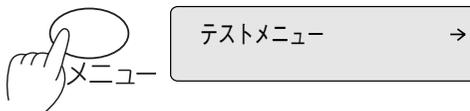
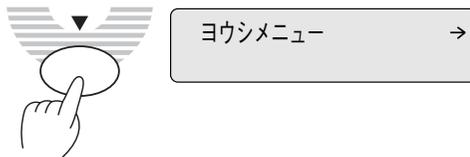
❶ **メニューモードに入る。**

［印刷可］スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、［メニュー］スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させせます。

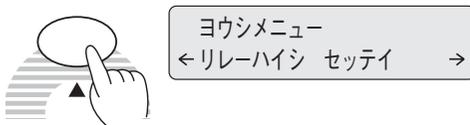
```
 テストメニュー          →
```

❷ **［▼］スイッチを2回押す。**

ディスプレイに“ヨウシメニュー　→”と表示します。

```
 ヨウシメニュー          →
```

❸ **［▶］スイッチを1回、［▲］スイッチを2回押す。**

“リレーハイシ　セッテイ”と表示されます。

```
 ヨウシメニュー
←リレーハイシ　セッテイ   →
```

❹ **［▶］スイッチを1回押す。**

リレー排紙の設定が表示されます。

```
 リレーハイシ　セッテイ
←               OFF＊
```

❺ **［設定変更］スイッチを押して、“リレーハイシ　セッテイ”をONにする。**

```
 リレーハイシ　セッテイ
←                ON＊
```

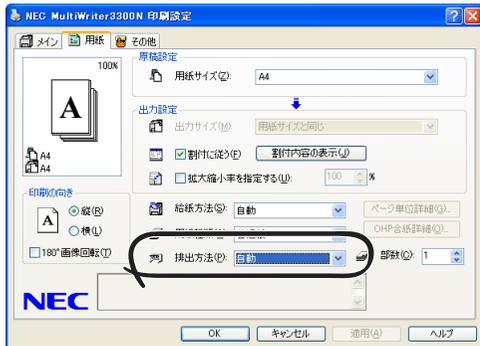
❻ **［メニュー終了］スイッチを押して、メニューモードを終了する。**

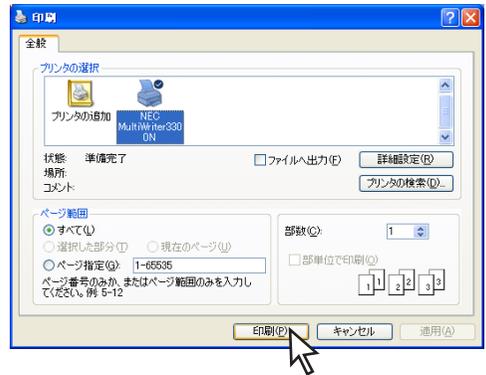
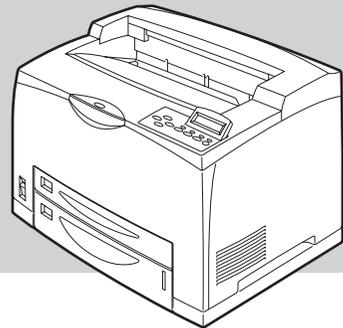
プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示に戻ります。

```
ホッパ゚     A4ヨコ ポ゚ート
フツウシ           NPDL
```

Step 3　排出方法を設定する

❶ プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの［用紙］シートを開く。

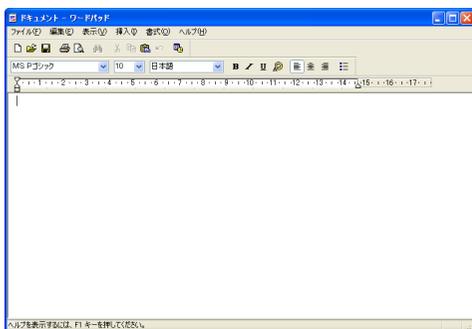
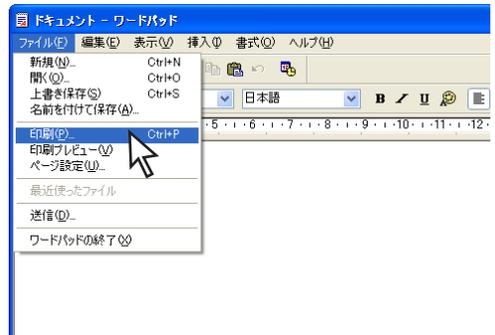
❷ 排出方法が［自動］になっていることを確認する。

プリンタードライバーの排紙方法を確認するには、5章の「印刷の詳細設定（プロパティダイアログボックスの開き方）」（117ページ）を参照してください。

❸ ［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、［印刷］をクリックして印刷する。

5章
印刷するには

この章では、アプリケーションから印刷する手順、および定形外用紙に印刷する手順を説明します。また、本プリンターの持つ便利な機能を紹介します。

印刷手順

アプリケーションから印刷する

ここでは、Windows XPに付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって一般的な印刷手順について説明します。Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、およびWindows NT 4.0の場合は多少画面の表示が異なりますが基本的な操作は同じです。

❶ スタートメニューからワードパッドを起動し、印刷したいデータを開く。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

❸ **［印刷］ダイアログボックスの［プリンタの選択］に［NEC MultiWriter3300N］が選択されていることを確認する。**

選択されていなければ、［プリンタの選択］から［NEC MultiWriter3300N］を選択してください。

Windows XP、Windows Server 2003

Windows 2000

Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0の場合は、［プリンタ名］から［NEC MultiWriter3300N］を選択してください。

Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0

❹ **必要に応じてプロパティダイアログボックスで印刷の詳細を設定する。**

プロパティダイアログボックスの開き方については次ページをご覧ください。

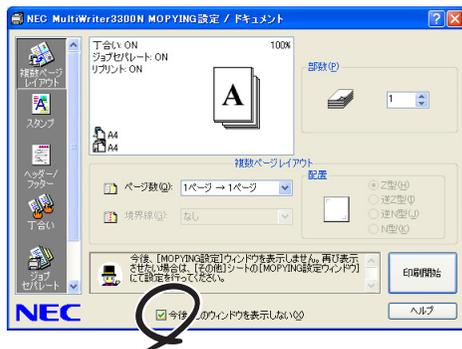
❺ **ページ範囲と印刷部数を指定して、［OK］をクリックする。**

［MOPYING設定ウィンドウを表示する］が設定されている場合は、この後MOPYING設定ウィンドウが表示されます。次の手順に進んでください。

設定されていない場合は、印刷が開始されます。

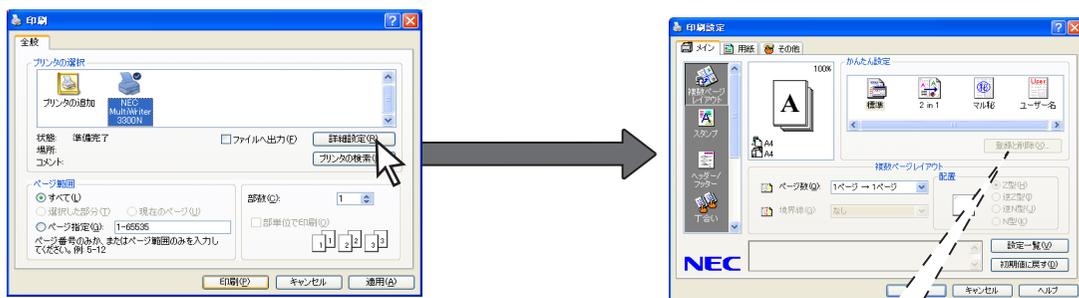
❻ **［MOPYING設定ウィンドウを表示する］が設定されている場合は、複数ページレイアウト印刷などを設定し、［印刷開始］をクリックする。**

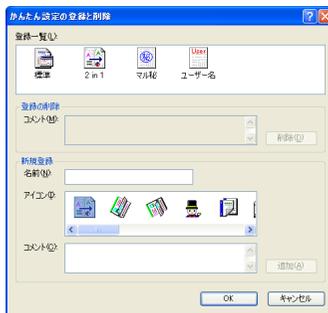
印刷が開始されます。

MOPYING設定ウィンドウは、アプリケーションから印刷を行うごとに表示されます。表示する必要がない場合は、「今後このウィンドウを表示しない」をチェックしてください。

印刷の詳細設定（プロパティダイアログボックスの開き方）

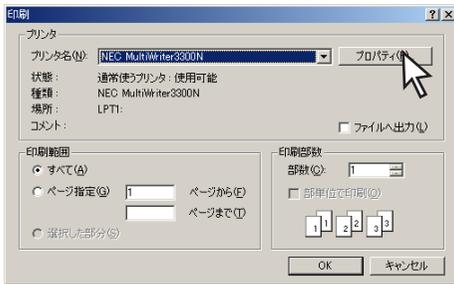
印刷の詳細設定はプロパティダイアログボックスで行います。設定内容などの詳細については各プロパティダイアログボックスのヘルプをご覧ください。以下は、アプリケーションメニューからプロパティダイアログボックスを開いた例です。

各OSとも、プロパティダイアログボックスはアプリケーションのメニューから開く方法と［プリンタとFAX］フォルダー（Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は、［プリンタ］フォルダー）から開く方法があります。アプリケーションメニューから開いた場合は、一般的にそのアプリケーションでのみ有効な設定になります。また、［プリンタとFAX］フォルダーから開いた場合は、すべてのアプリケーションの基本設定になります。

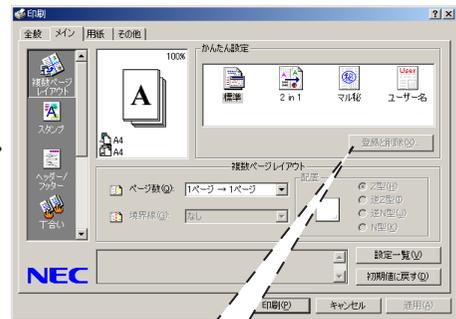
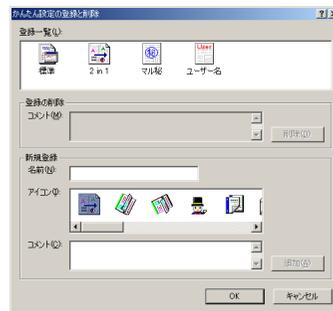
Windows XP、Windows Server 2003の場合

［詳細設定］をクリックするとプロパティダイアログボックスが表示されます。

［かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックス

［プリンタとFAX］フォルダーからプロパティダイアログボックスを開いた場合に、［メイン］シートの［登録と削除］ボタンをクリックすると「かんたん設定」の登録が行えます。

「かんたん設定」とは、よく使う印刷設定をあらかじめ登録しておける機能です。詳細は活用マニュアルまたはヘルプをご覧ください。

Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合

［プロパティ］をクリックするとプロパティダイアログボックスが表示されます。

Windows 2000、Windows NT 4.0*の場合

各シートをクリックして設定します。

［かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックス

［プリンタ］フォルダーからプロパティダイアログボックスを開いた場合に、［メイン］シートの［登録と削除］ボタンをクリックすると「かんたん設定」の登録が行えます。

「かんたん設定」とは、よく使う印刷設定をあらかじめ登録しておける機能です。詳細は活用マニュアルまたはヘルプをご覧ください。

＊　Windows NT 4.0の場合は印刷のダイアログ画面イメージが多少異なります。

MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する

本プリンターのプリンタードライバーには、より快適にMOPYINGするために、MOPYING設定ウィンドウがあります。MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する場合は以下の手順を行ってください。

Step 1　MOPYING設定ウィンドウを有効にする
Step 2　MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する

MOPYING設定ウィンドウは一部のアプリケーションにのみ対応しています。対応アプリケーションや使用する際の注意事項などについては、プリンタードライバーのヘルプ、または添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「¥MW3300N¥Disk1¥Drivers.txt」をお読みください。

Step 1　MOPYING設定ウィンドウを有効にする

❶ **［プリンタとFAX］フォルダーを開く。**

Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は、［プリンタ］フォルダーを開きます。

❷ **［NEC MultiWriter3300N］アイコンをクリックする。**

❸ **［ファイル］メニューの［印刷設定］*をクリックする。**

プロパティダイアログボックスが表示されます。

* Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は［プロパティ］、Windows NT 4.0の場合は［ドキュメントの既定値］をクリックします。

❹ **MOPYING設定を有効にする。**

＜Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合＞

［その他］シートをクリックします。
［拡張機能］の下の［MOPYING設定ウィンドウ］を選び［表示する］を選択し、［OK］をクリックします。

＜Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合＞

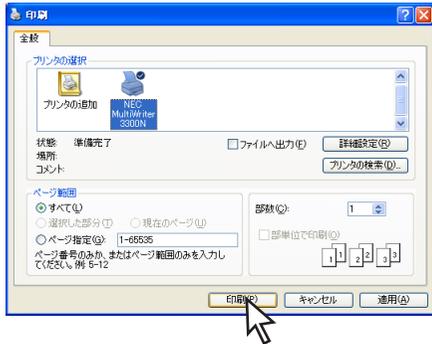
［補助機能］シートを開きます。［印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する］をチェックし、［OK］をクリックします。

Step 2　MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する

❶ アプリケーションの［ファイル］メニューで［印刷］をクリックし、［印刷］ダイアログボックスを開く。

❷ ［印刷］ダイアログボックスの［印刷］をクリックする。

MOPYING設定ウィンドウが表示されます。

❸ 複数ページレイアウト印刷などの設定をし、［印刷開始］をクリックする。

印刷が開始されます。

設定を解除する

MOPYING設定ウィンドウの表示を無効にする手順を説明します。

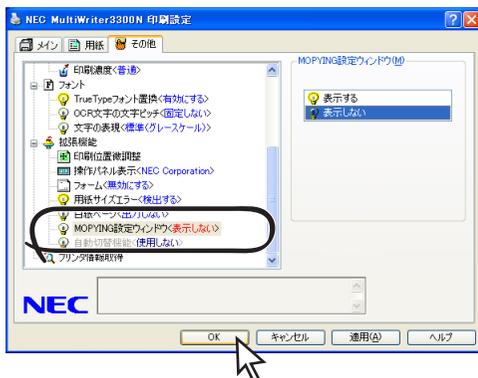
❶ 前ページの手順❶～❸を行い、プロパティダイアログボックスを開く。

❷ MOPYING設定を解除する。

＜Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合＞

［その他］シートをクリックします。

［拡張機能］の下の［MOPYING設定ウィンドウ］を選び、［表示しない］を選択し、［OK］をクリックします。

＜Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合＞

［補助機能］シートを開きます。［印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する］のチェックを外し、［OK］をクリックします。

✔チェック

この手順以外でもMOPYING設定ウィンドウが表示されているときに、［今後、このウィンドウを表示しない］をチェックすることにより、MOPYING設定を無効にすることができます。

定形外用紙に印刷する

定形外用紙（ユーザー定義）の用紙に出力するには、以下の手順を行ってください。Step 2およびStep 3は、OSごとに説明します。

Step 1　定形外用紙をセットする（詳細は3章を参照してください。）
Step 2　定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズを設定する
Step 3　定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズで印刷する

定形外の用紙をセットする場合はあらかじめ使用できる用紙の種類、用紙サイズを確認しておいてください。用紙については付録の「用紙の規格」（202ページ）をご覧ください。

ホッパーにセットできる用紙サイズは、幅77～297mm、高さは148～431mmです。
MPカセット、手差し（オプション）にセットできる用紙サイズは、幅77～304mm、高さは100～508mmです。

Step 1　定形外用紙をセットする

定形外用紙をセットする際、3章の「用紙をセットする時の注意」（86ページ）を参照して用紙をセットしてください。

<ホッパー、MPにセットする場合>

❶ **ホッパー、MPカセットに用紙をセットする。**

手順は、3章の「ホッパー、MPに用紙をセットする」（78ページ）を参照してください。

操作パネル上の［給紙先］スイッチで給紙先を「ホッパ」または「MP」に選択した場合に、操作パネルに表示されている用紙サイズは無効となり、プリンタードライバーのプロパティで設定した用紙サイズで定形外用紙の印刷を行います。

<手差しにセットする場合>

❶ **手差しに用紙をセットする。**

手順は、3章の「手差しに用紙をセットする」（82ページ）を参照してください。

❷ **手差しトレイユニットの用紙サイズ設定ダイヤルを「その他」に設定する。**

操作パネル上の［給紙先］スイッチで給紙先を「手差し」に選択した場合に、操作パネルに表示される用紙サイズは無効となり、プリンタードライバーのプロパティで設定した用紙サイズで定形外用紙の印刷を行います。

Step 2　定形外用紙（ユーザ定義）の用紙サイズを設定する

定形外用紙の用紙サイズをユーザー定義サイズとして、次の手順で設定します。各OSごとに説明します。

新しい用紙サイズを作成する場合の幅、高さは、プリンターにセットできる用紙サイズ内の大きさ（幅77～304mm、高さ100～508mm）を設定してください。プリンターにセットできる用紙以外の大きさを設定した場合は、その用紙は使用できません。

- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、複数の用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）を追加することができます。
- Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合、設定できる用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）は一種類のみです。

<Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

❶ ［プリンタとFAX］フォルダーを開く。

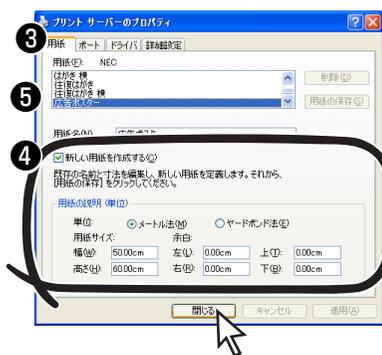
Windows XP、Windows Server 2003 以外の場合は、［プリンタ］フォルダーを開きます。

❷ ［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］をクリックする。

❸ ［用紙］シートを開く。

❹ ［新しい用紙を作成する］をチェックして、任意の用紙名、用紙サイズを入力し、［用紙の保存］をクリックする。

プリンターにセットできる用紙サイズ内の大きさ（幅77～304mm、高さ100～508mm）を設定してください。

❺ ボックスに新規作成した用紙名が追加されたことを確認して［閉じる］をクリックする。

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000

Windows NT 4.0

これで新しい用紙サイズが追加されました。

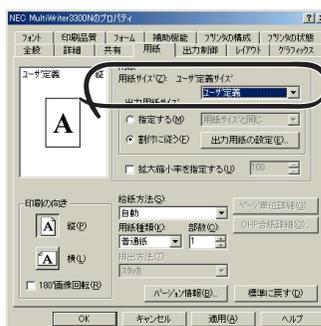
<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

❶ ［プリンタ］フォルダーを開く。

❷ 使用するプリンターのアイコンをクリックする。

❸ ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックする。

［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

❹ ［用紙］シートを開き、［用紙サイズ］ボックスから［ユーザ定義］を選ぶ。

❺ 用紙の［幅］と［長さ］を入力し、［OK］をクリックする。

プリンターにセットできる用紙サイズ内の大きさ（幅77～304mm、高さ100～508mm）を設定してください。

❻ ［OK］をクリックし、［プロパティ］ダイアログボックスを閉じる。

これでユーザー定義の用紙サイズが設定できました。

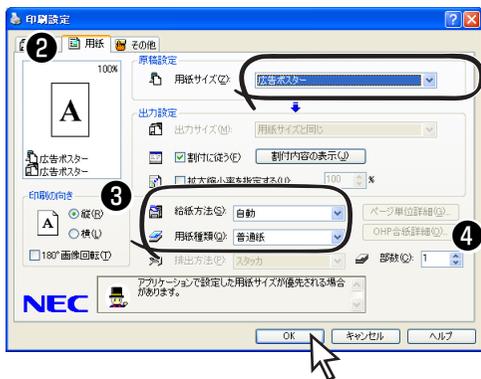
Step 3　定形外用紙（ユーザ定義）の用紙サイズで印刷する

<Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

❶ アプリケーションの［ファイル］メニューで［印刷］をクリックし、［印刷］ダイアログボックスを開く。

アプリケーションによっては、この手順後に［印刷］ダイアログボックスの［詳細設定］または、［プロパティ］をクリックします。

❷［用紙］シートを開き、［用紙サイズ］ボックスから、Step2で追加した用紙サイズを選択する。

坪量90～157g/m²、157～216g/m²の用紙の場合は、［用紙種類］ボックスでそれぞれ［厚紙1］、［厚紙2］を指定してください。

❸［給紙方法］と［用紙種類］を指定する。

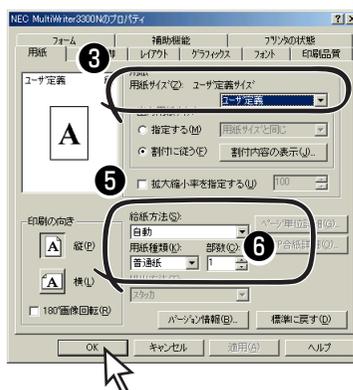
❹ 印刷部数を指定し、［印刷］（または［OK］）をクリックする。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

❶ アプリケーションの［ファイル］メニューで［印刷］をクリックし、［印刷］ダイアログボックスを開く。

❷［プロパティ］をクリックする。

❸［用紙］シートを開き、［用紙サイズ］ボックスから、［ユーザ定義］を選択する。

坪量90～157g/m²、157～216g/m²の用紙の場合は、［用紙種類］ボックスでそれぞれ［厚紙1］、［厚紙2］を指定してください。

❹［ユーザ定義］ダイアログボックスで［幅］と［長さ］を確認し、［OK］をクリックする。

❺［給紙方法］と［用紙種類］を指定する。

❻ 印刷部数を指定し、［OK］をクリックする。

ホッパー、MPカセットから給紙する場合について

ホッパー、MPカセットから定形外用紙の印刷を行う場合、プリンターの電源投入後初めて定形外用紙をセットし、印刷を行うと、「テイケイガイ　ホキュウ」のアラームが表示されます。この時、カセットの用紙が定形外用紙であることを確認して、［印刷可］スイッチを押してください。印刷が再開されます。
また、次回異なる用紙サイズの定形外用紙の印刷を行った場合、もしくは、プリンターの電源を再投入した後、定形外用紙の印刷を行った場合は、カセットの用紙確認のため、プリンターは「テイケイガイ　ホキュウ」のアラームを表示します。［印刷可］スイッチを押して、印刷を再開してください。
［ヨウシメニュー］の［テイシカクニン］で「シナイ」に設定されている場合は、「テイケイガイ　ホキュウ」のアラーム表示は行いません。
ホッパー、MPカセットの用紙サイズが定形外サイズに設定されているときは、［用紙選択］スイッチで「ジドウ」に設定すると、プリンタ本体で自動的に用紙サイズを検知するようになります。

機能の紹介

前に説明した以外にも本プリンターにはいろいろな機能があります。様々な機能を組み合わせてMOPYINGしたり、ネットワーク環境でMultiWriterを一元管理したりすることなどができます。ここではその便利な機能について紹介します。
各機能の詳細、および設定方法については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルまたはヘルプをご覧ください。

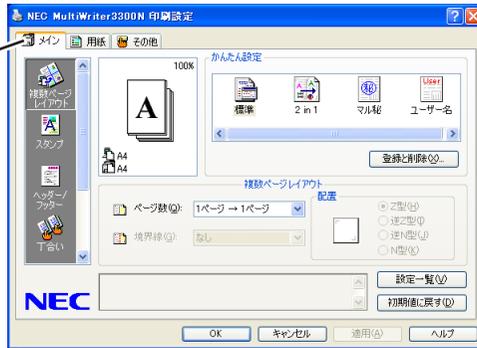
PrintAgentを利用した便利な機能

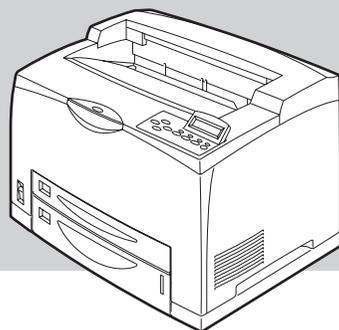
機　能		機能の説明
	リプリントする	PrintAgentリプリント2を使用して、一度印刷した文書をアプリケーションを起動せず再印刷します。
	文書を結合する	PrintAgentリプリント2を使用して、一度印刷した別々の文書を自由に組み合わせたり、結合したりして印刷します。
	「PrintAgent」ツールバー	ひとつのボタン操作でPrintAgentの機能を表示させることができます。
	プリンターの状態や印刷状況を見る	プリンタステータスウィンドウを使用して、プリンターの状態をパソコンで確認することができます。
	プリンターを自動切り替えする	グループプリンタを使用して、自動的に空いているプリンターから印刷します。
	パソコンから電源を入れる	パソコンからプリンターの電源を入れます。
	保守情報をメール通知する	プリンターの保守情報を管理者にメールで通知します。
	印刷履歴状況を出力する	プリントサーバーで管理している印刷履歴の状況をPrintAgentから出力します。
	ブラウザーでプリンターの状況を見る	ブラウザーを使用して、プリンターの状態をパソコンで確認することができます。
	プリンタードライバーをバージョンアップする	すでにインストールされているプリンタードライバーをCD-ROMやネットワークからバージョンアップできます。

プリンタードライバーを利用した便利な機能

機　能		機能の説明	設定する箇所	
			Windows XP/ Server 2003/ 2000/NT 4.0	Windows Me/98/95
	両面印刷する	オプションの両面印刷ユニットを使って用紙の表面と裏面に印刷します。	[メイン] シート	[レイアウト] シート
	複数ページ印刷する	複数のページを1枚の用紙に印刷します。	[メイン] シート	[レイアウト] シート
	仕分け印刷する	丁合い、ジョブセパレート、オフセット排紙、電子ソートを使用して、出力した用紙を仕分けします。	[メイン] シート [用紙] シート [プリンタの設定] シート	[用紙] シート、 [出力制御] シート [プリンタの構成] シート
	拡大・縮小印刷する	用紙の大きさを変えたり、変えないで、拡大・縮小印刷します。	[用紙] シート、 [プリンタの設定] シート	[用紙] シート
	よく使う設定を登録する	かんたん設定を使用して、よく使う設定を登録しておきます。	[メイン] シート	−
	印刷位置をずらす	印刷する位置を任意の位置にずらして印刷します。	[その他] シート	[レイアウト] シート
	スタンプを押す	各ページに任意のスタンプを押します。	[メイン] シート	[レイアウト] シート
	ヘッダー・フッターをつける	ユーザー名や日付などをヘッダーまたはフッターとして印刷します。	[メイン] シート	[レイアウト] シート
	OHPに合い紙を入れる	OHPシートとの間に任意の紙を挟み込みます。	[用紙] シート	[用紙] シート
	ページ単位で給紙先を変更する	ページ毎に給紙先を選択します。	[用紙] シート	[用紙] シート
	ユーザー名を表示する	プリンターの操作パネルに利用中のユーザー名を表示させます。	[その他] シート	[補助機能] シート

プロパティシートの説明

MultiWriter 3300Nのプリンタードライバーには、様々な機能を利用するために複数のプロパティシートが用意されています。表示されるプロパティシートはOSによって異なります。ここでは、アプリケーションのメニューから表示した場合の各プロパティシートについて説明します。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプや活用マニュアルの「4章　より進んだ使い方」を参照してください。

OS	シート名	説　明
Windows XP Windows Server 2003 Windows 2000 Windows NT 4.0	［メイン］シート	複数印刷、両面印刷、仕分け方法、リプリント、かんたん設定、スタンプ、ヘッダー /フッター、丁合いを設定するシートです。
	［用紙］シート	用紙サイズや種類、印刷部数、給紙方法、排出方法、印刷向きを設定するシートです。
	［その他］シート	網かけのパターン、ハーフトーンカラーの調整、印刷の品質や濃度、フォント、印刷位置の設定やプリンターの最新情報を取得する（双方向通信時）シートです。
Windows Me Windows 98 Windows 95	［用紙］シート	用紙のサイズ、給紙方法、排出方法、印刷向きを設定するシートです。
	［出力制御］シート	仕分け方法、リプリントを設定するシートです。
	［レイアウト］シート	複数印刷、両面印刷、印刷位置、スタンプ、ヘッダー /フッターを設定するシートです。
	［グラフィックス］シート	グラフィックの解像度、濃度、描画方法などを設定するシートです。
	［フォント］シート	フォントについての設定を行うシートです。
	［印刷品質］シート	印刷の濃度、従来互換の印刷範囲の使用などを設定するシートです。
	［フォーム］シート	フォーム印刷を行うかどうかを設定するシートです。
	［補助機能］シート	印刷中にユーザー名や任意の文字をプリンターの操作パネルに表示するかどうか、MOPYING設定ウィンドウを表示するかどうかを設定するシートです。
	［プリンタの構成］シート	プリンターにホッパーやメモリーのオプションを増設した場合に設定するシートです。
	［プリンタの状態］シート	印刷しようとしているプリンターの名前、解像度、メモリ、現在の構成が表示されます。

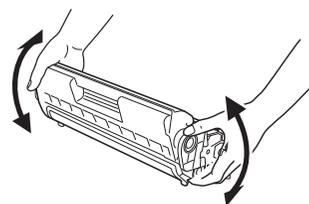
6章
日常の保守

この章では、日常の保守として消耗品の交換およびプリンターの清掃について説明します。清掃は、本プリンターを正しく動作させるために定期的に行うことをお勧めします。

EPカートリッジの交換

ディスプレイが“76 トナーナシ EPコウカン”または“89 EPジュミョウ EPコウカン”と表示し、トナーランプが点灯したら、EPカートリッジの交換時期です。ディスプレイが“89 EPジュミョウ EPコウカン”と表示した場合、EPカートリッジを速やかに交換してください。

交換する前に

ディスプレイが“76 トナーナシ EPコウカン”と表示した場合、交換する前に使用中のEPカートリッジをプリンターから取り出し、トナーが均一になるようにゆっくりと振ってください。取り出し方については「EPカートリッジの交換手順」（129ページ）を参照してください。

もう一度セットしてトナーランプが消灯すれば、まだしばらく、そのEPカートリッジを使用することができます。

それでもトナーランプが点灯したままなら、新しいEPカートリッジに交換します。

重要

- EPカートリッジの取っ手を持たないよう、図のように両端部をやさしく持ってゆっくり振ってください。EPカートリッジを激しく振ると、落下やOPCドラムにキズがつくおそれがあります。
- 新しいEPカートリッジに交換する場合は、トナーシールを抜かずに振ってください。

トナーランプが点灯していなくても、印刷が薄くなったり、部分的に印刷が抜けたりするような場合はEPカートリッジを取り出してゆっくり振り、トナーを均一にしてください。

EPカートリッジの回収と購入

回収について

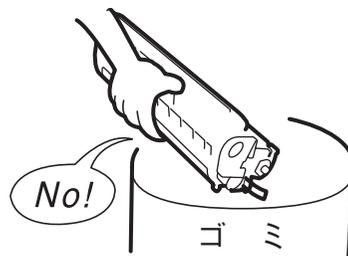
使用済みのNEC製EPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しております。

ご使用済みのNEC製EPカートリッジは捨てずに、EPカートリッジ回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設までお持ち寄りください。なお、その際はEPカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。
また、下記のフリーダイヤルまでご連絡いただきますと、宅配業者が無料でお客様のところへ回収に伺います。

- EPカートリッジ回収フリーダイヤル

  TEL：0120-306924　　FAX：0120-308049

- EPカートリッジ回収に関するWebページ

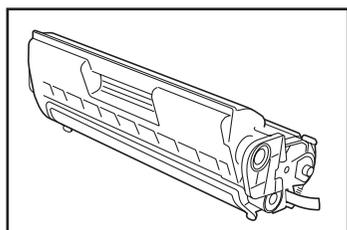
  URL：http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/ep_recycle.html

購入について

新しいEPカートリッジは、本プリンターをお買い求めになった販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設などでお求めになれます。

重要

このプリンターは、純正のEPカートリッジを使用時に印刷品質やプリンター性能が最も安定するように設計されています。純正品と異なる仕様のEPカートリッジを使用された場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、EPカートリッジは純正品のご使用をお勧めいたします。
お買い求めの際には次の「EPカートリッジの種類」をよくご覧になり、ご使用のプリンターに対応したEPカートリッジをお選びください。

EPカートリッジの種類

MultiWriter 3300Nでご使用になれるEPカートリッジは以下のとおりです。また、ご購入時に添付されているEPカートリッジは、PR-L3300-11（相当品）です。

EPカートリッジ（型番：PR-L3300-11）

印刷可能ページ数は約6,000枚です。

EPカートリッジ（型番：PR-L3300-12）

印刷可能ページ数は約15,000枚です。

- 各EPカートリッジの1個あたりの印刷可能ページ数はA4用紙サイズに画像面積比5%の片面連続印刷を行ったときの値です。(「EPカートリッジの寿命」(131ページ)参照)
- 印刷用紙サイズ、画像面積比、印刷濃度設定などの印刷に関する設定の要因によって、印刷可能ページ数は異なります。

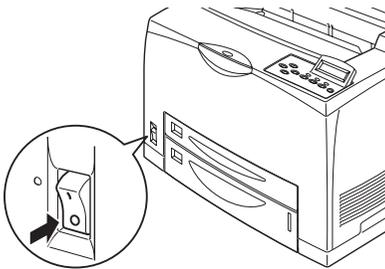
EPカートリッジの交換手順

- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。
- EPカートリッジを絶対に火の中に投げ入れないでください。残留しているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。

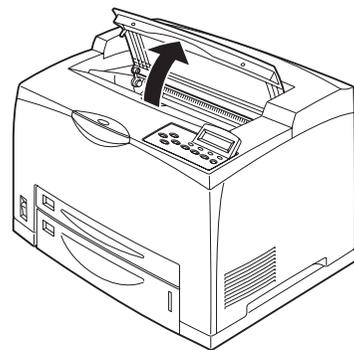
注意

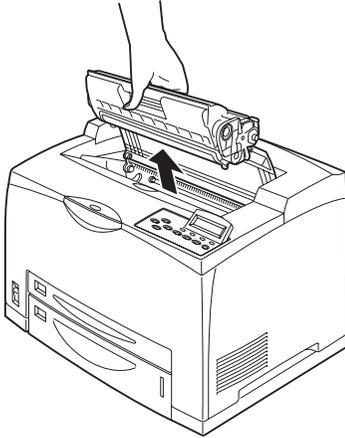
電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺およびプリンター内部の金属部は高温になっている場合があります。やけどをするおそれがありますので、十分に冷めてから取り扱ってください。

❶ 電源スイッチをOFFにする。

電源ランプが消灯します。

❷ 排出された用紙がある場合は取り除き、トップカバーを開ける。

オフセットトレイユニット(オプション)を取り付けている場合は、オフセットトレイを折りたたんでから、トップカバーを開けます。

プリンター内部の部品には、手を触れないでください。

❸ **EP カートリッジの取っ手を持ち、ゆっくりと引き上げる。**

トナーで床などを汚したり、手や衣服を汚さないように気をつけてください。取り出したEPカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。万一、トナーが手や衣服についた場合は、水で洗い流してください。

NEC製EPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能部品は再利用しております。EPカートリッジの回収については本章の「回収について」（128ページ）をご覧ください。

❹ **1章の「5　EPカートリッジを取り付ける」（22ページ）に従って、新しいEPカートリッジを取り付ける。**

❺ **電源スイッチをONにする。**

❻ **テスト印刷を実行する。**

1章の「8　テスト印刷をする」（27ページ）に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

EPカートリッジの寿命

MultiWriter 3300Nに添付されているEPカートリッジ（PR-L3300-11相当品）の寿命は、A4用紙で画像面積比率（1ページ中の黒い部分の面積と印刷範囲の面積との比率）約5%の片面連続印刷を行ったとき、約6,000枚（PR-L3300-11使用時も同等）になります。また、PR-L3300-12使用時は約15,000枚になります。

以下は、画像面積比率約5%を目安とした文書例です。

EPカートリッジの寿命について

本プリンタの消耗品の「EPカートリッジ」には寿命６０００枚（A4、画像面積比5%）のものがあります。

ここで画像面積比５%の意味及びEPカートリッジの寿命について説明します。
従来、シリアル系ドットインパクトプリンタ、熱転写プリンタ等においては、消耗品であるインクリボンの寿命は「何文字」という表現をしていました。これに対し、本プリンタの様なページプリンタにおいては、「何枚」という単位で表現されています。
この様に、表現が「文字数」から「枚数」に変化した理由は、
① ページプリンタにおいては、処理の単位がページ単位であること。
② ①にも関連して、グラフィック等、文字数では十分把握できない様な印刷を行うケースが増えてきている。
の２つが考えられます。

EPカートリッジの寿命を決定するものの１つに、そのEPカートリッジ内部に収納されているトナーの量があります。トナーをすべて消費してしまえばEPカートリッジの寿命となります。（これは従来のインクリボンにおいてインクがなくなるまでをリボンの寿命と呼んだのと同じことです）。

従って「枚数」で寿命と考えるときは、１ページの中でどれくらいのトナーを消費しているかということが問題となります。

１ページ中の印刷領域（印刷用紙の上下左右端から各々 5mmの部分を除く領域）に黒い部分がどの位の割合であるか表したものが画像面積比です。１ページの中に印刷が全くない状態が０%、印刷領域全域が真っ黒にすべてのドットを埋め尽くした状態が１００%です。
この画像面積比によりカートリッジの寿命は長くも短くもなります。このことから「画像面積比何%のときに寿命が何枚」という表現をします。従って、印刷する内容の画像面積比が５%より高い場合、６０００枚印刷する前にEPカートリッジの寿命となる場合があります。

なお、この印刷サンプルが画像面積比約５%相当の目安となります。

画像面積比5%の印刷例

- EPカートリッジの寿命は画像面積比率、印刷用紙サイズ、両面印刷などの印刷条件によって異なります。
- 画像面積比率は、お使いのコンピューターの環境（OS、アプリケーション、使用フォントなど）により変化します。

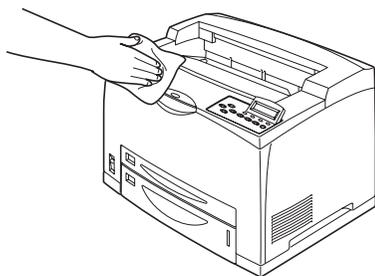
清　掃

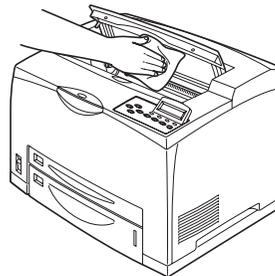
MultiWriter 3300Nを正しく動作させるためには、図に示す箇所を定期的に、あるいは必要に応じて清掃することをお勧めします。

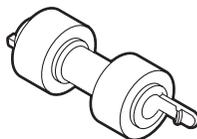
清掃箇所と清掃時期

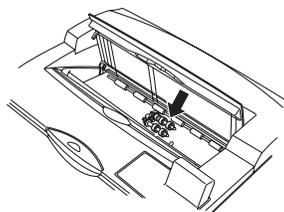
清掃する箇所と清掃時期について示します。

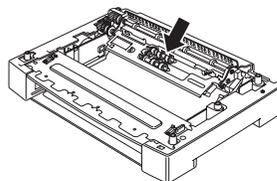
プリンター表面

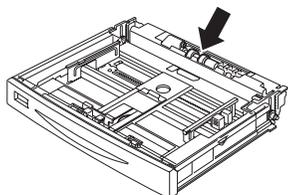
- 1か月に1回
- 汚れているとき

プリンター内部

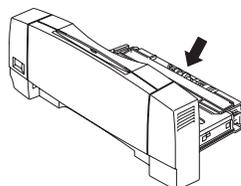
- 紙づまりの処置のあと
- EPカートリッジの交換のあと

給紙ロール

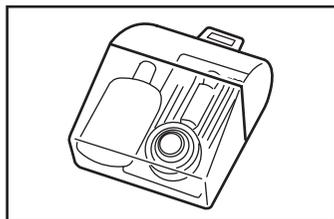
- 給紙できなくなったとき

プリンター内部の給紙ロール

トップカバーを開け、EPカートリッジを抜いた状態で清掃します。

増設ホッパー（オプション）の給紙ロール

増設ホッパーは取り外さなくても、用紙カセットをプリンターから引き抜いた状態で清掃できます。

用紙カセットの給紙ロール

用紙カセットをプリンターから引き抜いて清掃します。

手差しトレイユニット（オプション）の給紙ロール

手差しトレイユニットをプリンターから引き抜いて清掃します。

清掃には、糸くずの出ない乾いた柔らかい布を用意してください。清掃用にクリーニングキットを別売しています。

クリーニングキット（型番 PC-PR601-14）

プリンターの清掃に便利な用具一式が入っています。

プリンターの清掃手順

プリンターの清掃手順について説明します。

- 清掃するときは、電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。感電するおそれがあります。また、電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが傷み、火災や感電の原因となることがあります。
- 電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺およびプリンター内部の金属部は高温になっている場合があります。やけどをするおそれがありますので、十分に冷めてから取り扱ってください。

プリンターの表面の清掃

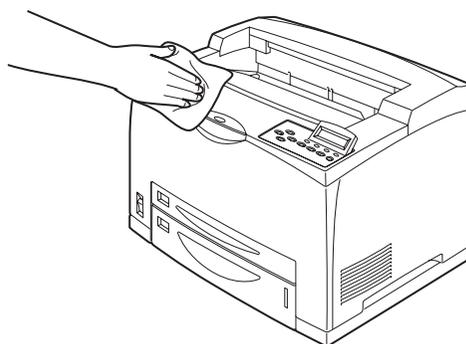
約1か月に1回、プリンターの表面を清掃してください。

❶ **外観の汚れは柔らかい清潔な布で拭き取る。**

汚れが落ちにくい場合は、中性洗剤を含ませた布で拭き取ります。

重要

- アルコール、シンナーなどはプリンターの表面を傷めますので、使用しないでください。
- 水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

❷ **乾いた布で拭く。**

プリンターの内部の清掃

紙づまりの処置やEPカートリッジの交換のあとは、内部の点検と清掃を行ってください。

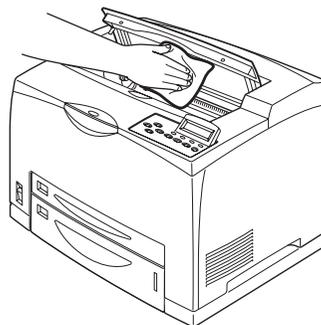
注意

「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着ユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。このようなときは、ただちに電源スイッチを切り、お買い上げの販売店あるいはお近くのサービス窓口にご連絡ください。

❶ **プリンターの電源をOFFにし、プリンター背面の電源コネクターとコンセントから電源コードを抜く。**

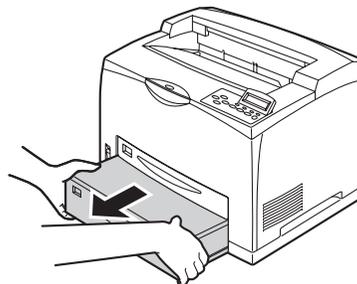
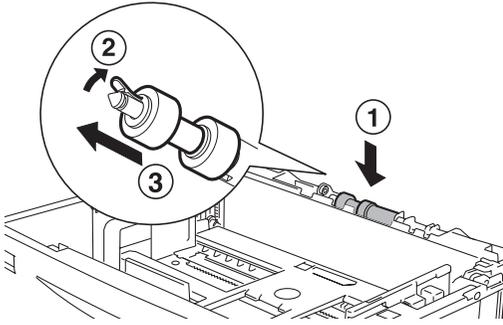
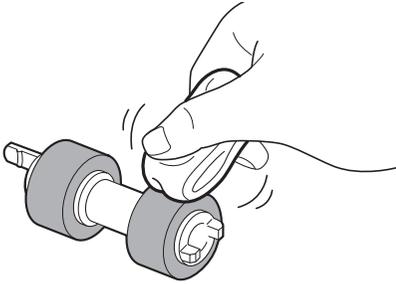
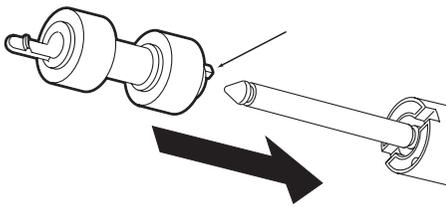
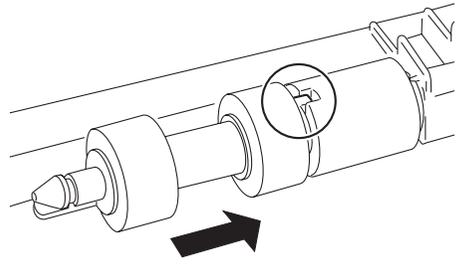
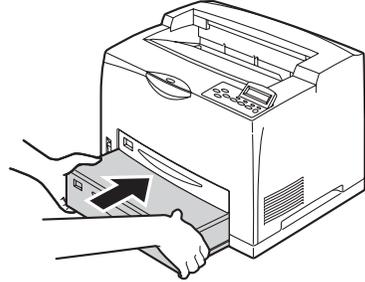
❷ **紙片が残っている場合は、取り除く。**

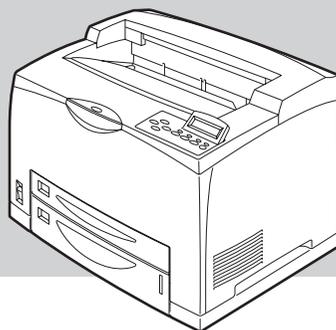
❸ **ホコリや汚れがある場合は、乾いた清潔な布などで拭き取る。**

❹ **プリンター背面の電源コネクターに電源コードのプラグを差し込み、もう一方のプラグをコンセントに差し込む。**

給紙ロールの清掃

絵入りのはがきを給紙すると、絵柄裏写り防止用の粉が給紙ロールに付着し、給紙できなくなることがあります。給紙できなくなった場合は、以下の手順に従って給紙ロールを固く絞った柔らかい布で丁寧にふいてください。給紙ロールは、プリンター内部に2か所（合計4個）、ホッパーに1か所、用紙カセットに1か所、手差しトレイに1か所あります。ここでは、用紙カセットにセットされている給紙ロールの清掃方法を説明します。他の給紙ロールも、ここで説明している手順に従って清掃してください。

❶ **プリンターの電源をOFFにし、プリンター背面の電源コネクターとコンセントから電源コードを抜く。**

❷ **用紙カセットをプリンターから引き抜く。**

❸ 給紙ロールホルダー（白色）を下に押しながら(①)、給紙ロールのツメを広げて外し(②)、給紙ロールを用紙カセットの軸からゆっくり取り外す(③)。

❹ 水でぬらし固く絞った柔らかい布で、ゴム製の部分を丁寧に拭く。

❺ 給紙ロールの短いツメを軸側にして、用紙カセットの軸にゆっくりと差し込む。

このとき給紙ロールの溝を軸の溝に合わせるようにして、給紙ロールをしっかり奥まで差し込み、短いツメが軸の溝に合うようにします。

❻ 用紙カセットをプリンターの奥に突き当たるまでしっかり押し込む。

❼ プリンター背面の電源コネクターに電源コードのプラグを差し込み、もう一方のプラグをコンセントにも差し込む。

7章
困ったときには

この章では、困ったときの症状を以下の項目に分けて、原因と処理方法を説明します。下記以外の症状については添付のCD-ROMに収録されている活用マニュアルをご覧ください。

- 印刷できないときは
- 印刷に異常が見られるときは
- PrintAgentを正しく動作させるために
- アラーム表示が出ているときは
- 思うように印刷できないときは
- 紙づまりのときは

また、プリンター本体を運搬するときの方法、プリンター、消耗品の廃棄方法についても記載しています。

その他プリンターソフトウエアを利用する際の補足情報がプリンターソフトウエアの「はじめにお読みください」(Readme.txt)に記載されています。これらはプリンターソフトウエアCD-ROMのメニュープログラムから参照できます。

修理に出す前に

修理に出す前に以下の手順を行ってください。

❶ **電源コードおよびプリンターケーブルが正しく接続されているかどうかを確認する。**

❷ **定期的な清掃を行っていたか、またEPカートリッジの交換は確実に行われていたかを確認する。**

❸ **本章の138～151ページを参照し、該当する症状があれば、記載されている処理を行う。**

以上の処理を行っても、なお異常があるときは無理な操作をせずに、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際にディスプレイのアラーム表示の内容や、不具合印刷のサンプルがあればお知らせください。修理の際の有用な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号、受付時間については「NECサービス網一覧表」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、保証書を添えてお申し込みください。

また、プリンターをお持ち込みいただくときは、「プリンターを運搬するときは」(166ページ)や梱包箱に表示されている手順を参照して、プリンターを梱包してください。

海外でのご使用について

このプリンターは日本国内仕様のため、海外でご使用になる場合、NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本プリンターを輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

ディスプレイに何も表示されないときは

電源ランプが点灯していて、他のランプおよびディスプレイが消えている状態であれば、プリンターは節電状態(節電モード1)になっています。[節電解除]スイッチを押すか、印刷データを送信することで節電状態は解除されます。節電モードについては活用マニュアル7章の「運用メニュー」を参照してください。

印刷できないときは

プリンターにデータを送ったのに印刷ができないなどの症状、および原因と処理方法を示します。それぞれの方法に従って原因の確認、処理を行ってください。

症状	原因と処理方法
電源ランプが点灯しない	**電源スイッチがOFFになっている。** → 電源スイッチをONにしてください。 **電源コードがきちんと差し込まれていない。** → プリンター側とコンセント側の両方を確認してください。 **コンセントに電気が供給されていない。** → 配電盤などの状態を調べてください。
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない	**印刷可ランプが消灯している。** → [印刷可]スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。 **プリンターケーブルまたはネットワークケーブルが正しく選択されていないか、または正しく接続されていない(データランプ消灯)。** → 198ページおよび31ページを参照して、プリンターケーブル、USB ケーブルまたはネットワークケーブルの種類を確認後、接続してください。 **改ページまたは排出コードがない(データランプ点灯)。** → [シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内に残っている未印刷データを印刷してください。また、この状態が多く発生するソフトウエアをお使いの場合は、メニューモードで自動排出を選択することをお勧めします。 **用紙がなくなったか、または指定されたサイズの用紙がない(印刷可ランプ(赤)点滅)。** → 「3章 用紙のセット」(73ページ)を参照して、用紙を補給してください。

症状	原因と処理方法
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない（続き）	**印刷可ランプ（赤）が点灯している。** → 本章の「アラーム表示が出ているときは」（140ページ）をご覧ください。 **データ送信中（データランプ（橙）点滅）** → このプリンターはページ単位で処理するため、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、グラフィックモードで多量のデータを送る場合などは、データ転送に時間がかかります。 もう少しお待ちください。 **MultiWriter 3300Nが「通常使うプリンタ」として選択されていない。** → MultiWriter 3300Nを「通常使うプリンタ」として選択してください。 **コンピューターのメモリーが不足している。** → コンピューターのメモリーを増やしてください。
ホッパーおよびMPにセットした用紙サイズを認識しない	**用紙カセットにセットした用紙サイズが正しく設定されていない。** → はがき、往復はがき、封筒をセットした場合は、[用紙選択］スイッチで用紙サイズを設定してください。上記以外の用紙をセットした場合は、[用紙選択］スイッチで「ジドウ」に設定してください。(4章の「[用紙選択]スイッチ」(97ページ）参照) **用紙のセットのしかたが悪い。** → 「ホッパー、MPに用紙をセットする」(78ページ）を参照して、用紙をセットし直してください。
手差しから印刷ができない、または給紙方法を手差しとし、印刷したのに「テサシ　XX　セット」が表示される	**給紙方法が自動、ホッパー、MPのいずれかになっている。** → プリンタードライバーの給紙方法を手差しに設定し直してください。 **手差しにセットした用紙サイズが正しく設定されてない。** → A3、A4、B4、B5、レター、はがきをセットした場合は用紙サイズ設定ダイヤルでセットした用紙サイズに設定してください。A5サイズ、往復はがき、封筒、定形外をセットした場合は、用紙サイズ設定ダイヤルを「その他」に設定して、[用紙選択］スイッチで用紙サイズを設定してください。(3章の「手差しに用紙をセットする」(82ページ）参照) **用紙のセットのしかたが悪い。** → 3章の「手差しに用紙をセットする」(82ページ）を参照して用紙をセットし直してください。

アラーム表示が出ているときは

保守が必要な時期になったりエラーが発生したりすると、赤色のランプが点滅または点灯し、ディスプレイにその内容が表示（アラーム表示）されます。このとき、ブザーが30秒ごとに6回ずつ鳴ります。

メモリースイッチ3-8の設定がONのときは、ブザーは鳴りません。

次の表に、アラーム表示とその内容、および処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
ホッパ゜1　A4ヨコ　ホキュウ フツウシ ホッパーが増設されているときは、この位置にホッパー番号（1、2、3または4）が表示されます。 MP　A4ヨコ　ホキュウ フツウシ テサシ　A4ヨコ　セット フツウシ	**用紙がない。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がない。** →　標準カセット、MP カセット、または手差しのいずれかに表示されているサイズの用紙を補給してください。 →　ホッパーまたはMPの場合は、［用紙選択］スイッチで設定されている用紙サイズによっては［印刷可］スイッチを押さないと、アラームを解除できない場合があります。
ホッパ゜1　A4ヨコ　ホキュウ フツウシ　カクニン MP　A4ヨコ　ホキュウ フツウシ　カクニン テサシ　A4ヨコ　セット フツウシ　カクニン 指定した用紙種類が表示されます。	**セットされた用紙の種類の確認。** →　セットした用紙が表示されている用紙種類であることを確認して、［印刷可］スイッチを押してください。
ヨウシカセット　ナシ ホッパ゜1 増設ホッパーが選択されているときは、ホッパー番号（1、2、3または4）、またはMPが左端に表示されます。	**用紙カセットが抜かれている。** →　用紙をセットし、表示された場所の用紙カセットをゆっくり戻してください。
ホッパ゜1テイケイガ゛イホキュウ フツウシ ホッパーが増設されているときは、この位置にホッパー番号（1、2、3または4）が表示されます。 MP　テイケイガ゛イ　ホキュウ フツウシ	**用紙がない。** →　標準カセットまたはMP カセットのいずれかに表示されているサイズの用紙を補給してください。 **セットされた用紙の確認。** →　セットした用紙が定形外用紙であることを確認して、［印刷可］スイッチを押してください。
テサシ　テイケイガ゛イ　セット フツウシ	**用紙がない。** →　用紙を手差しにセットしてください。

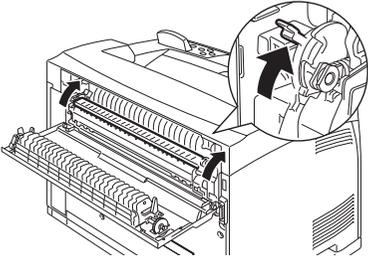
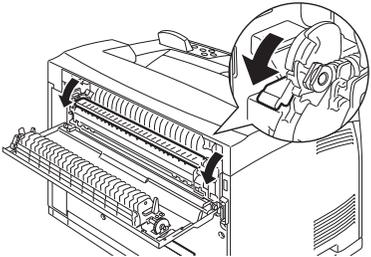
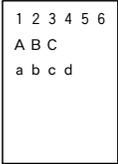
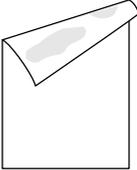
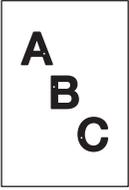
ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
ホッパ゚ 1テイケイガ゛イホキュウ ヨウシサイズ゛ヲヘンコウシマス MP　　テイケイガ゛イホキュウ ヨウシサイズ゛ヲヘンコウシマス	**セットされた用紙の確認。** →　セットした用紙が指定した定形外用紙であることを確認して、[印刷可]スイッチを押してください。
72　カバ゛ーオープ゛ン ホンタイ 72　カバ゛ーオープ゛ン リョウメン 72　カバ゛ーオープ゛ン オフセットトレー	**トップカバー、リアカバー、両面印刷ユニットカバー、オフセットトレイユニットリアカバーが開いている。** →　トップカバー、リアカバー、両面印刷ユニットカバー、オフセットトレイユニットリアカバーをきちんと閉じてください。
73　EPカートリッシ゛ナシ	**EPカートリッジが取り付けられていない。** →　EPカートリッジを取り付け直してください。EPカートリッジを取り付けた後、トップカバーをきちんと閉じてください。
74　カミツ゛マリ ホンタイ 紙づまりが発生した場所が表示されます。	**紙づまりが発生している。** →　本章の「紙づまりのときは」(159ページ)を参照して、つまった用紙を取り除いてください。
75　ヨウシサイズエラー	**指定サイズと異なる用紙がセットされている。** →　指定サイズの用紙を給紙先にセットして、[印刷可]スイッチを押してください。 →　ホッパーまたはMPの場合、操作パネルの設定がセットされている用紙サイズと合っているか確認してください。 →　手差しの場合、用紙サイズ設定ダイヤルと操作パネルの設定がセットされている用紙サイズと合っているか確認してください。
76　トナーナシ EPコウカン	**EPカートリッジの交換時期を示している。** →　6章の「EPカートリッジの交換」(127ページ)に従ってEPカートリッジを交換後、トップカバーをきちんと閉じてください。 EPカートリッジを交換しなくても、[印刷可]スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、少しの間は印刷を続けることができますが、トナーランプは点灯を続けます。目的の印刷が終了したら、すみやかに交換してください。また、この状態のままプリンターの電源をOFFにし、再び電源をONにしても“76　トナーナシ”アラームは解除できません。
77　テイキホシュ テイチャクキ 定期交換が必要な部品が表示されます。	**定期保守(定着ユニットなどの交換)の必要な時期を示している。** →　販売店にお問い合わせください。 このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありませんので、[印刷可]スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、印刷を続けることはできます。しかし、なるべく早く定期保守を行ってください。“77　テイキホシュ”アラームは、電源をOFFにしても、次にONにしたときに再発生します。
79　ハイシレハ゛ーキリカエ スタッカ 切り換える排出口が表示されます。	**フェイスアップトレイ排紙レバーが切り換えられている。** →　フェイスアップトレイ排紙レバーを切り換えてください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
81 スタックフル スタッカ スタックフルが発生した場所が表示されます。	**スタッカーまたはオフセットトレイに規定以上の用紙が排出されている。** → スタッカーとオフセットトレイはそれぞれ500枚までスタックできます。それぞれの排出口に排出されている用紙を取り除いてください。
82 メモリオーバ゛ー メモリヲゾ゛ウセツシテクダ゛サイ	**印刷データを蓄えるメモリーが不足している（メモリースイッチ6-2 OFFの場合のみ表示する）。** → ［印刷可］スイッチを押してください。そのページのみ解像度を下げて印刷を行うか、“83 インサツフカ”のアラーム表示をします。 メモリーを増設してください。
83 インサツフカ メモリヲゾ゛ウセツシテクダ゛サイ	**メモリーオーバーで解像度を落として印刷しようとしたが、それでもメモリーが不足している。** → ［印刷可］スイッチを押してください。解像度を落として印刷しようとしたページのデータを廃棄します。 メモリーを増設してください。
84 フォーム オーバ゛ーXXX	**フォーム登録に必要なメモリーが不足している。** → ［印刷可］スイッチを押してください。アラームの対象となった番号（×××）のフォームデータが読み捨てられます。メモリーを増設してください。
85 セツゾ゛クエラー インターフェース2	**［インタフェース2］に不正なオプションが接続されている。** → オプションボードの型番を確認してください、対応するオプションボードは、「9章 オプション」（171ページ）を参照してください。 **オプションの無線LANボードに無線LANカードが正しく挿入されていない。** → 一度プリンターの電源をOFFにして、無線LANカードを無線LANボードのPCカードスロットの奥までゆっくりと押し込んでください(活用マニュアル1章の「無線LANボードの取り付け」を参照)。 → 取り付けられたら、テスト印刷を行ってください（1章の「8 テスト印刷をする」（27ページ）を参照）。テスト印刷結果のLANボードの項目に「無線LAN」、I/F設定の項目に「インタフェース2」と記載されていることを確認してください。
85 セツゾ゛クエラー カミオクリユニット	**手差しトレイ下部の紙送りユニットが正しくセットされていない。** → 紙送りユニットをいったん引き出し、再度奥につきあたるまで正しくセットしてください。
88 EPタイプ゜チガ゛イ EPコウカン	**EPカートリッジのタイプが違う。** → 正しいタイプのEPカートリッジを取り付けてください。6章の「EPカートリッジの交換」（127ページ）に従ってEPカートリッジを取り付け後、トップカバーをきちんと閉じてください。
89 EPジ゛ュミョウ EPコウカン	**EPカートリッジの寿命を示している。** → 6章の「EPカートリッジの交換」（127ページ）に従ってEPカートリッジを交換後、トップカバーをきちんと閉じてください。
5X コール5X	**オプションユニットの障害が発生している。** → 電源をOFFにして、オプションユニットを再度取り付け直した後、電源をONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、オプションユニットの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
XX　コールXXX	**障害が発生している。** →　電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。 →　ネットワークに接続されたプリンターに印刷しているときにプリンターフォルダーやプリントマネージャの画面から「印刷中止」や「印刷ドキュメントの削除」を行った場合、ネットワーク環境によっては印刷が中断されたことがプリンターに伝わらない場合があります。この場合はプリンター内に印刷データが残ったままとなり次の印刷データと混じることにより、アラームが表示されたり誤印字したりすることがあります。そのような環境でお使いの場合はPrintAgentのプリンタステータスウィンドウのジョブキャンセル機能を使って印刷を中止してください。
上記以外の表示	**障害が発生している。** →　電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。

印刷に異常が見られるときは

印刷にカスレや汚れなど異常が発生する場合は、次の表を参照して異常原因を取り除いてください。

症　状	原因と処理方法
用紙にしわが入ったり、文字の周りがにじむとき	**用紙が規格に合っていない。** →　付録の「用紙の規格」（202ページ）を参照して、確認してください。 →　封筒にしわがつく場合は、プリンターのリアカバーを開け、定着ユニットの左右にあるレバーを押し上げてください。 封筒の印刷が終了したら、レバーを元の位置に戻してください。 **サイドガイドが用紙の幅に合っていない。** →　「3章　用紙のセット」（73ページ）を参照して、もう一度用紙をセットし直してください。 **用紙が湿気を吸収している可能性がある。** →　「3章　用紙のセット」（73ページ）を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 **給紙先の「用紙種類」の設定が、セットされている用紙に対して正しく設定されていない。** →　プロパティダイアログボックス、メニューモードで正しい用紙種類を設定し直してください。 **設定濃度が濃すぎる。** →　メニューモード、プリンタードライバーで濃度を設定し直してください。
用紙が汚れているとき	**プリンターの内部が汚れている。** →　6章の「清　掃」（132ページ）を参照して、よく清掃してください。
印刷が薄い、かすれるとき	**トナーがない（トナーランプ点灯）。** →　EPカートリッジの交換時期です。6章の「EPカートリッジの交換手順」（129ページ）を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **トナー節約機能を使用している。** →　メニューモード、プリンタードライバーでトナー節約機能を解除してください。 **設定濃度が淡すぎる。** →　メニューモード、プリンタードライバーで濃度を設定し直してください。 **EPカートリッジのトナーシールが引き抜かれていない。** →　1章の「5　EPカートリッジを取り付ける」（22ページ）を参照して、トナーシールを引き抜いてください。 **用紙が湿気を吸収している可能性がある。** →　「3章　用紙のセット」（73ページ）を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。

症　状	原因と処理方法
印刷が薄い、かすれるとき（続き）	**給紙先の「用紙種類」が、セットされている用紙に対して正しく設定されていない。** →　プロパティダイアログボックス、メニューモードで正しい用紙種類を設定し直してください。 **定着ユニットの左右にあるレバーが上がっている。** →　プリンターのリアカバーを開け、定着ユニットの左右にあるレバーを押し下げてください。
何も印刷されない	**トナーがない（トナーランプ点灯）。** →　EPカートリッジの交換時期です。6章の「EPカートリッジの交換」（127ページ）を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **EPカートリッジのトナーシールが引き抜かれていない。** →　1章の「5　EPカートリッジを取り付ける」（22ページ）を参照して、トナーシールを引き抜いてください。 **一度に複数枚の用紙が搬送されている。** →　用紙をよくさばいてからセットし直してください。 **用紙が湿気を吸収している可能性がある。** →　「3章　用紙のセット」（73ページ）を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 **EPカートリッジに問題がある。** →　6章の「EPカートリッジの交換」（127ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
真っ黒に印刷されたとき	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** →　6章の「EPカートリッジの交換」（127ページ）を参照して、EPカートリッジを取り付け直してください。 **EPカートリッジに問題がある。** →　6章の「EPカートリッジの交換」（127ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
文字のグレー印刷ができない 1 2 3 4 5 6 A B C a b c d	**プリンタードライバーの設定が正しくない。** →　Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000：プリンタードライバーの［印刷設定］ダイアログボックスを開き、［その他］シートの［文字の表現］で［標準（グレースケール）］が選択されているかどうか確認してください。選択されていない場合は、選択してください。 Windows Me、Windows 98、Windows 95：プリンタードライバーの［プロパティ］ダイアログボックスを開き、［フォント］シートの［文字を白黒で印刷する］がチェックされているかどうか確認してください。チェックされている場合は、チェックを外してください。 Windows NT 4.0：プリンタードライバーの［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスを開き、［その他］シートの［文字の表現］で［標準（グレースケール）］が選択されているかどうか確認してください。選択されていない場合は、選択してください。

症　状	原因と処理方法
印刷に縦線や横線が入るとき	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** →　6章の「EPカートリッジの交換」（127ページ）を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 **EPカートリッジに問題がある。** →　6章の「EPカートリッジの交換」（127ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
印刷用紙の裏が汚れるとき	**用紙の搬送路に汚れが付着している。** →　数枚テスト印刷をしてください。
等間隔に汚れがつくとき	**用紙の搬送部に汚れが付着している。** →　数枚テスト印刷をしてください。 **EPカートリッジに問題がある。** →　6章の「EPカートリッジの交換」（127ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
黒く塗りつぶした部分に白点がつくとき	**用紙が規格に合っていない。** →　付録の「用紙の規格」（202ページ）を参照して、確認してください。
指でこするとかすれるとき	**用紙が湿気を吸収している可能性がある。** →　「3章　用紙のセット」（73ページ）を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 **用紙が規格に合っていない。** →　付録の「用紙の規格」（202ページ）を参照して、確認してください。
部分的に白く抜けるとき	**用紙が湿気を吸収している可能性がある。** →　「3章　用紙のセット」（73ページ）を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 **用紙が規格に合っていない。** →　付録の「用紙の規格」（202ページ）を参照して、確認してください。 **プリンター内部が結露している可能性がある（冬期など）。** →　電源をONにしたまま30分〜1時間放置してから印刷してください。 **EPカートリッジに問題がある可能性がある。** →　6章の「EPカートリッジの交換」（127ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。

症　状	原因と処理方法
縦線の形状で白く抜けるとき あ いうえ お かきくけこ ア イウエ オ カキクケコ A B C D E F G H I J a b c d e f g h i j さ しすせそ たちつてと サ シスセソ タチツテト K L M N O P Q R S T k l m n o p q r s t	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** →　6章の「EPカートリッジの交換」（127ページ）を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 **EPカートリッジに問題がある。** →　6章の「EPカートリッジの交換」（127ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。 **トナーがない（トナーランプ点灯）。** →　EPカートリッジの交換時期です。6章の「EPカートリッジの交換」（127ページ）を参照して、EPカートリッジを交換してください。
正しく印刷できずに文字が化ける	**プリンター切り替え器などを介して印刷している。** →　切り替え器などを介さずにプリンターを接続してください。 →　LANインターフェース接続に変更してください。
改行量（行の間隔）が2倍になる 1 2 3 4 5 6 A B C D E F a b c d e f 1行が2行にわたる 1 2 3 4 5 6 A B C D E F a b c d e f 各行の文字が重なって印刷されてしまう 1 2 3 4 A B C D a b c d 用紙の途中から印刷が始まってしまう 1 2 3 A B C a b c	**アプリケーションで設定した用紙サイズと、使用する用紙サイズが異なっている。** →　ソフトウエアの用紙サイズ設定と使用する用紙のサイズを合わせてください。 →　他の用紙サイズに印刷するか、メニューモードを使ってA4ポートレート桁数を80桁にしてください。 A4ポートレートの用紙に80桁分の印刷（パーソナルコンピューターの画面コピーなど）を行うと、このような症状になることがあります。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている。** →　ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。 →　メニューモードを使ってプリンターの136桁モードを有効にしてください。 アプリケーションがシリアルプリンター専用に作られている場合には、136桁モードを有効にすることでこれらの症状は改善されます。特に、「用紙の途中から印刷が始まってしまう」場合には、136桁モードの用紙位置設定を中央合わせにすることで正しい印刷結果が得られるようになります。

思うように印刷できないときは

プリンターの動作がおかしくて思うように印刷ができないとき、プリンターまたはアプリケーションの設定を変えれば、ほとんどの場合は改善できます。

ここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

症　状	原因と処理方法
正常に印刷できない	**他のプリンタードライバーが同一のポートを使用している。** →　プリンタードライバーによっては接続先のポート（LPT1:、COM1:など）に対して常に通信しようとするため、同一ポートに接続されているプリンターに悪影響を与えることがあります。Windowsのヘルプを参照して、他のプリンタードライバーのポートを本プリンタードライバーと違うポートに変更するか、他のプリンタードライバーを削除してください。 **プリンターのメモリースイッチ5-1がONで、I/F設定が「ECP」になっている。** →　お使いのプリンターを Windows から印刷する場合は、メモリースイッチ 5-1 をONのままメニューモードのI/F設定メニューの「ソウホウコウセッテイ」を「ニブル」に設定してください。プリンターのI/F設定を変更した場合は、プリンターの電源の再投入が必要となります。 **お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターのI/F設定が異なる。** →　お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターのI/F設定の動作モードを同じ設定にしてください。 詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。 **PrintAgentが正しく動作していない。** →　活用マニュアル9章の「PrintAgentシステムが起動しないときは」を参照してください。 **プリンターと双方向通信ができない。** →　本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（156ページ）を参照してください。
斜線の太さが均一でない（線の角度によって、線の太さが違っている） 写真などの絵やグラデーションがおかしい	**SETの設定が「ON」になっている。** →　プリンタードライバーのプロパティまたはメニューモードでSETの設定を「OFF」にしてください。SETは、印刷時の解像度を拡張して斜線や曲線の印刷品質を向上させるための機能ですが、印刷内容によってはこのような症状になることがあります。 **トナー節約機能がONになっている。** →　プリンタードライバーのプロパティまたはメニューモードでトナー節約機能を「OFF」にしてください。トナー節約機能はトナーの使用を節約する試し印刷用の機能です。この機能を使うと細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない	**アプリケーションの用紙・印刷に関する設定が間違っている。** →　アプリケーションの説明書を見て正しく設定してください。アプリケーションによっては、わずかでも異なる設定項目があると、印刷位置がずれる場合があります。 **プリンターのA4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている。** →　メニューモードでA4ポートレート桁数を78桁にしてください。A4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている場合には、本来の印刷位置よりわずかに左にずれて印刷されます。したがって、80桁に設定されているプリンターとそうでないプリンターとでは印刷位置が異なります。

症　状	原因と処理方法
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない（続き）	**使用している用紙がプリンターの規格に合っていない。** →　付録の「用紙の規格」（202 ページ）を参照して、規格に合っているか確認してください。 本プリンターのようなレーザープリンターは、用紙送りをローラーの摩擦によって行っています。そのため、他のレーザープリンターと同様に縦方向、横方向とも多少の誤差が発生します。この誤差は用紙によっても異なります。 **以前使用していたプリンターと本プリンターとの間に印刷位置の互換性がない。** →　プリンターの印刷位置は、PC-PR2000/6W等のNPDLまたはNPDL（Level2）対応のプリンターおよびPC-PR601、PC-PR602、PC-PR602Rに対して互換性があります。 従来互換の印刷範囲に設定するには、プリンタードライバーの以下に示すシートで設定を変更してください。 Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0： ［プロパティ］ー［プリンタの設定］シートー［従来互換の印刷範囲］ Windows Me、Windows 98、Windows 95： ［プロパティ］ー［印刷品質］シートー［従来互換の印刷範囲を使用する］
“データガノコッテイマス”を表示したまま印刷を開始しない	**改ページコードまたは排出コードがありません。** →　［印刷可］スイッチを押して印刷可ランプを消灯させてから、［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押してください。本プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータが揃わないと印刷を開始しません。また、アプリケーションの中にはページの最後に排出コードなどのページの終わりを示す制御コードをプリンターに送らないものがあります。このような場合は上記の方法で処理してください。 なお、メニューモードで自動排出を有効にしておくと設定した時間内に印刷データが来ない場合、自動的に印刷・排出されます。ただしコンピューターからのデータ送信が長い時間途切れるような場合には、この機能を使用しないでください。 →　プリンターの動作エミュレーションがプロッターエミュレーションの場合は、コンピューターから用紙送りコマンド「PG」を送り、用紙を排出してください。また、メニューモードの「プロッタセッテイメニュー」の「SPコマンドハイシュツ」を“SPコマンドハイシュツ　ON”に設定すれば、コマンド「SP Ø;」または「SP;」で用紙を排出することができます。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている。** →　ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。ソフトウエアのプリンター設定がシリアルプリンターになっていると、排出コードをプリンターに送らないためにこのような症状が起こります。 また、新たにソフトウエアを作成する場合には、このような症状を防ぐため、各ページの最後に排出コード（0Ch）を付加するようにしてください。 **コンピューターからのデータ送信が途切れている。** →　プリンターへのデータ送信について、プリンタードライバーの「タイムアウト設定」の設定時間を長くしてください。複雑なデータやアプリケーションによっては、設定時間が短いとデータ送信を中止することがあります。

症　状	原因と処理方法
ホッパー、MPに定型サイズの用紙をセットしているのに、違うホッパーから印刷したり、操作パネルのディスプレイに違うホッパーへの“ホキュウ”メッセージが表示される。	**ホッパー、MPが定形外サイズ設定になっている。** →　ホッパー、MP カセットの用紙サイズが定形外サイズに設定されているときは、［用紙選択］スイッチで「ジドウ」に設定するとプリンター本体で自動的に用紙サイズを検知するようになります。4章の「スイッチ」（92ページ）を参照して、設定を変更してください。 →　プリンタードライバのプロパティの［用紙］シートの、［用紙サイズ］で対象となるホッパーまたはMPにセットした定型サイズ用紙（例えば、A4）を選択し、［給紙方法］で対象となる給紙先のホッパーまたはMP（例えば、ホッパ1）を選択して印刷する。 この時、操作パネルのディスプレイには“ホッパ1　A4ホキュウ”と表示されますが、ホッパーにセットしている用紙がA4サイズであることを確認して［印刷可］スイッチを押してください。印刷が再開されます。
ページの途中までしか印刷されない または1ページ分のデータが2ページにわたって印刷されてしまう	**自動排出機能が有効になっている。** →　メニューモードで自動排出を無効にしてください。 プリンターには自動排出機能（コンピューターからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータが自動的に印刷・排出する機能）があります。このとき、コンピューターからのデータ送信が設定した自動排出時間以上に途切れた場合には、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまいます。 また、各OSでプリンターへのデータ送信についてタイムアウト時間を設定できます。このタイムアウト設定の時間が短いと、複雑なデータなどでプリンターのビジー時間が長くなった場合、コンピューターが印刷データの送信を中止する場合があります。その場合にはプリンターの自動排出を無効にするだけでなく、タイムアウト設定の時間を長くしてください。タイムアウト設定の時間変更は各OSのマニュアルを参照してください。 **綴じしろが合っていない。** →　印刷範囲を確認してください。両面印刷のときにはクリップ機能を使うと印刷範囲を超えた分のデータを次のページに印刷しないようになります。詳細は2章の「クリッピング機能について」（72ページ）を参照してください。
用紙の左側が空白になる（印刷文字が用紙の右側にかたよって印刷される）	**一部のソフトウエアでは、用紙位置が異なる場合がある。** →　メニューモードで136桁モードを有効にし、用紙位置を調整してください。
縮小すると、縮小前と印刷結果が異なる	**印刷データによっては、縮小すると印刷結果が異なる場合がある。** →　プリンターでは、座標値などを縮小することにより縮小印刷を行っています。このときに、数値の丸め誤差が生じ、図形と図形の重なりなどが変わることにより、印刷結果が異なってしまう場合があります。
改行量がおかしくなり、徐々にずれてしまう	**一部のソフトウエアには、ソフトウエアの指定によって改行で用紙を排出するものがある。** →　ソフトウエアの設定をシートフィーダー付きにするか、1ページの長さを67行（A4サイズの用紙の場合）に設定してください。

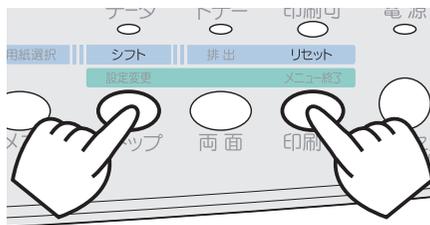
症　状	原因と処理方法
画面の文字と異なる文字が印刷された	**ご使用のコンピューター環境に最も適した方法でプリンターを指定していない。** →　「2章　プリンターソフトウエアのインストール」（47ページ）を参照して確認してください。 途中で長い時間中断させるような使い方をしている場合に自動排出機能が有効になっていると、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまうことがあります。 **適切なエミュレーションモードを選択していない。** →　4章の「メニューモード」（99ページ）を参照して、エミュレーションモードを選択し直してください。 動作自動設定を選択している場合は、動作モード設定にて正しいエミュレーションを選択し直してください。 **プリンターケーブルがきちんと接続されていない。** →　プリンター側とコンピューター側の接続状態を確認してください。 **プリンターバッファーや切り替え器を使用している。** →　プリンターバッファーや切り替え器を使用しない接続方法に変更してください。
白紙が出る	**ソフトウエアのプリンター設定がシートフィーダー付きになっている。** →　シートフィーダー付きになっている場合は、メニューモードで「136桁モード」を有効にしてください。
両面印刷が正しく機能しない	**メニューモードが合っていない。** →　メニューモードの両面印刷に関する設定を確認してください。 **セットされている用紙サイズが合っていない。** →　両面印刷可能な用紙は決められています。3章の「使用できる用紙」（74ページ）を参照してください。
	メモリーが足りない。 →　A3、B4サイズの用紙に両面印刷を行う場合、メモリーの増設が必要です。9章の「増設メモリー」（194ページ）をご覧になり、メモリーを増設してください。 **メモリースイッチ5-1がONになっている。** →　メモリースイッチ5-1を「OFF」にしてください。特定の環境下で同期コードを有効にし、アプリケーションがページごとに同期を取っている場合には、正しく機能しないことがあります。
丁合い印刷ができない または多部数印刷ができない	**プリンターと双方向通信ができない。** →　本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（156ページ）を参照してください。 →　双方向通信が行えない環境の場合は、電子ソート機能を有効にする必要があります。電子ソート機能を有効にするためにはプリンターにメモリーを増設し、プリンタードライバーの設定を変更する必要があります。詳しくは、活用マニュアル4章の「電子ソート機能」をご覧ください。 →　アプリケーションの丁合い印刷、または部数印刷を設定してください。
印刷速度が遅い	**プリンターバッファーなどを取り付けている。** →　コンピューター本体とプリンターを市販のプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンター共有器、コピープロテクターなどで接続している場合には、プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にする必要があります。本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（156ページ）を参照して、双方向通信機能を無効にしてください。 **プリンターと双方向通信ができない。** →　本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（156ページ）を参照してください。 **Microsoft Windowsのターミナルサービス環境で印刷している。** →　本章の「その他の注意事項」（157ページ）を参照してください。

症　状	原因と処理方法
B4、B5サイズで印刷できない	**プリンタードライバーの用紙サイズ設定が異なっている。** →　Windows XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0をご使用の場合は「用紙サイズ」で「B4(JIS)」もしくは「B5(JIS)」を選択してください。

プリンターをリセットする方法について

プリンターをリセットするには以下の手順で行います。

❶ **［シフト］スイッチを押した状態で［リセット］スイッチを2回押す。**

ディスプレイに“リセットジッコウ”と表示され、未印刷データは消失され、プリンターは初期状態になります。

リセット後、ブザーが2回鳴ります。

プリンターがリセットされました。

PrintAgentを正しく動作させるために

PrintAgentはネットワーク環境で使用することで、より効果を発揮します。以下はPrintAgentを正常に機能させるための注意事項についてネットワーク関連の設定を中心に説明します。

PrintAgentを動作させる前に

PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項

PrintAgentをインストールまたはアンインストールする時は以下のことに注意してください。

- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- ［PrintAgentセットアップ］のウィンドウが閉じるまで、CD-ROMやフロッピーディスクなどインストール元のメディアを取り出さないでください。
- PrintAgentのインストールまたはアンインストール終了後、再起動を促すメッセージが表示されることがあります。画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。
- インストール時に指定したPrintAgentソフトウェアのフォルダー（ディレクトリー）名を変更するとアンインストールできません。インストール時のフォルダー（ディレクトリー）名に戻してからアンインストールしてください。
- プリンターのプロパティダイアログボックスを表示している時、およびMultiWriterが印刷中の時は、PrintAgentをアンインストールすることができません。プリンターのプロパティダイアログボックスを閉じ、印刷が終了してからアンインストールしてください。
- 他のユーザーがインストールしようとしているコンピューターにログオンしている場合は、インストールはできません。
  - Windows XPの場合：
    各ユーザーに切り替えてログオフしてからインストールを行ってください。
  - Windows Server 2003の場合：
    他のユーザーをログオフしてからインストールを行ってください。
- Windows XPにPrintAgentをインストールまたはアンインストールするユーザーは、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］である必要があります。また、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0にPrintAgentをインストールまたはアンインストールするには、［Administrators］または［DomainAdmins］グループのメンバーである必要があります。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でPrintAgentをインストールする場合、アクセス権により使用可能なユーザーが制限されているフォルダー（ディレクトリー）にインストールしないでください。

- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で［プリンタの追加ウィザード］より、他のコンピューターに接続されたプリンターを指定してインストールしたプリンタードライバーをPrintAgentで使用している時に、さらに［プリンタの追加ウィザード］でローカル接続のプリンタードライバーをインストールする場合は、［現在のドライバを使う（推奨）］ではなく、［新しいドライバに置き換える］を選択してインストールしてください。

- Windows XP、Windows Server 2003の場合は［コントロールパネル］の［プログラムの追加と削除］より、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は［コントロールパネル］の［アプリケーションの追加と削除］より起動したPrintAgentの追加と削除でPrintAgentオプションの追加をすると、セットアップに必要なファイル*を要求する画面が表示される場合があります。この場合は、以前にインストールで使用したプリンターソフトウエアCD-ROMを挿入するか、もしくはプリンターソフトウエアCD-ROMよりインストールプログラムを実行し、カスタムインストールにてPrintAgentのオプションを追加してください。

共有プリンターの利用/提供について

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で、共有プリンターの提供の設定は［コンピュータの管理者］およびAdministrators権限のある方が変更できます。
［共有プリンタを利用する］、［共有プリンタを提供する］は、通常はONのままで支障ありませんが、次の場合はOFFにすることをお勧めします。

- **ネットワークの回線速度が遅い**

  低速回線を経由する共有プリンターに対して、PrintAgentを使用すると、通信速度の関係でプリンタステータスウィンドウなどの操作がしにくかったり、状態の表示が遅れたりすることがあります。この場合は、［PrintAgentのプロパティ］で［共有プリンタを利用する］のチェックを外してください。ネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にすることができます。この場合、この設定を外してもローカル接続しているプリンターでは引き続きPrintAgentをご利用になれます。

- **転送データ量に応じて課金されるネットワーク環境**

  転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrintAgentを使用している場合に、PrintAgentの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。
  考慮すべきネットワーク環境の例としては以下のケースがあります。

  - ネットワークプリンターが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
  - プリントサーバー、DNSサーバー、WINSサーバーが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
  - ローカルネットワークの通信自体が課金ネットワークの場合

  これらを避けたい場合にも、上記操作によってネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にしてください。

- **コンピューターの処理能力が十分でない**

  コンピューターの性能があまり高くない場合、PrintAgentのご利用により、他の作業の処理速度に影響する可能性があります。この場合、この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。

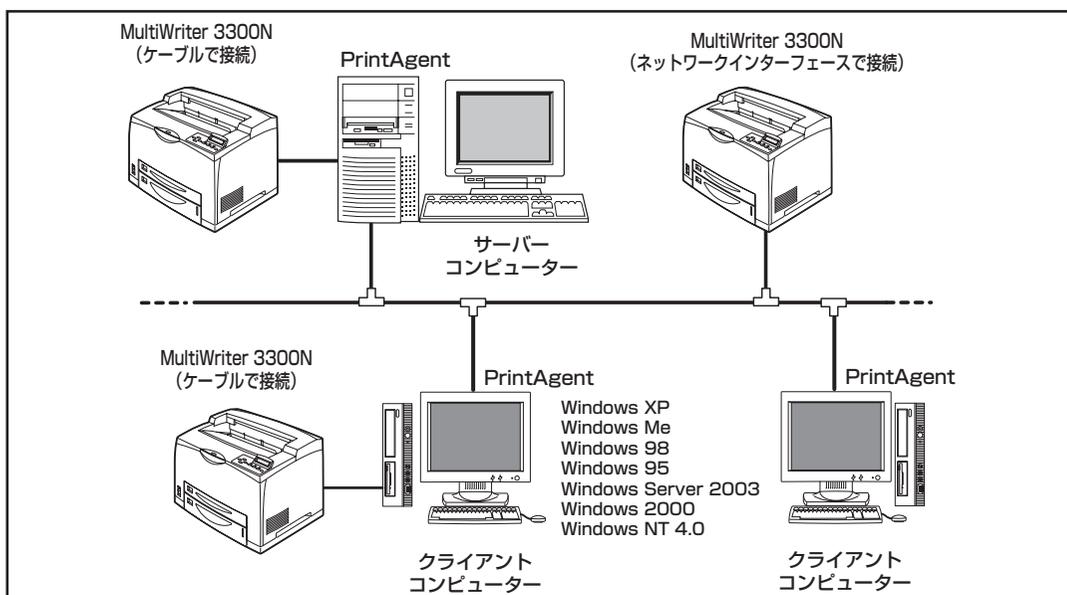
* フロッピーディスクをご利用の場合、メッセージに従ってNMPSディスクを挿入してください。

従量課金回線での課金を最小限（印刷時のみ）とするためには

- クライアントコンピューター側で［PrintAgentのプロパティ］の［共有プリンタを利用する］のチェックを外します。
- サーバーコンピューター側で［PrintAgentのプロパティ］の［共有プリンタを提供する］のチェックを外します。
- サーバーコンピューターがWindows Me、Windows 98、Windows 95の場合は、プリンターの［プロパティ］の［詳細］－［スプールの設定］－［このプリンタの双方向通信機能をサポートしない］を選択してご利用ください。
- サーバーコンピューターがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は［プリンタのプロパティ］、Windows NT 4.0の場合は［プリンタのプロパティ］の［ポート］－［双方向サポートを有効にする］のチェックを外してご利用ください。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の環境でStandard TCP/IP Port(LPR)を使用して印刷する場合は、［SNMPステータスを有効にする］のチェックを外してください。

クライアント・サーバーシステムでお使いの場合

PrintAgentをクライアント・サーバーシステムでお使いの場合、以下のことに注意してください。

- PrintAgentはローカルプリンターに対してもネットワーク上の共有プリンターに対しても使用できます。ただし、ネットワーク上で使われる場合PrintAgentソフトウエアはサーバーコンピューター、クライアントコンピューター両者にインストールされている必要があります。

- 1台のサーバーコンピューターに接続されたクライアントコンピューターの中でPrintAgentを使用するクライアントコンピューターは30台以下を推奨します。サーバーコンピューターの性能やネットワークトラフィックによっては、印刷時にプリンターの状態情報が取得できなくなる、クライアントコンピューターでオフライン作業になる、またはネットワークプリンターの状態が不明になる場合があります。このような場合、印刷時以外は［PrintAgentのプロパティ］の設定の［共有プリンタを利用する］のチェックを外してPrintAgentを動作させないようにするか、PrintAgentを終了させて運用してください。
- プリントサーバーコンピューターには64Mバイト以上のメモリーを搭載し、運用することを推奨します。（Windows XP、Windows Sever 2003、Windows 2000日本語版をプリントサーバーコンピューターとしてご利用の場合には、256Mバイト以上を推奨します。）

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために、双方向通信でお使いになることをお勧めします。

- 双方向通信が可能なポートに接続してください。

OS	パラレルインターフェース接続	USB インターフェース接続	LAN 接続
Windows XP、 Windows Server 2003、 Windows 2000	LPTx	USBxxx	NEC Network Port
Windows Me、 Windows 98、 Windows 95	LPTx	USBxxx*	NEC TCP/IP Printing System
Windows NT 4.0	LPTx	- - -	NEC Network Port

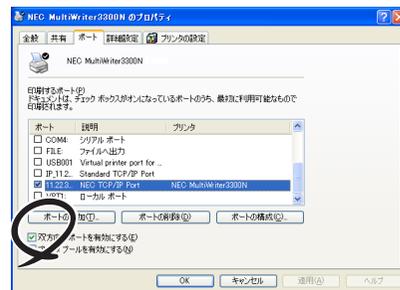
* Windows 95には対応していません。

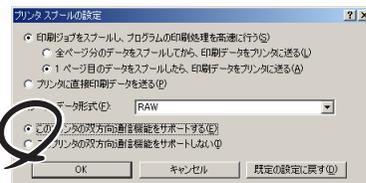
- 上記の表以外のポートでご利用の場合には双方向通信を無効に設定してください。この場合、PrintAgentの機能はご利用になれません。
- ネットワークオプションのマルチプロトコルLANアダプタ（型番　PR-NPX-05)はPrintAgentに対応していません。

- 双方向通信を有効にしてください。

<Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合>

［プロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］をチェックする。

<Windows Meの場合>

［プロパティ］ダイアログボックスの［詳細］-［スプールの設定］-［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］を選択する。

<Windows 98、Windows 95の場合>

［プロパティ］ダイアログボックスの［詳細］-［スプールの設定］-［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選択する。

<Windows NT 4.0の場合>

［プロパティ］ダイアログボックスで［ポート］シートの［双方向サポートを有効にする］をチェックする。

その他の注意事項

PrintAgentを動作させる前に、以下のことに注意してください。

- ネットワーク共有プリンターが直接つながっているコンピューターのOSがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、プリンタープールはサポートしていません。サーバーコンピューター上ですべてのプリンターのプリンタープールを無効にする必要があります。サーバーコンピューターがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は［プリンタのプロパティ］、Windows NT 4.0の場合は［プリンタのプロパティ］の［ポート］-［プリンタプールを有効にする］のチェックを外してください。［プリンタプールを有効にする］をチェックした場合、プリンターの状態が正しく表示されません。権限がない場合は管理者に連絡してください。
- PrintAgentがサポートしているネットワークプロトコルはTCP/IPです。また、標準のLANインターフェース／LANボード／無線LANボード／LANアダプターを装着したプリンターと接続する場合、サポートしているネットワークプロトコルもTCP/IPのみです。
- PrintAgentはWindows Server 2003, Enterprise Edition 日本語版、Windows Server 2003, Datacenter Edition 日本語版、Windows 2000 Advanced Server、Windows 2000 Datacenter Server、Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0のクラスタ機能を使ったクラスタリングシステム、あるいはWindows NT Server 4.0, Terminal Server Edition、Windows 2000のTerminal Serviceを実装したシステムには対応していません。これらのシステムでは、PrintAgentが正常に動作しない場合がありますので、PrintAgentをインストールしないでご利用ください。またこれらのシステムでご使用の際には、双方向通信に対応していないプリンタードライバーをお使いください。双方向通信に対応していないプリンタードライバーは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの以下に収録しています。

  － Windows Server 2003、Windows 2000対応プリンタードライバー: ¥MW3300N¥WIN2KTS
  － Windows NT 4.0対応プリンタードライバー: ¥MW3300N¥NT40TSE

  プリンタードライバーのインストール方法については、活用マニュアルの3章の「ターミナルサービス用プリンタードライバーのインストール」を参照してください。また、OSの「プリンタの追加」機能で上記のフォルダーを指定することでプリンタードライバーをインストールすることもできます。
- PrintAgentをインストール時に指定するPrintAgentモジュールのフォルダー名（指定しなければ「PrintAgent」になります）はインストール終了後に変更しないでください。フォルダー名を変更するとアンインストールが正常に行えません。また、PrintAgentが正しく動作しません。Windows3.1やDOS上でフォルダーの移動などを行うと、フォルダーの名前が「PRINTA~1」などに変わってしまう場合があります。
- プリンターソフトウエアをインストールする際に指定する出力ポート（インターフェースコネクター）に、プリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファーを使用している場合、PrintAgentはご利用になれません。PrintAgentをインストールしないでご利用ください。また、PrintAgentを利用する場合は、出力ポート（インターフェースコネクター）からプリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファーなどを取り外してお使いください。
- ドメインに参加していないWindows XPをプリントサーバーとしてご使用の場合、プリンタステータスウィンドウやリプリントが正しく動作しない場合があります。
- コンピューターのOSがWindows Me、Windows 98、Windows 95の場合でネットワークアダプターが他のインターフェースなどと同一の割り込み要求（IRQ）に設定されていると、Windows起動時にエラーが発生することがあります。このような場合は、使用していないインターフェースの割り込み要求（IRQ）を解放し、ネットワークアダプターで使用する割り込み要求（IRQ）と競合しないように設定を変更してください。割り込み要求（IRQ）の解放、変更についてはお使いのコンピューター、ネットワークアダプターの取扱説明書または各OSのヘルプなどを参照してください。

- 一部のコンピューターによっては、CPUの性能により、PrintAgentの動作が不安定または動作しないものがあります。
- PrintAgent はプリンタステータスウィンドウの表示に加えて音声メッセージを通知させることもできます。この機能を利用できるのはPCM録音・再生など「サウンド機能」を持ったコンピューターです。お手持ちのコンピューターが音声メッセージ機能を使用できるかどうかはコンピューターに添付のマニュアルをご覧ください。

PrintAgentの動作中は

コンピューターにPrintAgent対応プリンターが複数インストールされている場合､プリンタステータスウィンドウを表示させるとき、ダイアログボックスで「プリンタの選択」を要求されることがあります。

PrintAgentの制限事項

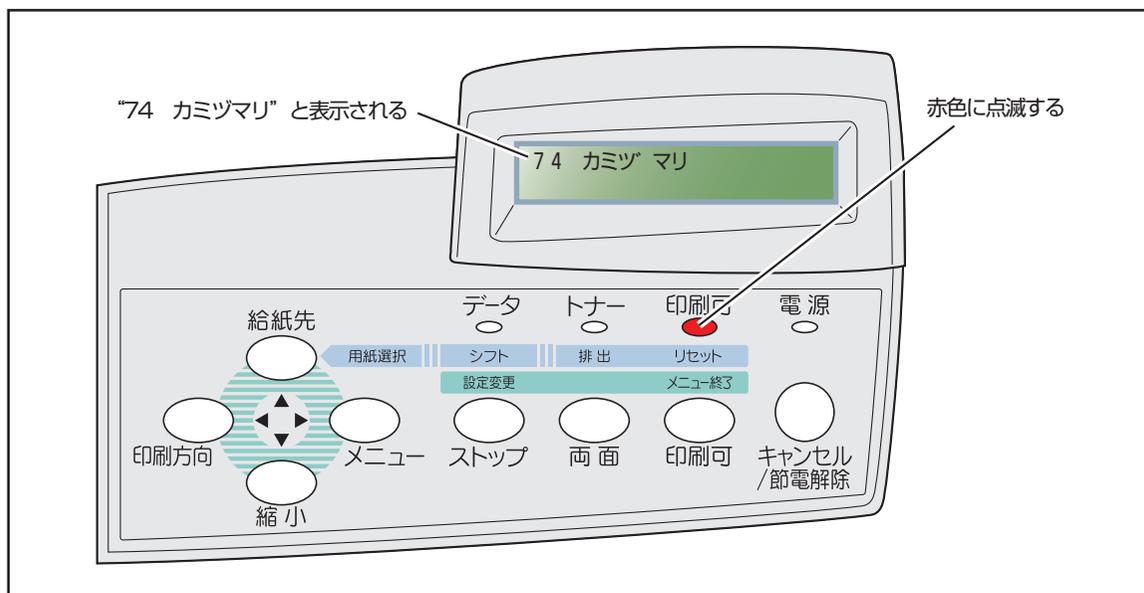
- PrintAgentとプリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティー（DMITOOLなど）を同時に使用すると正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。
- プリンターとお使いのコンピューターのプリンターポート（パラレルポート）の設定が異なる場合、PrintAgentの動作に不具合が生じることがあります。（例えば、コンピューターはECPモード、プリンターはニブルモードといった場合です。）双方の設定を合わせてご使用ください。設定を変更する場合、お使いのコンピューターの取扱説明書を参照して、プリンターポート（パラレルポート）の設定を変更するか､プリンターの設定を変更してください｡プリンターの設定を変更するには4章の｢メニューモード｣（99ページ）を参照してください。

OSをアップグレードする場合

お使いのコンピューターのOSをアップグレードする場合、以下のことに注意してください。

- OSをアップグレードする前に、2章の「プリンタードライバーの削除」（66ページ)､｢PrintAgentの追加・削除」（68ページ）の手順に従ってプリンタードライバーおよびPrintAgentを削除してください。OSをアップグレードした後に、再度プリンターソフトウエアをインストールしてください。
- 従来OS用のPrintAgentはWindows XP、Windows Sever 2003、Windows 2000では使用できません。Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0、Windows NT 3.51からWindows XP、Windows Sever 2003、Windows 2000にアップグレードする場合は、PrintAgentをアンインストールしてからWindows XP、Windows Sever 2003、Windows 2000へのアップグレードを行ってください。 OSのアップグレードが正しく行えた後に、Windows XP、Windows Sever 2003、Windows 2000に対応したPrintAgentをインストールし、ご使用ください。
- すでにOSをWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000にアップグレードしてしまった場合、PrintAgentをアンインストールせずにWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000上で「PrintAgent Eraser」を使用してPrintAgentを削除してください。「PrintAgent Eraser」は、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「¥PAeraser¥Readme.txt」をご覧ください。
- Web PrintAgentをご利用の場合、OSのアップグレード時に停止されます。アップグレード後、インターネット　インフォメーション　サービス（IIS）のWebサイトを再び開始してください。

紙づまりのときは

紙づまりが発生すると、操作パネルの印刷可（赤）ランプが点滅し、ディスプレイに“74　カミヅマリ”と表示されます。同時にプリンターは印刷を中止し、ディセレクト状態（印刷可ランプが赤色に点滅）になります。

紙づまりの発生箇所

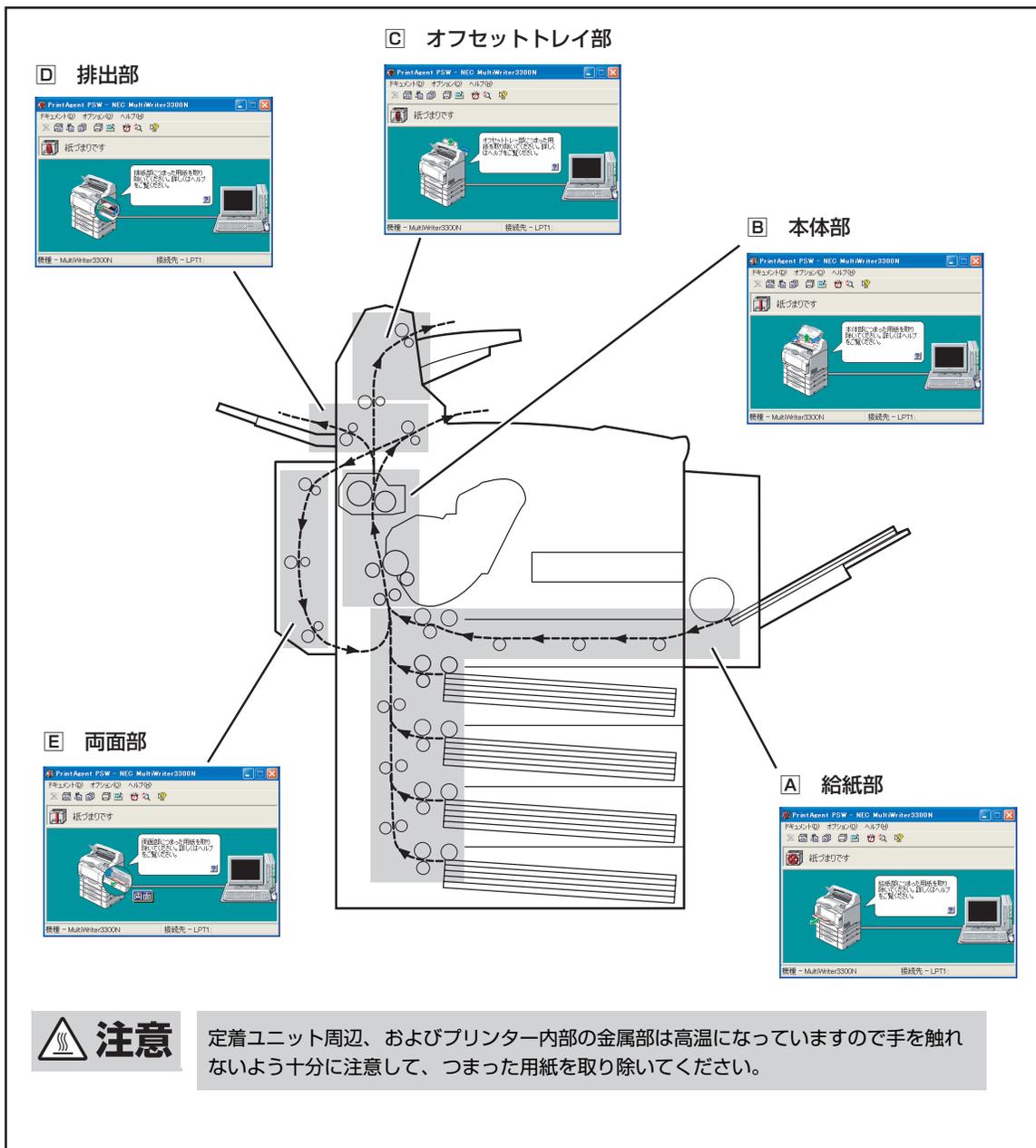
紙づまりのとき、ディスプレイ下段の表示は紙づまりが発生している箇所を表しています。

ディスプレイ表示		紙づまり発生箇所
上段	下段	
“74　カミヅマリ”	“キュウシ”	A 給紙部
	“ホンタイ”	B 本体部
	“オフセットトレー”＊1	C オフセットトレイ部
	“ハイシ”	D 排出部
	“リョウメン”＊2	E 両面部

＊1　オプションのオフセットトレイユニット装着時のみ表示されます。

＊2　オプションの両面印刷ユニット装着時のみ表示されます。

次ページの図のA、B、C、D、Eで示す網掛け部分が紙づまりの発生箇所です。これらのいずれかを開けて、つまった箇所を調べ、「紙づまりの処理」（161ページ）からの手順を参照して紙づまりの処理を行ってください。

C オフセットトレイ部
D 排出部
B 本体部
E 両面部
A 給紙部
紙づまりです
注意
定着ユニット周辺、およびプリンター内部の金属部は高温になっていますので手を触れないよう十分に注意して、つまった用紙を取り除いてください。

紙づまりの発生箇所

紙づまりの処理

発生箇所（A、B、C、D、E）に応じて、紙づまりの処理をしてください。

つまった用紙を取り除くことができたら、カバー類を閉めてください。トップカバーを開かずに用紙を取り除いた場合は、最後に必ずトップカバーを開閉してください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、自動的に印刷は再開されます。

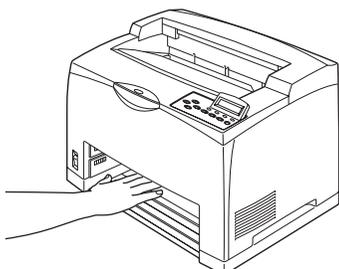
紙づまりが頻発するようでしたら、「紙づまり処理後の確認」（165ページ）を参照して紙づまりを誘発させる事柄がないか確認してください。

- つまった用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。
- 紙づまりが発生した場合、つまった用紙が取り除かれると、紙づまりによって正しく排出されなかった用紙の印刷データから印刷を再開します。しかし、紙づまりが発生した位置によっては、正しく排出されなかった印刷データから印刷を再開できない場合があります。

A 給紙部の紙づまり

用紙カセットで紙づまりが発生した場合

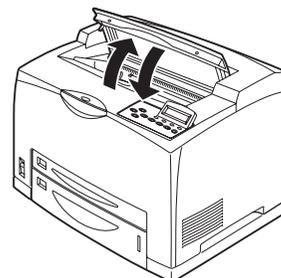
- 用紙カセットを取り外すときは、両手で持ってください。
- 用紙カセットを取り外すときは、ゆっくりと引き出してください。用紙カセットを強く引き出すと、つまっている用紙が切れてしまい、取り除けなくなるおそれがあります。

❶ **すべての用紙カセットを引き抜き、しわになっている用紙があれば、取り除く。**

❷ **プリンターの奥を点検し、つまっている用紙を取り除く。**

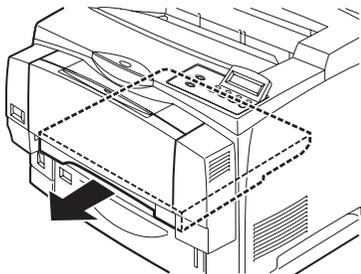
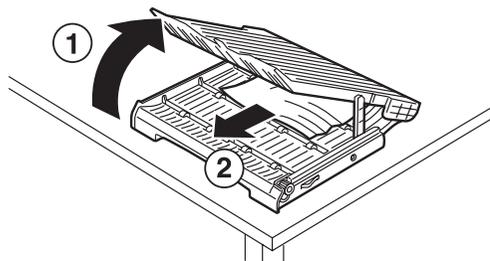
オプションのホッパーを増設している場合に、短い長さの用紙がホッパー奥でつまったときは、両手で用紙の左右の端をつまんで、手前に引き抜きます。

❸ **引き出した用紙カセットを、プリンターの奥に突き当たるまでしっかり押し込む。**

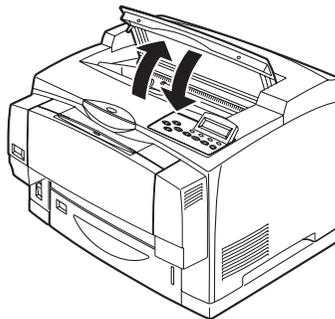
❹ **トップカバーを開閉する。**

トップカバーを開閉しないと、エラーは解除されません。

手差しトレイ（オプション）で紙づまりが発生した場合

❶ 手差しトレイにセットされている用紙を取り除く。

❷ 手差しトレイ部を閉じて、下部の紙送りユニットを引き抜く。

❸ 紙送りユニットの上部を開け（①）、つまっている用紙があれば取り除く（②）。

❹ 引き出した紙送りユニットを、プリンターの奥に突き当たるまでしっかり押し込む。

❺ トップカバーを開閉する。

トップカバーを開閉しないと、エラーは解除されません。

❻ 手差しトレイ部を開いて、用紙をセットし直す。

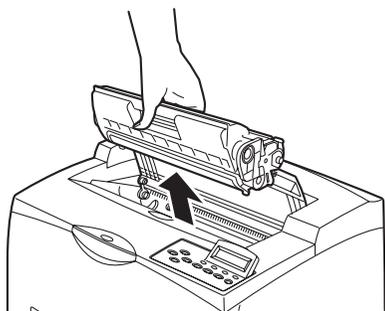
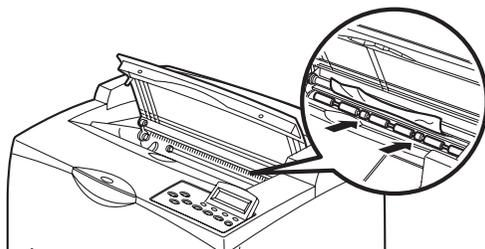
B　本体部の紙づまり

定着ユニット周辺、およびプリンター内部の金属部は高温になっています。触れるとやけどをするおそれがありますので、十分に注意してください。

❶ トップカバーを開ける。

チェック

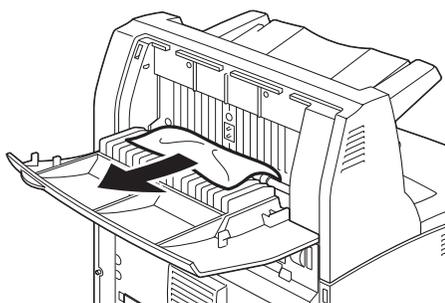
オフセットトレイユニット（オプション）を取り付けている場合は、オフセットトレイを上に折りたたんでから、トップカバーを開けます。

❷ EP カートリッジの取っ手を持ってプリンターから取り出す。

❸ 図の緑色のロールを回して、奥につまっている用紙を取り除く。

❹ EP カートリッジを元に戻し、トップカバーを閉じる。

チェック

- オフセットトレイユニット（オプション）を取り付けている場合は、先にトップカバーを閉じてから元に戻してください。
- オフセットトレイを上に折りたたんだ状態で印刷すると、紙づまりの原因になることがあります。オフセットトレイは必ず開いた状態で使用してください。

C　オフセットトレイ部の紙づまり

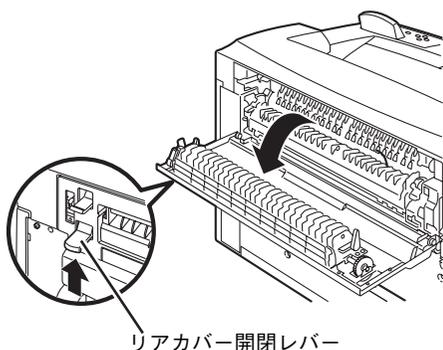
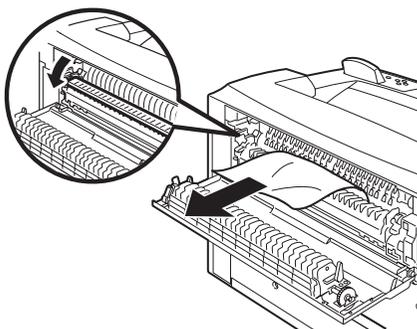
❶ オフセットトレイユニットリアカバーを開け、つまっている用紙を取り除く。

❷ オフセットトレイユニットリアカバーを閉じる。

D　排出部の紙づまり

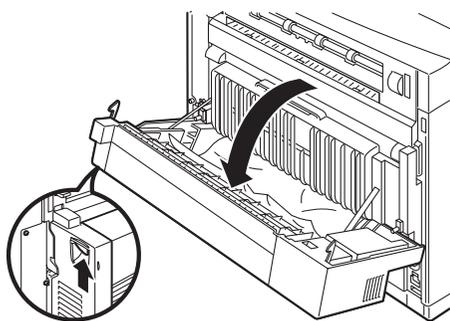
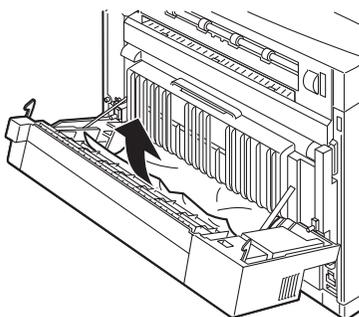
定着ユニット周辺、およびプリンター内部の金属部は高温になっています。触れるとやけどをするおそれがありますので、十分に注意してください。

✔チェック

- フェイスアップトレイが取り付けられている場合は、フェイスアップトレイを取り外してください。
- 両面印刷ユニットが取り付けられている場合は、両面印刷ユニットカバーを開けてください。

❶ リアカバー開閉レバーを持ち上げてリアカバーを開ける。

❷ ★マークの部分を持ち、定着ユニットのカバーを手前に開いて、つまっている用紙を取り除く。

❸ 定着ユニットのカバーとリアカバーを閉じる。

E　両面部の紙づまり

❶ 両面印刷ユニットカバー開閉レバーを押し上げて、両面印刷ユニットカバーを開ける。

❷ つまっている用紙を取り除く。

❸ 両面印刷ユニットカバーを閉じる。

紙づまり処理後の確認

給紙できなかった用紙、またはつまっていた用紙を取り除いたら、紙づまりの再発を防止するために次の事項を確認してください。

- □ 用紙の破片が紙づまりした場所に残っていませんか。
- □ 用紙は正しくセットされていますか。
- □ 3章の「用紙についての注意事項」（75ページ）や「用紙をセットする時の注意」（86ページ）に記載されている事柄は守られていますか。
- □ セットした用紙サイズと操作パネルで設定した用紙サイズは合っていますか。
- □ 用紙は規格内のものを使用していますか。また、付録の「用紙の規格」（202 ページ）に記載されている事柄は守られていますか。
- □ 用紙の量が多すぎませんか。サイドガイドの最大積載表示（ ）以下にセットされていますか。（坪量64.0g/m^2の普通紙で、標準ホッパーの容量は約550枚です。）
- □ 一度印刷した用紙を使用していませんか。
- □ プレ印刷用紙（すでに罫線などが印刷されている用紙）を使用していませんか。
- □ トップカバー、リアカバー、両面印刷ユニットカバー、オフセットトレイユニットリアカバーは確実に閉じられていますか。
- □ 標準カセット、MPカセット、増設カセット、または手差しトレイユニットの紙送りユニットが奥までまっすぐに差し込まれていますか。
- □ 標準カセット、MPカセット、または増設カセット内のサイドガイドおよびエンドガイドが用紙サイズに合っていますか。

上記の確認後、1章の「8　テスト印刷をする」（27ページ）に従って印刷が正しく行われることを確認してください。（紙づまり処理直後はローラーなどに付着したトナーで用紙が汚れることがあります。数ページ、テスト印刷をしてください。）

プリンターを運搬するときは

引っ越しや修理などでプリンターを運搬するときは、次の手順でプリンターから付属品、消耗品、およびオプションを取り外してから行ってください。

❶ **付属品および消耗品（EPカートリッジ、用紙、電源コード、プリンターケーブル）を取り付けたときと逆の手順で取り外す。（「1章 プリンターの設置」（15ページ）を参照してください。）**

重要

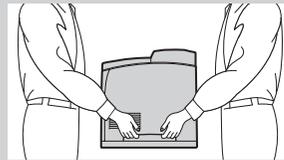
どの付属品を取り外すときも、電源がOFFになっていることを確認してください。

❷ **オプションを取り付けている場合は、各オプションの設置手順書か、「9章 オプション」（171ページ）を参照して取り外す。**

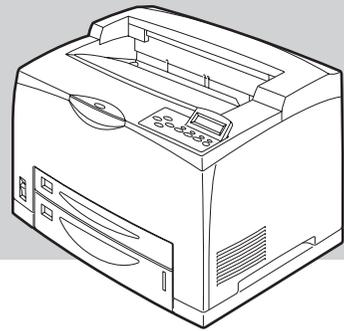
❸ **購入時の箱や緩衝材がない場合は、プリンターに衝撃を与えないよう柔らかいもので保護する。**

❹ **2人以上でプリンター正面（操作パネル側）と背面に立ち、左右両側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持って運搬する。**

注意

プリンターの質量はオプション品、EPカートリッジ、用紙を除いた本体のみの状態で約22kgあります。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。必ず2人以上で持ち運んでください。また、プリンターの重心は背面にありますので、背面方向へ倒れないように注意してください。

プリンター、消耗品を廃棄するときは

- プリンターの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。また、廃棄の際はEPカートリッジを取り外してお出しください。
- NEC製EPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しています。ご使用済みのNEC製EPカートリッジは捨てずに、EPカートリッジ回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設まで、お持ち寄りください。なお、その際はEPカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。回収については、6章の「EPカートリッジの回収と購入」（128ページ）を参照してください。
- 本書はリサイクルに配慮して製本されています。本書が不要となった際には、資源回収またはリサイクルにお出しください。

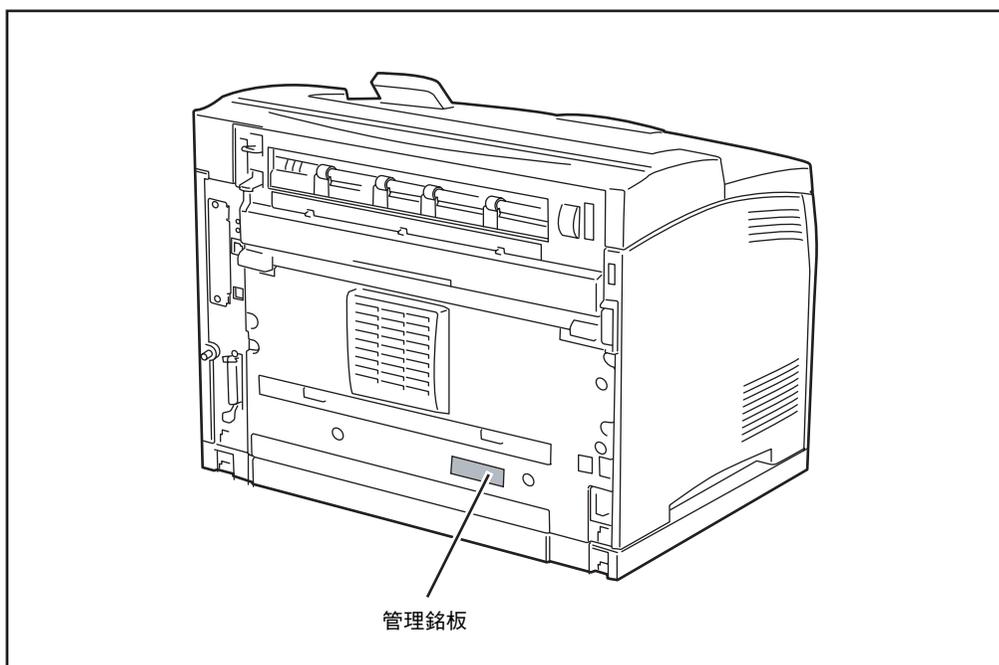
8章
ユーザーサービス

NECはMultiWriter 3300Nの「お客様登録」をされた方々にさまざまなユーザーサービスを用意しています。ユーザーサービスをお受けになる前に、ここで説明している保証およびサービスの内容について確認してください。

お客様登録について

お客様登録をしていただきますと、安心・充実したサービスとサポートを受けることができます。ぜひご登録ください。
詳しくは、添付の「お客様登録のご案内」をご覧ください。

保証について

プリンターには「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡しします。記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料で修理します。詳細については「保証書」、および次ページの「保守サービスについて」をご覧ください。また、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

本体の背面に、製品の型式、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼られています（下図参照）。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一プリンターが保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。

管理銘板の位置

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、弊社指定の保守サービス会社*[1]をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

- **PrinterSupportPack**
  プリンター本体の購入時から一定期間（3年/4年/5年）、何度でもオンサイト保守を提供する契約*[2]。
- **年間保守契約**
  年間一定額の料金にて、プリンターの故障時に何度でも保守員を派遣して、修理を行う契約。
  契約先、契約料など詳細については、ご購入いただいた販売店にお問い合わせください。
- **スポット保守サービス***[3]（保守契約をされていないお客様へのサービス：有料）
  - 引き取り修理サービス
  - 出張修理サービス

プリンターの寿命について

MultiWriter 3300Nの製品寿命は、印刷枚数が60万枚、または使用年数5年のいずれか早いほうです。10万枚ごとに定期保守が必要です。定期保守については、販売店または「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口にご相談ください。

補修用性能部品および消耗品について

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。

8 ユーザーサービス

＊1 受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NEC サービス網一覧表」もしくは、インターネットの Web ページ http://www.fielding.co.jp/per/index.htm をご覧ください。

＊2 技術料・交通費・交換部品代金を含む。ただし消耗品および規定の寿命に達した有寿命部品（定期交換部品）は有償となります。有寿命部品（定期交換部品）の詳細は、http://nec8.com/care/prchange/ をご覧ください。

＊3 施設により詳細な規定、サービス内容、料金体系、営業日、営業時間が多少異なりますので、各施設にご確認ください。

ユーザーズマニュアルの再購入について

ユーザーズマニュアルを破損、紛失されたときは、下記のPCマニュアルセンターでコピー版（白黒版）をお買い求めいただけます。お申し込みには、プリンターの型番が必要になりますので、あらかじめお調べの上お申し込みください。

プリンターの型番　PR-L3300N

なお、ユーザーズマニュアルの紛失に備えて、管理銘板や保証書で確認し、型番をメモしておくようにしてください。

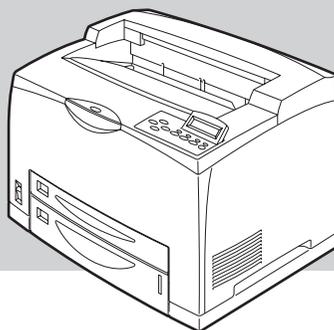
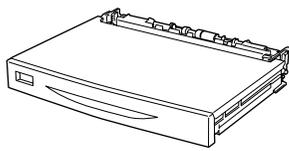
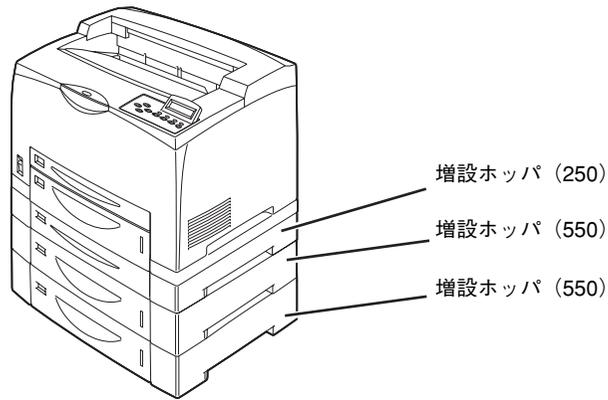
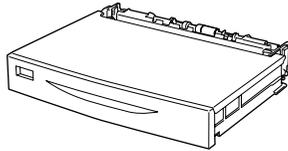
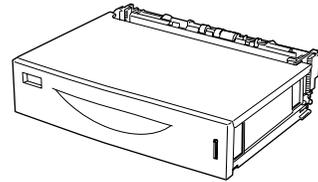
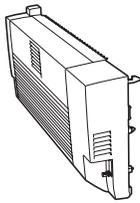
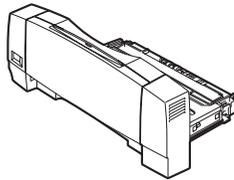
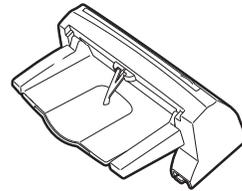
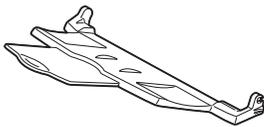
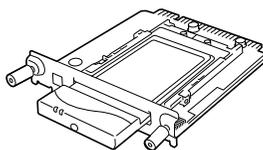
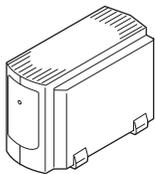
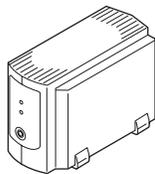
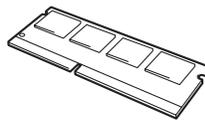
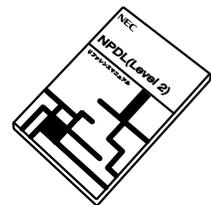
NEC PCマニュアルセンター
URL：http://pcm.mepros.com
電話：03-5471-5215
受付時間　月曜から金曜　10：00～12：00/13：00～16：00
（土曜、日曜、祝祭日を除く）
FAX：03-5471-3996
受付時間　24時間（ただし、いただいたFAXに対するご回答は翌営業日以降になります。）

情報サービスについて

- プリンター製品に関する最新情報
  インターネット 「NEC8番街」 URL：http://nec8.com/
- プリンターに関する技術的なご質問、ご相談
  NEC 121コンタクトセンター
  （電話番号、受付時間などについては、「NECサービス網一覧表」をご覧ください。）

プリンターソフトウエアをフロッピーディスクで必要な場合

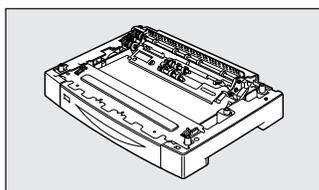
通常プリンターソフトウエアのインストールは添付のCD-ROMから行いますが、フロッピーディスクを使ってインストールしたい場合は、いったんCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアをフロッピーディスクにコピーしてからインストールします。フロッピーディスクの作成手順については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアル10章の「FD作成（インストール媒体の作成）」をご覧ください。

9章
オプション

この章では、MultiWriter 3300N用として提供される別売品（オプション）を紹介し、その取り付け、取り外し、テスト印刷の方法などについて説明します。

増設ホッパ（250）
増設ホッパ（550）
増設ホッパ（550）
MPカセット
用紙カセット（250）
用紙カセット（550）
両面印刷ユニット
手差しトレイユニット
オフセットトレイユニット
フェイスアップトレイ
無線LANボード
マルチプロトコル
LANアダプタ
LANアダプタ（TCP/IP）
LANアダプタ（TCP/IP）
（リモート電源制御対応）
増設メモリー
NPDL（Level 2）
リファレンスマニュアル

オプション一覧

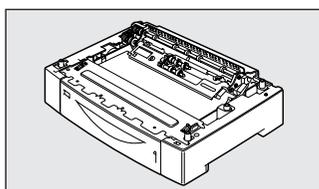
オプション品の紹介

オプション品のご購入については、お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口などにお問い合わせください。

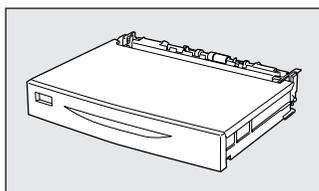
給紙オプション

増設ホッパ（250）(型番 PR-L3300-02)

はがき～A3の用紙を250枚までセットすることができます。PR2000/4R-02、PR2200X-02、PR-L2200X2-02、PR-L2650-02、PR-L2300-02、PR-L2360-02は使用できません。

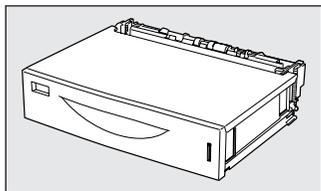
項目	型番 PR-L3300-02
サイズ	505(W)× 589(D)× 112(H) mm（カセット最大伸張時） 505(W)× 373(D)× 112(H) mm（カセット縮小時）
質量	約5.5kg
用紙種類	普通紙、ラベル、OHP、厚紙
用紙サイズ	A3、A4、A5、B4、B5、レター、はがき、往復はがき、封筒、定形外（幅77～297mm×長さ148～431mm）
備考	最大3台まで増設可能

増設ホッパ（550）(型番 PR-L3300-03)

はがき～A3の用紙を550枚までセットすることができます。PR2000/4R-03、PR2400-03、PR2200X-03、PR-L2200X2-03、PR-L2650-03、PR-L2300-03、PR-L2360-03は使用できません。

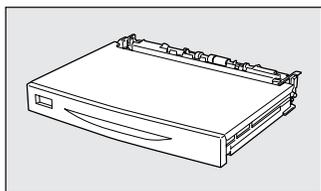
項目	型番 PR-L3300-03
サイズ	505(W)× 589(D)× 143(H) mm（カセット最大伸張時） 505(W)× 373(D)× 143(H) mm（カセット縮小時）
質量	約6.0kg
用紙種類	普通紙、ラベル、OHP、厚紙
用紙サイズ	A3、A4、A5、B4、B5、レター、はがき、往復はがき、封筒、定形外（幅77～297mm×長さ148～431mm）
備考	最大3台まで増設可能

用紙カセット（250）(型番 PR-L3300-04)

増設ホッパ（250）用の用紙カセットです。各用紙サイズごとにカセットを用意しておき、用紙サイズを変えるときにカセットごと交換することができて便利です。

項目	型番 PR-L3300-04
サイズ	365.5(W)× 532(D)× 52(H) mm（カセット最大伸張時） 365.5(W)× 316(D)× 52(H) mm（カセット縮小時）
質量	約1.9kg

用紙カセット（550）(型番 PR-L3300-05)

標準ホッパー、増設ホッパ（550）用の用紙カセットです。各用紙サイズごとにカセットを用意しておき、用紙サイズを変えるときにカセットごと交換することができて便利です。

項目	型番 PR-L3300-05
サイズ	365.5(W)× 532(D)× 83.5(H) mm（カセット最大伸張時） 365.5(W)× 316(D)× 83.5(H) mm（カセット縮小時）
質量	約2.4kg

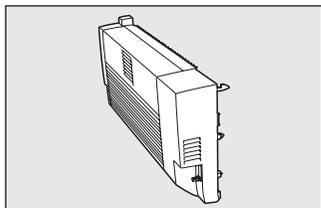
MPカセット(型番 PR-L3300-MP)

MP用の増設MPカセットです。各用紙サイズごとにカセットを用意しておき、用紙サイズを変えるときにカセットごと交換することができて便利です。

項目	型番 PR-L3300-MP
サイズ	365.5(W)× 528(D)× 49(H) mm（カセット最大伸張時） 365.5(W)× 312(D)× 49(H) mm（カセット縮小時）
質量	約1.9kg

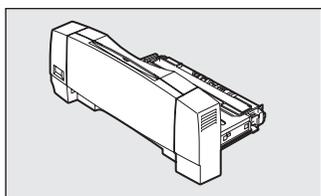
MultiWriter 3300Nが対応しているカセットは以下のとおりです。

カセット	増設ホッパ（250）(PR-L3300-02)	増設ホッパ（550）(PR-L3300-03)	本体給紙部	
			標準ホッパー	MP
PR-L3300-04	○	×	×	×
PR-L3300-05	×	○	○	×
PR-L3300-MP	×	×	×	○

○：取り付け可
×：取り付け不可

両面印刷ユニット(型番 PR-L3300-DL)

両面印刷を行うためのユニットです。

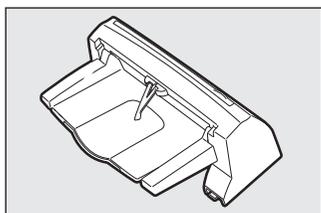
項目	型番 PR-L3300-DL
サイズ	435(W)× 68.5(D)× 203.5(H) mm
質量	約1.7kg
対応用紙	A3、B4、A4、B5、A5、レター、 定形外（幅100〜304mm×長さ140〜431mm）

手差しトレイユニット(型番 PR-L3300-TU)

用紙を手差しで給紙するためのユニットです。標準ホッパーで使用できない定形外用紙や長尺紙などを印刷するときに便利です。

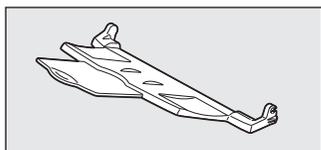
MPカセットの代りに取り付けます。

項目	型番 PR-L3300- TU
サイズ	482(W)× 392(D)× 222(H) mm
質量	約4.5kg
対応用紙	A3、B4、A4、B5、A5、レター、はがき、往復はがき、 封筒（洋形4号）、定形外（幅77〜304mm×長さ100〜508mm）、 長尺紙（幅297×長さ900mm）

排紙オプション

オフセットトレイユニット(型番 PR-L3300-OT)

仕分け印刷するためのユニットです。

項目	型番 PR-L3300- OT
サイズ	501(W)× 310(D)× 210(H) mm
質量	約2.7kg
排紙容量	500枚
対応用紙	A4、B5、A5、レター、はがき、往復はがき、封筒（洋形4号）、 定形外（幅77〜304mm×長さ127〜297mm）

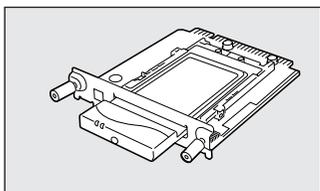
フェイスアップトレイ(型番 PR-L3300-FT)

フェイスアップ排出するためのトレイです。

厚紙などを印刷する場合、用紙のカールを抑えることができます。

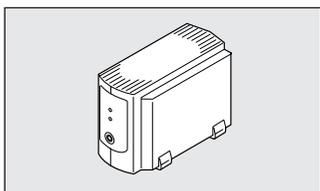
項目	型番 PR-L3300- FT
サイズ	425(W)× 66(D)× 136(H) mm
質量	約0.25kg
排紙容量	70枚
対応用紙	A4、B5、A5、レター、はがき、往復はがき、封筒（洋形4号）、 定形外（幅77〜304mm×長さ100〜297mm）

ネットワークオプション

以下のネットワークオプションの取り付け・取り外し手順については、活用マニュアルの「1章 オプション」をご覧ください。

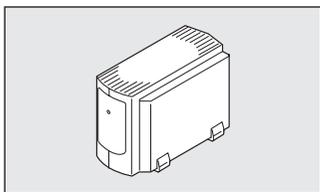
無線LANボード（型番 PR-WLX-13）

IEEE802.11b規格に準拠し、転送速度最大11Mbpsの無線LAN環境にプリンターを接続する内蔵型LANボードです。従来の有線LANシステムのようにネットワークケーブルが散乱することなく、ネットワークケーブル敷設工事の必要がないため、安価に、また手軽にLAN環境が構築できます。さらに、MultiWriter 3300Nと組み合わせることで世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによって、プリンターの管理が行えます。

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「無線LANプリンタ導入ウィザード」を使用すると、無線LAN環境を初めて構築する方や不慣れな方でも、設定項目ごとにウィザード画面上でサポートされている解説や操作手順により、簡単に分かりやすく設定を行なうことができます。

LANアダプタ（TCP/IP）（型番 PR-NP-03TR2）

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP（ネットワーク管理プロトコル）に対応している外置き型LANアダプターです。

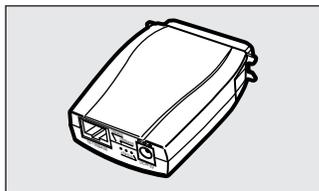
さらに、MultiWriter 3300Nと組み合わせることで、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによってプリンターの管理が行えます。

PrintAgent（プリンタ管理ユーティリティ）のリモート電源制御機能を使って、コンピューターからプリンターの電源のON/OFFができます。（詳細は添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアル4章の「リモート電源制御」をご覧ください。）

LANアダプタ（TCP/IP）（型番 PR-NP-02T2）

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP（ネットワーク管理プロトコル）に対応している外置き型LANアダプターです。

さらに、MultiWriter 3300Nと組み合わせることで、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによってプリンターの管理が行えます。

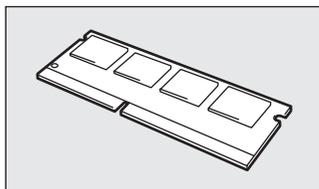
LANアダプタ（TCP/IP）（型番：PR-NP-02T2/PR-NP-03TR2）が対応しているPrinter-MIB、操作パネルによるIPアドレス設定などの機能を有効にするためには、プリンターの動作双方向をECPモードにする必要があります。詳しくは、1章の「Step 4　IPアドレスとサブネットマスクを設定する」（34ページ）を参照してください。

マルチプロトコルLANアダプタ（型番 PR-NPX-05）

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、プリンターのパラレルインターフェースに直接接続する外付けLANアダプターです。本LANアダプターはPrintAgent、SNMP（PrinterMIB、HostResourceMIB）には対応していません。詳しくはPR-NPX-05のセットアップガイドをご覧ください。

LANアダプターネットワーク環境

<table>
<tr><th colspan="2">PR-NP-02T2/PR-NP-03TR2</th><th colspan="2">PR-NPX-05</th></tr>
<tr><th>ネットワーク OS</th><th>プロトコル</th><th>ネットワーク OS</th><th>プロトコル</th></tr>
<tr><td rowspan="2">Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000</td><td rowspan="6">TCP/IP</td><td>Windows XP、Windows Server 2003</td><td>TCP/IP</td></tr>
<tr><td>Windows 2000</td><td rowspan="3">TCP/IP
NetBEUI</td></tr>
<tr><td>Windows Me、Windows 98、Windows 95（NEC TCP/IP Printing System により対応）</td><td>Windows Me、Windows 98、Windows 95（NEC Network Printer Portにより対応）</td></tr>
<tr><td>Windows NT 4.0</td><td>Windows NT 4.0</td></tr>
<tr><td rowspan="2">UNIX</td><td>UNIX</td><td>TCP/IP</td></tr>
<tr><td>Netware 3.X/4.X/5.X</td><td>IPX/SPX</td></tr>
</table>

メモリー

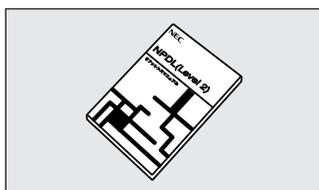
増設メモリ（128MB、256MB）
（型番PR-MW-M013、PR-MW-M014）

MultiWriter 3300Nには1枚だけ取り付けることができます。
取り付けることにより次の効果があります。

- 電子ソート機能
- 複雑な印刷データの印刷性能向上
- メモリー不足で印刷できない長尺紙、両面印刷などの解消
- フォーム登録数の増加
- 受信バッファーの拡大

増設メモリーそれぞれのメモリー容量は以下のとおりです。

品名	型番	メモリー容量
増設メモリ（128MB）	PR-MW-M013	128MB
増設メモリ（256MB）	PR-MW-M014	256MB

リファレンスマニュアル

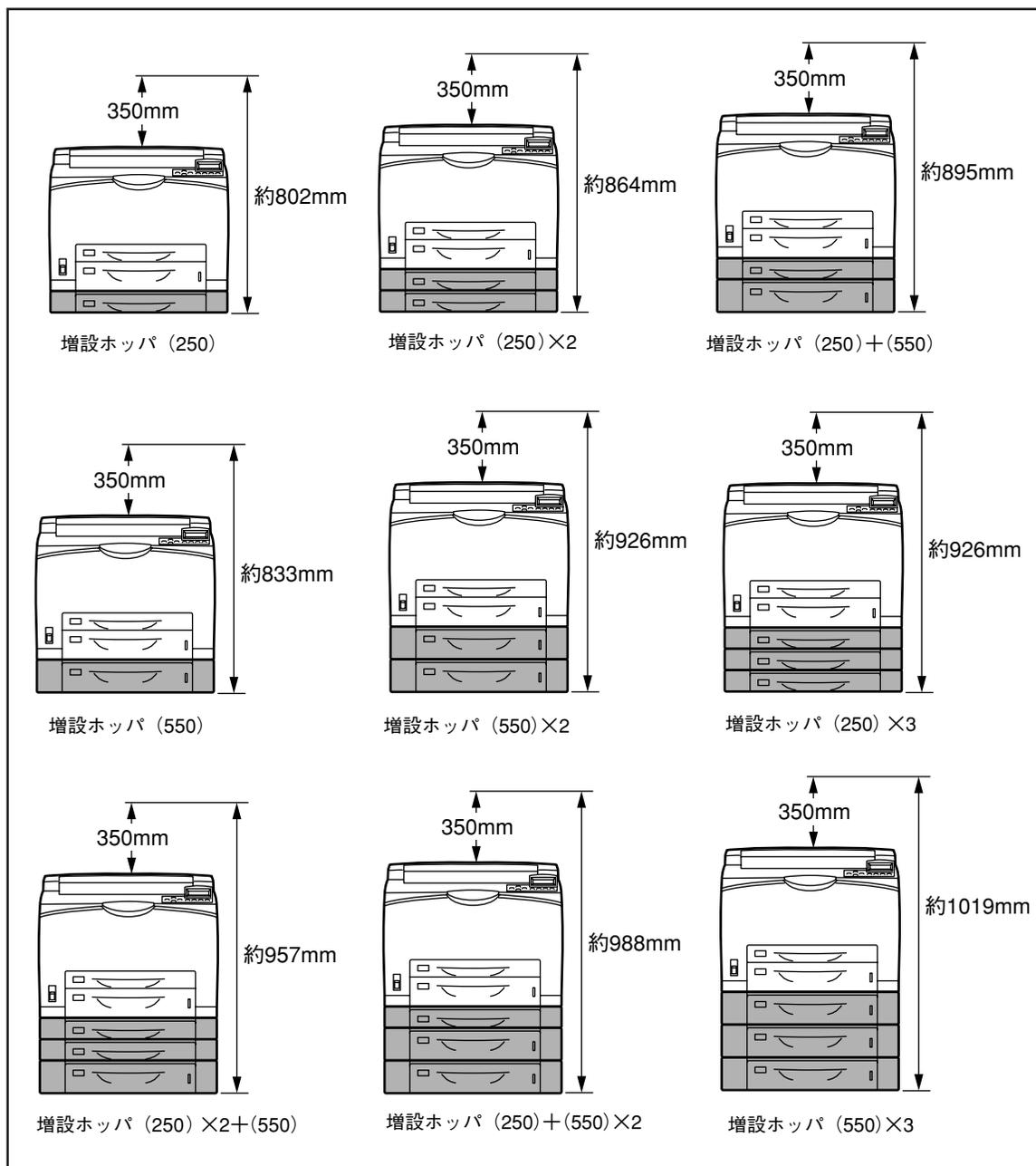
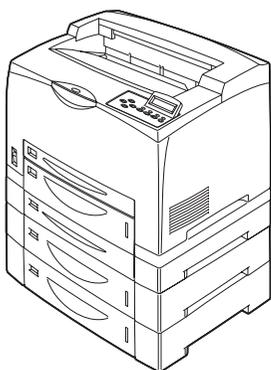
日本語ページプリンタ言語NPDL（Level 2）リファレンスマニュアル
（型番PC-PRNPDL2-RM）

ページプリンターの様々な動作を制御する命令およびプログラミングについての詳しい解説書です。

増設ホッパー

大量印刷をサポートするために、本プリンターには増設ホッパ（250）（型番PR-L3300-02）と増設ホッパ（550）（型番PR-L3300-03）の2種類の増設ホッパーがそれぞれ用意され、最大3台まで増設が可能です。

増設ホッパーの設置に必要な高さ

増設ホッパーを設置するために必要な高さを示します。プリンターの周囲に必要な設置スペースについては17ページをご覧ください。

9 オプション

増設ホッパーの取り付け

増設ホッパ（250）／（550）は、上から1台目（ホッパー2）、2台目（ホッパー3）、3台目（ホッパー4）のどちらにでも取り付けることができます。ここでは1台目、2台目を取り付ける方法を示します。3台目の取り付け方法は2台目と同じです。

⚠注意

プリンターを移動する際は、2人以上でプリンター正面および背面に向かい合って左右両側のくぼみをしっかりと持って運んでください。プリンターの質量は約22kgあります。（EPカートリッジ含まず。）1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。取り付けは2人以上で行ってください。

また、プリンターの重心は背面にありますので、背面方向へ倒れないように注意してください。

重要

- 取り付け方法の詳細について、増設ホッパーに添付の設置手順書を十分にお読みになってから取り付けてください。
- 増設ホッパーに添付の固定クリップを必ず取り付けてプリンターと増設ホッパーを固定させてください。

❶ **プリンターの電源をOFFにする。**

重要

電源スイッチは必ずOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると故障の原因になることがあります。

❷ **電源コードやプリンターケーブルなど、プリンターに接続されているケーブルをプリンターから取り外す。**

❸ **プリンターから用紙カセットを取り外す。**

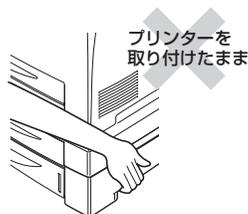
❹ **プリンターを一時的に移動させる。**

プリンターの左右の取っ手を持ち、しっかりした台や机の上に置いてください。

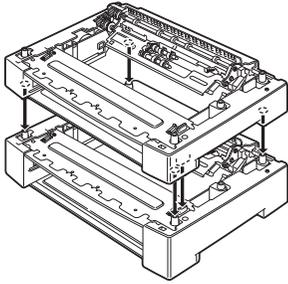
❺ **一番下の段に取り付ける増設ホッパーを、プリンターのあった場所に置く。**

増設ホッパーを1台だけ取り付ける場合は、手順❽に進んでください。

重要

- 増設ホッパーを運ぶときは、1台ずつ運んでください。

- 増設ホッパーの左右の取っ手を持って1台ずつ運んでください。

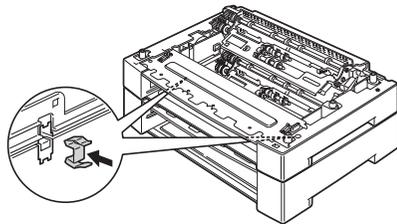
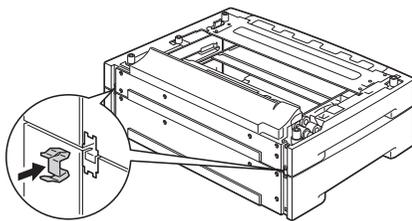
❻ 上の段に取り付ける増設ホッパーを持ち上げ、下の段の増設ホッパーに取り付ける。

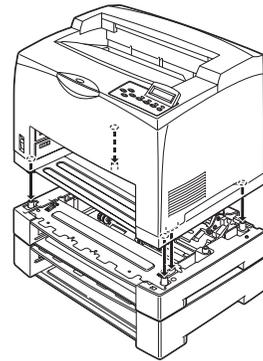
増設ホッパーの取り付け向きに注意し、上下の増設ホッパーの四隅にある取り付けピンの位置を合わせて、増設ホッパーの上に静かに置きます。

増設ホッパーを複数台取り付ける場合は、1番下の段の増設ホッパーから順番に1台ずつ載せ、最後にプリンターを載せてください。

❼ 増設ホッパーの内部（2か所）、背面部（2か所）にある差し込み部に付属の固定クリップを押し込む。

固定クリップは、しっかりと押し込んでください。

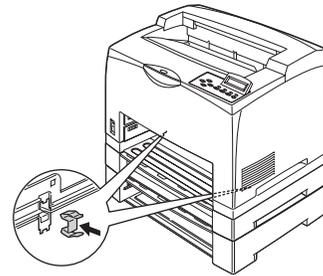
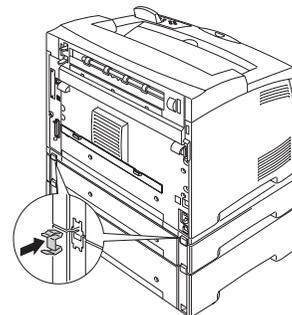
内部

背面部

❽ プリンターを増設ホッパーの上に取り付ける。

増設ホッパーの四隅にある取り付けピンの位置に合わせて、プリンターを増設ホッパーの上に静かに置きます。

❾ プリンターの内部（2か所）、背面部（2か所）にある差し込み部に付属の固定クリップを押し込む。

固定クリップは、しっかりと押し込んでください。

内部

背面部

❿ プリンター、増設ホッパーに用紙カセットを取り付ける。

⓫ 電源コードやプリンターケーブルなど、接続されていたケーブルをプリンターに取り付ける。

増設ホッパーへの用紙のセット

増設ホッパーへの用紙のセット方法は標準のホッパーと同じです。3章の「ホッパー、MPに用紙をセットする」（78ページ）をご覧ください。

用紙をセットし終えた用紙カセットは重くなっています。増設ホッパーに取り付ける際は用紙カセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

ホッパーの切り替え

取り付けた増設ホッパーから給紙するためには、操作パネル上でホッパー表示を「ホッパ2」、「ホッパ3」、または「ホッパ4」にします。

ホッパーの選択には、選択した状態をどこまで維持させるかによって、2つの方法があります。

- プリンターが初期化されるまで維持する方法 .... [給紙先]スイッチによる切り替え
- プリンターが初期化されても増設ホッパーが選択される方法....... メニューモードによる切り替え

次ページにそれぞれの選び方について説明します。

プリンターが初期化されるまで維持する方法

操作パネルの[給紙先]スイッチを使って増設ホッパーを選択します。

❶ [印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを消灯させる。

❷ [給紙先]スイッチを押し、ディスプレイの表示を“ホッパ2”、“ホッパ3”または“ホッパ4”にする。

```
ホッパ゜2   A4ヨコ ポ゜ート
```

❸ [印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。

❹ コンピューターからデータを送る。

この状態は、以下の方法で変更しない限り、設定は維持されます。

- 同じ方法でホッパーの選択を変更する
- 電源をOFFにする
- コンピューターから変更
- プリンターを初期化する

プリンターが初期化されても増設ホッパーが選択される方法

メニューモード内のプリンターの初期設定を変更します。

❶ メニューモードに入る。

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー→”を表示させます。

```
テストメニュー         →
```

❷ [▼]スイッチを2回押す。

“ヨウシメニュー→”と表示されます。

```
ヨウシメニュー         →
```

❸ [▶]スイッチを2回押す。

ホッパー初期設定の表示になります。

```
 ホッパ゜ ショキセッテイ
←          ホッパ゜1＊
```

❹ [設定変更]スイッチを押して、ディスプレイ下段を“←ホッパ2＊”、“←ホッパ3＊”または“←ホッパ4＊”に変更する。

```
 ホッパ゜ ショキセッテイ
←          ホッパ゜2＊
```

❺ [印刷可]スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。

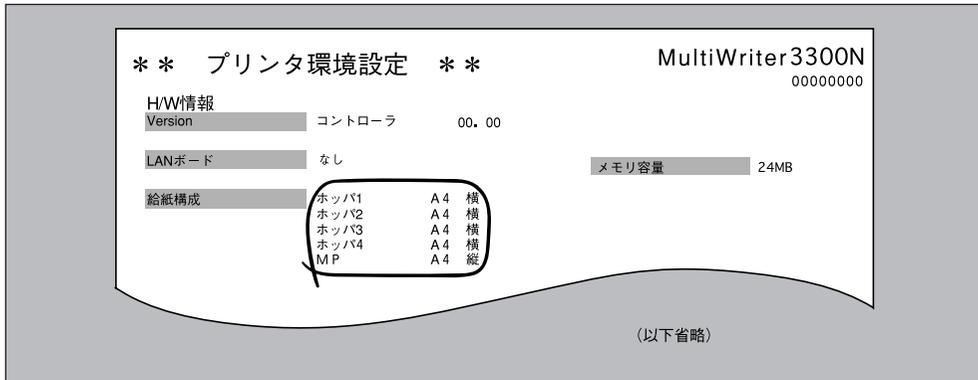
ディスプレイ上段に“ホッパ2××　×××”、“ホッパ3××　×××”または“ホッパ4××　×××”と表示されていれば設定は完了です。表示されていないときはもう一度最初からやり直してください。

```
ホッパ゜2   A4ヨコ ポ゜ート
フツウシ          NPDL
```

この状態は、同じ方法でホッパーの選択を変更しないかぎり維持されます。

テスト印刷

増設ホッパーが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順については1章の「8 テスト印刷をする」（27ページ）を参照してください。

増設ホッパーを1台取り付け、用紙が正常に給紙された場合、次のように「ホッパ2」と印刷されます。2台目を取り付けた場合は「ホッパ3」、3台目を取り付けた場合は「ホッパ4」と印刷されます。

増設ホッパーのステータス印刷の例

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、増設ホッパーの取り付けは完了です。

リレー給紙について

印刷している給紙先の用紙がなくなったときに、自動的に別の給紙先から用紙を吸入し印刷を続ける機能です。ホッパー、MP、手差し（オプション）、または増設ホッパーを装着し、同じ用紙サイズおよび同じ用紙種別の用紙をセットした場合のみ実現できます。（A4の場合は、同じ方向に用紙をセットする必要があります。）
リレー給紙を有効にするために、メニューモードのリレー給紙設定をする必要があります。詳しい手順は、4章の「リレー給紙の設定」（110ページ）を参照してください。

増設ホッパーの取り外し

増設ホッパーを取り外す場合は次の手順で行ってください。ここでは1台目と2台目を取り外す方法を示します。3台目の取り外し方法は2台目と同じです。

⚠ 注意

- プリンターを1人で持ち上げないでください。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。プリンターを移動する時には、必ず2人以上で行ってください。プリンターの質量は約22kgあります。（EPカートリッジ含まず。）
- プリンターに増設ホッパーを取り付けたまま、運搬、移設しないでください。プリンターや増設ホッパーを落として、破損するおそれがあります。運搬および移設の際は、1台ずつ運んでください。

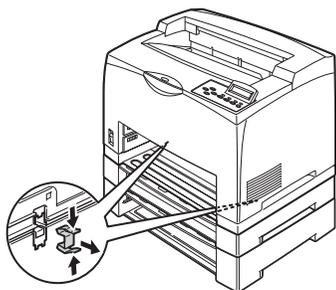
❶ プリンターの電源を OFF にし、電源コードやプリンターケーブルなど、プリンターに接続されているケーブルをプリンターから取り外す。

重要

電源スイッチは必ずOFF にしてください。ONにしたまま取り外すと故障の原因になることがあります。

❷ プリンターから用紙カセットを取り外す。

❸ プリンターと増設ホッパーを固定しているプリンターの内部（2か所）、背面部（2か所）の固定クリップを取り外す。

固定クリップを取り外すときは、固定クリップの上下をつまみ、引き抜いてください。

内部

背面部

チェック

取り外した固定クリップは増設ホッパーと一緒に大切に保管してください。

❹ プリンターを増設ホッパーから取り外し、一時的に台や机の上に置く。

重要

プリンターを持ち上げるとき、取っ手以外の場所を持たないでください。プリンターが破損することがあります。

❺ 1台目と2台目の増設ホッパーを固定している増設ホッパー内部（2か所）、背面部（2か所）の固定クリップを取り外す。

固定クリップを取り外すときは、固定クリップの上下をつまみ、引き抜いてください。

内部

背面部

取り外した固定クリップは増設ホッパーと一緒に大切に保管してください。

❻ **増設ホッパーを台の上から外す。**

3台目の増設ホッパーが取り付けられている場合は、プリンター、1台目、2台目の増設ホッパーを一時的に台や机の上に置いてから3台目を移動させてください。

重要

増設ホッパーを運ぶときは、1台ずつ増設ホッパーの左右の取っ手を持って運んでください。

❼ **プリンターを元の位置に置く。**

❽ **プリンターに用紙カセットを取り付ける。**

❾ **電源コードやプリンターケーブルなど、接続されていたケーブルをプリンターに取り付ける。**

両面印刷ユニット

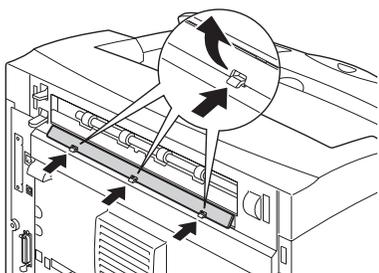
両面印刷を行うためのユニットです。

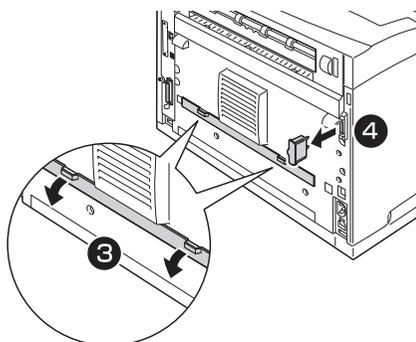
両面印刷ユニットの取り付け

❶ **プリンターの電源を OFF にし、電源コードやプリンターケーブルなど、プリンターに接続されているケーブルをプリンターから取り外す。**

重要

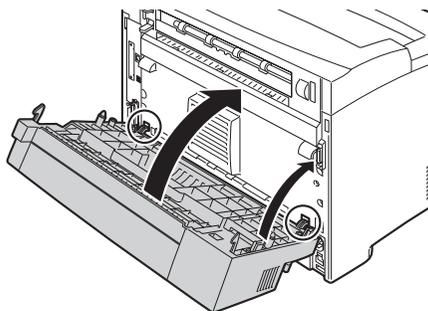
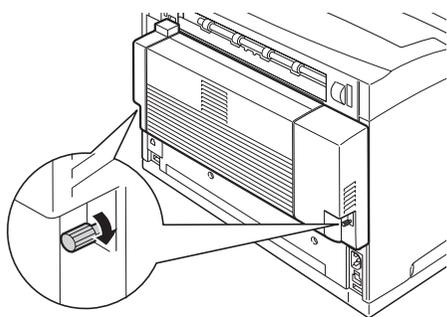
電源スイッチは必ずOFF にしてください。ONにしたまま取り付けると故障の原因になることがあります。

❷ **ツメ（3か所）を押し、プリンター背面のカバーを外す。**

❸ **プリンター背面のカバーのツメ（2か所）に指をかけ、カバーを取り外す。**

❹ **右上のコネクターに付いているキャップを取り外す。**

チェック

取り外したカバーとキャップは大切に保管しておいてください。

❺ **両面印刷ユニットの下部にある左右の突起部をプリンター背面の穴に差し込み、両面印刷ユニットの上部をプリンターに合わせる。**

このとき、両面印刷ユニットのコネクターとプリンターのコネクターが接続されるようにしてください。

❻ **両面印刷ユニットの下部の左右 2 か所を両面印刷ユニットに付属しているネジで固定する。**

❼ **電源コードやプリンターケーブルなど、接続されていたケーブルをプリンターに取り付ける。**

テスト印刷

両面印刷ユニットが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順については1章の「8 テスト印刷をする」（27ページ）を参照してください。

両面印刷ユニットを取り付け、用紙が正常に給紙された場合、次のように「両面印刷メニュー」と印刷されます。

両面印刷ユニットのステータス印刷の例

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、両面印刷ユニットの取り付けは完了です。

両面印刷ユニットの取り外し

両面印刷ユニットを取り外すときは、取り付けの手順を逆に行ってください。

プリンターの電源をOFFにしてから取り外してください。電源がONのまま取り外すと、プリンターが故障するおそれがあります。

手差しトレイユニット

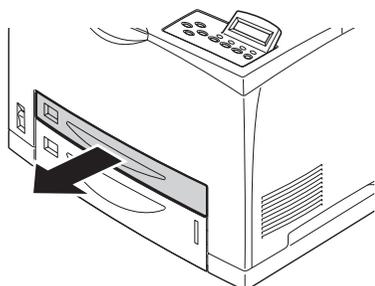
用紙を手差しで給紙するためのユニットです。標準の用紙カセットから給紙できないサイズの用紙（長尺紙など）を給紙できます。MPカセットの代わりに取り付けます。

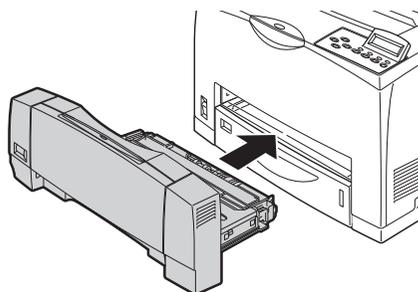
手差しトレイユニットの取り付け

❶ プリンターの電源をOFFにし、電源コードやプリンターケーブルなど、プリンターに接続されているケーブルをプリンターから取り外す。

電源スイッチは必ずOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると故障の原因になることがあります。

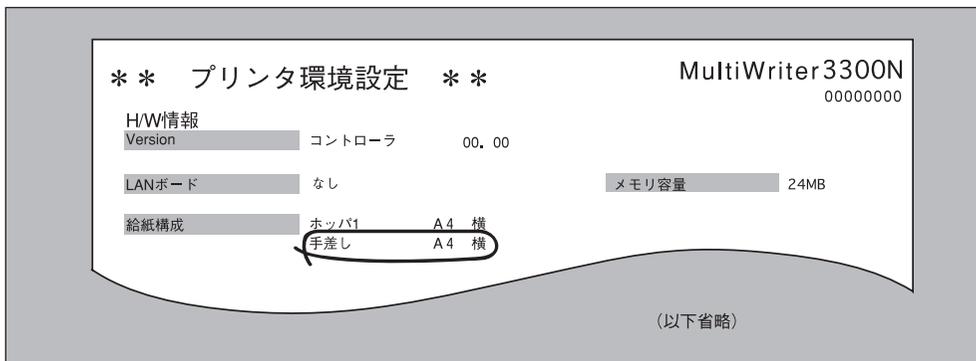
❷ MPカセットを引き抜く。

引き抜いたMPカセットは、大切に保管してください。

❸ 手差しトレイユニットをプリンターの奥に突き当たるまでしっかり押し込む。

手差しトレイユニットに用紙をセットする方法は、3章の「手差しに用紙をセットする」（82ページ）を参照してください。

❹ 電源コードやプリンターケーブルなど、接続されていたケーブルをプリンターに取り付ける。

テスト印刷

手差しトレイユニットが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順については1章の「8 テスト印刷をする」（27ページ）を参照してください。

手差しトレイユニットを取り付け、用紙が正常に給紙された場合、次のように「手差し」と印刷されます。

手差しトレイユニットのステータス印刷の例

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、手差しトレイユニットの取り付けは完了です。

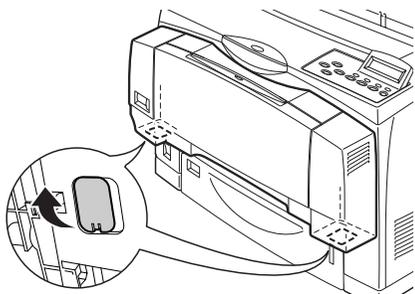
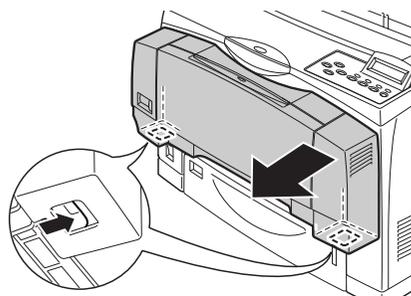
手差しトレイユニットの取り外し

手差しトレイユニットを取り外す場合は次の手順で行ってください。

❶ **プリンターの電源を OFF にし、電源コードやプリンターケーブルなど、プリンターに接続されているケーブルをプリンターから取り外す。**

重要

電源スイッチは必ずOFFにしてください。ONにしたまま取り外すと故障の原因になることがあります。

❷ **手差しトレイユニットの下部の左右にあるカバーを、マイナスドライバーなどを使って取り外す。**

❸ **カバーを外した奥にあるレバーを外側に広げ、手差しトレイユニットをそのまま引き抜く。**

❹ **MPカセットを取り付ける。**

❺ **電源コードやプリンターケーブルなど、接続されていたケーブルをプリンターに取り付ける。**

オフセットトレイユニット

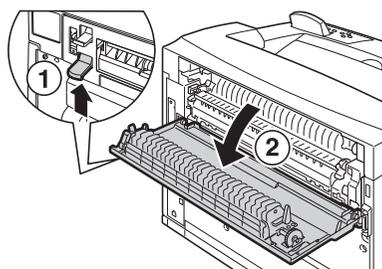
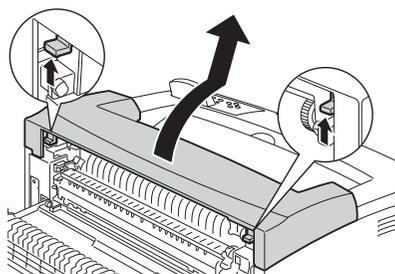
排出される用紙を振り分けて、仕分け印刷を可能にするためのユニットです。

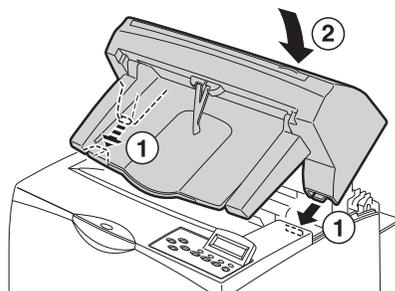
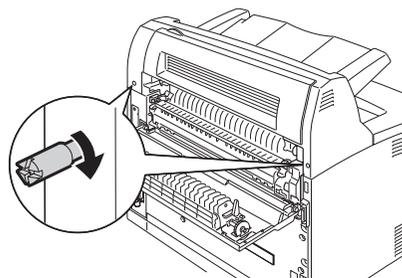
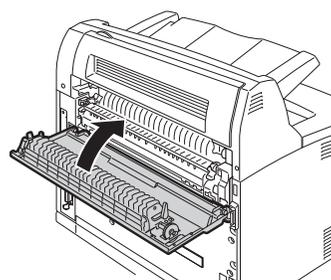
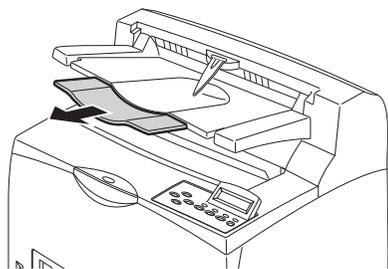
オフセットトレイユニットの取り付け

❶ **プリンターの電源をOFFにし、電源コードやプリンターケーブルなど、プリンターに接続されているケーブルをプリンターから取り外す。**

電源スイッチは必ずOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると故障の原因になることがあります。

❷ **プリンター背面の左上端にあるリアカバー開閉レバーを上げ（①）、リアカバーを開ける（②）。**

オプションの両面印刷ユニットが取り付けられている場合は、両面印刷ユニットの両面印刷ユニットカバー開閉レバーを押し上げて、両面ユニットカバーを開けてから、リアカバーを開けてください。

❸ **排出部上部の左右にあるレバーを上げ、排出部カバーを取り外す。**

取り外したカバーは大切に保管しておいてください。

❹ **オフセットトレイユニットカバーの左右の突起部をプリンター上部にある穴に差し込み（①）、プリンター上部へゆっくりと取り付ける（②）。**

❺ **オフセットトレイユニットカバー下部の左右2か所をオフセットトレイユニットに付属しているネジで固定する。**

❻ **リアカバーを閉じる。**

❼ **延長トレイを引き出す。**

重要

オフセットトレイは必ず開いた状態で使用してください。オフセットトレイを上に折りたたんだ状態で印刷すると、紙づまりの原因になります。

❽ **電源コードやプリンターケーブルなど、接続されていたケーブルをプリンターに取り付ける。**

テスト印刷

オフセットトレイユニットが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順については1章の「8 テスト印刷をする」(27ページ)を参照してください。

オフセットトレイユニットを取り付け、用紙が正常に給紙された場合、次のように「排出先設定」、「リレー排紙設定」、「オフセット排紙機能」の項目が印刷されます。

オフセットトレイユニットのステータス印刷の例

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、オフセットトレイユニットの取り付けは完了です。

オフセットトレイユニットの取り外し

オフセットトレイユニットを取り外すときは、取り付けの手順を逆に行ってください。

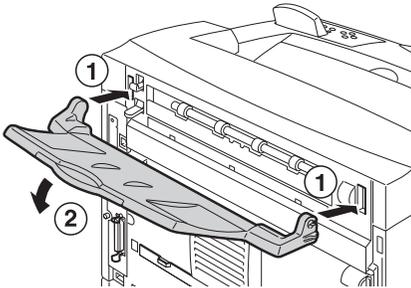
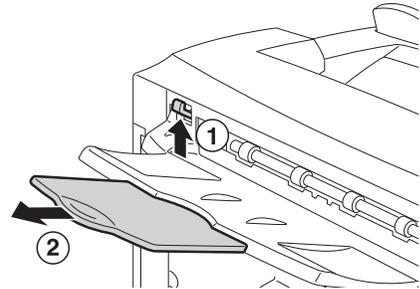
重要

プリンターの電源をOFFにしてから取り外してください。電源がONのまま取り外すと、プリンターが故障するおそれがあります。

フェイスアップトレイ

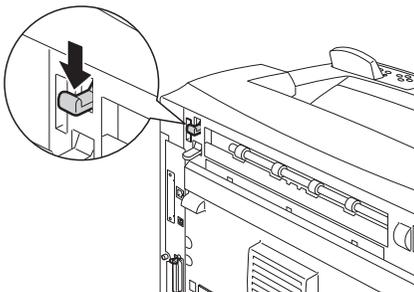
用紙の印刷面を上面にして排出するためのトレイです。
厚紙などを印刷する場合、用紙のカールを抑えることができます。

フェイスアップトレイの取り付け

❶ **フェイスアップトレイの左右の突起部をプリンター背面にある穴に差し込み（①）、トレイを開く（②）。**

❷ **下図の位置のフェイスアップトレイ排紙レバーを上げ（①）、延長トレイを引き出す（②）。**

フェイスアップトレイの取り付けが完了したら、プリンタードライバーの［プロパティ］でオプション構成を変更してください。詳細はプリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。

フェイスアップトレイの取り外し

❶ **フェイスアップトレイを持ち上げるようにしながら、プリンターから取り外す。**

❷ **図の位置のフェイスアップトレイ排紙レバーを下げる。**

フェイスアップトレイを取り外したときは、フェイスアップトレイ排紙レバーを必ず下げてください。レバーを上げた状態で印刷すると用紙がプリンターの背面に排出され、正常にスタックされずに紙づまりの原因となります。

フェイスアップトレイの取り外しが完了したら、プリンタードライバーの［プロパティ］でオプション構成を変更してください。詳細はプリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。

増設メモリー

増設メモリーを取り付けることで、次のような効果があります。

- 電子ソート機能を有効にする
- フォーム登録数の増加
- 受信バッファーの拡大
- 両面印刷時および長尺紙への印刷時のメモリー不足の解消
- 複雑な印刷データの印刷性能向上

指定のSO-DIMMタイプの増設メモリーを使用してください。指定以外の増設メモリーを使用すると、故障の原因となることがあります。

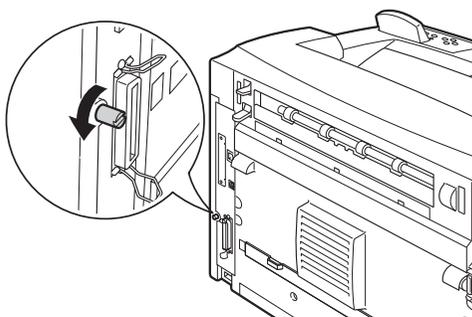
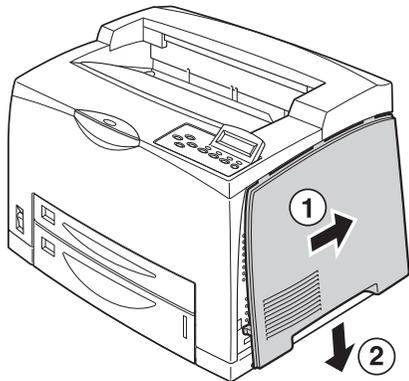
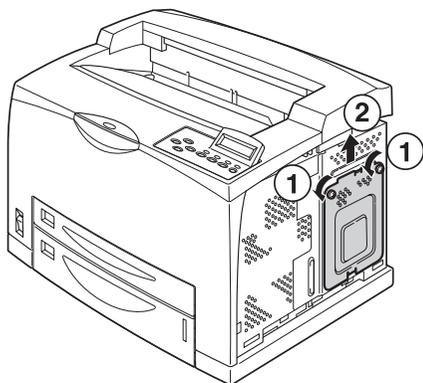
増設メモリーの取り付け

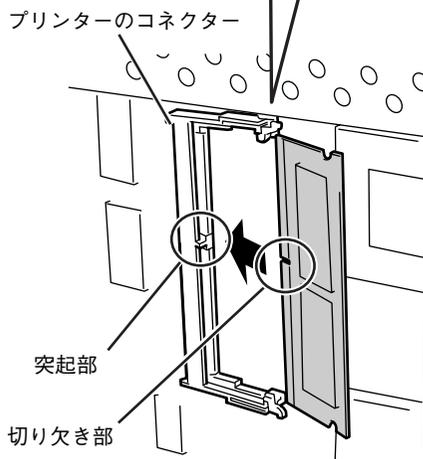
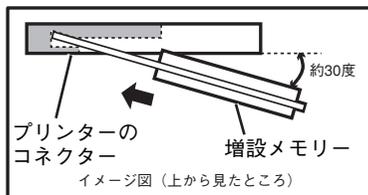
増設メモリーは大変デリケートな電子部品です。増設メモリーを取り扱うときは、プリンター背面のインターフェースコネクターが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。

❶ **プリンターの電源を OFF にし、電源コードやプリンターケーブルなど、プリンターに接続されているケーブルをプリンターから取り外す。**

警告

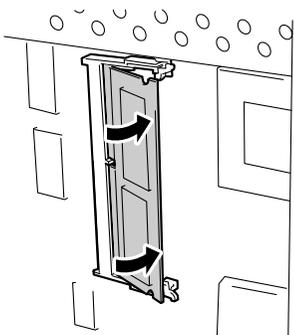
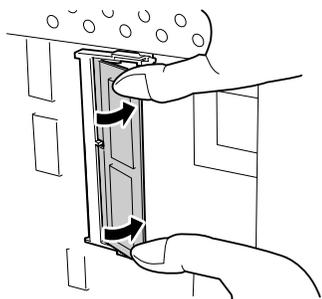
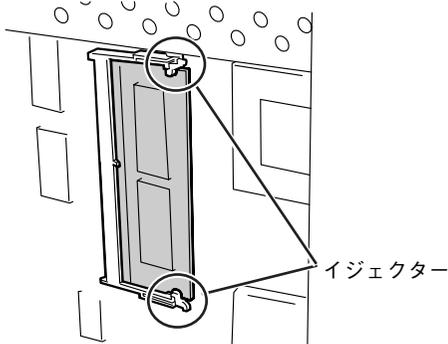
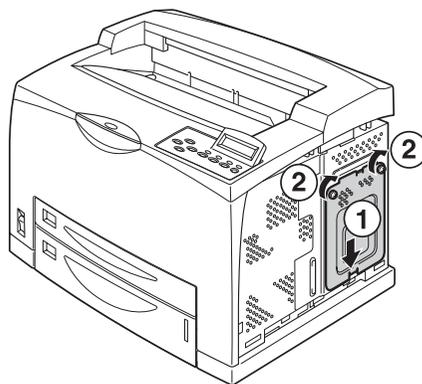
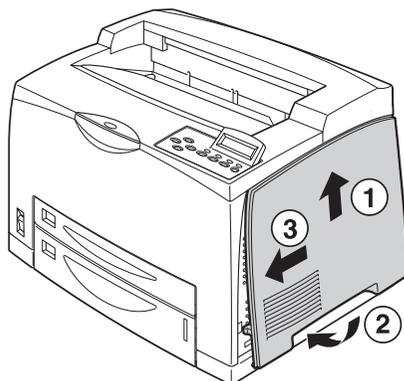
プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り付けると、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

❷ **右カバーのネジ1本をゆるめる。**

❸ 右カバーを背面方向にずらし（①）、下側の突起を外してから下方向に引き抜く（②）。

❹ 金属カバーの上側のネジ（2か所）をゆるめて（①）、金属カバーを上側に引き抜く（②）。

❺ 増設メモリーをプリンターボードのコネクターに取り付ける。

増設メモリーの切り欠き部をプリンターボードのコネクターの突起部に合わせ、プリンターのコネクターに対して約30度の挿入角度で増設メモリーの端子が当たるまで挿入します。

重要

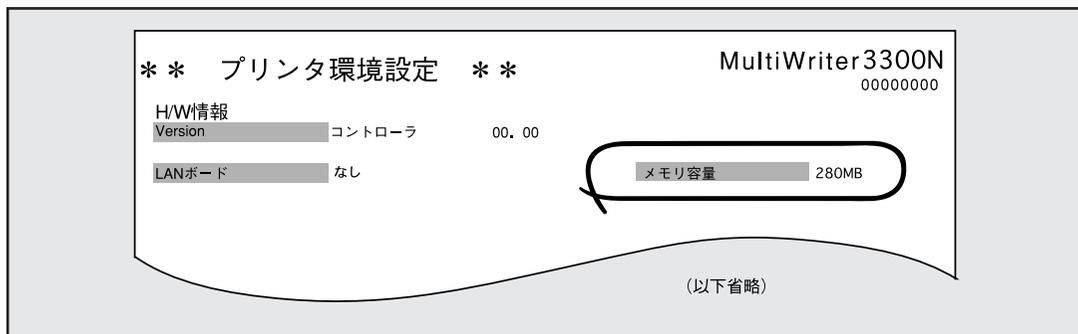
- 増設メモリーの切り欠き部の向きがコネクターの突起部と正しく合っていることを確認してください。逆の場合は増設メモリーの切り欠き部とコネクターの突起部の位置が合わず、挿入することができません。
- 奥まで確実に押し込んでください。

❻「カチッ」という音がするまでソケットに倒し込む。

奥までしっかり倒し込んでください。しっかり押し込まずに次の手順を行うと、コネクターまたは増設メモリーを破損するおそれがあります。

倒し込みが固いときは、増設メモリーの角に親指を添えて倒し込んでください。

❼ イジェクターが立ち上がり、しっかり固定できたことを確認する。

❽ 金属カバー下部の突起を本体側の切り欠きに合わせて差し込み（①）、金属カバーの上部のネジ（2か所）で固定する（②）。

❾ 右カバー上部の突部（3か所）を上カバーの内側に差し込み（①）、下部の突起部を本体に差し込んでから（②）、右カバーを前方に突き当て（③）、右カバーをネジ1本で固定する。

❿ 電源コードやプリンターケーブルなど、接続されていたケーブルをプリンターに取り付ける。

テスト印刷

増設メモリーが正しく取り付けられたかを確認するためにテスト印刷のステータス印刷を行います。手順については、1章の「8 テスト印刷をする」(27ページ)を参照してください。

次のように印刷されていれば、増設メモリーは正しく取り付けられたことになります。

増設メモリーを増設したステータス印刷の例
(標準メモリー 24MBに256MBメモリーを増設した場合)

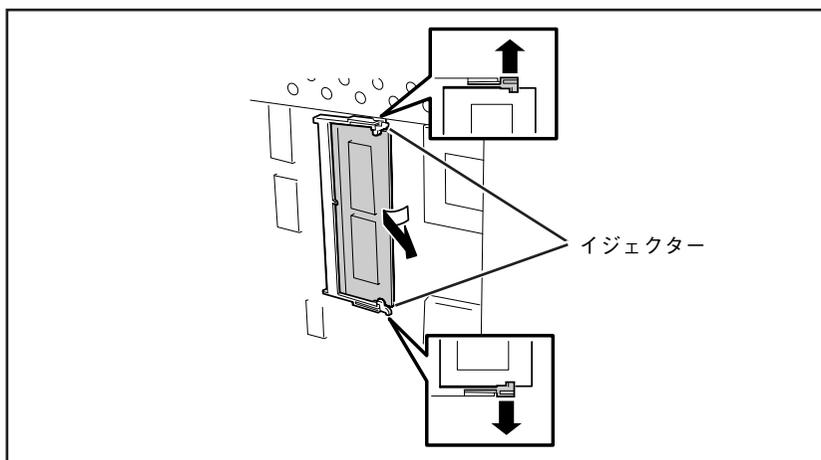
ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで増設メモリーの取り付けは完了です。

増設メモリーの取り外し

増設メモリーを取り外すときは、プリンターの電源をOFFにし、電源コードをプリンターから取り外し、取り付けの手順を逆に行ってください。

増設メモリーの取り外しを行うときは、プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り外すと、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

なお、増設メモリーを取り外すときはコネクターのイジェクターを横に押し広げて斜めに引き抜いてください。

9 オプション

使用できるプリンターケーブル

MultiWriter 3300N で使用できるプリンターケーブルは次の表のとおりです。お使いになっているコンピューターによって使用できるプリンターケーブルが異なります。

コンピューター		プリンターケーブル*[1]
PC98-NX シリーズを含む IBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	PC98-NXシリーズ	PC-PRCA-01 PC-CA205*[2] PR-UCX-02*[3]
	IBM、富士通、東芝、DELL、その他各社	PC-PRCA-01*[5] PR-UCX-02*[3]
PC-9800 シリーズデスクトップタイプ/ミニタワータイプ	98MATEシリーズ（除くAp･As･Ae･Af） 98MATEサーバシリーズ 98FELLOWシリーズ（除くBA･BX） 98MULTiシリーズ（除くCe） 98MULTi CanBeシリーズ VALUE STARシリーズ CEREB 98FINE PC-H98シリーズ *[4]	PC-CA202*[5] PC-CA204*[2]
	PC-98XA･XL･XL^{2}･RL*[4]	PC-PR801-21 （パソコン本体に標準添付）
	上記以外の14ピンパラレルインターフェースを持つデスクトップタイプ	PC-CA203*[2]
98サーバシリーズ	SV-H98シリーズ *[4] SV-98シリーズ	PC-CA202*[5] PC-CA204*[2]
98NOTEシリーズ	Lavieシリーズ Aileシリーズ 98NOTE Light PC-9821Nf･Np･Nx･Nd･Nm･Ne3･Ne2･Nd2 PC-9801NL/A･NS/A	PC-CA202*[5] PC-CA204*[2]
	上記以外の20ピンパラレルインターフェースを持つ98NOTEシリーズ	PC-9801N-19
PC-9800シリーズ ラップトップタイプ	PC-9821Ts	PC-CA202*[5] PC-CA204*[2]
プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）		PC-CA202*[5] PC-CA204*[2]

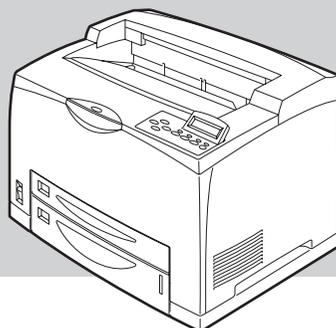
*[1] 他社のケーブルをお使いになる場合、運用した結果の影響については責任を負いかねます。

*[2] PC-CA203、PC-CA204、PC-CA205 のケーブルの長さは4.0m。

*[3] PR-UCX-02 のケーブルの長さは 2.0m。

*[4] ハイレゾリューションモードでは、プリンタステータスウィンドウ機能、音声メッセージ機能は利用不可。

*[5] ケーブルの長さは 1.5m。

付録
技術情報

仕　様

項目		内容
印刷方式		電子写真記録方式 露光方式：レーザーダイオード＋ポリゴンスキャナー 現像方式：1成分乾式
印刷速度* （A4サイズ横置き、 ホッパー給紙）		片面印刷時：約30.6ページ/分 両面印刷時：約21.4ページ/分 ＜補足＞ • A4サイズで縦置きの場合は、約23ページ/分（片面印刷時）になります。 • 両面連続印刷では、150枚印刷するごとに定着ユニットの温度を下げるために約30秒間印刷を停止します。
ウォームアップの待ち時間 （室温22℃）		電源投入時：12秒以下 節電時：12秒以下
ファーストプリントタイム	片面印刷時	A4サイズ：約8.6秒（横置き、ホッパー給紙） A3サイズ：約10.1秒（ホッパー給紙） B4サイズ：約9.8秒（ホッパー給紙）
	両面印刷時	A4サイズ：約13秒（横置き、ホッパー給紙） A3サイズ：約16.0秒（ホッパー給紙） B4サイズ：約15.5秒（ホッパー給紙）
用紙容量		標準ホッパー：　550枚、坪量64.0g/m^2の普通紙（連量55kg相当）の場合 MP　　　　　：　200枚、坪量64.0g/m^2の普通紙（連量55kg相当）の場合

* 印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。

項目		内容
スタック容量		500枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙（連量55kg相当）の場合
ドット間隔		0.0423×0.0423mm（1/600×1/600インチ） 0.0635×0.0635mm（1/400×1/400インチ）
CPU		RM5231A（200MHz）
メモリー		標準24MB、最大280MB（オプション増設時）
オプションメモリーソケット		1ソケット（SO-DIMM用）
インターフェース		IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェースに準拠（背面に1つ装備） USB2.0に準拠*1（背面に1つ装備） イーサネット（10BASE-T/100BASE-TX） IEEE802.11b規格準拠の無線LAN（オプション）
環境		動作温度　：10〜32.5℃ 動作湿度　：20〜80%ただし結露しないこと 保管温度　：0〜35℃ 保管湿度　：10〜80%ただし結露しないこと 塵埃量　　：一般事務室程度 ガス成分　：一般事務室程度 気圧　　　：1013〜752.4 hPa（海抜0〜2500m）
騒音（音圧レベル、A補正）		動作時：53dB以下 待機時：33dB以下
電源		電　圧：AC 100V± 10% 周波数：50/60Hz± 1Hz
消費電力*2	動作時最大*3	プリンター単体時：980 W以下（990VA以下） フルオプション時：1100 W以下（1140VA以下）
	動作時平均	プリンター単体時：590 W以下
	節電モード時	20W以下（節電モード0） 5W以下（節電モード1） 節電モード0から節電モード1への移行時間：5分
外形寸法		505（幅）x 592（奥行き）x 390mm（高さ）（カセット伸長時、突起部除く） 505（幅）x 376（奥行き）x 390mm（高さ）（カセット縮小時、突起部除く）
質量		約22kg（EPカートリッジ、オプション含まず） 約24kg（EPカートリッジ含む、オプション含まず）
製品寿命*4		印刷枚数60万ページまたは使用年数5年のいずれか早い方
消耗品寿命		EPカートリッジ（本体添付）：　約6,000枚（印刷枚数） （ただしA4用紙、画像面積比5%片面連続印刷時）
言語		• NPDL Level 2（201PLエミュレーション含む） • ESC/Pエミュレーション • プロッターエミュレーション（HP 7550A準拠）
内蔵フォント		明朝体-Lアウトラインフォント、ゴシック体-Mアウトラインフォント、 OCR-B相当文字*5、バーコード*5、*6（カスタマバーコード、JAN（8桁、13桁）、Code 39、NW-7、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、UCC/EAN-128）

*1 USB インターフェースは、すべての USB 対応機器について動作を保証するものではありません。

*2 電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが切れた状態では電力の消費はありません。

*3 最大値は瞬間的ピークを除いた値です。

*4 10 万ページ印刷毎に定期交換部品の交換が必要です。

*5 OCR-B 相当印刷やバーコード印刷の読みとりについては、OCR 装置、バーコードスキャナでの評価が必要です。ご使用の前にあらかじめご確認されることをお勧め致します。

*6 MS-DOS などのアプリケーションがプリンターの制御コードを発行できる環境で使用できます。

項目	内容
対応OS	• Microsoft Windows XP 日本語版＊[1]、＊[2] • Microsoft Windows Millennium Edition 日本語版＊[1] • Microsoft Windows 98 日本語版＊[1] • Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版＊[1] • Microsoft Windows 95 日本語版 • Microsoft Windows Server 2003 日本語版＊[1]、＊[3] • Microsoft Windows 2000 日本語版＊[1] • Microsoft Windows NT 4.0 日本語版 • 日本語MS-DOS （ver 3.3以上）、MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver. J5.0/V以上（DOS/V） • Mac OS日本語版＊[4]

＊1　USB インターフェース接続において、OS のアップグレードの組み合せによっては、正常に動作しない場合があります。また、PC-9821 シリーズの USB インターフェース接続には対応していません。

＊2　Windows XP 64Bit Edition には対応していません。

＊3　64 ビットバージョン Windows Server 2003 には対応していません。

＊4　Mac OS 対応プリンタードライバーは、「http://121ware.com/」で提供しています。詳細は、同 Web ページをご覧ください。

付録

用紙の規格

用紙の種類	寸法	坪量	表面電気抵抗
片面印刷時			
普通紙 **（乾式 PPC 用紙）**	A3判（297×420mm） A4判（210×297mm） A5判（148×210mm） B4判（257×364mm） B5判（182×257mm） レターサイズ （約216×約280mm） 定形外用紙 （77～304×100～508mm） 長尺紙（297×900mm）	60～90g/㎡ （連量*52～77kg）	1×10^{9}～ 1×10^{12}Ω
厚紙 1		90～157g/㎡ （連量*77～135kg）	
厚紙 2		157～216g/㎡ （連量*135～185kg）	
はがき 官製はがき、官製往復はがきと同等の寸法、坪量のものを使用してください。ただし、往復はがきは折り目がないものを使用してください。	官製はがき （100×148mm） 官製往復はがき （200×148mm）	―	―
OHP フィルム 乾式PPC用、表面処理されているものを使用してください。	A4判（210×297mm）	厚さ：0.1mm± 0.025mm （100μm± 25μm）	―
ラベル紙 乾式PPC用、台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。	A4判（210×297mm） レターサイズ （約216×約280mm）	―	―
封筒 洋形4号、内カマス、のりなしのものを使用してください。ただし材質によってご使用になれない場合があります。	105×235mm	―	―
両面印刷時			
普通紙 **（乾式 PPC 用紙）**	A3判（297×420mm） A4判（210×297mm） A5判（148×210mm） B4判（257×364mm） B5判（182×257mm） レターサイズ （約216×約280mm） 定形外用紙 （100～304×140～431mm）	60～90g/㎡ （連量*52～77kg）	1×10^{9}～ 1×10^{12}Ω
厚紙 1		90～157g/㎡ （連量*77～135kg）	
厚紙 2		157～190g/㎡ （連量*135～163kg）	

* 連量とは、用紙788×1091mm（四六判）のサイズの用紙1000枚あたりの重さを示します。

一般的に使用されている連量55kg相当の用紙に関して弊社で推奨している紙質特性を以下に示します。
用紙メーカーに用紙を発注するときは下記の値を参照ください。

- 坪量　64～67g/m^{2}（JIS P8124）
- 紙厚　0.085～0.092mm（JIS P8118）
- 平滑度　25～50sec（JIS P8119）
- 剛度　60cm^{3}/100以上（クラーク式：JIS P8143）
- 表面電気抵抗 1×10^{9}～1×10^{12}Ω

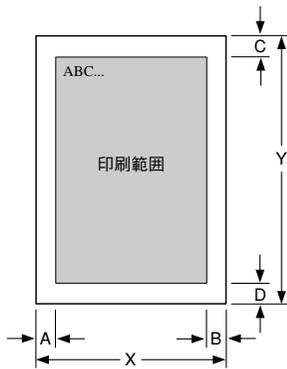
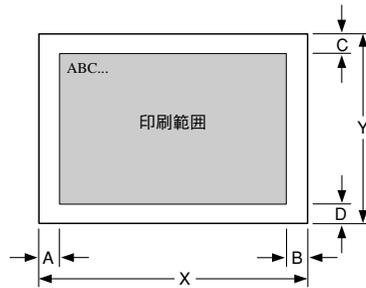
それぞれの給紙先にセットできる用紙については「3章 用紙のセット」（73ページ）を参照してください。

印刷範囲

以下に示す印刷範囲は、理論印刷範囲を表しています。実際の印刷範囲と使用環境、プリンター設定により多少異なる場合があります。

Windows環境において添付のプリンタードライバーのプロパティ上で［従来互換の印刷範囲を使用する］をチェックした場合は、MS-DOS環境と同じ印刷設定となります。詳しくは添付のCD-ROM収録されている活用マニュアルの「付録　技術情報」をご覧ください。

添付のプリンタードライバーの標準設定では、ドライバーの機能により余白量はすべて約5mmです。

ポートレート

ランドスケープ

ポートレート

用紙	X（用紙幅）	Y（用紙長）	A（左余白）	B（右余白）	C（上余白）	D（下余白）
	mm	mm	mm	mm	mm	mm
A2	420	594	5.00	5.00	5.00	5.00
A3	297	420	5.00	5.00	5.00	5.00
A4	210	297	5.00	5.00	5.00	5.00
A5	148	210	5.00	5.00	5.00	5.00
B4	257	364	5.00	5.00	5.00	5.00
B5	182	257	5.00	5.00	5.00	5.00
はがき	100	148	5.00	5.00	5.00	5.00
往復はがき	200	148	5.00	5.00	5.00	5.00
封筒洋形４号	105	235	5.00	5.00	5.00	5.00
レター	216	280	5.00	5.00	5.00	5.00
帳票	381	279.4	17.78	17.78	0	0
ユーザー定義	−	−	5.00	5.00	5.00	5.00
A3→A4	297	420	5.00	5.00	5.00	5.00
A3→B4	297	420	5.00	5.00	5.00	5.00
A4→A3	210	297	5.00	5.00	5.00	5.00
A4→B4	210	297	5.00	5.00	5.00	5.00
A4→B5	210	297	5.00	5.00	5.00	5.00
A4×2→A4	297	420	5.00	5.00	5.00	5.00
B4→A3	257	364	5.00	5.00	5.00	5.00
B4→A4	257	364	5.00	5.00	5.00	5.00
B4→B5	257	364	5.00	5.00	5.00	5.00
B5→A4	182	257	5.00	5.00	5.00	5.00
B5→B4	182	257	5.00	5.00	5.00	5.00
B5×2→B5	257	364	5.00	5.00	5.00	5.00
LP→A4	−	−	−	−	−	−
LP→B4	−	−	−	−	−	−

ランドスケープ

用紙	X（用紙幅）	Y（用紙長）	A（左余白）	B（右余白）	C（上余白）	D（下余白）
	mm	mm	mm	mm	mm	mm
A2	594	420	5.00	5.00	5.00	5.00
A3	420	297	5.00	5.00	5.00	5.00
A4	297	210	5.00	5.00	5.00	5.00
A5	210	148	5.00	5.00	5.00	5.00
B4	364	257	5.00	5.00	5.00	5.00
B5	257	182	5.00	5.00	5.00	5.00
はがき	148	100	5.00	5.00	5.00	5.00
往復はがき	148	200	5.00	5.00	5.00	5.00
封筒洋形４号	235	105	5.00	5.00	5.00	5.00
レター	280	216	5.00	5.00	5.00	5.00
帳票	279.4	381	17.78	17.78	0	0
ユーザー定義	−	−	5.00	5.00	5.00	5.00
A3→A4	420	297	5.00	5.00	5.00	5.00
A3→B4	420	297	5.00	5.00	5.00	5.00
A4→A3	297	210	5.00	5.00	5.00	5.00
A4→B4	297	210	5.00	5.00	5.00	5.00
A4→B5	297	210	5.00	5.00	5.00	5.00
A4×2→A4	420	297	5.00	5.00	5.00	5.00
B4→A3	364	257	5.00	5.00	5.00	5.00
B4→A4	364	257	5.00	5.00	5.00	5.00
B4→B5	364	257	5.00	5.00	5.00	5.00
B5→A4	257	182	5.00	5.00	5.00	5.00
B5→B4	257	182	5.00	5.00	5.00	5.00
B5×2→B5	364	257	5.00	5.00	5.00	5.00
LP→A4	−	−	−	−	−	−
LP→B4	−	−	−	−	−	−

用語解説

英数字

10BASE-T/100BASE-TX

ネットワークの伝送路に関する規格。伝送速度は10BASE-Tが10Mbps、100BASE-TXが100Mbps。本プリンターではこれらの規格のケーブルを使ってネットワークに接続することができる。

201PL

NECのシリアルプリンター用標準コードのこと。

CSV形式

データベースソフトや表計算ソフトのデータをテキストファイルとして保存する場合の形式のひとつ。データを区切り符号で仕切ることで異なるアプリケーション間でのデータの共有を図ることができる。

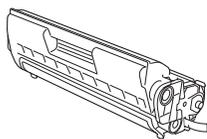
DHCP

Dynamic Host Configuration Protocolの略。ネットワーククライアントにIPアドレスなどのパラメーターを配布するプロトコル。DHCPサーバーにおいてIPアドレスなどを一括管理し、クライアントは起動時にDHCPサーバーにIPアドレスの貸し出しを要求する。IPアドレスの一括管理によりアドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。

DPI（dpi）

Dots Per Inchの略。1インチ当たりのドット数。プリンターの解像度などを表す単位。（→解像度）

EPカートリッジ

OPCドラム、現像ユニットなどが一体化された部品。ドラムにトナーを付着させ印刷イメージを形成させるはたらきをする（→OPC）。消耗品のため「76　トナーナシ　EPコウカン」が表示されたら交換が必要。1本で印刷できる枚数はカートリッジの種類、印刷するデータによって異なる（詳細は「6章日常の保守」参照）。

ECP

Extended Capabilities Portの略。コンピューターとプリンターをつなぐパラレルインターフェースであるIEEE1284が使用する、データ転送モードのひとつ。米マイクロソフト社と米ヒューレット・パッカード社が中心となって提案した。データ転送速度は従来のセントロニクスの最大150KB/秒に比べ、2MB/秒と高速である。また、双方向通信機能やデータ圧縮機能を備える。使用するにはコンピューターとプリンターなど周辺機器の両方が対応している必要がある。

ESC/P

セイコーエプソン株式会社が開発したプリンターを制御する命令（コマンド）の集まり。

IPアドレス

IPはInternet Protocolの略。インターネット上で個々のユーザーを認識する符号（アドレス）。インターネットに接続したコンピューターにはすべてIPアドレスが割り振られる。

IPP

Internet Printing Protocolの略。Windows 2000で標準にサポートされたインターネット印刷プロトコル。イントラネットやインターネットを通じてURLの指定を受けたプリンターに印刷することができる。

ISO 9660

ISO（International Organization for Standardization：国際標準化機構）が定めたCD-ROM用のファイル形式。多くのCDはこの方式を採っており、OSによって異なるフォルダーやファイルの名前の規則を守ればMacintoshやUNIXマシンでも読み出すことが可能。

LAN

Local Area Networkの略。構内情報通信網のこと。

Macintosh

米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピューターの総称。Mac OSには、あらかじめAppleTalkソフトウェアが組み込まれており、LocalTalkケーブルシステムやEtherTalkケーブルシステムを使ってネットワークを構築する。

Mac OS

米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピューターのMacintoshのOSのこと。個々の名称はSystem（日本語では漢字Talk）であるが、総称としてMac OSと呼ぶようになった。

MIB

Management Information Baseの略。TCP/IP通信でのネットワーク管理用プロトコルのSNMPで、コンピューター間でやり取りされる管理情報を定義したもの。

MOPYING

Multiple Original coPY and printINGの略。NECが提唱するコピー機の代わりにプリンターでオリジナル印刷する新しい「印刷スタイル」。

MP

Multi Purposeの略。いろいろなサイズの用紙をセットできる給紙機構のこと。

MS-DOS

Microsoft Disk Operating Systemの略。マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。現在のパソコンの基礎となったオペレーティングシステム。

NetBEUI

ネットビューイと読む。IBMによって開発された小規模LAN用のプロトコル。主にLAN Managerをネットワーク OSにしたときに用いられる。

NetWare

ノベル社が開発したネットワークOS。プロトコルにはIPX/SPXが用いられる。

NPDL

NEC Printer Description Languageの略。NECプリンター記述言語。

OPC

Organic Photo Conductorの略。有機光電導体。ドラムカートリッジのドラムに用いられる有機材。一様に帯電させ、表面に光を照射すると照射量に応じて電荷が失われる現象を利用して潜像を形成する。

OS

Operating System（オペレーティングシステム）の略。コンピューターのハードウエア、ソフトウエアを有効に利用するために総合的管理を行うソフトウエアのこと。本書では特に区別して説明する場合、MS-DOSやWindowsなどプログラムの実行管理などを行う基本的なソフトウエアを「基本OS」、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NTやNetWareなどネットワークを強く意識したOSを「ネットワークOS」と呼ぶことがある。

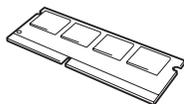
PrintAgent

双方向通信により、コンピューターの画面上で印刷状況の確認、プリンターの設定をすることを実現したソフトウエア。MultiWriterシリーズに搭載。

SET

Sharp Edge Technologyの略。MultiWriterシリーズに採用されている高精細印字機能。

SO-DIMM

Small Outline-Dual In-line Memory Moduleの略。コンピューターやプリンターなどに使われるメモリーの一種。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。ネットワークのプロトコルのひとつ。UNIXをはじめWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Macintoshなど、主要なOSでサポートされる世界的な標準プロトコルになっている。

TrueType

米国アップルコンピュータ社と米国マイクロソフト社が開発したソフトウエアで、Macintosh/Windows用のアウトラインフォントを用いた画面表示と印刷を行う。どんなアプリケーションソフトからでも利用できるアウトラインフォントが使えるので、文字サイズが大きくなってもギザギザにならない。

UNIX

AT&T社のベル研究所で開発された一般的にワークステーションで用いられるOS。プロトコルはTCP/IPを用いるのが標準的。クライアント・サーバシステムにおいてはUNIXマシンをサーバーにする例が多い。

USB

Universal Serial Busの略。キーボード、マウス、スピーカー、モデム、プリンターなどの周辺機器とコンピューターの間を統一したコネクターとケーブルで接続できるインターフェース。

五十音順

アウトラインフォント

文字の形を直線や曲線で表された輪郭として記憶し、出力時にその文字データを論理的に処理して表現すること。文字サイズの自由な設定や文字の変形が可能となり、ドット密度に関係なく美しい文字を表現できる。

アクセスポイント

ネットワークに外部から接続（アクセス）するための受け口。MultiWriterのオプション品である無線LANボードは、アクセスポイント経由の接続に対応する。

アドホック（ad hoc）

無線LAN機器が備える動作設定のひとつ。無線親機（アクセスポイント）なしに、無線LANボードなどの無線子機同士が相互に通信できる。

アドミニストレーター（Administrators）

管理者という意味。ネットワークやシステムの管理を行う最高の権限を持っている人。システムアドミニストレーターと呼ぶこともある。（→システム管理者）

イーサネット（Ethernet）

LANの伝送路に関する規格。米ゼロックス社と米ディジタルイクイップメント（DEC）社と米インテル社が協同で開発、規格した。3社の頭文字をとってDIX規格と呼ぶこともある。IEEE802.3標準の伝送速度10Mbpsの規格とほぼ同義。コンピューター同士をどのようなケーブルで結び、どのような信号で、どうやり取りするかなどを決めている。同軸ケーブル上で電波を使って通信する仕組みで、複数の端末が通信するために、CSMA/CDという信号制御方式を採用している。現在では同軸ケーブルではなくツイストペアケーブルを使うことが多い。

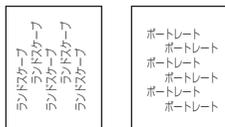
印刷ジョブ

アプリケーションで作成された文書を印刷する作業単位のこと。スプールされて印刷待ちに追加されるか、直接プリンターに送られる。

印刷の向き

用紙に対して文字やグラフィックが印刷される方向。横長（ランドスケープ）と縦長（ポートレート）がある。

ランドスケープ
ランドスケープ
ランドスケープ
ランドスケープ
ランドスケープ

ポートレート
ポートレート
ポートレート
ポートレート
ポートレート
ポートレート

印刷範囲

プリンター用紙に印刷ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印刷可能領域を指す。

インストール

一般にはシステムや装置を設置するという意味。ソフトウエアではOSやアプリケーションをコンピューターに組み込むという意味。

インターフェース

2つの装置〈デバイス〉を通信できるように接続するための仕様、ケーブルシステム。

ウォームアップ

プリンターの電源をONにした後、ヒートローラーが一定の温度になり印刷が可能になるまでの状態をいう。

エミュレーション機能

他のプリンターのために開発されたソフトウエアの制御コードを本プリンターで使用できるようにする機能。たとえば、PC-PR201系シリアルプリンターの制御コードが使用できる場合を201PLエミュレーションと呼ぶ。この機能を実現するためのプログラムをエミュレーターと呼ぶ。

解像度

プリンターが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。1インチ（25.4mm）当たりのドット数で表す。

拡張制御コード

制御コードのうち、ESC （1BH）、FS （1CH）、のように後に続くコードと組み合わせて機能を表すコードをいう。（←→基本制御コード）

かんたん設定

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0のプリンタードライバーでのみ使える機能。[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シート右上のリストビュー。リストビューのアイコンをクリックすると、プリンターで登録済みの設定や、ユーザーが用途に合わせて登録した設定が読み込まれる。

機能選択バー

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0のプリンタードライバーでのみ使える機能。[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シート左側にある縦向きのバー。ボタンをクリックすると[複数ページレイアウト]、[リプリント]などの機能の設定項目が[メイン]シート右下に表示される。

グレースケールイメージ

白黒写真のように色彩情報がなく、ドットの多少により明暗を表現するグラフィックスイメージ。
（→ハーフトーン）

コマンド

コンピューターに行わせたい作業を実行するために選択または入力する命令。

システム管理者

コンピューターシステムを管理する人。
あるグループ全体のコンピューターや周辺装置、ソフトウエアなどシステムを構成する様々な要素に関する情報をもとに、システムが効果的に運用できるように管理する。

自動給紙

カット紙（単票用紙）を連続して自動的に給紙することをいう。

自動排出

コンピューターからのデータが一定時間なかったとき、プリンター内のデータを自動的に印刷して排出する機能。

ジョブ結合

PrintAgent リプリント2で実現する機能。これを利用すると一度印刷してスプールしてあるドキュメントを組み合わせて、一つにまとめて印刷することができる。再印刷のために複数のアプリケーションを起動する手間を省くことができる。

ステータス印刷

テスト印刷のうちのひとつ。給紙構成や動作モード、メモリースイッチの設定状態などプリンターの状態を印刷するもの。

スプール

ドキュメント（文書）を印刷する場合に印刷データをコンピューターのハードディスクにファイルとしていったん保存して、保存した順にプリンターに送ること。これによりプリンターが印刷を終了するのを待たずにコンピューターでは別の作業を行うことができるようになる。プリンターに送り終えたファイルは自動的に消去される。

制御コード

プリンターの動作を制御するためのコード。印刷データと異なり印刷されない。たとえば、CR（改行コード）やFF（改ページ）など。

双方向通信

コンピューターとプリンターの間で、情報のやり取りをする通信形態のこと。PrintAgent機能を実現するための必須条件。コンピューターから印刷データが送られるだけでなく、プリンターからもコンピューターに情報を送ることができるので、印刷の状況がプリンタステータスウィンドウのアニメーションと音声で、正確にわかる。双方向通信には、セントロニクスインターフェースか双方向通信可能なプリンターインターフェースを装備したコンピューターである、またはUSBやネットワークで接続されていることが必要。

通常使うプリンタ

アプリケーションで[印刷]コマンドを実行し、プリンターの指定を省略したときにその印刷データを印刷するプリンター。

坪量

用紙の重さを表す単位。用紙1枚1㎡単位の重さをいう。(本マニュアルで使用している用紙の坪量は、64.0g/㎡)。

定着ユニット

用紙上のトナーを熱によって溶かし、圧力を加えて用紙に固定させるためのもの。ヒートローラーとプレッシャーローラーで構成されている。

テスト印刷

プリンターが正常に動作していることを確認するためのもの。

電子ソート

複数部数を印刷する場合にコンピューターから一部目だけ印刷データを送り、二部目以降はプリンターのメモリー上で印刷データ処理を行う機能。オプションの増設メモリーをプリンターに取り付けることで実現する。

ネットワーク

複数のコンピューターや周辺機器をケーブルまたは他の手段を用いて接続し、情報交換したり機器を共有したりできるようにしたコンピューターの集団。

バーコード

白と黒の縞模様を線の太さと間隔を変えながら書き並べてデータを表し、印刷されたコード。国名、商品名、価格など、主として流通や商品管理で必要な管理情報、POS用のコードを表すのに使われる。本製品は、カスタマバーコード、NW-7、JAN、CODE 39、Industrial2 of 5、Interleaved 2 of 5、UCC/EAN-128に対応する。

ハーフトーン

画像を表示・出力する際に、一定間隔の点(網点)に分解し、それぞれの黒い点の大きさを変えることで濃淡を表現する。大きい点は濃いグレー、小さい点は薄いグレーになる。

バッファーフル

ページバッファーに1ページ分の印刷データがたまることをバッファーフルという。バッファーフルになると、自動的にそのページの印刷を行う。

パラレルインターフェース

同時に複数の信号を並列に送るデータ転送方式、あるいは物理的な接続コネクターのこと。MultiWriterとコンピューター間ではセントロニクス仕様に準拠した方式(IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース)が用いられる。

ピア・ツー・ピアグループ

無線LAN機器が備える設定の一つ。無線親機(アクセスポイント)なしに、無線LANボードなどの無線子機同士が相互に通信できる。

ヒートローラー

定着ユニットにあり、プレッシャーローラーとともに熱と圧力でトナーを定着させる働きをする。

フォーム印刷

見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文章データと重ね合わせて印刷すること。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要。

不揮発性メモリー

電源をOFFにしても記憶した内容が消えないメモリー。

ブラシパターン

図形を塗りつぶすためのある一定のパターン。

プリンターケーブル

コンピューターとプリンターを接続するケーブル。

プリンターバッファー

一般にコンピューターの処理速度は速くプリンターの処理速度は遅い。したがって、プリンターでの印刷をしている間コンピューターは何もしないで待つという状態が発生する。そこで、コンピューターから送られたデータをいったん記憶装置に蓄え、プリンターの処理に合わせて順次その記憶装置からプリンターに印刷データを送ることにする。これによってコンピューターは印刷の終了を待たずに印刷処理から解放され、別の仕事をすることができる。この記憶装置をプリンターバッファーと呼ぶ。

プロトコル

コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と通信するための規約。

プロパティ

ファイルやソフトウエアなどの固有の情報。フォントやウィンドウの色などさまざまな情報の設定、状態などを表す。プリンターの設定状態などを示す用語として広く使われている。

プロポーショナル文字

印刷される文字ごとに、文字幅が異なる文字のこと。

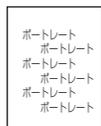
ページ記述言語

１ページ分のテキスト（文字）やグラフィック（図形）のデータ、位置情報などを正確に表すための言語。

ポート

コンピューターが外部とデータをやり取りするときに使用するケーブルの接続部分。

ポートレート

用紙を縦長にした内容で印刷する印刷フォーマットのこと。（⇔ランドスケープ）

無線LAN

ケーブルの代わりに電波などを利用してネットワーク（LAN）を構成するシステム。IEEE802委員会がIEEE802.11標準として勧告しているシステムが代表例。MultiWriterのオプション品である無線LANボードは、IEEE802.11bに準拠している。

メニューモード

プリンターの設定をプリンターの操作パネルを使ってメニュー形式で行うモード。

メモリー

データを保存する装置。または情報やプログラムの一時的な記憶場所。

メモリースイッチ（MSW）

不揮発性メモリーを利用してプリンターのさまざまな設定を行うスイッチ。機械的にON／OFFを切り替えるスイッチではなく、電気的に切り替えるスイッチ。

ランドスケープ

用紙を横長にした内容で印刷する印刷フォーマットのひとつ。（⇔ポートレート）

連量

用紙の重さを表す単位。一般に788×1091mmのサイズの用紙1000枚当たりの重さをいう（本マニュアルで使用している用紙の連量は、70kg）。

ローカルプリンター

コンピューターと直接プリンターケーブルで接続しているプリンター。

索引

記号

A

B

C

D

E

F

H

I

L

ウ

エ

オ

カ

キ

ク

ケ

コ

サ

シ

ス

セ

ソ

タ

チ

ツ

テ

ト

ニ

ネ

ノ

ハ

ヒ

フ

ヘ

ホ

マ

ミ

ム

メ

モ

ユ

ヨ

ラ

リ

レ

ロ

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品です。

JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両波性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

本書に従って正しい取り扱いをしてください。

また、ネットワークオプション*の無線LANボード(型番：PR-WLX-13)、マルチプロトコルLANアダプタ（型番：PR-NPX-05）を取り付けた場合、この装置は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。

なお、この装置に　ネットワークオプション*のLANアダプタ（TCP/IP）（型番：PR-NP-02T2／PR-NP-03TR2）を接続して使用した場合、接続したオプションを含むプリンター全体としては、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置になります。
この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

* オプションの詳細については本書の173 ページを参照してください。

電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

レーザー製品の安全基準について

この装置は、JIS C 6802規格に基づくクラス 1 レーザ製品です。本書に記載されている以外の操作や調整および分解は行わないでください。

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

MultiWriter 3300N

このマニュアルは再生紙を使用し、リサイクルに配慮して製本されています。
このマニュアルが不要になった際、回収・リサイクルに出しましょう。

NEC